

立川市第6次障害者計画策定
のためのアンケート調査
結果報告書

平成30年12月

立川市

目 次

調査の概要	1
集計結果	5
① 障害者手帳所持者・難病患者	7
アンケート調査の記入者について	7
I 調査対象者について	8
II 障害の状況について	12
III 健康状態や医療について	20
IV 介助・援助の状況について	28
V 福祉サービスの利用について	36
VI 日中活動や就労について	51
VII 相談などについて	73
VIII 情報入手などについて	78
IX 災害時の対策、緊急時の対応などについて	81
X 差別や権利擁護のことについて	92
X I 将来の希望などについて	106
X II 立川市の障害者施策について	111
X III 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望	115
② 市民	123
I 調査対象者について	123
II 障害のある人とのかかわりについて	125
III 障害のある人が働くことについて	134
IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について	137
V 障害福祉施策への意見・要望	150
③ 市内事業所	152
I 調査対象事業所について	152
II 障害のある人の雇用について	155
III 職場体験や実習の受け入れについて	167
IV 障害のある人への対応について	172
V 障害者差別解消のための意見	182

調査の概要

1 調査の目的

「立川市第6次障害者計画」（計画期間：平成32年度～36年度）の策定に向け、障害者（児）の生活実態やニーズの把握、障害に関する市民・事業者の意識と課題を把握し、計画策定の基礎資料とするために、対象者を分けた3種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査の対象者

①障害者手帳所持者・難病患者用は、障害者手帳システムに登録のある手帳所持者等を対象に、身体障害者450人、知的障害者100人、精神障害者150人、難病患者100人を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、年齢構成、男女比、手帳等級を比例配分の上、無作為抽出しています。また、免疫機能障害については、プライバシーを配慮して調査対象から除外しました。

区分別構成比と対象者数

総数は平成30年3月末時点

区分	総数	構成比	調査対象者
身体障害	5,267人	54.5%	450人
知的障害	1,344人	13.9%	100人
精神障害	1,775人	18.4%	150人
難病	1,278人	13.2%	100人
計	9,664人	100%	800人

※重複障害の方はそれぞれカウントしています。

②市民用は、立川市に住民票を有する平成30年4月1日現在満18歳以上の者を対象に、男女300人を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、各町の人口規模、年代構成、男女比で比例配分の上、無作為抽出しています。

③市内事業所用は、立川市内に事務所・事業所等を置く従業員50人以上の法人を対象に、100社を抽出してアンケート調査を発送しました。抽出方法は、業種、事業所の規模に偏りがないように配分の上、無作為抽出しています。

3 調査期間

平成30年7月19日にアンケート調査を対象者へ郵送し、回答期限を8月20日としました。

4 調査方法

無記名で回答していただき、アンケート調査を発送した際に同封した専用封筒で回答を返送していただきました。なお、①障害者手帳所持者・難病患者を対象としたアンケート調査にはルビをふりました。

5 回収状況

期限後に提出があったものを含め、障害者手帳所持者・難病患者 348 人、市民 81 人、市内事業所 32 社の合計 462 件の回答がありました。障害者手帳所持者・難病患者の回収率は 43.5%、市民の回収率は 27.3%、市内事業所の回収率は 32.0%となります。

対象	送付数	回答数（通）	回答率
①障害者手帳所持者・難病患者	800	348	43.5%
②市民	300	82	27.3%
③市内事業所	100	32	32.0%
合計	1,200	462	38.5%

6 調査項目

調査項目については、次のとおりです。

①障害者手帳所持者・難病患者

区 分	主 な 調 査 項 目
アンケート調査の記入者	アンケート調査の記入者
I 調査対象者について	性別、年齢、住居、家族構成
II 障害の状況について	障害種別、障害等級
III 健康状態や医療について	主治医・通院の有無、医療的ケアの内容
IV 介助・援助の状況について	食事、トイレ、入浴、移動、お金の管理、服薬管理
V 福祉サービスの利用について	障害（児）福祉のサービスや地域生活支援事業の利用状況
VI 日中活動や就労について	外出の頻度、外出方法、日中活動、通園・通学の状況、就労の有無、会社や職場に求める配慮、余暇活動内容
VII 相談などについて	支援者の存在、相談機関についての評価
VIII 情報入手などについて	情報入手の方法、コミュニケーション時の困難さ
IX 災害時の対策、緊急時の対応などについて	避難の可否、ヘルプカード
X 差別や権利擁護のことについて	障害者差別解消法について、市条例について、差別的対応の有無、成年後見制度の活用
X I 将来の希望などについて	将来の暮らし、必要な支援
X II 立川市の障害者施策について	立川市第5次障害者計画の施策についての重要度
X III 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望	自由記載

②市民

区 分	主 な 調 査 項 目
I 調査対象者について	性別、年齢、職業
II 障害のある人とのかかわりについて	障害のある人とのかかわりの有無、関心、支援活動、差別や偏見の有無、障害者理解
III 障害のある人が働くことについて	職場における障害者雇用の状況、支援の拡充
IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について	障害者差別解消法について、市条例について、障害のある人も暮らしやすいまちづくり、ヘルプカード、ヘルプマーク、障害福祉に関する言葉の認知度
V 障害福祉施策への意見・要望	自由記載

③市内事業所

区 分	主 な 調 査 項 目
I 調査対象事業所について	業種、従業者数
II 障害のある人の雇用について	雇用実績、雇用時の事業所内の変化、負担、配慮、課題、雇用の機会を増やすための支援の拡充
III 職場体験や実習の受け入れについて	実習や職場体験の有無、支援の拡充
IV 障害のある人への対応について	障害者差別解消法について、市条例について、障害理解の教育、事業所内の環境整備、業務での障害のある人への対応、合理的配慮、市の施策、ヘルプカード、ヘルプマーク
V 障害者差別解消のための意見	自由記載

7 報告書を見る際の注意事項

- 調査結果（表中）の比率は、その設問の回答数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、構成比の合計は、かならずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答可の設問の人数の合計は、回答数を超えることがあります。
- 複数回答可の設問の構成比は、回答数のうち、その選択項目を選択した方の割合を算出しています。したがって、構成比の合計が100%を超えることがあります。

集計結果

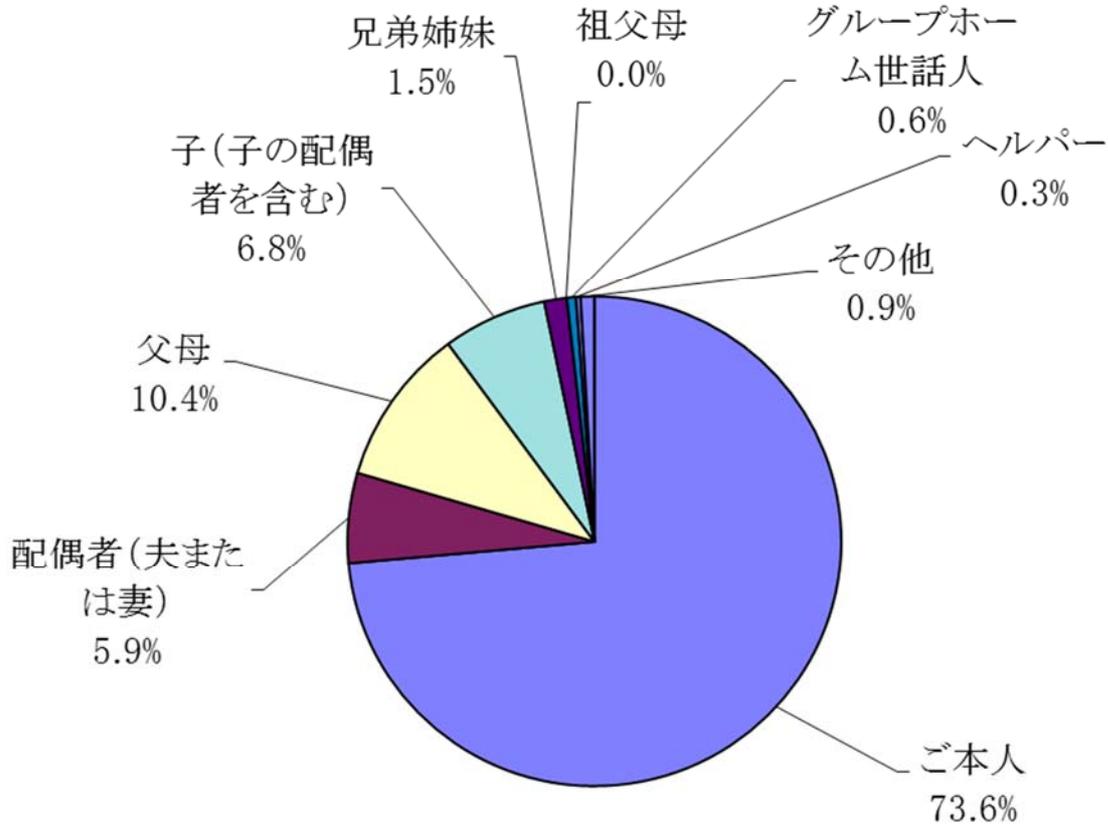
① 障害者手帳所持者・難病患者	7
② 市民	1 2 5
③ 市内事業者	1 5 2

①障害者手帳所持者・難病患者

アンケート調査の記入者について

問1 ご記入される方はどなたですか

【回答数 337人】 *回答数は回答者合計から無回答数を除いた人数となります。



【障害別回答数】

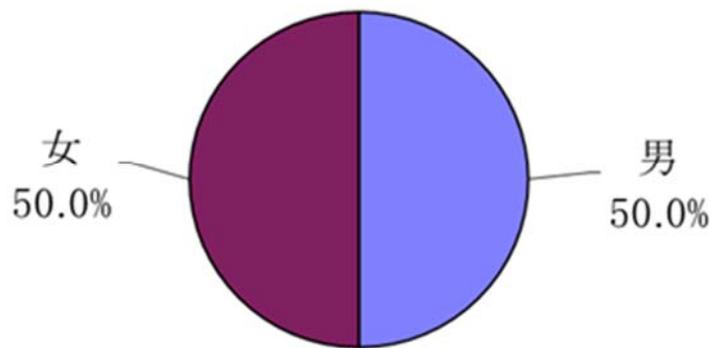
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ご本人	248	73.6%	160	18	50	63
配偶者(夫または妻)	20	5.9%	17	1	1	6
父母	35	10.4%	10	25	6	3
子(子の配偶者を含む)	23	6.8%	18	0	1	4
兄弟姉妹	5	1.5%	2	3	0	0
祖父母	0	0.0%	0	0	0	0
グループホーム世話人	2	0.6%	0	2	0	0
ヘルパー	1	0.3%	1	0	0	0
その他	3	0.9%	1	1	0	1
無回答	11	-	8	0	0	3
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

I 調査対象者について

問2 あなたの性別は、どちらですか。

【回答数 348人】



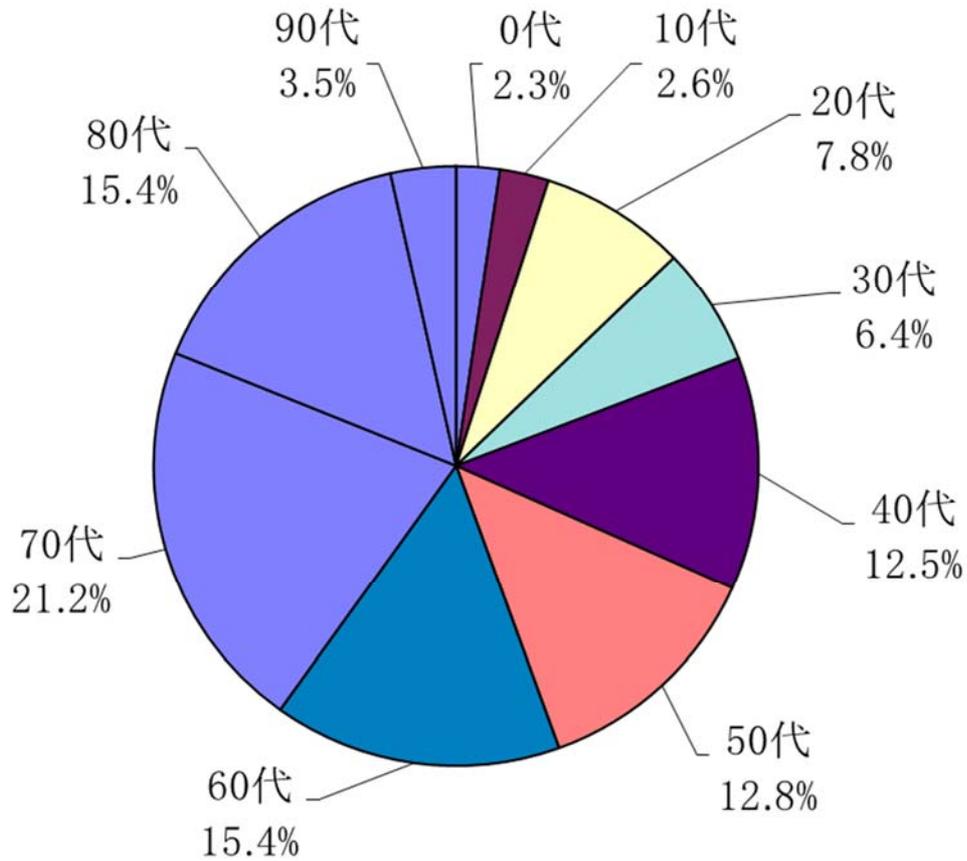
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
男	174	50.0%	115	33	28	33
女	174	50.0%	102	17	30	47
無回答	0	-	0	0	0	0
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問3 あなたは何歳ですか。(平成30年4月1日現在)

【回答数 344人】



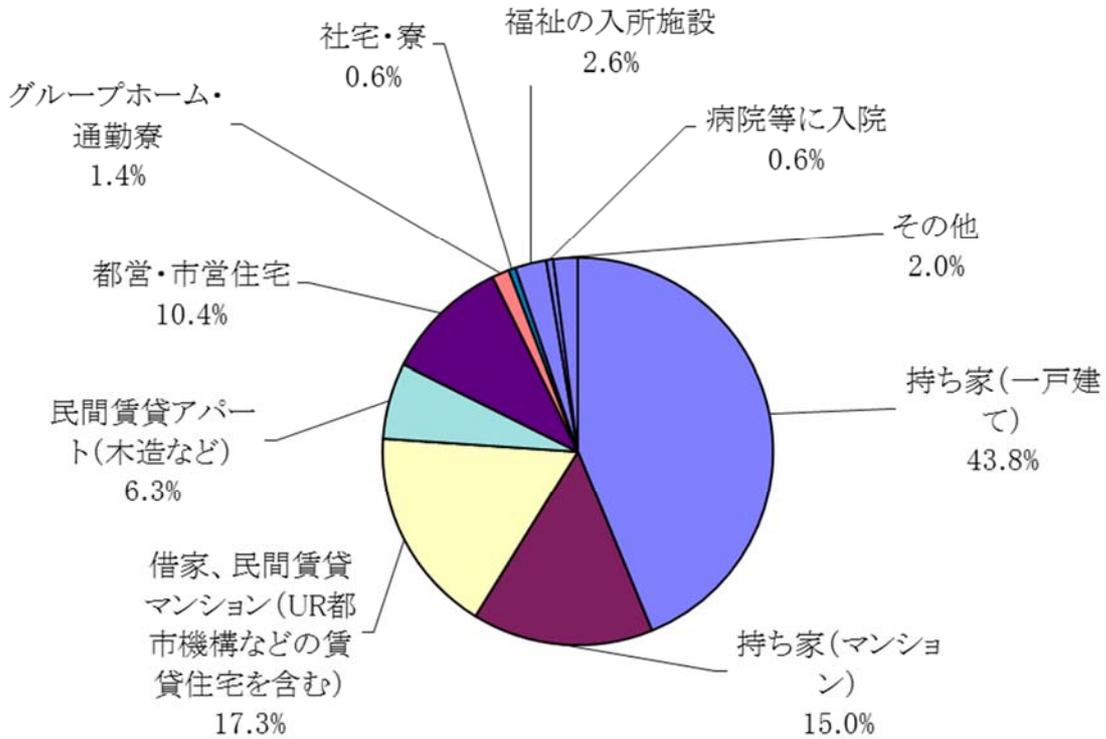
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
0 から 9 歳	8	2.3%	4	6	0	0
10 代	9	2.6%	2	6	1	1
20 代	27	7.8%	7	13	7	6
30 代	22	6.4%	5	5	8	7
40 代	43	12.5%	21	8	12	10
50 代	44	12.8%	22	4	17	12
60 代	53	15.4%	40	3	7	13
70 代	73	21.2%	62	1	4	18
80 代	53	15.4%	41	4	2	12
90 代以上	12	3.5%	10	0	0	0
無回答	4	-	3	0	0	1
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問4 現在のお住まいは、次のどれに当たりますか。

【回答数 347人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
持ち家(一戸建て)	152	43.8%	102	18	17	34
持ち家(マンション)	52	15.0%	31	9	12	11
借家、民間賃貸マンション(Ur都市機構などの賃貸住宅を含む)	60	17.3%	35	7	13	16
民間賃貸アパート(木造など)	22	6.3%	11	3	9	4
都営・市営住宅	36	10.4%	25	5	5	10
グループホーム・通勤寮	5	1.4%	1	4	1	0
社宅・寮	2	0.6%	2	0	0	1
福祉の入所施設	9	2.6%	6	2	0	1
病院等入院	2	0.6%	1	0	1	1
その他	7	2.0%	3	2	0	2
無回答	1	-	0	0	0	0
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

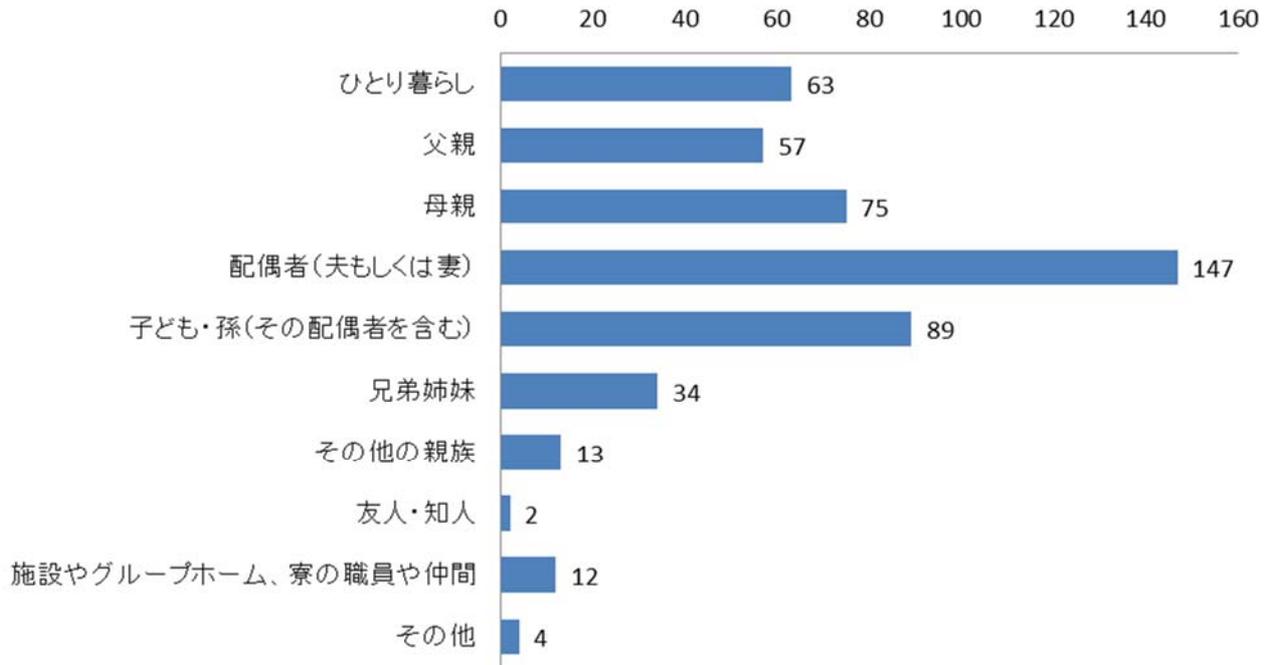
【その他回答の主な内容】

- 子供の持ち家(一戸建て)。 (女性・90代・身体)
- 高専貸。 (男性・70代・難病)

問 5 今、あなたと一緒に暮らしているのは、どなたですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 346 人】

(人)



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ひとり暮らし	63	18.2%	37	5	16	16
父親	57	16.5%	17	27	13	8
母親	75	21.7%	24	29	23	13
配偶者(夫もしくは妻)	147	42.5%	120	4	11	41
子ども・孫(その配偶者を含む)	89	25.7%	62	0	8	26
兄弟姉妹	34	9.8%	11	15	9	9
その他の親族	13	3.8%	1	8	2	1
友人・知人	2	0.6%	2	0	0	0
施設やグループホーム、寮の職員や仲間	12	3.5%	6	5	1	0
その他	4	1.2%	1	1	1	2
無回答	2	-	2	1	0	1

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

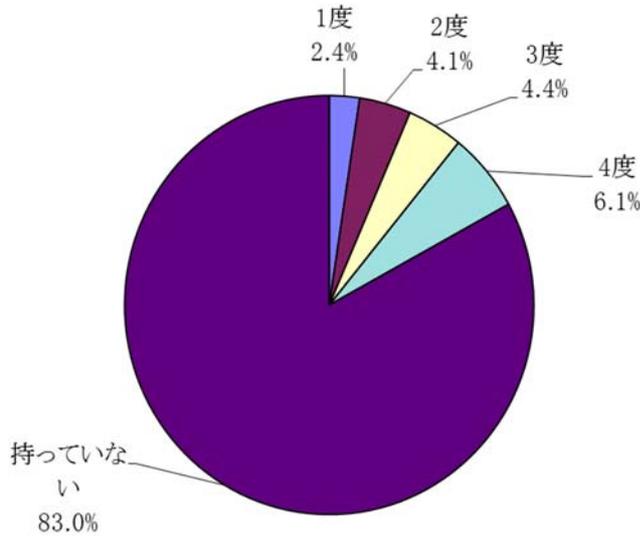
【その他回答の主な内容】

- 父母と弟。 (女性・50代・精神)
- 祖母。 (男性・10代・知的)

Ⅱ 障害の状況について

問 6 あなたは愛の手帳(「療育手帳」)を持っていますか。その程度は、どれですか。

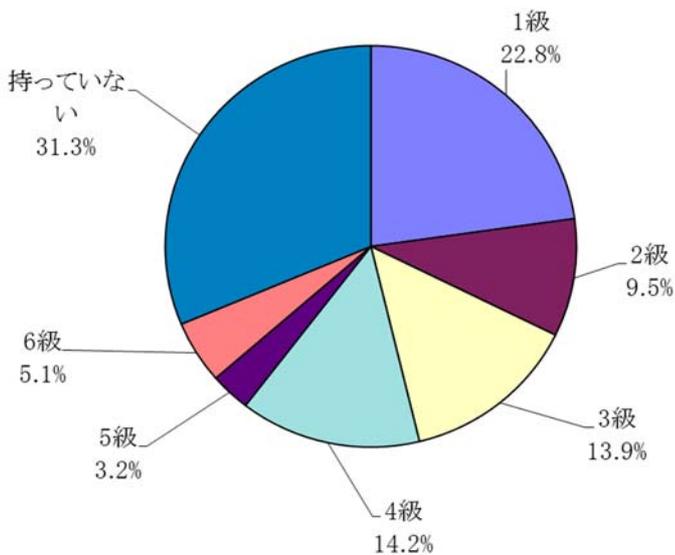
【回答数 294 人】



選択項目	人数	構成比
1度	7	2.4%
2度	12	4.1%
3度	13	4.4%
4度	18	6.1%
持っていない	244	83.0%
無回答	54	-
合計	348	100.0%

問 7 あなたは身体障害者手帳を持っていますか。その等級は、どれですか。

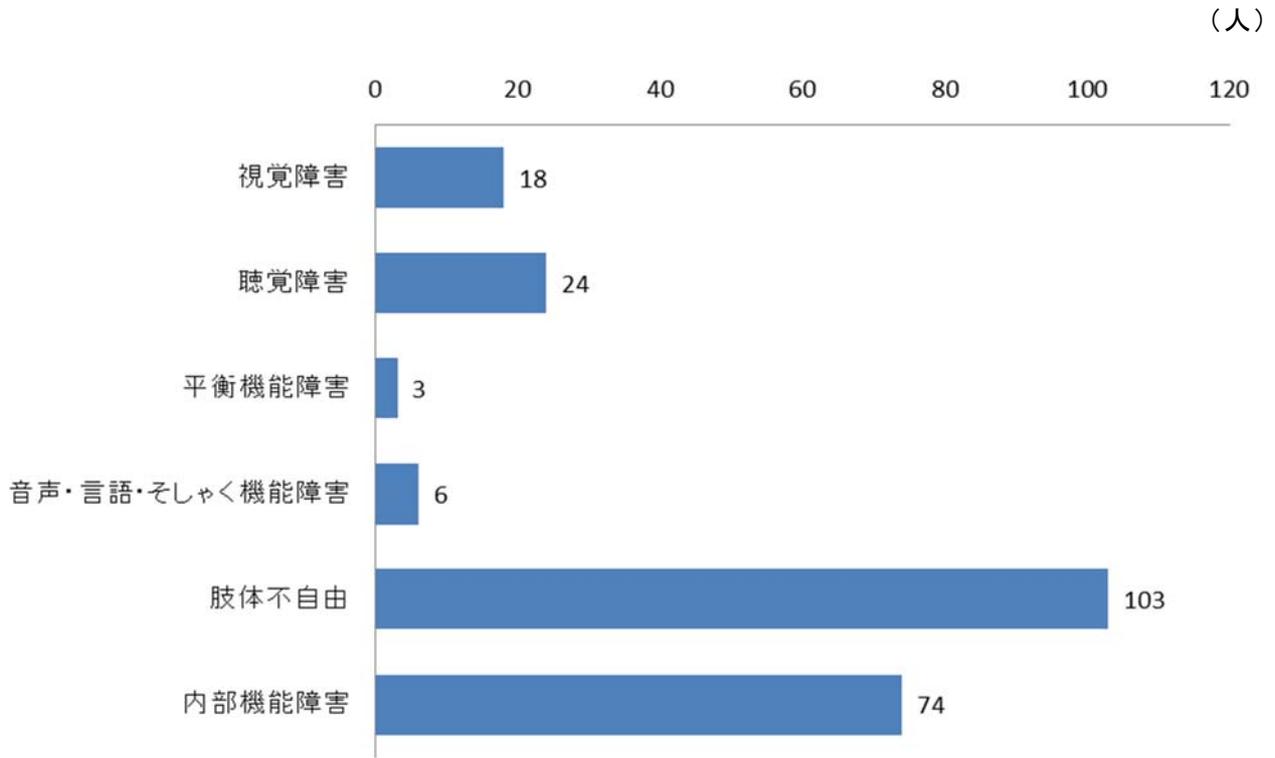
【回答数 316 人】



選択項目	人数	構成比
1級	72	22.8%
2級	30	9.5%
3級	44	13.9%
4級	45	14.2%
5級	10	3.2%
6級	16	5.1%
持っていない	99	31.3%
無回答	32	-
合計	348	100.0%

副問 7-1 身体障害者手帳をお持ちの方(問7で1～6と答えた方)におききます。
 次のうち、主な障害はどれですか。(複数回答可)

【回答数 213人】

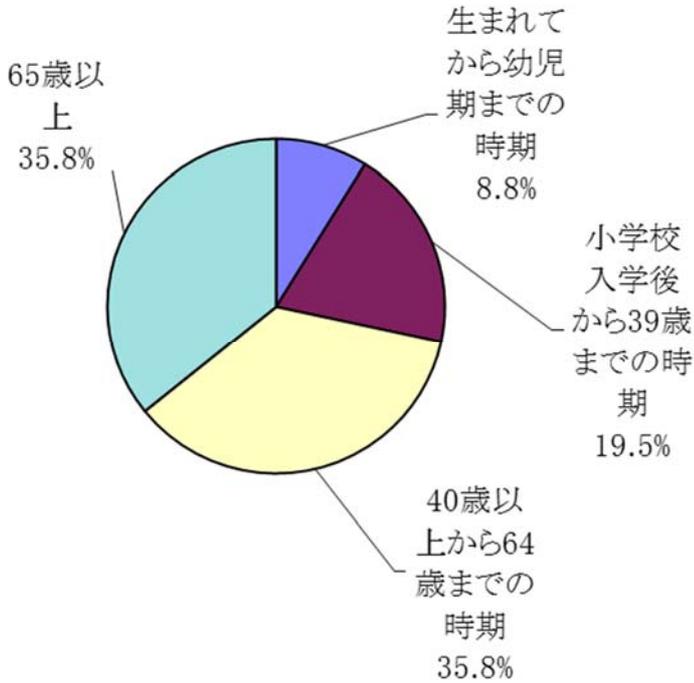


選択項目	人数	構成比
視覚障害	18	8.5%
聴覚障害	24	11.3%
平衡機能障害	3	1.4%
音声・言語・そしゃく機能障害	6	2.8%
肢体不自由	103	48.4%
内部機能障害	74	34.7%
無回答	4	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

副問 7-2 身体障害者手帳をお持ちの方(問7で1~6と答えた方)におききます。
身体障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。

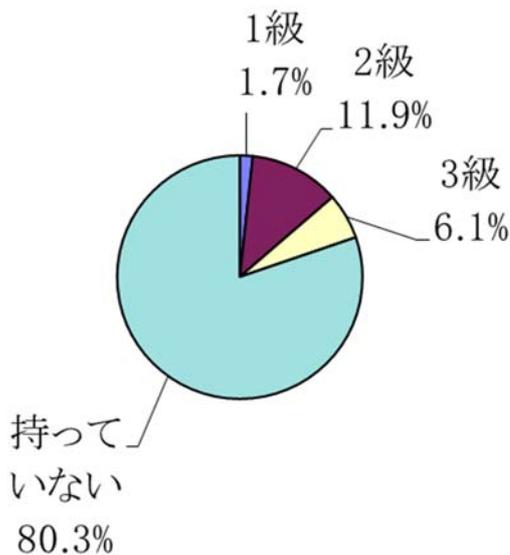
【回答数 215人】



選択項目	人数	構成比
生まれてから幼児期までの時期(小学校入学前まで)	19	8.8%
小学校入学後から39歳までの時期	42	19.5%
40歳以上から64歳までの時期	77	35.8%
65歳以上になってから	77	35.8%
無回答	2	-
合計	217	100.0%

問 8 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。その等級は、どれですか。

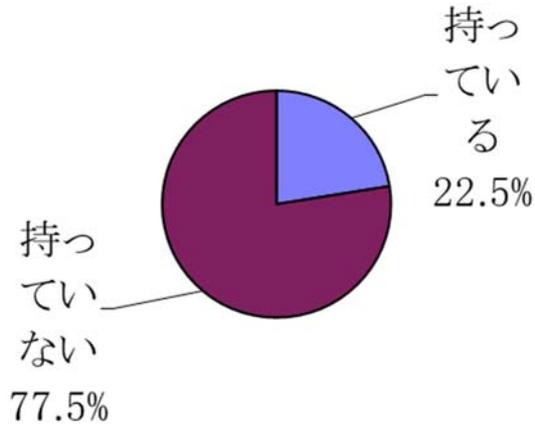
【回答数 294人】



選択項目	人数	構成比
1級	5	1.7%
2級	35	11.9%
3級	18	6.1%
持っていない	236	80.3%
無回答	54	-
合計	348	100.0%

問 9 あなたは自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証を持っていますか。

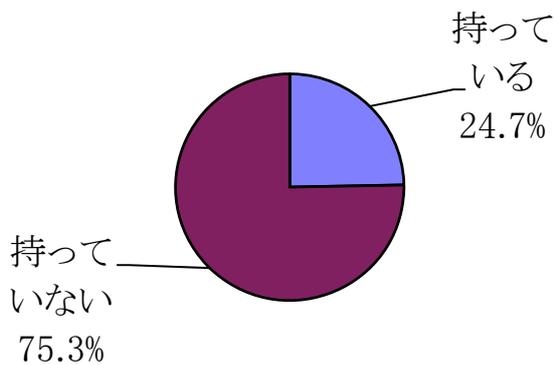
【回答数 316 人】



選択項目	人数	構成比
持っている	71	22.5%
持っていない	245	77.5%
無回答	32	-
合計	348	100.0%

問 10 あなたは特定医療費(指定難病)受給者証、マル都医療券を持っていますか。

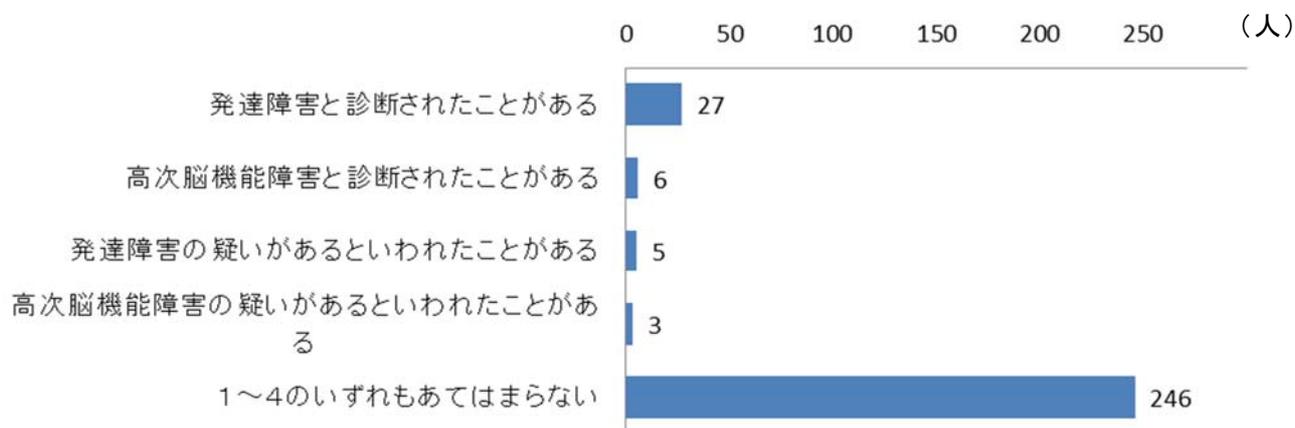
【回答数 324 人】



選択項目	人数	構成比
持っている	80	24.7%
持っていない	244	75.3%
無回答	24	-
合計	348	100.0%

問 11 あなたは次のような診断等をされたことがありますか。(複数回答可)

【回答数 284 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
発達障害と診断されたことがある	27	9.5%	4	18	6	3
高次脳機能障害と診断されたことがある	6	2.1%	5	0	1	0
発達障害の疑いがあるといわれたことがある	5	1.8%	3	3	1	1
高次脳機能障害の疑いがあるといわれたことがある	3	1.1%	2	0	2	1
1～4のいずれもあてはまらない	246	86.6%	168	21	40	60
無回答	64	-	37	9	9	15

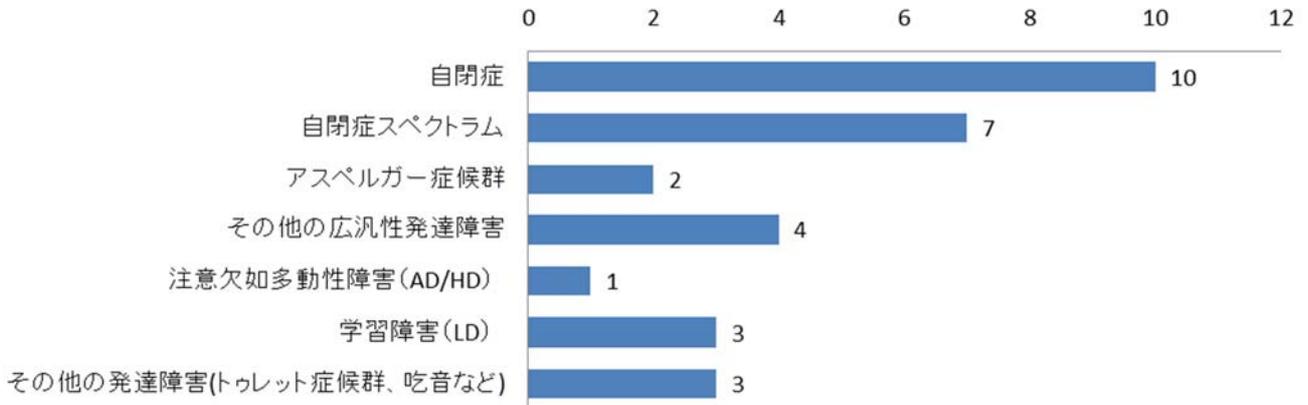
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

**副問 11-1 発達障害と診断された方におききます。
診断されたのは次のどれですか。（複数回答可）**

【回答数 26人】

(人)



選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
自閉症	10	38.5%	1	9	1	1
自閉症スペクトラム	7	26.9%	0	4	3	0
アスペルガー症候群	2	7.7%	1	0	1	0
その他の広汎性発達障害	4	15.4%	0	3	1	0
注意欠如多動性障害(AD/HD)	1	3.8%	0	1	0	0
学習障害(LD)	3	11.5%	0	2	1	1
その他の発達障害(トゥレット症候群、吃音など)	3	11.5%	1	2	0	1
無回答	1	-	1	0	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

副問 11-2 高次脳機能障害と診断されたことがある方におききます。

差し支えなければ、診断された「障害の種類(記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害など)」をご記入ください。

【自由記入の主な回答】

- 記憶障害(特に覚えられない)、注意障害(集中力が弱くぼーっとする事が多い)、気力がない、話していると時々別の事を話したりする。従って夫が成人後見人になっている。
(女性・60代・身体)
- 場所を聞かれた時、一瞬答えられない。30分位に気が付く。バスの中で財布を広げそのまま降りて気が付く。何回もある病院へ行くとそれがあんたの病気だと言われます。10段階の5です。その他、時計、カギ、バスカード。一人では、遠くに行けない。
(女性・80代・身体)
- 注意障害。
(男性・80代・身体)
- 心停止による言語障害
(女性・60代・精神)

【参考】 重複障害について

1) 身体障害と知的障害の重複障害者数

		愛の手帳				
		1 度	2 度	3 度	4 度	計
身体障害者手帳	1 級	5	1	0	0	6
	2 級	1	0	0	0	1
	3 級	0	2	1	1	4
	4 級	1	0	0	1	2
	5 級	0	0	0	0	0
	6 級	0	0	0	0	0
	計	7	3	1	2	13

2) 身体障害と精神障害の重複障害者数

		精神障害者保健福祉手帳			
		1 級	2 級	3 級	計
身体障害者手帳	1 級	3	0	0	3
	2 級	0	2	0	2
	3 級	0	0	2	2
	4 級	0	0	0	0
	5 級	0	0	0	0
	6 級	0	0	0	0
	計	3	2	2	7

3) 知的障害と精神障害の重複障害者数

		精神障害者保健福祉手帳			
		1 級	2 級	3 級	計
愛の手帳	1 度	1	0	0	1
	2 度	0	0	0	0
	3 度	0	0	0	0
	4 度	0	0	1	1
	合計	1	0	1	2

4) 難病と身体障害の重複障害者数

	身体障害者手帳						
	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
特定医療費(指定難病)受給者証 マル都医療券	22	7	12	7	1	0	49

5) 難病と知的障害の重複障害者数

	愛の手帳				
	1 度	2 度	3 度	4 度	計
特定医療費(指定難病)受給者証 マル都医療券	2	3	0	1	6

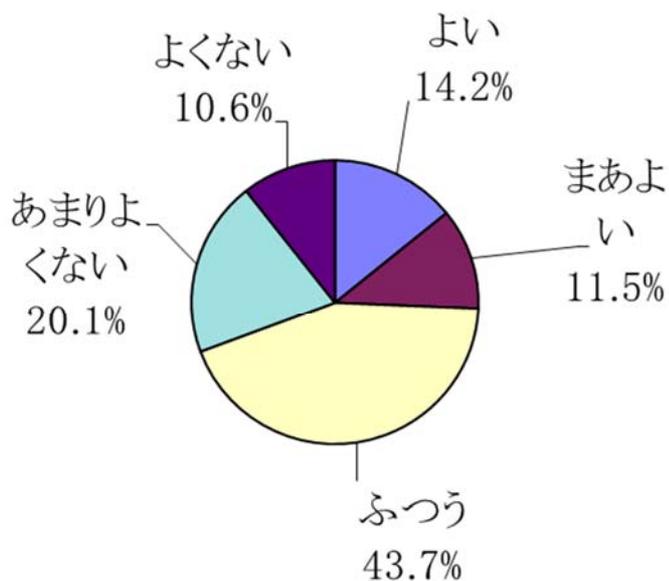
6) 難病と精神障害の重複障害者数

	精神障害者保健福祉手帳			
	1 級	2 級	3 級	計
特定医療費(指定難病)受給者証 マル都医療券	0	2	1	3

Ⅲ 健康状態や医療について

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

【回答数 339 人】



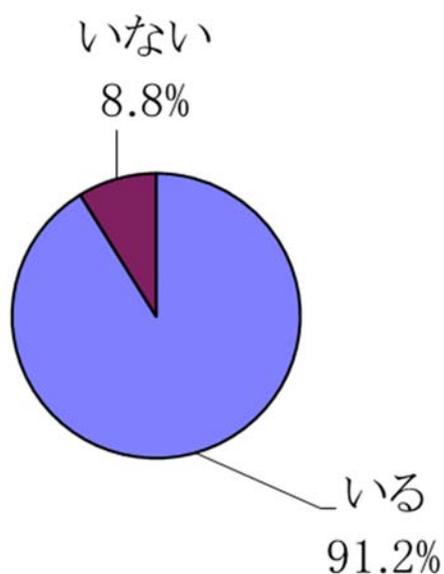
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
よい	48	14.2%	22	20	6	7
まあよい	39	11.5%	29	4	5	7
ふつう	148	43.7%	98	21	23	39
あまりよくない	68	20.1%	38	2	17	17
よくない	36	10.6%	24	1	6	8
無回答	9	-	6	2	1	2
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 13-1 健康相談や治療をしてくれる身近な医師(かかりつけ医)はいますか。

【回答数 340 人】



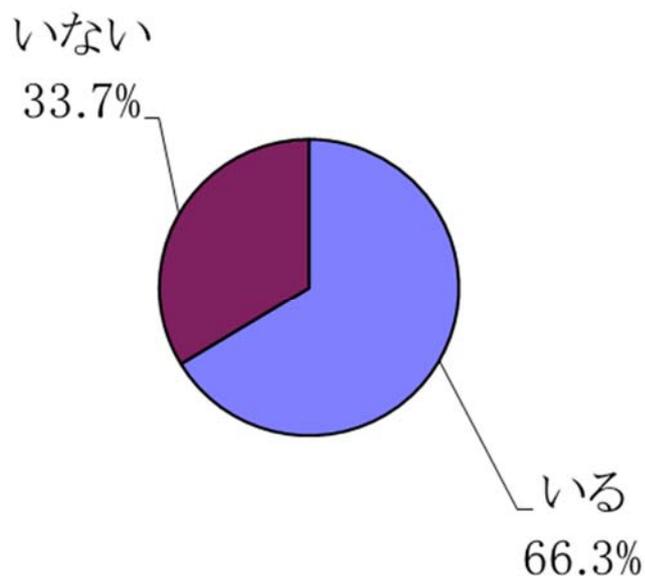
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	310	91.2%	192	45	54	75
いない	30	8.8%	21	3	2	4
無回答	8	-	4	2	2	1
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 13-2 健康相談や治療をしてくれる身近な歯科医(かかりつけ歯科医)はいますか。

【回答数 306 人】



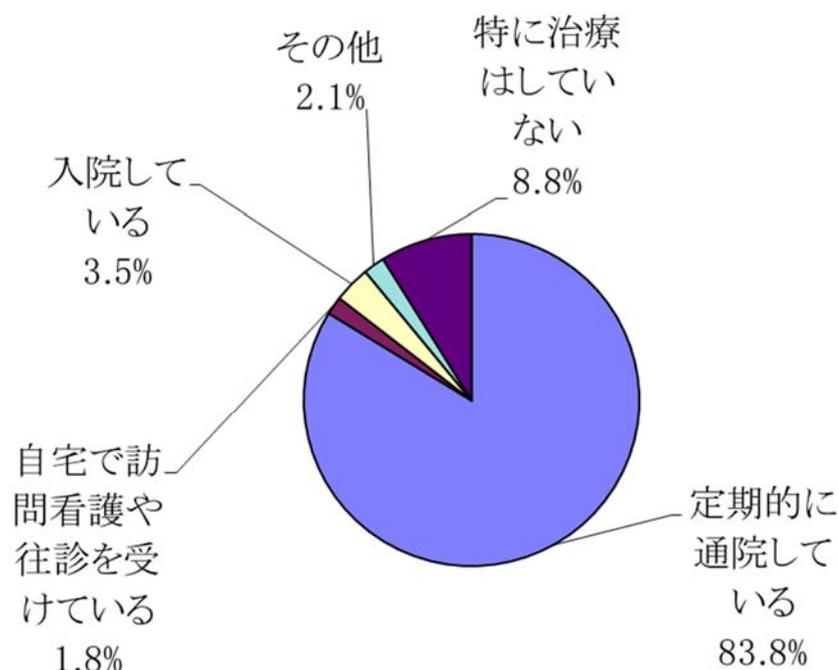
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	203	66.3%	126	34	31	44
いない	103	33.7%	66	10	18	28
無回答	42	-	25	6	9	8
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 14 現在、医師の治療を受けていますか。

【回答数 339 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
定期的に通院している	284	83.8%	177	39	52	68
自宅で訪問看護や往診を受けている	6	1.8%	3	1	0	3
入院している	12	3.5%	6	2	2	4
その他	7	2.1%	3	2	1	0
特に治療はしていない	30	8.8%	22	5	2	3
無回答	9	-	6	1	1	2
合計	348	100.0%	217	50	58	80

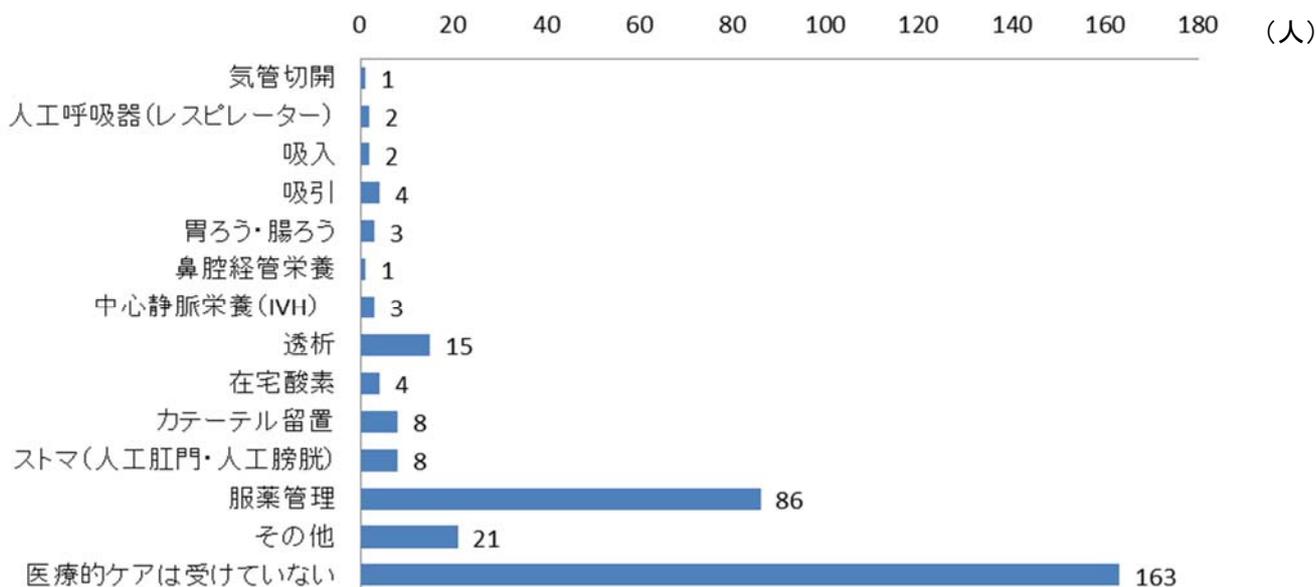
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 施設に併設された診療所で受診。 (男性・80代・身体)
- 通院と自宅で訪問看護や往診、両方受けている。 (女性・40代・精神)
- 精神的まいった時、不定期。 (女性・50代・知的)
- 眼科に二か月に一回。 (女性・50代・知的)
- 歯肉がはれた時。 (女性・60代・身体)
- ほとんど毎日通院治療。 (男性・80代・身体)

問 15 あなたは、現在、次のような医療的ケアを受けていますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 296 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
気管切開	1	0.3%	1	0	0	1
人工呼吸器(レスピレーター)	2	0.7%	2	0	0	2
吸入	2	0.7%	2	0	0	1
吸引	4	1.4%	2	0	0	4
胃ろう・腸ろう	3	1.0%	2	0	0	3
鼻腔経管栄養	1	0.3%	0	0	0	1
中心静脈栄養 (IVH)	3	1.0%	2	1	0	2
透析	15	5.1%	15	1	0	12
在宅酸素	4	1.4%	3	0	0	3
カテーテル留置	8	2.7%	8	0	0	2
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	8	2.7%	7	0	0	1
服薬管理	86	29.1%	50	11	16	24
その他	21	7.1%	16	1	5	3
医療的ケアは受けていない	163	55.1%	99	30	28	29
無回答	52	-	28	7	10	9

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

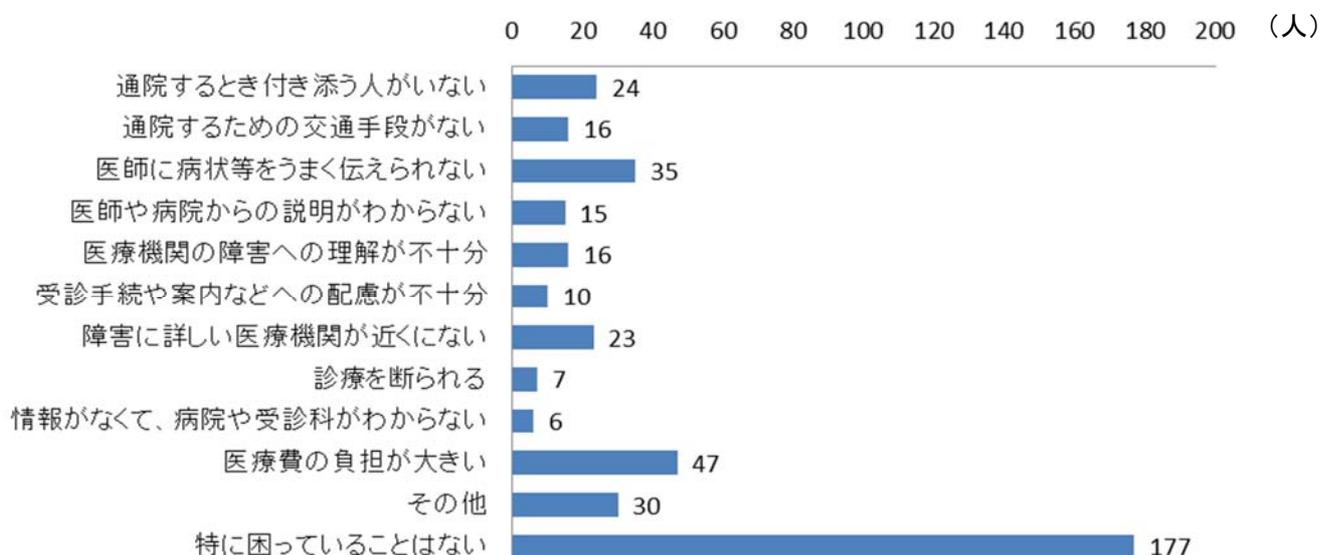
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 各種薬（認知症を含む）。 (女性・90代・身体)
- 訪問看護によるクスリセット。 (女性・60代・精神)
- 左手指のホットパック、左肩電気療法。 (男性・70代・身体・難病)
- 洗腸。 (女性・20代・身体・知的)
- 在宅酸素吸入。 (女性・90代・身体)
- 降圧剤。 (男性・70代・身体)
- 高血圧。 (女性・50代・精神) (女性・80代・身体)
- 高血圧糖尿病。 (女性・70代・身体)
- 点滴・輸血。 (男性・40代・身体)
- リハビリ。 (女性・30代・身体・難病)
- 訪問リハビリ。 (男性・70代・身体)
- 植込式除細器。 (男性・70代・身体)
- ペースメーカー。 (女性・70代・身体)
- ペースメーカーの四ヶ月ごとの検針。 (男性・70代・身体)
- インシュリン注射。 (女性・80代・身体)
- 精神科。 (女性・30代・精神)
- 頸椎。 (男性・70代・身体)

問 16 あなたは医療について、困っていることがありますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 313 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通院するとき付き添う人がいない	24	7.7%	16	7	3	3
通院するための交通手段がない	16	5.1%	11	4	2	3
医師に病状等をうまく伝えられない	35	11.2%	17	6	8	8
医師や病院からの説明がわからない	15	4.8%	7	3	4	1
医療機関の障害への理解が不十分	16	5.1%	9	3	3	1
受診手続や案内などへの配慮が不十分	10	3.2%	6	1	2	1
障害に詳しい医療機関が近くにない	23	7.3%	11	8	4	4
診療を断られる	7	2.2%	6	2	0	2
情報がなくて、病院や受診科がわからない	6	1.9%	3	3	0	1
医療費の負担が大きい	47	15.0%	24	4	9	13
その他	30	9.6%	14	5	7	9
特に関っていることはない	177	56.5%	119	24	24	42
無回答	35	-	21	5	5	6

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

【通院について】

- 将来通院が困難になる可能性大。 (女性・70代・身体・難病)
- 通院が少し困る。 (男性・80代・身体)
- 通院に金がかかる。 (男性・80代・難病)
- 通院するための交通手段はあるが、交通費が高い。 (男性・0代・身体・知的)
- タクシー代に困る。 (男性・50代・精神)
- タクシー代の負担が大きい。特に一人で通院する時。 (女性・80代・身体)
- 付き添いがなければ、通院できない。通院にタクシーが必要。 (女性・90代・身体)
- バス会社の交通手段が変わって、どれに乗ったら良いか分からなくなる事がある。 (女性・40代・精神)
- 普段は、子供が付き添うが、仕事などで付き添えない時が困る。 (女性・90代・身体)
- 6月に一度の都内への検診が大変。 (女性・70代・身体・難病)
- 遠方にあるので・・・天気が悪い時は疲れる。 (女性・60代・身体・難病)
- ヘルパーと行けているので、大丈夫。 (男性・40代・知的)
- 嫁さんの車で。 (女性・80代)

【医療機関について】

- 専門の病院はあっても信頼のおける所は遠い。 (女性・50代・精神)
- 名前を呼ばれても聞こえない。 (男性・60代・身体)
- 医師の声が良く聞き取れない。 (女性・70代・身体)
- 病状が伝わらずに陥る事が有る。 (男性・30代・知的)
- 医師の言葉で、摂食障害になった。 (男性・50代・身体・難病)
- 車椅子のまま通院・受診できる病院が分からない。検診も含めて。 (女性・60代・身体)
- 錠剤が飲めないので、薬をもらう時にすごく待たされる。(粉を水に溶かして飲む。)出す薬が無いと薬局に言われた事がある。 (男性・20代・知的)

【治療について】

- 現在、血管外科の診療を受ける。 (男性・70代・精神)
- いつか失明するのに今すべきことが分からない。 (女性・50代・身体・難病)
- 明確な治療法がない。 (男性・40代・身体・難病)
- 治療方針が定まらない。 (女性・20代・難病)
- 原因不明の病気に困っている。 (女性・60代・精神)

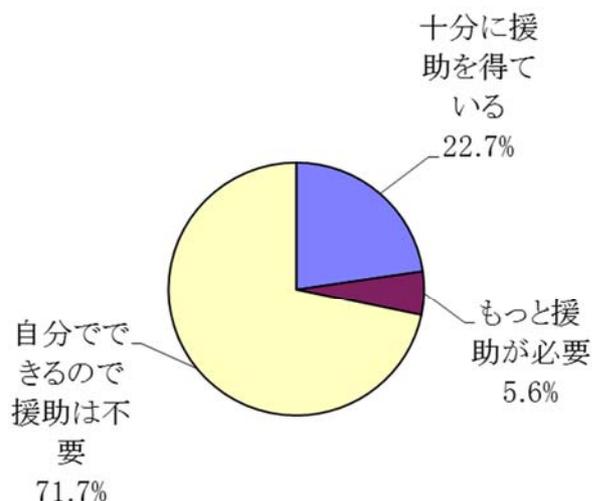
【その他】

- 眼鏡を作る時色々大変。 (女性・70代)
- 指定難病の更新手続きが大変。 (男性・30代・難病)
- カウンセリング費、実費化←かかりつけの病院の。 (女性・30代・精神)

IV 介助・援助の状況について

問 17-1 介助・援助の状況(食事)

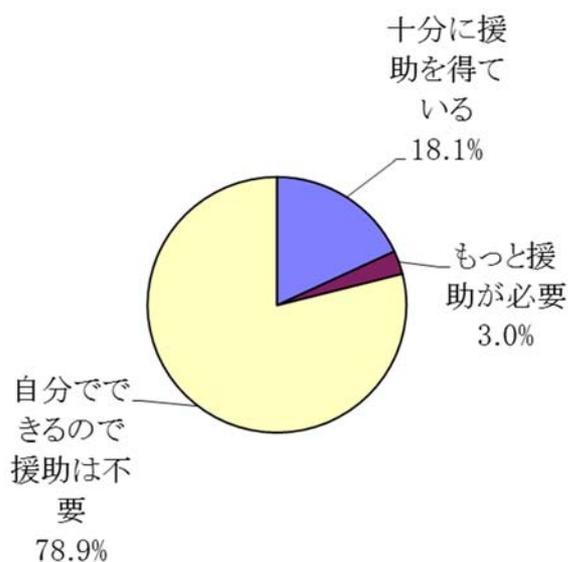
【回答数 304 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	69	22.7%
もっと援助が必要	17	5.6%
自分のできるので援助は不要	218	71.7%
無回答	44	-
合計	348	100.0%

問 17-2 介助・援助の状況(トイレ)

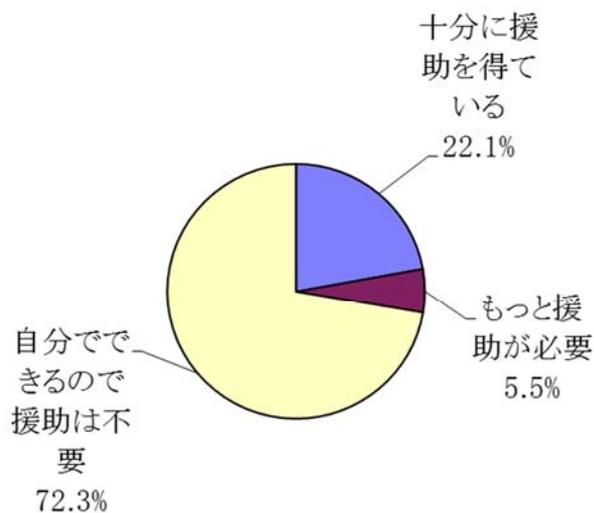
【回答数 304 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	55	18.1%
もっと援助が必要	9	3.0%
自分のできるので援助は不要	240	78.9%
無回答	44	-
合計	348	100.0%

問 17-3 介助・援助の状況(入浴)

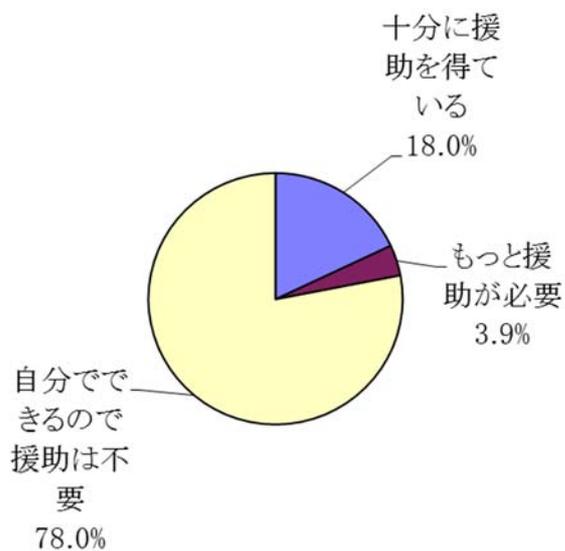
【回答数 307 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	68	22.1%
もっと援助が必要	17	5.5%
自分でできるので援助は不要	222	72.3%
無回答	41	-
合計	348	100.0%

問 17-4 介助・援助の状況(衣服の着脱)

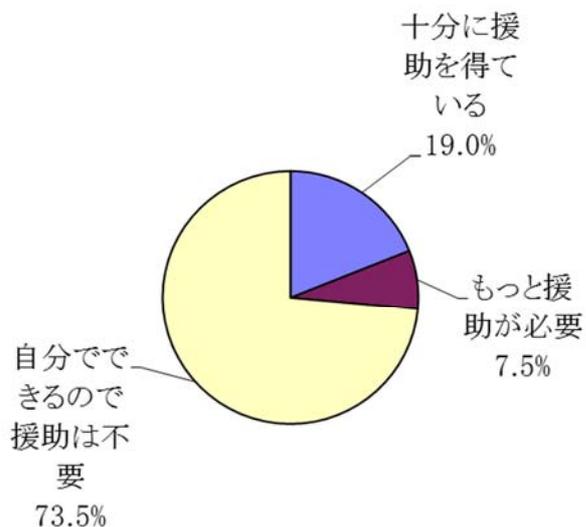
【回答数 305 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	55	18.0%
もっと援助が必要	12	3.9%
自分でできるので援助は不要	238	78.0%
無回答	43	-
合計	348	100.0%

問 17-5 介助・援助の状況(身だしなみを整える)

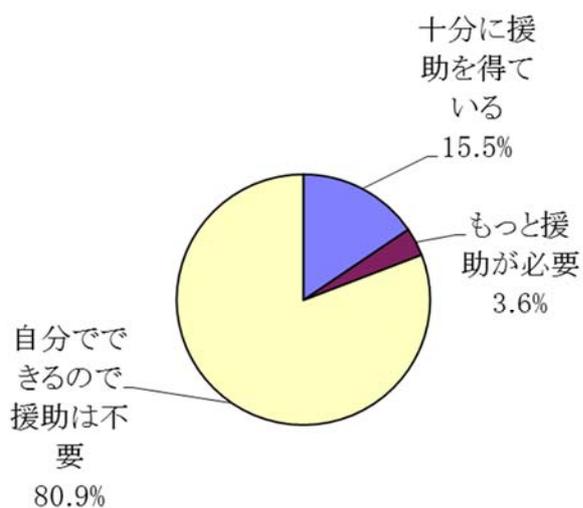
【回答数 306 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	58	19.0%
もっと援助が必要	23	7.5%
自分でできるので援助は不要	225	73.5%
無回答	42	-
合計	348	100.0%

問 17-6 介助・援助の状況(家の中の移動)

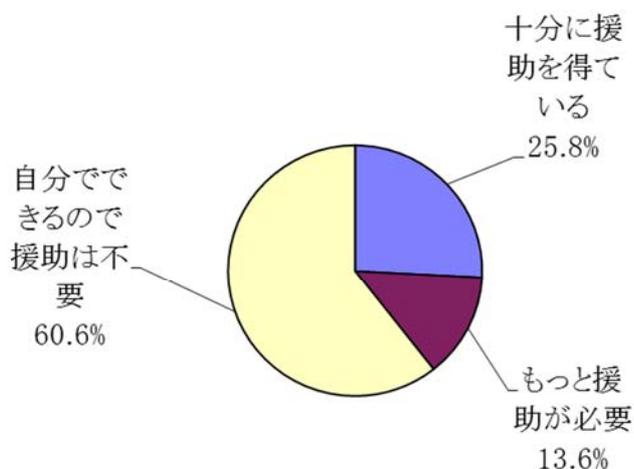
【回答数 303 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	47	15.5%
もっと援助が必要	11	3.6%
自分でできるので援助は不要	245	80.9%
無回答	45	-
合計	348	100.0%

問 17-7 介助・援助の状況(外出)

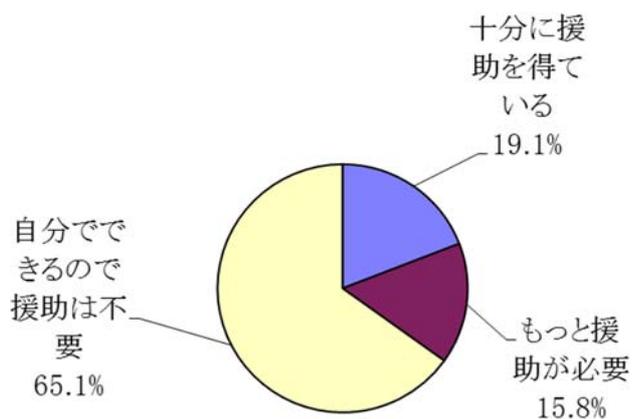
【回答数 302 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	78	25.8%
もっと援助が必要	41	13.6%
自分のできるので援助は不要	183	60.6%
無回答	46	-
合計	348	100.0%

問 17-8 介助・援助の状況(人とのコミュニケーション)

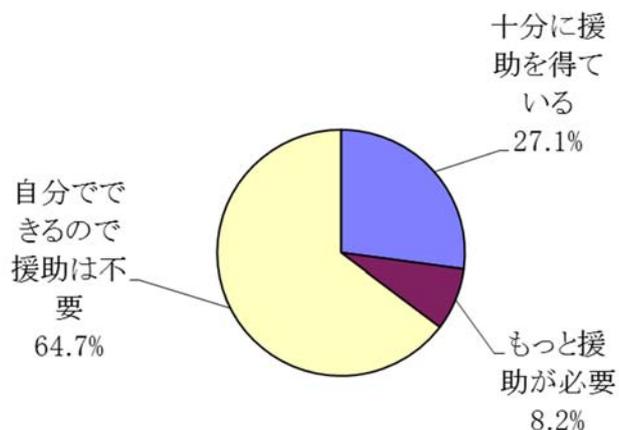
【回答数 298 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	57	19.1%
もっと援助が必要	47	15.8%
自分のできるので援助は不要	194	65.1%
無回答	50	-
合計	348	100.0%

問 17-9 介助・援助の状況(お金の管理)

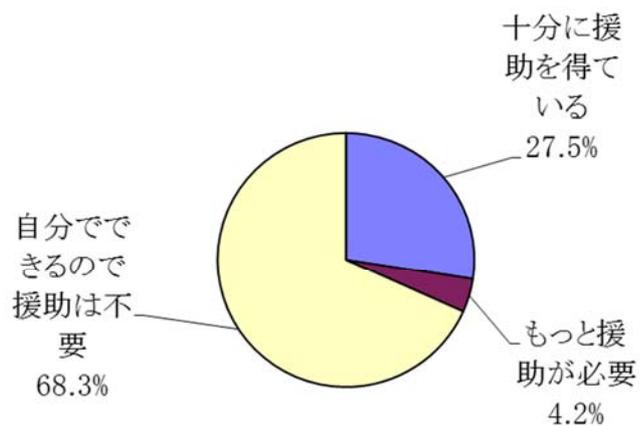
【回答数 306 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	83	27.1%
もっと援助が必要	25	8.2%
自分でできるので援助は不要	198	64.7%
無回答	42	-
合計	348	100.0%

問 17-10 介助・援助の状況(服薬の管理)

【回答数 306 人】



選択項目	人数	構成比
十分に援助を得ている	84	27.5%
もっと援助が必要	13	4.2%
自分でできるので援助は不要	209	68.3%
無回答	42	-
合計	348	100.0%

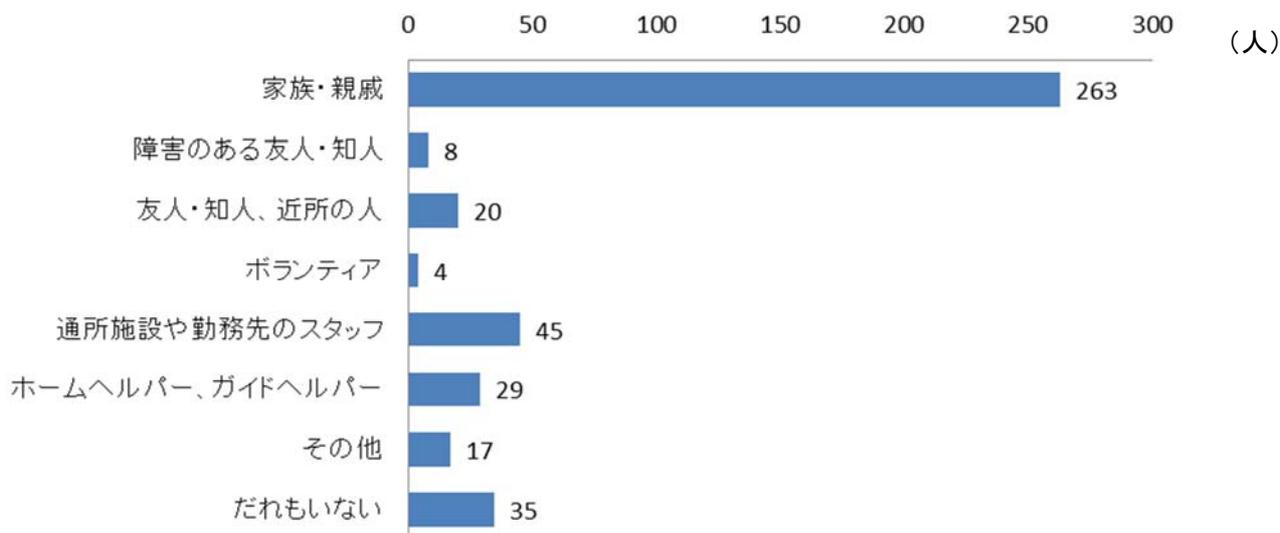
問 17-11 その他、援助が不足していることについて

【自由記入の主な回答】

- 家事の援助。 (女性・50代・身体・難病)
- 家事。 (女性・60代・身体)
- 家事（掃除、片付け、料理など）。 (女性・40代・精神)
- 買物。 (女性・60代・身体)
- 食事の支度・洗濯→子供が病気などの時。 (女性・90代・身体)
- 部屋の片づけ。 (女性・50代・精神)
- 聴覚障害があり、外出する時は、筆談をお願いする。 (女性・40代・身体・難病)
- 外出のヘルパーさんがいない為、外出できない！！ (女性・40代・知的・難病)
- バスの便が悪い。 (女性・80代)
- 何か急用の時行ける所がない。(ショートステイ利用が難しい) (女性・20代・身体・知的)
- 日中預かってくれる場所が少なすぎる。 (男性・10代・身体・知的)
- 就職について。 (女性・30代・精神)
- 親の死後の生活について一緒に考えてくれること。 (男性・10代・知的)
- 日常は実家で生活していますが、将来は不安である。 (女性・40代・精神)
- 身体具合に合わせた援助を望む。 (男性・80代・身体)
- 最小限度自分の事は、自分でと思って現在は過ごしています。 (女性・80代・身体)
- 通院など兄弟の仕事の関係で、少し困っている。 (男性・60代・身体)
- 災害など緊急事態、呼び出しなど情報保障が十分でない。 (男性・40代・身体)

問 18 日常生活で、介助やちょっとした手助けが必要なときに、手助けしてくれる人がいますか。また、それはだれですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 334 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族・親戚	263	78.7%	171	38	35	60
障害のある友人・知人	8	2.4%	4	1	2	2
友人・知人、近所の人	20	6.0%	12	0	5	5
ボランティア	4	1.2%	1	2	0	1
通所施設や勤務先のスタッフ	45	13.5%	19	18	6	8
ホームヘルパー、ガイドヘルパー	29	8.7%	14	10	4	6
その他	17	5.1%	10	5	3	4
だれもない	35	10.5%	21	5	12	9
無回答	14	-	7	2	3	3

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

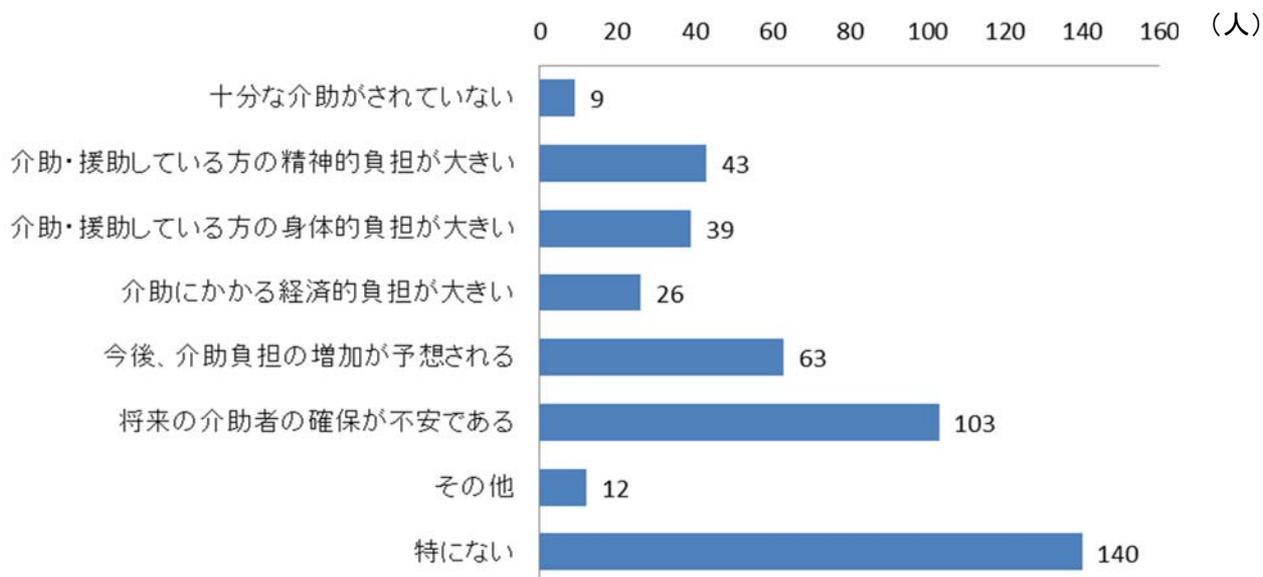
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 保育園の職員、幼稚園 (通所) (女性・0代・知的・身体)
- 病院 (男性・70代・身体・難病)
- 看護師 (女性・80代・身体・難病) (女性・50代・精神) (男性・40代・精神)
- 入所施設スタッフ (女性・80代・身体)
- グループホームのスタッフ (男性・40代・知的・身体)
- ケアマネさん、介護タクシー (女性・40代・知的・難病)
- 有料老人ホーム (男性・70代・身体)
- 介護の方 (女性・30代・精神)
- 相談支援員 (男性・40代・知的)

問 19 あなたの介助にかかわる主な問題点は何ですか。○は3つまで。（複数回答可）

【回答数 306 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
十分な介助がされていない	9	2.9%	5	3	1	3
介助・援助している方の精神的負担が大きい	43	14.1%	28	5	5	7
介助・援助している方の身体的負担が大きい	39	12.7%	26	11	2	6
介助にかかる経済的負担が大きい	26	8.5%	14	7	3	6
今後、介助負担の増加が予想される	63	20.6%	47	8	6	12
将来の介助者の確保が不安である	103	33.7%	56	24	22	28
その他	12	3.9%	5	3	2	2
特になし	140	45.8%	92	10	25	32
無回答	42	-	27	5	6	10

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

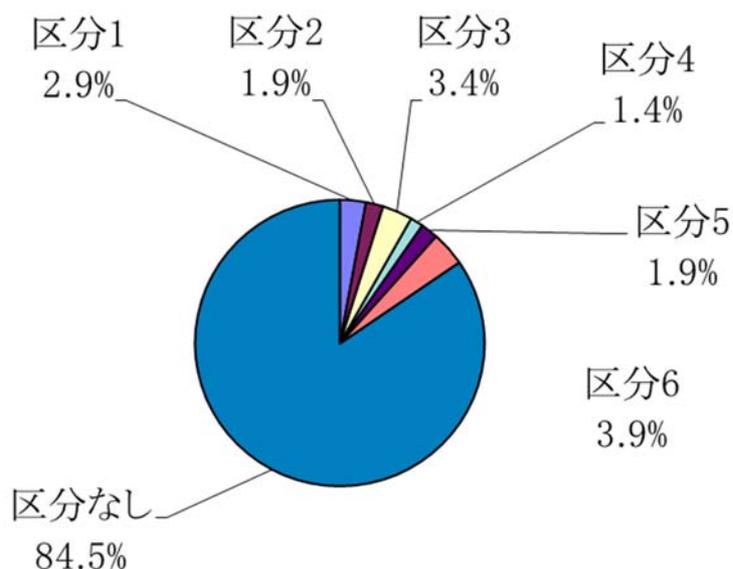
【その他回答の主な内容】

- 耳が不自由な点。 (男性・60代・身体)
- 食事を細かく、ごはんはお粥。 (女性・50代・知的)
- 現在、介助は、受けていないが、最近体調不良で今後は心配。 (女性・80代)
- 子を持ちたいと思っているが障害があるため不安が大きい。 (女性・30代・身体)
- 介護・援助してくれている家族、親戚に感謝と共に申し訳ないと思う。 (男性・50代・身体)
- 来てくれるヘルパーさんに 心から感謝しています。 (男性・80代・身体・知的)
- 介助が必要になった時、親切にしてもらえるか不安・・・ (女性・80代・身体・難病)
- 支援してくれる人がいてほしい。 (女性・20代・知的)
- 自立。 (男性・20代・精神)

V 福祉サービスの利用について

問 20 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。受けている場合、区分はどれですか。

【回答数 207 人】



【障害別回答数】

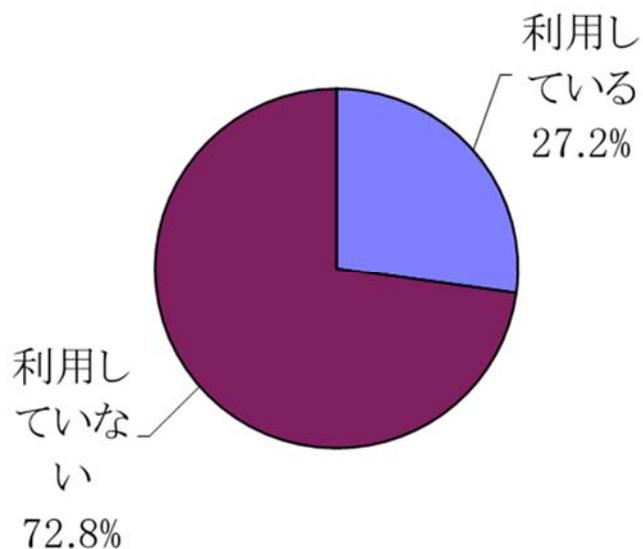
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
区分1	6	2.9%	4	1	1	4
区分2	4	1.9%	1	2	1	0
区分3	7	3.4%	2	4	3	1
区分4	3	1.4%	0	3	0	2
区分5	4	1.9%	1	3	0	1
区分6	8	3.9%	5	6	0	2
区分なし	175	84.5%	109	14	32	48
無回答	141	-	95	17	21	22
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 21 40 歳以上の方におたずねします。

あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

【回答数 261 人】

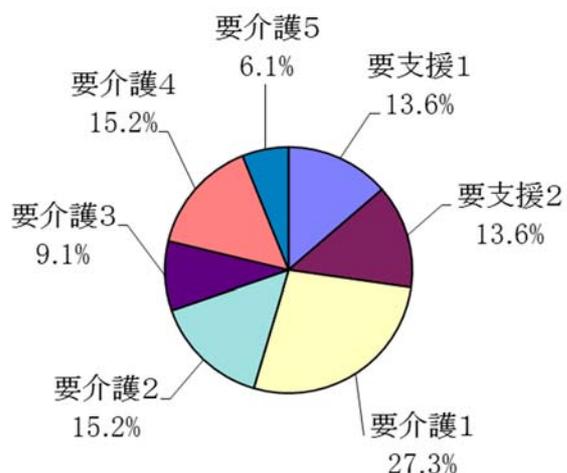


選択項目	人数	構成比
利用している	71	27.2%
利用していない	190	72.8%
無回答	17	-
合計	278	100.0%

副問 21-1 問 21 で「1 利用している」と答えた方にお聞きします。

該当する要介護度はどれですか。

【回答数 66 人】



選択項目	人数	構成比
要支援1	9	13.6%
要支援2	9	13.6%
要介護1	18	27.3%
要介護2	10	15.2%
要介護3	6	9.1%
要介護4	10	15.2%
要介護5	4	6.1%
無回答	5	-
合計	71	100.0%

問 22 あなたは次のサービスを利用していますか。それぞれについて、現在利用しているかどうか、利用していない場合はその理由はどれですか。

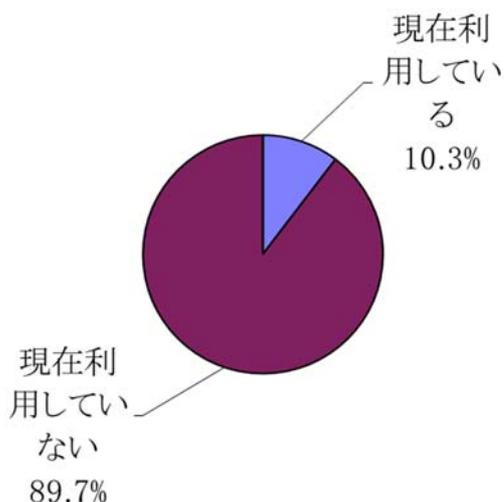
① 【ホームヘルプなどのサービス】

ホームヘルパーなどが、自宅での介助(入浴や家事等)や、外出の際の支援を行うサービスを利用していますか。

※具体的には、居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援といった訪問系サービスが該当します。

※移動支援(ガイドヘルパー)は除きます。

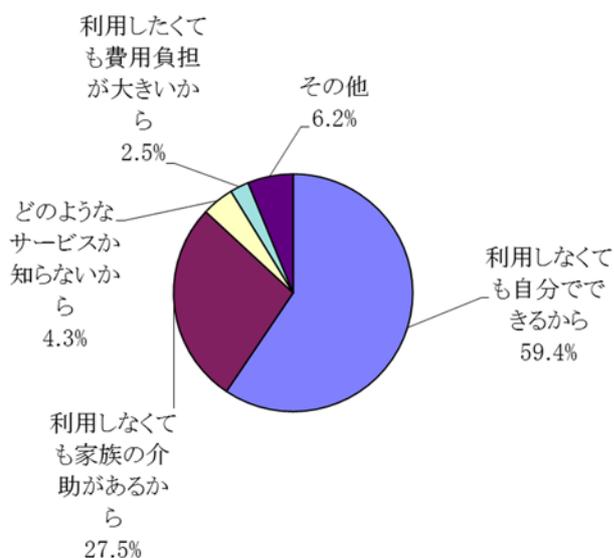
【回答数 329 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	34	10.3%
現在利用していない	295	89.7%
無回答	19	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 276 人】



選択項目	人数	構成比
利用しなくても自分のできるから	164	59.4%
利用しなくても家族の介助があるから	76	27.5%
どのようなサービスか知らないから	12	4.3%
利用したくても費用負担が大きいから	7	2.5%
その他	17	6.2%
無回答	19	-
合計	295	100.0%

【その他回答の主な内容】

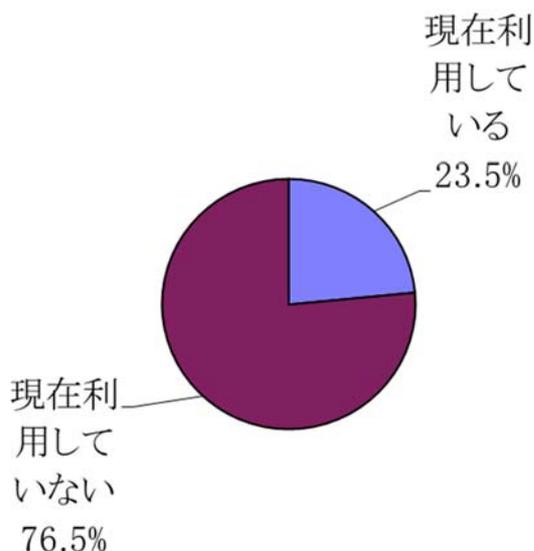
- 利用したくても、事務所が人手不足、出来る方がいない為。 (男性・20代・知的)
- 申請はしているが、ヘルパーが見つからず、実際には実働してない。 (男性・20代・知的)
- 検討中だが、家族と同居の場合は、利用できないことが多いと言われた。 (女性・40代・精神)
- 家族と一緒に住んでいると利用出来ないと聞いている。 (女性・80代・身体)
- 現在は、家族に助けられ自分も頑張っていますが、この先どうなるか心配です。 (女性・80代・身体)
- これまでは、利用してないが、最近体調悪く一人住まいにつき将来が不安。 (女性・80代)
- 入院しているから。 (男性・60代・知的) (男性・40代・身体) (女性・70代・難病)
- 特養に入所しているから。 (女性・80代・身体) (男性・80代・身体)
- 入所。 (男性・30代・知的)
- 訪問看護を利用している。 (女性・40代・精神)
- 友人がしてくれる。 (男性・80代・身体)

②【日中通所するサービス】

昼間、施設に通うサービスを利用していますか。

※生活介護、就労移行支援、就労継続支援(A型、B型)、自立訓練(機能訓練、生活訓練)といった日中活動系サービスが該当します。

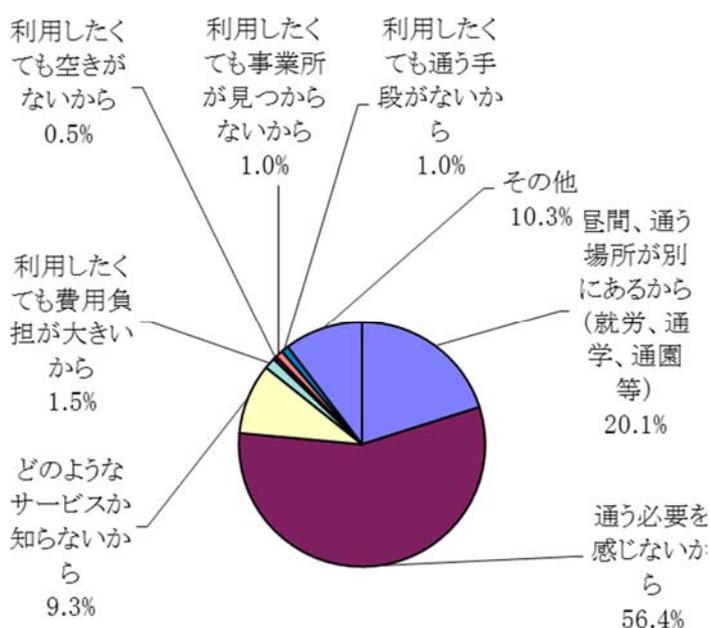
【回答数 328 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	77	23.5%
現在利用していない	251	76.5%
無回答	20	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 204 人】



選択項目	人数	構成比
昼間、通う場所が別にあるから(就労、通学、通園等)	41	20.1%
通う必要を感じないから	115	56.4%
どのようなサービスか知らないから	19	9.3%
利用したくても費用負担が大きいから	3	1.5%
利用したくても空気がないから	1	0.5%
利用したくても事業所が見つからないから	2	1.0%
利用したくても通う手段がないから	2	1.0%
その他	21	10.3%
無回答	47	-
合計	251	100.0%

【その他回答の主な内容】

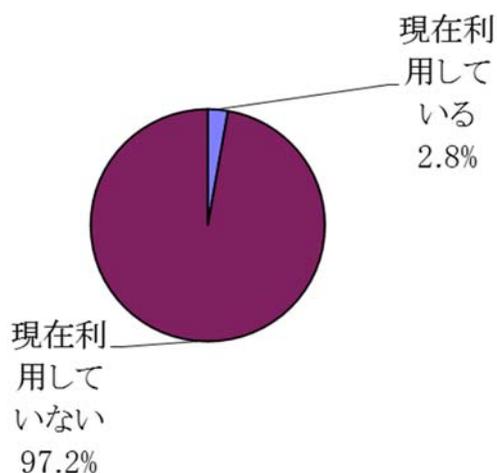
- 難聴の為、コミュニケーションが取れないから。 (女性・90代・身体)
- 前は利用していたが、高熱を放置され救急で運ばれた為(スタッフを信頼してないから)。 (女性・80代・難病)
- 利用させてくれないから。 (男性・50代・精神)
- 家にいても暇な時間は、たくさんあるけどその気になれない。 (男性・20代・精神)
- 利用したいと思います。 (男性・50代・知的)
- 現在利用していないが、今年8月から移行支援事業所で職業訓練の体験を予定。 (男性・30代・精神)
- 二ヶ所見学に行き、現在検討中。 (女性・50代・精神)
- 自営してます。 (女性・70代・身体)
- 寝て過ごすことが多い為。 (女性・90代・身体)
- 訪問リハビリ。 (男性・70代・身体)
- 入院しているから。 (男性・60代・知的) ほか4名
- 特養に入所しているから。 (女性・80代・身体) (男性・80代・身体)

③【生活の場(寝泊りする場)のサービス】

グループホームを利用していますか。

※共同生活援助(グループホーム)が該当します。

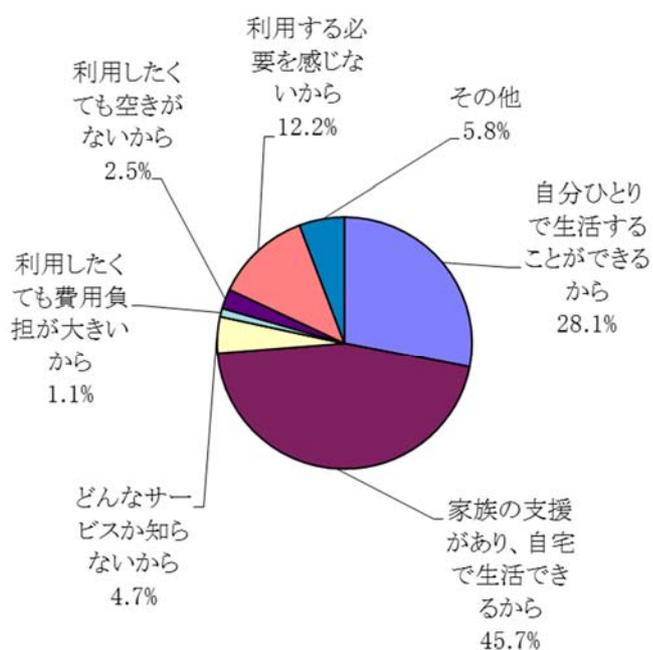
【回答数 326 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	9	2.8%
現在利用していない	317	97.2%
無回答	22	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 278 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで生活することができるから	78	28.1%
家族の支援があり、自宅で生活できるから	127	45.7%
どんなサービスか知らないから	13	4.7%
利用したくても費用負担が大きいから	3	1.1%
利用したくても空きがないから	7	2.5%
利用する必要を感じないから	34	12.2%
その他	16	5.8%
無回答	39	-
合計	317	100.0%

【その他回答の主な内容】

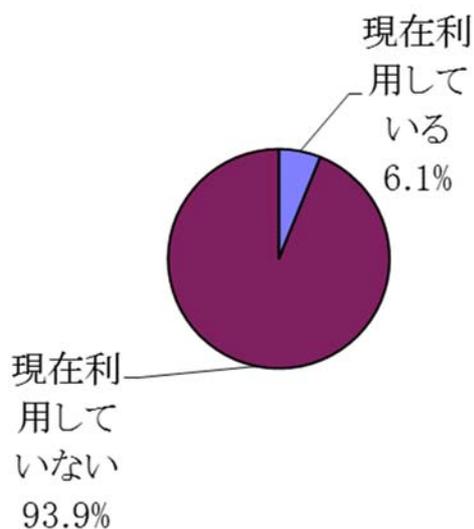
- 重度の為利用できる所はないので。 (女性・20代・身体・知的)
- 人工呼吸器を利用しているため、入所する施設がないから。 (男性・20代・身体・難病)
- 信頼してないから。 (女性・80代・難病)
- 見学(体験で、素泊まり)したが、気に入らなかった。散歩がない、動けない人ばかりだった。
(女性・90代・身体)
- ヘルパーや生活相談の支援で生活できる。 (男性・40代・知的)
- 共同生活を望まないため。 (女性・80代・身体)
- 犬と一緒に生活しているから。 (女性・70代)
- 入院しているから。 (女性・90代・身体) (女性・70代・難病) (男性・60代・知的)
- 特養に入所しているから。 (女性・80代・身体) (男性・80代・身体)
- 入所。 (男性・30代・知的)

④【生活の場(寝泊りする場)のサービス】

短期入所(ショートステイ)を利用していますか。

※障害のある人が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護等を利用するサービスです。

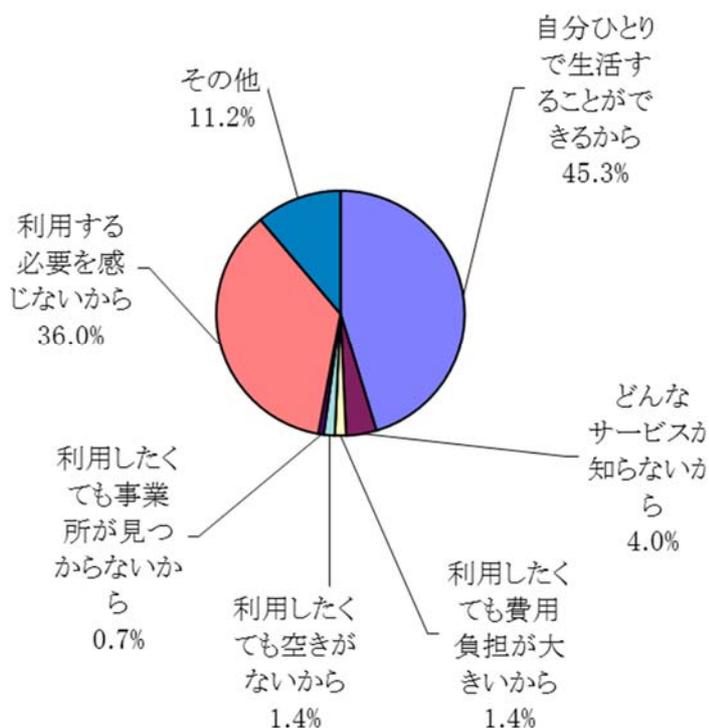
【回答数 327 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	20	6.1%
現在利用していない	307	93.9%
無回答	21	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 278 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで生活することができるから	126	45.3%
どんなサービスかわからないから	11	4.0%
利用したくても費用負担が大きいから	4	1.4%
利用したくても空きがないから	4	1.4%
利用したくても事業所が見つからないから	2	0.7%
利用する必要を感じないから	100	36.0%
その他	31	11.2%
無回答	29	-
合計	307	100.0%

【その他回答の主な内容】

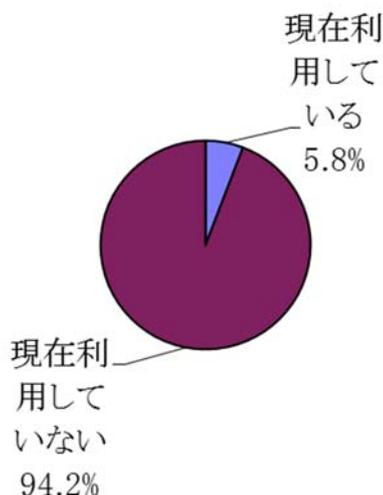
- 現在は、家族と一緒に生活出来るから。 (男性・40代・精神) ほか6名
- 今後利用したい。 (女性・10代・知的) (男性・80代・身体) (女性・80代・身体)
- 信頼してないから。 (女性・80代・難病)
- 不安だから。 (男性・70代・身体)
- 本人が行きたがらない。 (男性・60代・身体)
- 利用したくても体調の具合が悪い。 (男性・80代・身体)
- 現在は、一人で不足なく生活できる。 (女性・80代・身体)
- 友人がしてくれる。 (男性・80代・身体)
- 犬と一緒に生活しているから。 (女性・70代)
- 状況によって、利用したことがある。 (男性・40代・知的)
- 入院しているから。 (男性・60代・知的) ほか3名
- 特養に入所しているから。 (女性・80代・身体) (男性・80代・身体)
- 入所。 (男性・30代・知的)

⑤【地域生活支援事業】

移動支援(ガイドヘルパー)を利用していますか。

※外出及び余暇活動等社会参加の際の円滑な移動を支援するためヘルパーが付き添うサービスです。

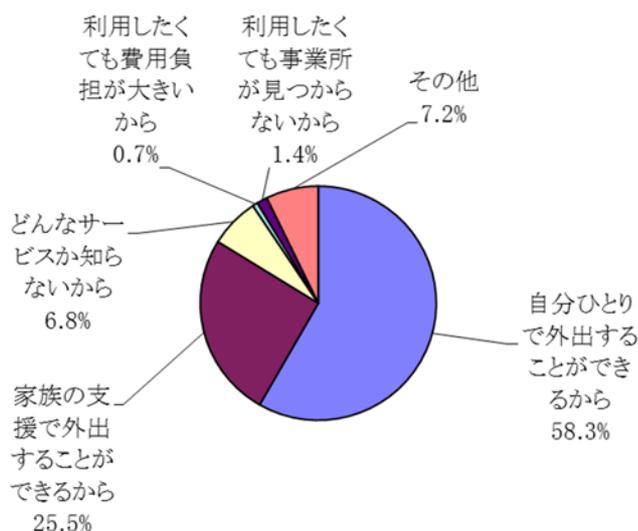
【回答数 327 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	19	5.8%
現在利用していない	308	94.2%
無回答	21	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 278 人】



選択項目	人数	構成比
自分ひとりで外出することができるから	162	58.3%
家族の支援で外出することができるから	71	25.5%
どんなサービスか知らないから	19	6.8%
利用したくても費用負担が大きいから	2	0.7%
利用したくても事業所が見つからないから	4	1.4%
その他	20	7.2%
無回答	30	-
合計	308	100.0%

【その他回答の主な内容】

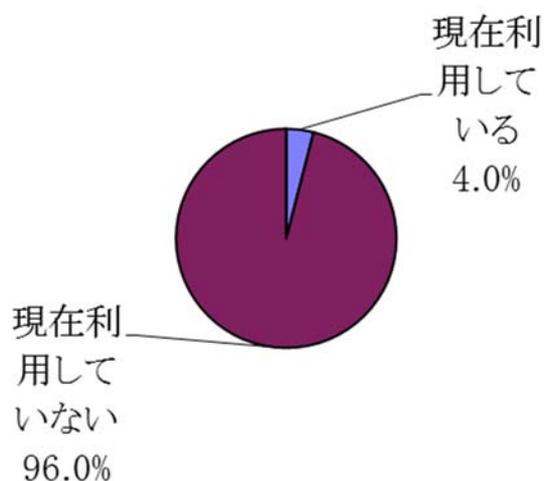
- 訪問看護で、少し含まれているような気がする。(女性・40代・精神)
- 友人がしてくれる。(男性・80代・身体)
- 重度訪問介護を利用している。一人でも近場であれば、車いすで外出できる。(男性・50代・身体)
- 月一度の病院は、タクシーを利用している。(男性・80代・身体・知的)
- 歩行困難なため。(男性・80代・身体)
- 入院しているから。(男性・60代・知的) ほか3名
- 特養に入所しているから。(女性・80代・身体) (男性・80代・身体)
- 入所。(男性・30代・知的)

⑥【地域生活支援事業】

地域活動支援センターでの創作や作業を利用していますか。

※創作的な活動や生産活動の機会の提供、その他日常生活の援助をします。

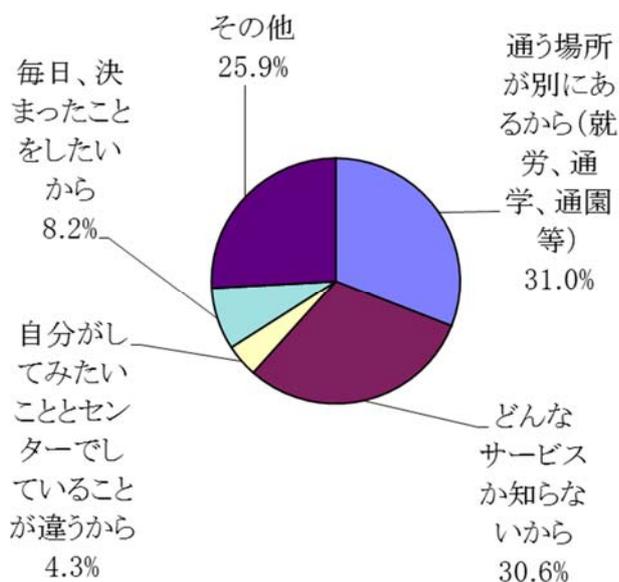
【回答数 325 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	13	4.0%
現在利用していない	312	96.0%
無回答	23	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 255 人】



選択項目	人数	構成比
通う場所が別にあるから(就労、通学、通園等)	79	31.0%
どんなサービスか知らないから	78	30.6%
自分がしてみたいこととセンターでしていることが違うから	11	4.3%
毎日、決まったことをしたいから	21	8.2%
その他	66	25.9%
無回答	57	-
合計	312	100.0%

【その他回答の主な内容】

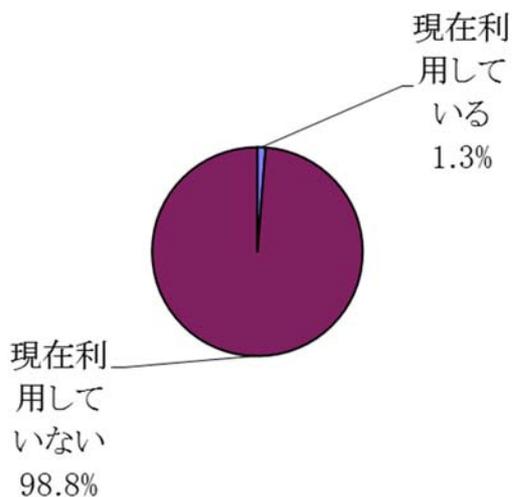
- 探しているが空きがなく、あっても費用の負担が大きいから。 (女性・40代・知的・難病)
- 通う場所が見つからない。 (男性・50代・精神)
- センターがなくなってしまったから。 (女性・40代・精神)
- 他人とコミュニケーションが苦手（声が良く出ないから。難病の為）。 (女性・70代・身体・難病)
- 高齢。 (男性・70代・身体)
- 歩行困難の為。 (女性・70代・身体)
- 全く動けないし 手足も使用出来ない為。 (女性・80代・難病)
- 自分で毎日する事を考えて生活している。 (男性・80代・身体)
- 物を作ることは好きで、支援物資として使ってもらえそうな物作り等を家で作っているの。
(女性・40代・精神)
- 毎日生活する事で、精一杯だから。 (女性・60代・精神)
- 寝て過ごすことが多い為。 (女性・90代・身体)
- 家で犬と一緒にいたいから。 (女性・70代)
- 通院と家の中での事で、余裕がありません。 (女性・80代・身体・難病)
- 家の用事があるから。 (女性・70代・身体)
- 毎日通院しているから。 (女性・70代・身体)
- アルバイトをしている。 (男性・40代・身体・難病)
- 就労継続支援 B 型を利用してそこに通院しているから。 (女性・30代・精神)
- 行く気にならない。 (男性・20代・精神)
- 利用したくないから。 (男性・60代・精神)
- 特に理由なし。 (女性・40代・身体・難病)
- よく分からない。 (男性・60代・身体)
- 特に必要と感じないから。 (男性・80代・難病) ほか11名
- 入院しているから。 (女性・70代・難病) ほか3名
- 特養に入所しているから。 (女性・80代・身体) (男性・80代・身体)
- 入所。 (男性・30代・知的)

⑦【児童福祉法のサービス】

○児童発達支援を利用していますか。

※日常生活における基本的な動作の指導法や発達に関する知識、対応方法を支援するとともに、集団生活への適応を行います。

【回答数 240 人】

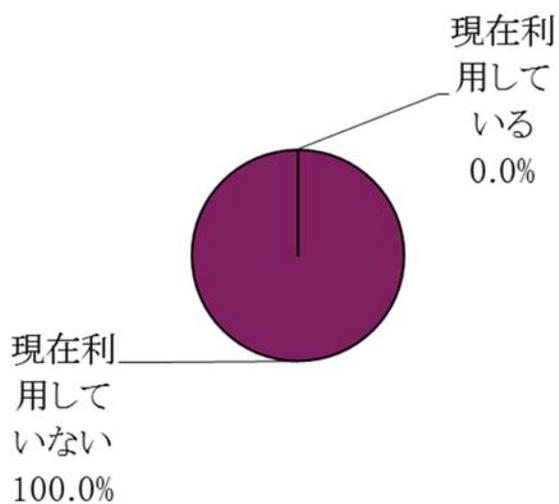


選択項目	人数	構成比
現在利用している	3	1.3%
現在利用していない	237	98.8%
無回答	108	-
合計	348	100.0%

○医療型児童発達支援を利用していますか。

※児童発達支援の内容に加え、医療の提供を行います。

【回答数 241 人】

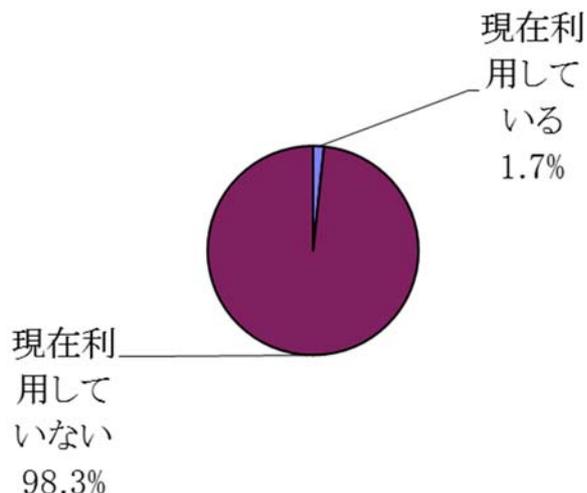


選択項目	人数	構成比
現在利用している	0	0.0%
現在利用していない	241	100.0%
無回答	107	-
合計	348	100.0%

○放課後等デイサービスを利用していますか。

※学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供するなどして、障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行います。

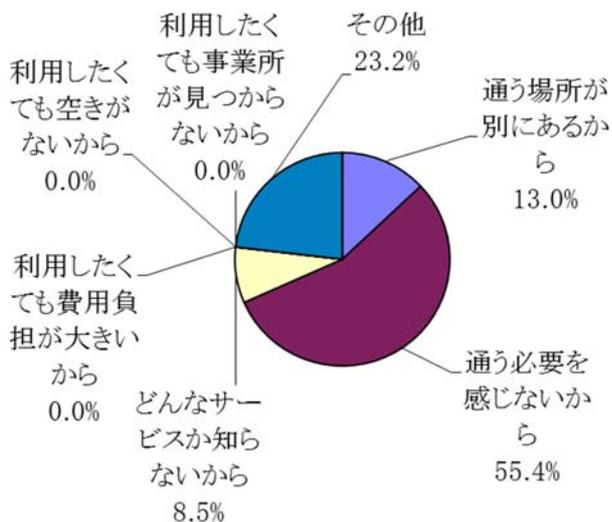
【回答数 240 人】



選択項目	人数	構成比
現在利用している	4	1.7%
現在利用していない	236	98.3%
無回答	108	-
合計	348	100.0%

利用しない理由は、どれですか。

【回答数 177 人】



選択項目	人数	構成比
通う場所が別にあるから	23	13.0%
通う必要を感じないから	98	55.4%
どんなサービスか知らないから	15	8.5%
利用したくても費用負担が大きいから	0	0.0%
利用したくても空きがないから	0	0.0%
利用したくても事業所が見つからないから	0	0.0%
その他	41	23.2%
無回答	171	-
合計	348	100.0%

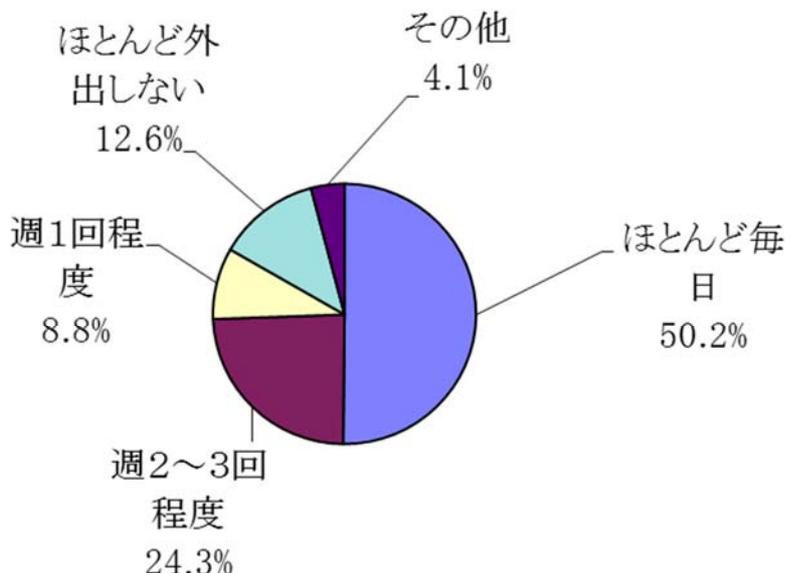
【その他回答の主な内容】

- 今後利用予定。 (女性・0代・身体・知的)
- 通級通っていたが、必要ないと断られた。 (男性・10代・精神)

VI 日中活動や就労について

問 23 あなたの外出回数はどれくらいですか。

【回答数 317 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ほとんど毎日	159	50.2%	90	34	28	34
週2～3回程度	77	24.3%	51	6	13	18
週1回程度	28	8.8%	18	2	6	9
ほとんど外出しない	40	12.6%	31	1	7	11
その他	13	4.1%	9	2	2	2
無回答	31	-	18	5	2	6
合計	348	100.0%	217	50	58	80

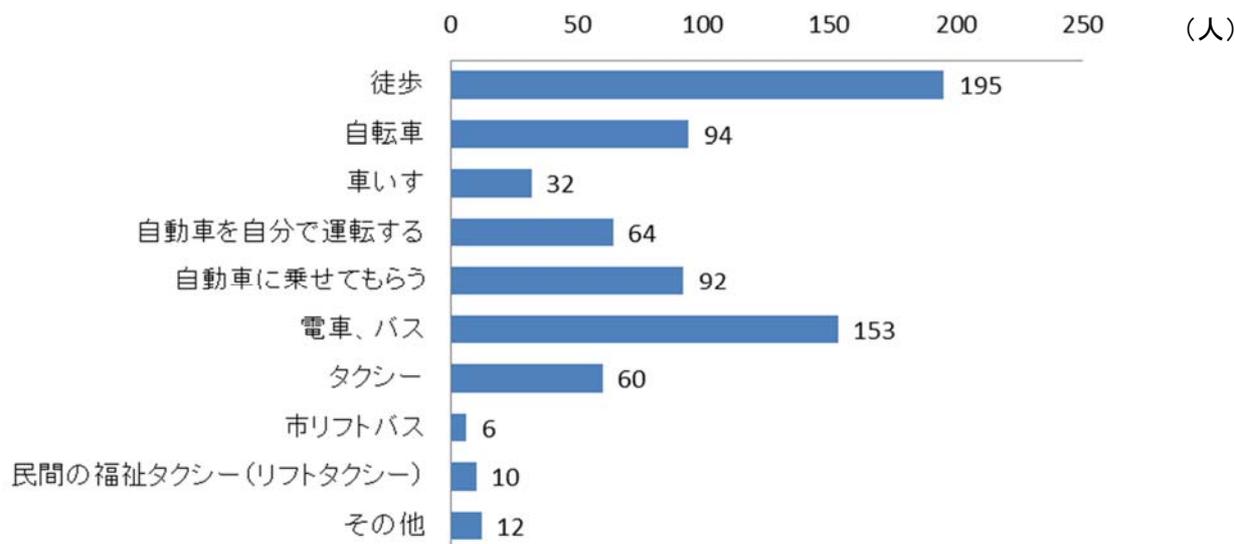
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 週に5回か4回。 (男性・20代・知的)
- 週3～4回程度。 (男性・70代・身体) (男性・40代・身体)
- 月に2～3回。 (女性・80代・身体)
- 月一回 (介護付)。 (女性・50代・身体・難病)
- 二ヶ月に一回くらい。 (女性・70代・身体)
- 用事がある時と買物の時に外出。 (女性・40代・精神)
- 通院の時。 (女性・90代・身体)
- 手足悪い。一人での外出は大変。 (女性・80代・身体)
- 入院中。 (男性・40代・身体)

問 24 あなたの主な外出方法はどれですか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 332 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
徒歩	195	58.7%	106	30	42	39
自転車	94	28.3%	54	16	18	19
車いす	32	9.6%	25	4	1	11
自動車を自分で運転する	64	19.3%	54	1	3	19
自動車に乗せてもらう	92	27.7%	65	22	6	22
電車、バス	153	46.1%	78	28	37	31
タクシー	60	18.1%	47	5	8	14
市リフトバス	6	1.8%	4	1	0	3
民間の福祉タクシー(リフトタクシー)	10	3.0%	8	1	0	4
その他	12	3.6%	7	1	5	4
無回答	16	-	8	1	1	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

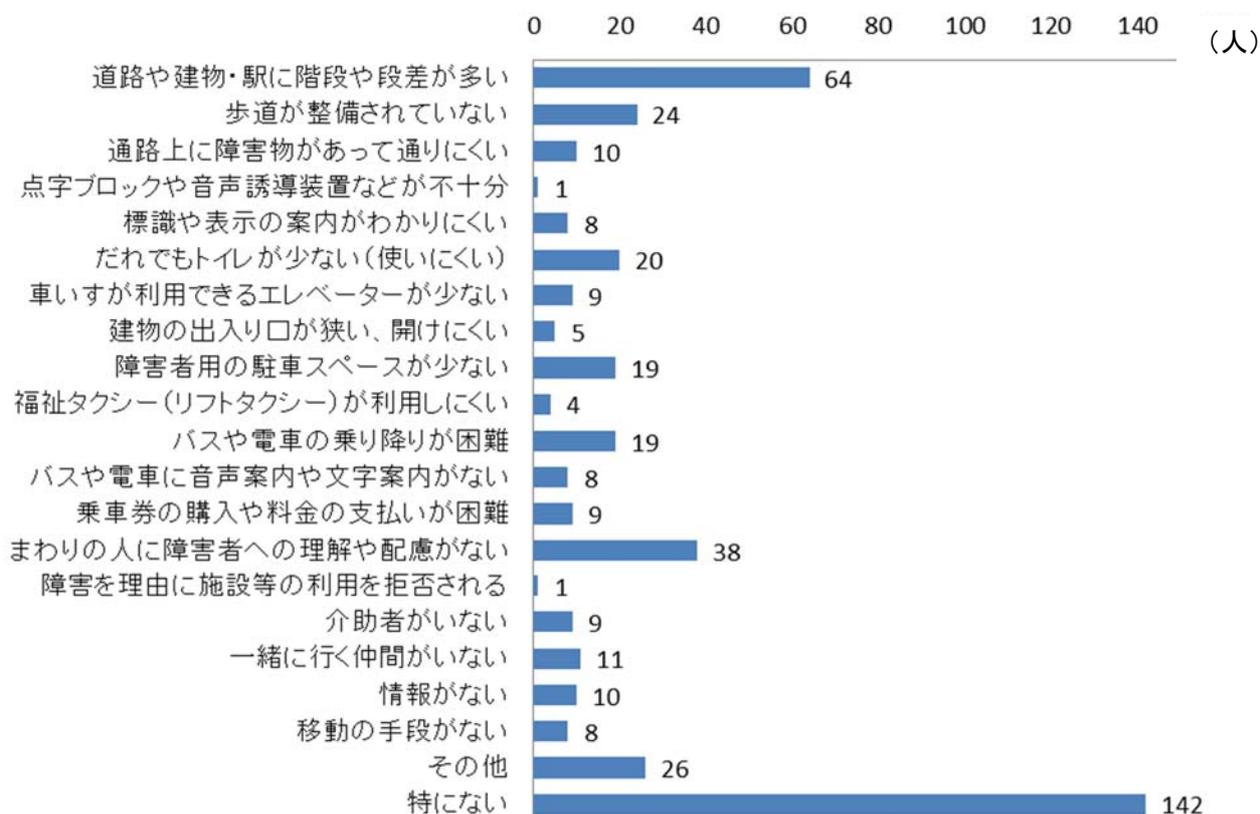
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 病院の送迎車。 (男性・70代・身体・難病) (男性・70代・身体・難病)
- ストレッチャー。 (男性・50代・身体・難病)
- 自転車、ベビーカーに乗車。 (女性・0代・身体・知的)
- 自動車に乗せてもらって自分で運転。 (女性・60代・身体)
- 原付バイク。 (女性・50代・精神) (女性・50代・精神) (男性・30代・精神)
- もう外出できない。 (女性・80代・身体・難病)
- 入院中。 (女性・50代・精神) (男性・40代・身体)

問 25 外出(通勤・通学・社会参加を含む)の際、特に困っていることはどれですか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 294 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
道路や建物・駅に階段や段差が多い	64	21.8%	50	7	10	14
歩道が整備されていない	24	8.2%	20	1	2	4
通路上に障害物があって通りにくい	10	3.4%	9	1	0	1
点字ブロックや音声誘導装置などが不十分	1	0.3%	1	0	0	0
標識や表示の案内がわかりにくい	8	2.7%	6	2	0	0
だれでもトイレが少ない(使いにくい)	20	6.8%	15	1	1	7
車いすが利用できるエレベーターが少ない	9	3.1%	9	2	1	1
建物の出入り口が狭い、開けにくい	5	1.7%	5	1	0	3
障害者用の駐車スペースが少ない	19	6.5%	16	3	0	7
福祉タクシー(リフトタクシー)が利用しにくい	4	1.4%	3	1	0	1
バスや電車の乗り降りが困難	19	6.5%	16	3	2	8
バスや電車で音声案内や文字案内がない	8	2.7%	7	1	0	1

乗車券の購入や料金の支払いが困難	9	3.1%	1	6	2	0
まわりの人に障害者への理解や配慮がない	38	12.9%	23	5	10	8
障害を理由に施設等の利用を拒否される	1	0.3%	1	0	0	1
介助者がいない	9	3.1%	6	3	1	2
一緒に行く仲間がいない	11	3.7%	3	4	3	1
情報がない	10	3.4%	5	3	2	1
移動の手段がない	8	2.7%	2	2	3	2
その他	26	8.8%	13	4	8	7
特になし	142	48.3%	82	17	26	32
無回答	54	-	34	7	4	14

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

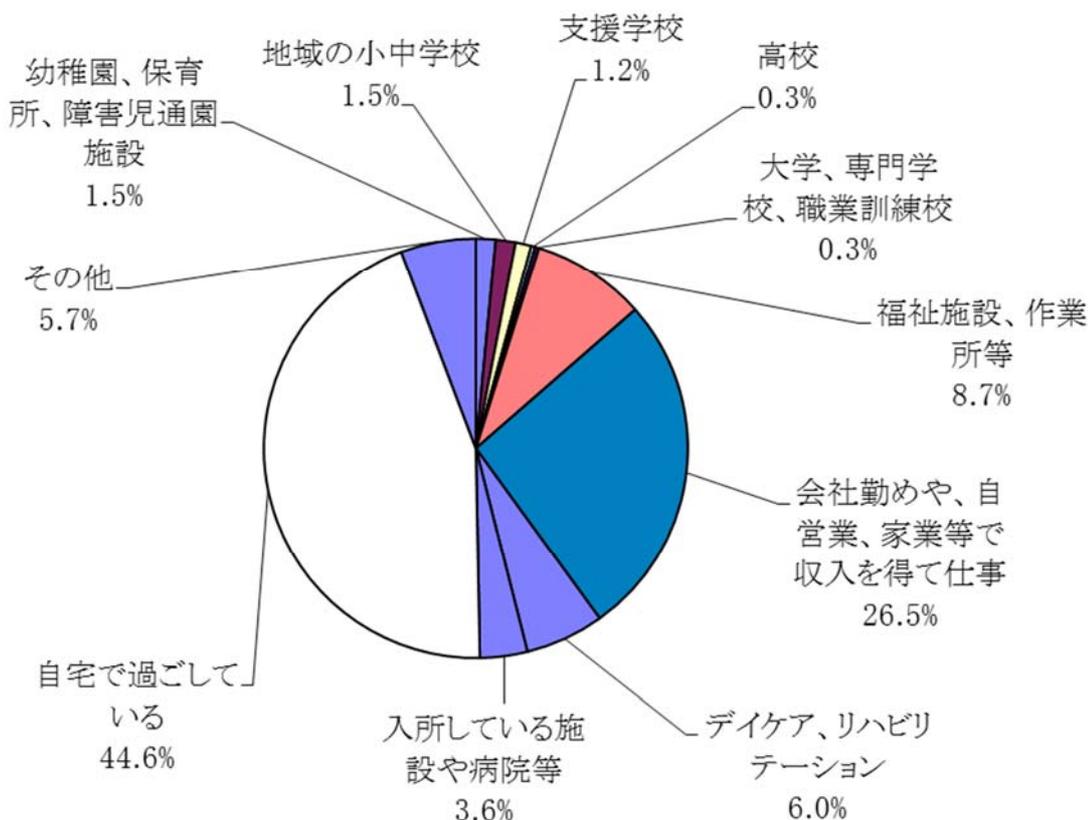
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 道路の狭い所は、車がこわい。 (女性・80代・身体・難病)
- 駐車場から歩くのが、困難なことがある。 (女性・50代・身体・難病)
- バスの数が少ない。 (女性・90代・身体)
- 手すりがないと怖い。 (女性・40代・身体・難病)
- 障害の為、外出の方法や安全、金銭、マナー等すべてが一人では、分からない。 (男性・10代・知的)
- 座って休めるイスが少ない。 (女性・50代・身体・難病)
- バイクの駐輪場が少ない。周囲がうるさく感じてストレスになる。 (男性・30代・精神)
- 体調・体力的に今は、外出できないと思っている。 (男性・80代・身体)
- 入院中だからわからない。 (男性・40代・身体) (女性・50代・精神)
- 方向音痴。特に初めての所は難しい。 (女性・40代・精神)
- 外出中に体調不良で休む所が少ない。又は、ない。 (男性・40代・身体・難病)
- 息子が車椅子を引いてくれるので。 (女性・80代・身体)
- 見た目に分からない精神障害なので、優先席などに座りづらい。 (男性・20代・精神)
- 満員電車で一人で乗るのが恐怖。 (女性・20代・知的)
- 公園に駐車場がない。 (男性・60代・身体)
- 車道が狭いのに自転車は車道と怒られる。自転車が車道を指定され危ない事。 (女性・30代・精神)
- 立川駅北口バス乗り場に行く、下りエスカレーターがない。 (女性・60代・身体・難病)
- エスカレーターの速度が速い。 (女性・90代・身体)
- 公共交通機関苦手。 (男性・50代・精神)
- スクールバスのバス停が遠い事。雨の日は、特に困る。 (男性・0代・知的)
- 自動の洗浄トイレと自動手拭のトイレをもっと多く。 (男性・30代・知的)
- 一人では行動できない。(視野、記憶) (女性・80代・身体)

問 26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

【回答数 332 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	5	1.5%	3	4	0	0
地域の小中学校に通っている	5	1.5%	1	2	1	1
支援学校(小中高等部、高等支援学校)に通っている	4	1.2%	1	4	0	0
高校(全日制、定時制、通信制)に通っている	1	0.3%	1	0	0	0
大学、専門学校、職業訓練校等に通っている	1	0.3%	0	0	0	1
福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	29	8.7%	10	17	7	6
会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている。	88	26.5%	61	12	10	22
病院などのデイケア、リハビリテーションに通っている	20	6.0%	13	1	7	5
入所している施設や病院等で過ごしている	12	3.6%	9	1	0	3
自宅で過ごしている	148	44.6%	100	6	27	37
その他	19	5.7%	10	0	5	3
無回答	16	-	8	3	1	2
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

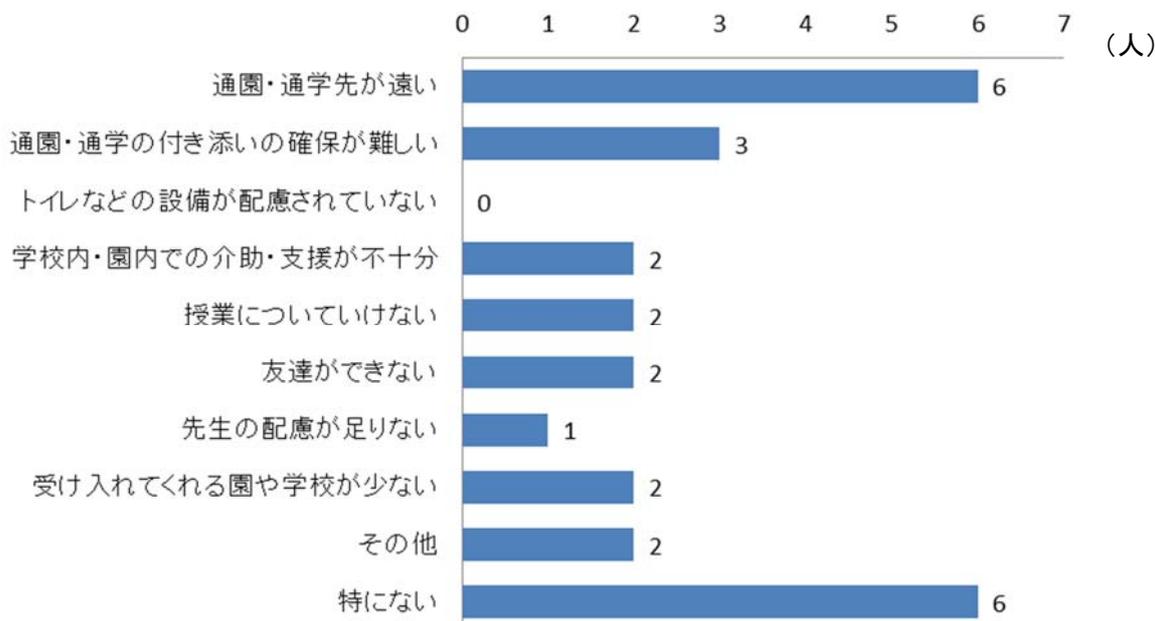
【その他回答の主な内容】

- 週3日の通所をして、週4日は自宅で過ごしている。 (女性・60代・身体)
- 実家。 (女性・40代・精神)
- 家族の介護に通っている。 (女性・40代・精神)
- 現在は、自宅。9月頃になったら少し出かけようと思う。 (女性・60代・身体)
- 買物、散歩で外出することが多い。 (女性・70代・身体)
- 透析など。 (女性・40代・身体・難病)
- 現在入院だが、普段は、家か作業所へ行く。 (女性・30代・精神)
- デイサービスに通っている。 (女性・70代・身体) (女性・80代・身体) (女性・90代)
- ボランティア活動。 (男性・60代・身体)
- 火・木・土の週3日小学生の放課後「遊び」を指導している。 (男性・80代・身体)
- 入院中。 (男性・40代・身体) (女性・50代・精神)

問 27 問 26 で、1～5と答えた方におききます。

通園・通学において特に困っていることはありますか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 15 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通園・通学先が遠い	6	40.0%	0	5	0	1
通園・通学の付き添いの確保が難しい	3	20.0%	0	3	0	0
トイレなどの設備が配慮されていない	0	0.0%	0	0	0	0
学校内・園内での介助・支援が不十分	2	13.3%	1	2	0	0
授業についていけない	2	13.3%	1	1	0	0
友達ができない	2	13.3%	1	1	0	0
先生の配慮が足りない	1	6.7%	0	1	0	0
受け入れてくれる園や学校が少ない	2	13.3%	1	2	0	0
その他	2	13.3%	0	1	0	1
特にない	6	40.0%	3	3	1	1
無回答	1	-	1	0	0	0

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

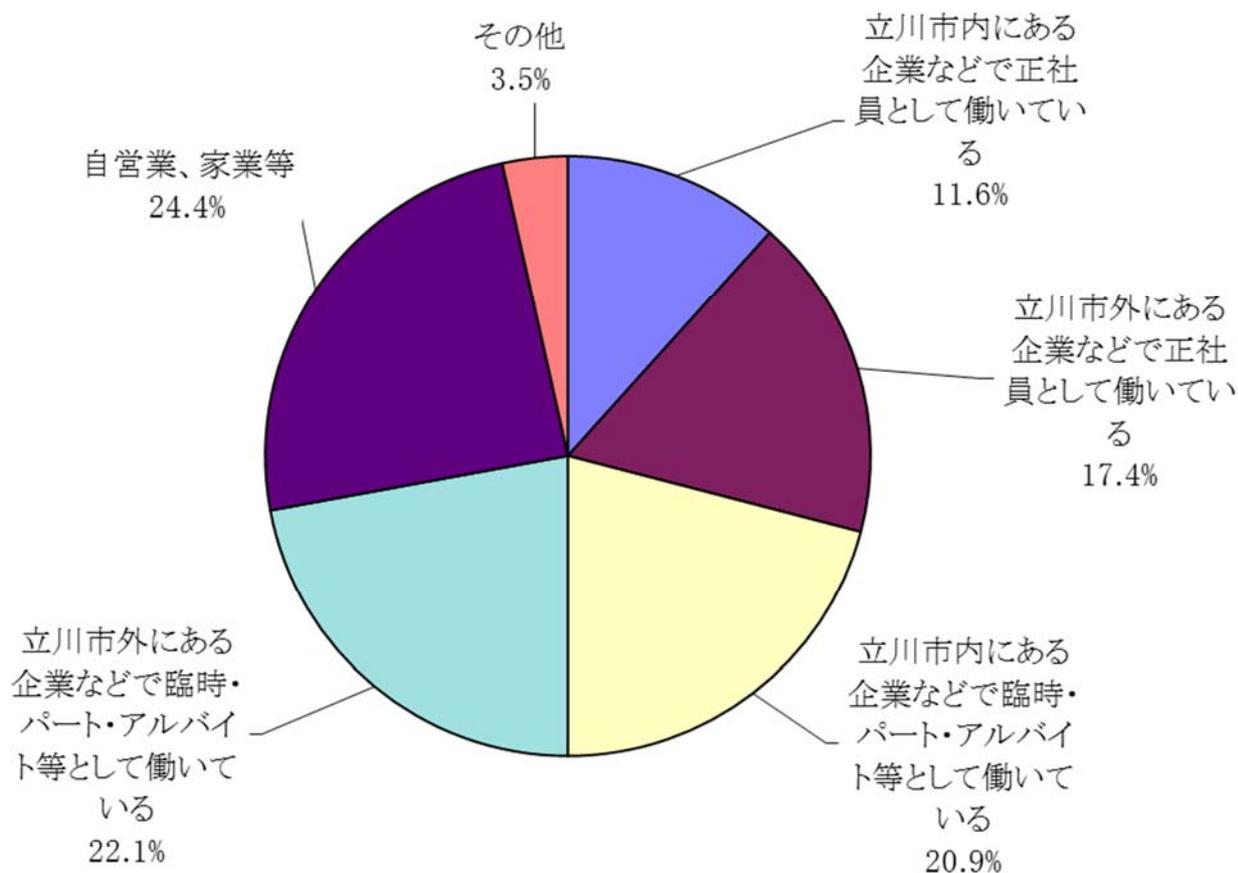
【その他回答の主な内容】

- 友人に病気について話しても、理解してもらえないことがある。難病かつ軽度の為。
(女性・20代・難病)
- 高等部からはスクールバスに乗車できず、一人通学が望ましいとされるが、出来る様になるのか不安。
(男性・0代・知的)

問 28 問 26 で「7会社勤めや、自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた方におききます。

どのような勤務形態で働いていますか。

【回答数 86 人】



【障害別回答数】

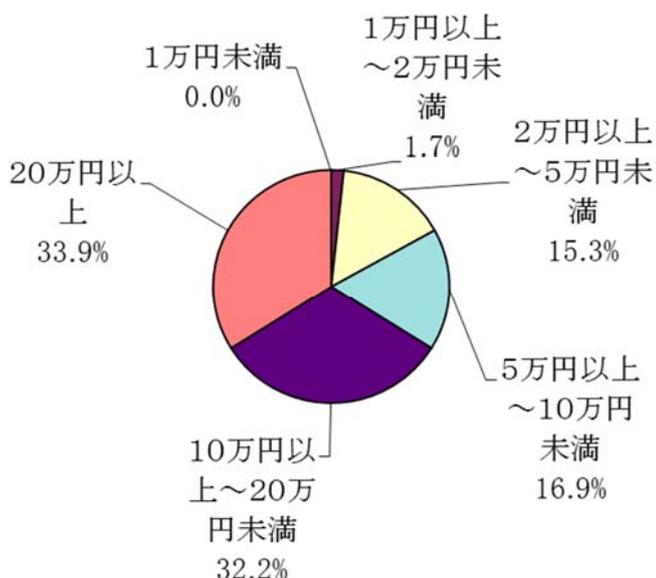
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
立川市内にある企業などで正社員として働いている	10	11.6%	9	0	0	2
立川市外にある企業などで正社員として働いている	15	17.4%	13	1	0	5
立川市内にある企業などで臨時・パート・アルバイト等として働いている	18	20.9%	11	2	2	8
立川市外にある企業などで臨時・パート・アルバイト等として働いている	19	22.1%	8	6	5	3
自営業、家業等	21	24.4%	18	1	2	3
その他	3	3.5%	1	1	1	1
無回答	2	-	1	1	0	0
合計	88	100.0%	61	12	10	22

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

副問 28-1 問 28 で、1～4と答えた方におききます。

働いて得る月収(賃金)はどれくらいですか。差し支えない範囲でお答えください。

【回答数 59 人】



【障害別回答数】

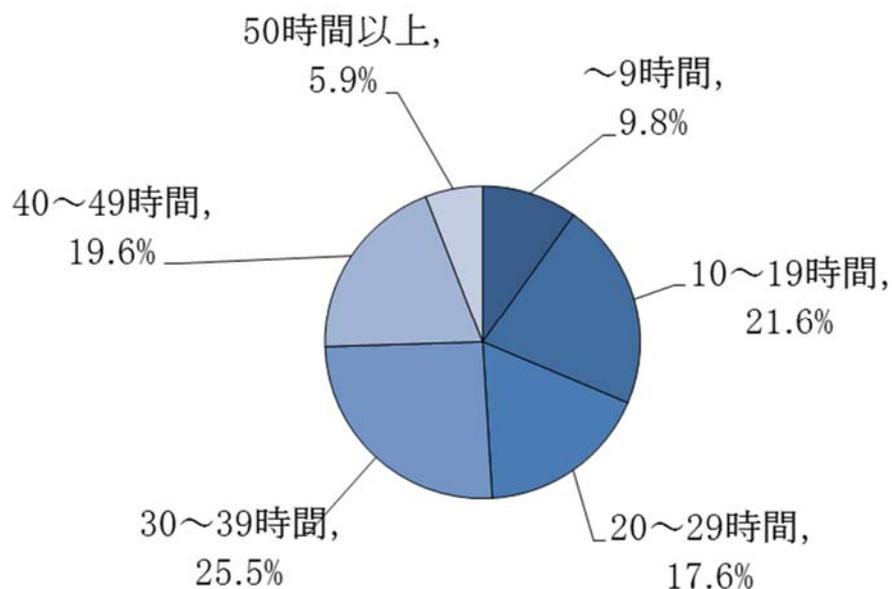
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
1万円未満	0	0.0%	0	0	0	0
1万円以上～2万円未満	1	1.7%	0	1	0	0
2万円以上～5万円未満	9	15.3%	6	0	1	5
5万円以上～10万円未満	10	16.9%	6	2	1	3
10万円以上～20万円未満	19	32.2%	9	6	5	3
20万円以上	20	33.9%	17	0	0	6
無回答	3	-	3	0	0	1
合計	62	100.0%	41	9	7	18

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

副問 28-2 問 28 で、1～4と答えた方におききます。

あなたは週何時間雇用されていますか。

【回答数 51 人】



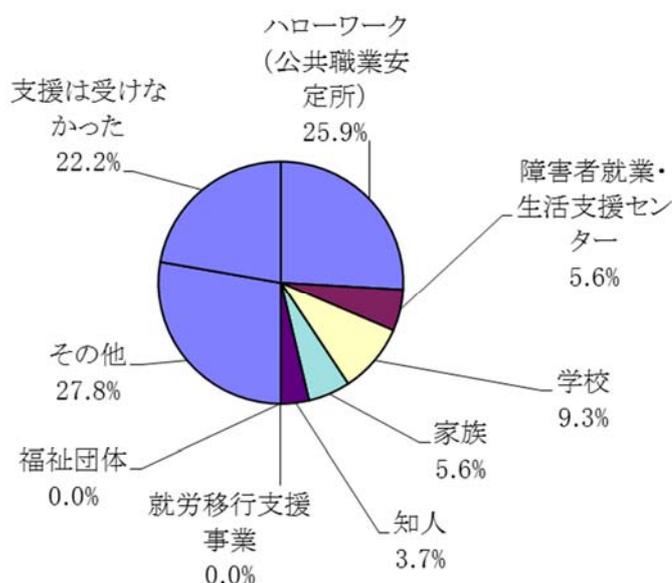
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
～9 時間	5	9.8%	3	2	0	2
10～19 時間	11	21.6%	7	1	1	3
20～29 時間	9	17.6%	5	0	3	4
30～39 時間	13	25.5%	7	4	3	2
40～49 時間	10	19.6%	9	0	0	3
50 時間以上	3	5.9%	1	0	0	2
無回答	11	-	9	2	0	2
合計	62	100.0%	41	9	7	18

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

副問 28-3 問 28 で、1～4と答えた方におききます。
あなたは今の仕事をどちらを通じて見つけましたか。

【回答数 54 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ハローワーク(公共職業安定所)	14	25.9%	10	2	2	3
障害者就業・生活支援センター	3	5.6%	0	1	2	0
学校	5	9.3%	2	3	0	0
家族	3	5.6%	1	1	1	0
知人	2	3.7%	1	0	0	1
就労移行支援事業	0	0.0%	0	0	0	0
福祉団体	0	0.0%	0	0	0	0
その他	15	27.8%	9	1	2	7
支援は受けなかった	12	22.2%	11	0	0	6
無回答	8	-	7	1	0	1
合計	62	100.0%	41	9	7	18

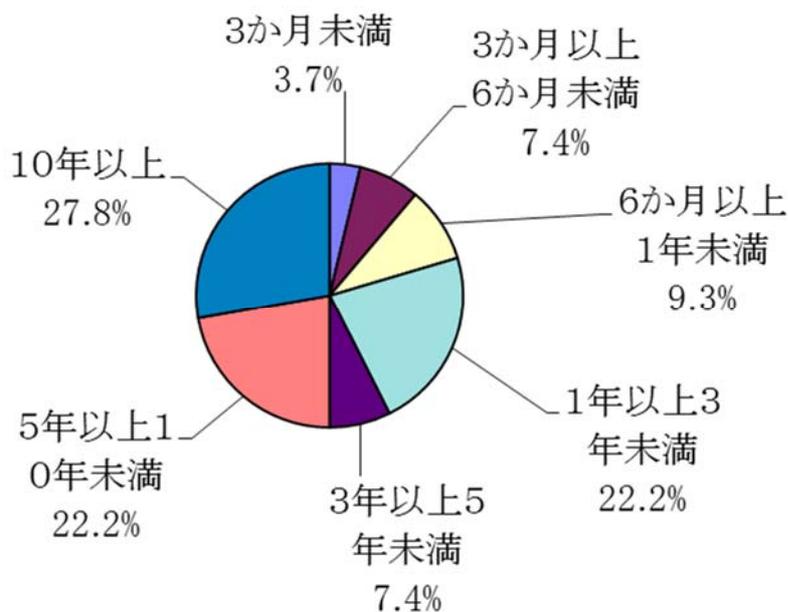
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- シルバー人材センター。 (男性・70代・身体) (男性・60代・身体)
- 障害者認定時前から就労しています。 (男性・50代・身体) (男性・50代・身体・難病)
- 退職前に働いていた職場で、アルバイトとして、働いている。 (女性・60代・身体・難病)
- 民間の派遣会社。日雇い派遣。 (女性・50代・精神) (男性・30代・難病)
- 求人募集広告、チラシ。 (女性・70代・身体) (女性・40代・難病) (男性・40代・身体・難病)
- インターネット。 (男性・50代・身体・難病) (男性・30代・難病)
- 自分 (男性・70代・身体)

副問 28-4 問 28 で、1～4と答えた方におききます。
現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。

【回答数 54 人】



【障害別回答数】

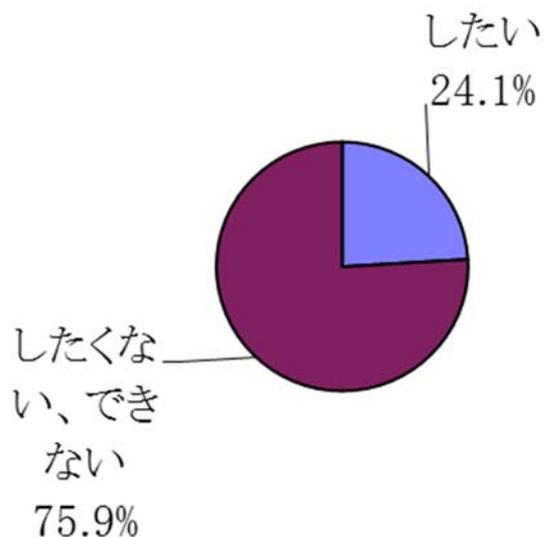
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
3か月未満	2	3.7%	2	0	0	2
3か月以上6か月未満	4	7.4%	2	3	0	1
6か月以上1年未満	5	9.3%	2	0	2	2
1年以上3年未満	12	22.2%	7	0	4	2
3年以上5年未満	4	7.4%	2	1	1	0
5年以上10年未満	12	22.2%	9	2	0	3
10年以上	15	27.8%	10	2	0	7
無回答	8	-	7	1	0	1
合計	62	100.0%	41	9	7	18

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 29,30 は、18 歳以上で現在一般就労(会社勤めや自営業など)をしていない方におききます。

問 29 あなたは今後、一般就労をしたいと思いますか。

【回答数 158 人】



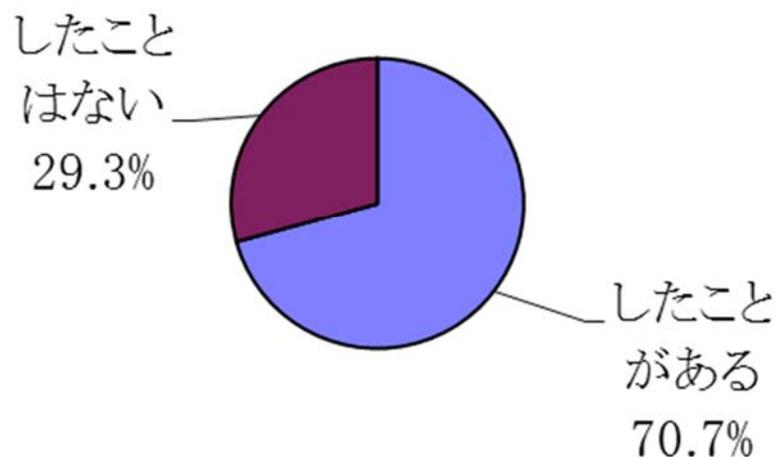
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
したい	38	24.1%	14	5	18	11
したくない、できない	120	75.9%	69	17	24	33
無回答	190	-	134	28	16	36
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 30 今までに一般就労をしたことはありますか。

【回答数 174 人】



【障害別回答数】

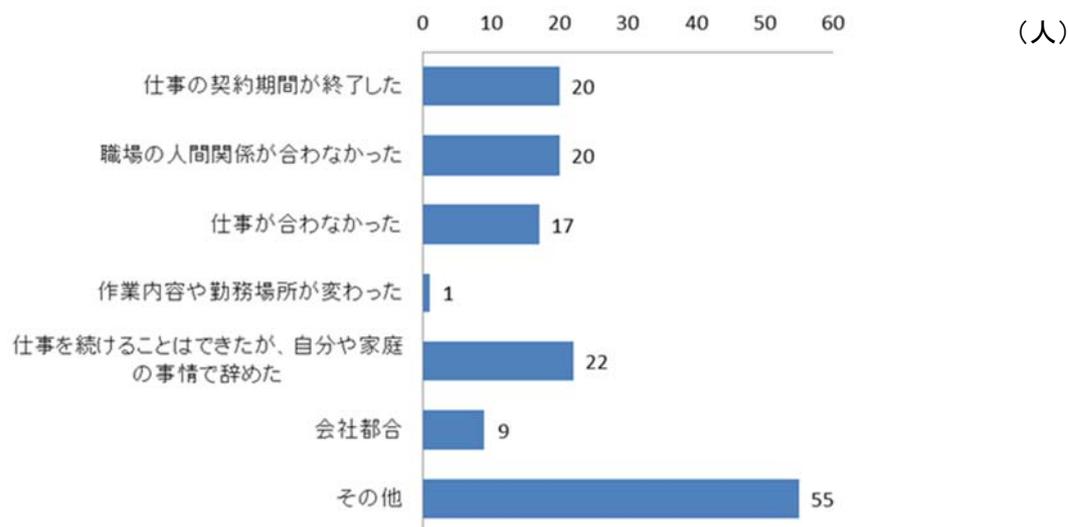
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
したことがある	123	70.7%	66	9	39	37
したことはない	51	29.3%	28	17	7	11
無回答	174	-	123	24	12	32
合計	348	100.0%	217	50	58	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

副問 30-1 問 30 で「1 したことがある」と答えた方におききします。

仕事を辞められた主な理由は何ですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 114 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
仕事の契約期間が終了した	20	17.5%	13	2	3	5
職場の人間関係が合わなかった	20	17.5%	2	4	12	3
仕事が合わなかった	17	14.9%	3	1	11	2
作業内容や勤務場所が変わった	1	0.9%	1	1	0	1
仕事を続けることはできたが、自分や家庭の事情で辞めた	22	19.3%	11	1	5	11
会社都合	9	7.9%	6	1	1	3
その他	55	48.2%	28	5	19	15
無回答	9	-	5	1	5	2

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

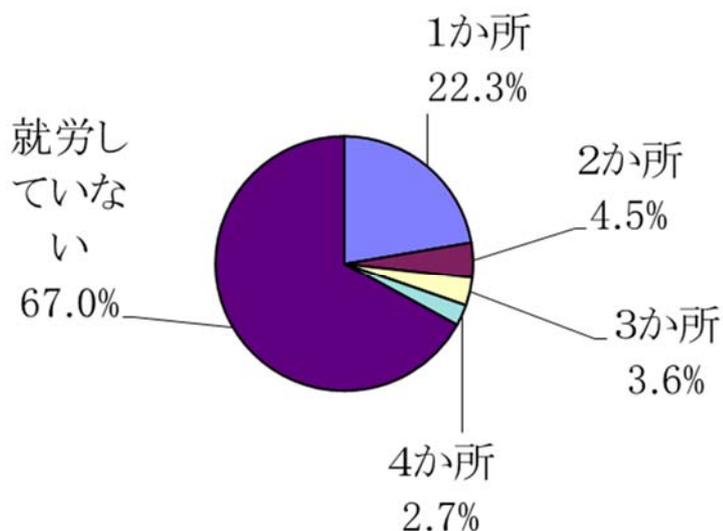
【その他回答の主な内容】

- 定年退職。(男性・70代・身体) 他10名
- 病気のため退職。(男性・40代・身体) 他13名
- 体調をくずした。(女性・50代・精神) 他9名
- 発作が出たため解雇された。(男性・50代・精神)
- 自殺企図で入院させられたので。(女性・30代・精神)
- 障害の為、続けられなかった。(女性・60代・精神)
- 年齢と、目の障害が負担になったから (女性・80代・身体) (男性・70代・身体)
- 仕事と透析との両方が無理となったから。(男性・50代・身体・難病)
- 結婚、出産、育児 (女性・30代・難病) (女性・50代・精神) (女性・50代・精神)
- 仕事に満足が出来なくなりました。(女性・60代・難病)
- 通勤時間がかかりすぎ。(男性・20代・知的)

副問 30-2 問 30 で「1 したことがある」と答えた方におききます。

平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日までの間に何か所で就労しましたか。

【回答数 112 人】



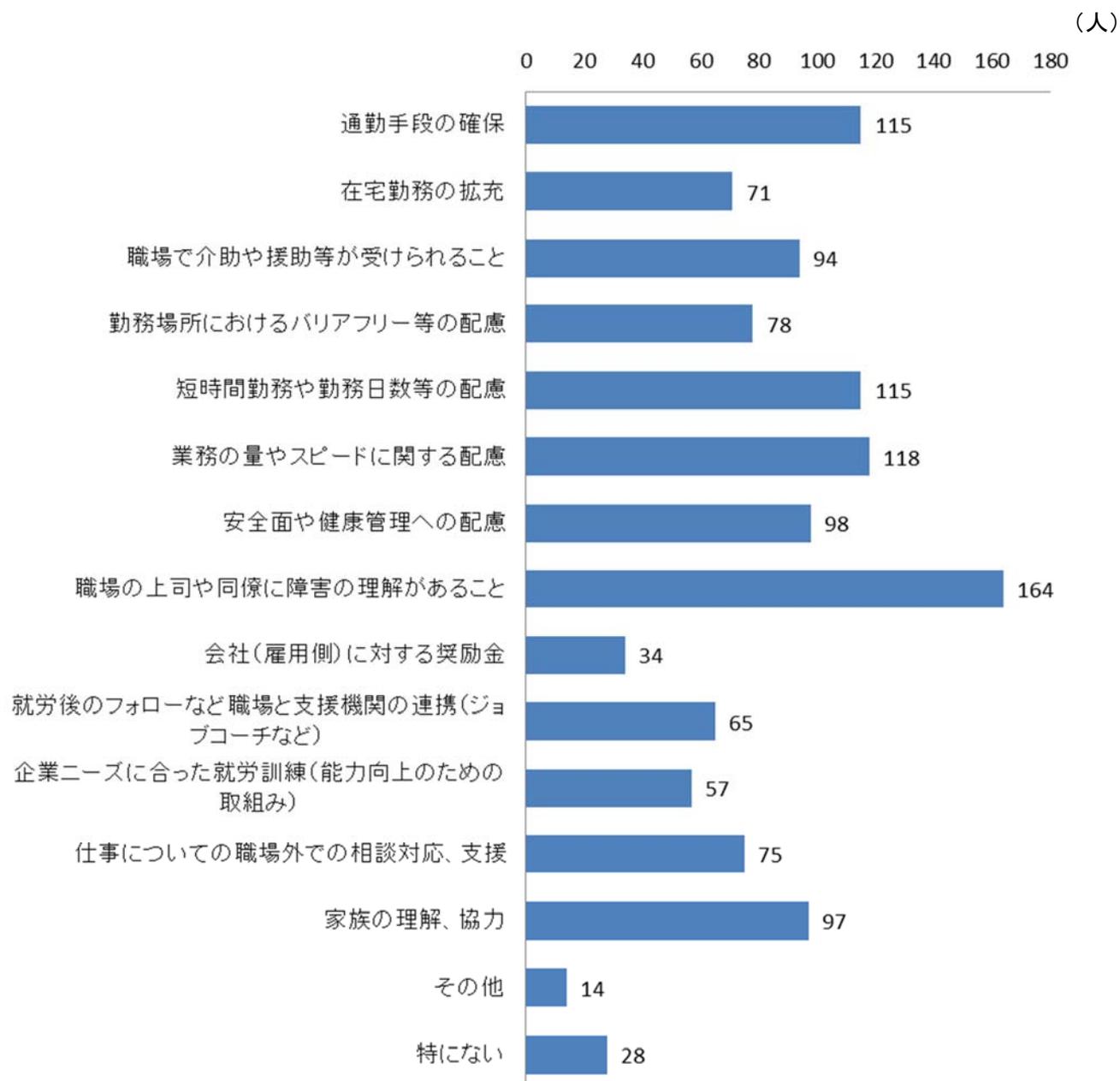
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
1か所	25	22.3%	14	3	7	6
2か所	5	4.5%	3	1	3	1
3か所	4	3.6%	2	1	2	1
4か所	3	2.7%	1	0	1	1
就労していない	75	67.0%	41	4	22	28
無回答	11	-	5	0	4	0
合計	123	100.0%	66	9	39	37

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

**問 31 障害のある人が働くために、重要と思われることはどれですか。あてはまるものすべて。
(複数回答可)**

【回答数 250 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
通勤手段の確保	115	46.0%	70	23	16	28
在宅勤務の拡充	71	28.4%	36	7	18	24
職場で介助や援助等が受けられること	94	37.6%	49	27	13	22
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	78	31.2%	50	14	10	25
短時間勤務や勤務日数等の配慮	115	46.0%	60	12	33	35
業務の量やスピードに関する配慮	118	47.2%	57	24	29	28
安全面や健康管理への配慮	98	39.2%	51	20	25	23
職場の上司や同僚に障害の理解があること	164	65.6%	87	27	35	43
会社(雇用側)に対する奨励金	34	13.6%	14	6	9	11
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携(ジョブコーチなど)	65	26.0%	23	17	20	18
企業ニーズに合った就労訓練(能力向上のための取組み)	57	22.8%	22	11	14	19
仕事についての職場外での相談対応、支援	75	30.0%	32	16	23	16
家族の理解、協力	97	38.8%	50	20	19	22
その他	14	5.6%	7	5	1	2
特になし	28	11.2%	19	5	5	7
無回答	98	-	73	5	8	19

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

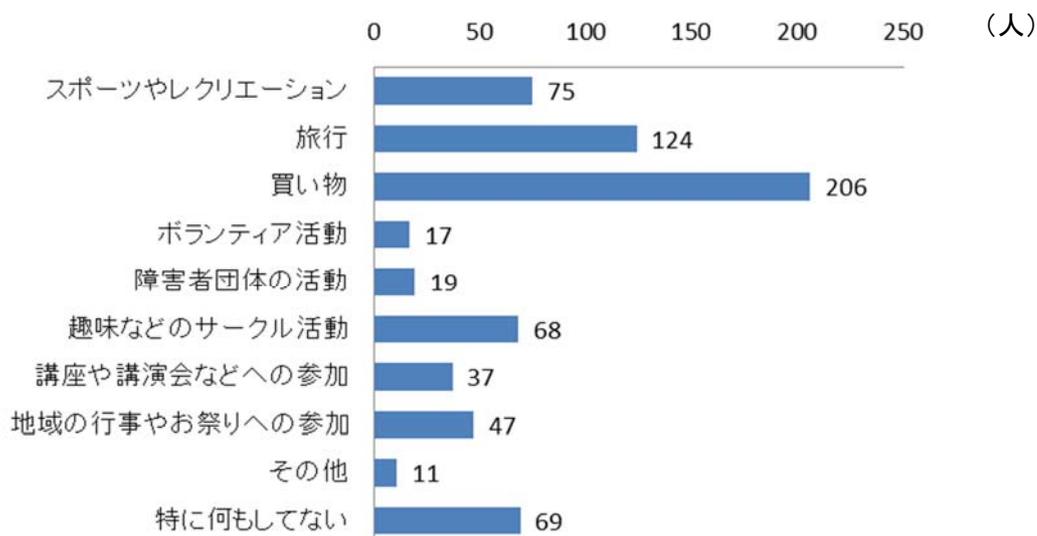
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 働きやすさ重視。(男性・20代・身体)
- 会社のイベント参加。(女性・20代・難病)
- 本人の能力、国の企業への助成や支援。(男性・40代・身体)
- 会社(雇用側)に、休みに対する理解(有休取得)。(男性・40代・難病)
- いじめ、差別など。(男性・50代・身体)
- クローズでうまくやれること。(女性・30代・精神)
- 90才に出来る仕事がない、雇ってくれる人がいない。(女性・90代・身体)
- 障害のある人に対して本当に理解のある人の雇用が必要。暴力や嫌がらせなど絶対にあってはならない。(男性・0代・知的)
- 障害者に対して冷たい。(男性・70代・身体)

**問 32 あなたは、この1年くらいの中に、次のような活動をしましたか。あてはまるものすべて。
(複数回答可)**

【回答数 314 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
スポーツやレクリエーション	75	23.9%	29	22	18	14
旅行	124	39.5%	72	24	21	29
買い物	206	65.6%	122	28	35	48
ボランティア活動	17	5.4%	14	0	2	1
障害者団体の活動	19	6.1%	11	6	3	1
趣味などのサークル活動	68	21.7%	41	9	11	13
講座や講演会などへの参加	37	11.8%	21	0	8	9
地域の行事やお祭りへの参加	47	15.0%	36	11	3	8
その他	11	3.5%	8	1	2	1
特に何もしてない	69	22.0%	46	9	12	18
無回答	34	-	24	3	2	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

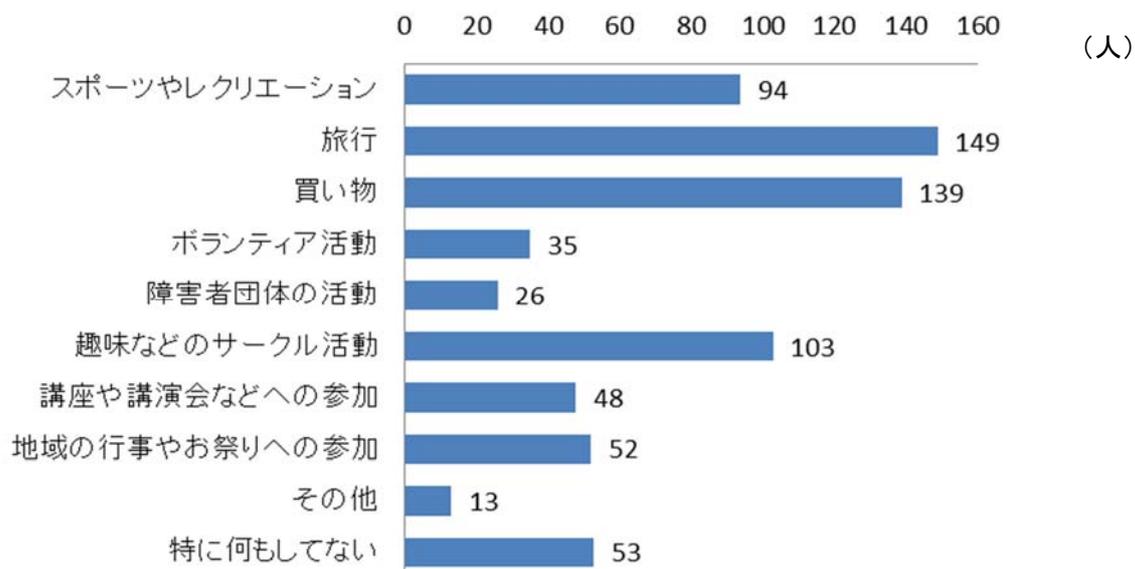
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 資格試験。 (男性・20代・身体)
- 田舎に何度か行きます。 (男性・70代・身体)
- 習い事。 (男性・50代・身体)
- 日々の通院。 (女性・90代・身体)
- デイサービスでの活動。 (女性・80代・身体)
- 公園の草取り。 (男性・70代・身体)

問 33 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 300 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
スポーツやレクリエーション	94	31.3%	45	24	19	22
旅行	149	49.7%	82	28	28	35
買い物	139	46.3%	77	22	29	31
ボランティア活動	35	11.7%	22	3	5	7
障害者団体の活動	26	8.7%	15	6	2	5
趣味などのサークル活動	103	34.3%	66	13	17	21
講座や講演会などへの参加	48	16.0%	34	1	9	14
地域の行事やお祭りへの参加	52	17.3%	32	11	8	9
その他	13	4.3%	6	1	4	4
特に何もしてない	53	17.7%	38	4	10	9
無回答	48	-	30	8	3	12

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

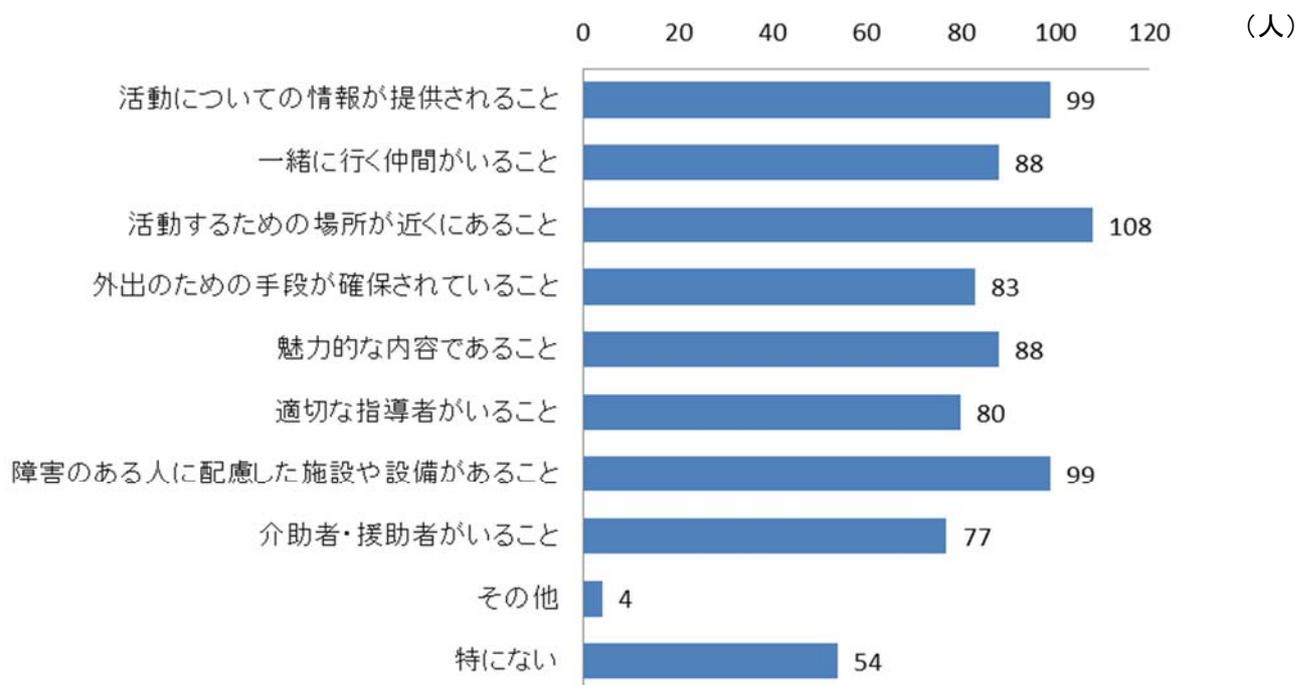
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 安定して仕事がしたい。 (女性・30代・精神) (男性・50代・精神)
- 個人事業。 (男性・40代・身体・難病)
- より難易度の高い資格試験。 (男性・20代・身体)
- 外食。 (女性・80代・難病)
- デイサービスの継続。 (女性・80代・身体)
- 趣味とかが、固まってきているところなので、このまま続けていきたい。 (女性・40代・精神)
- 健康上の問題で何も出来ない。 (男性・80代・身体) ほか2名

問34 問33のような活動をするために、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 282人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
活動についての情報が提供されること	99	35.1%	45	25	22	19
一緒に行く仲間がいること	88	31.2%	52	16	21	12
活動するための場所が近くにあること	108	38.3%	62	18	23	19
外出のための手段が確保されていること	83	29.4%	53	17	14	18
魅力的な内容であること	88	31.2%	45	13	22	21
適切な指導者がいること	80	28.4%	38	21	15	16
障害のある人に配慮した施設や設備があること	99	35.1%	66	18	14	29
介助者・援助者がいること	77	27.3%	42	24	13	15
その他	4	1.4%	2	2	1	0
特にない	54	19.1%	38	4	8	14
無回答	66	-	46	7	6	15

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

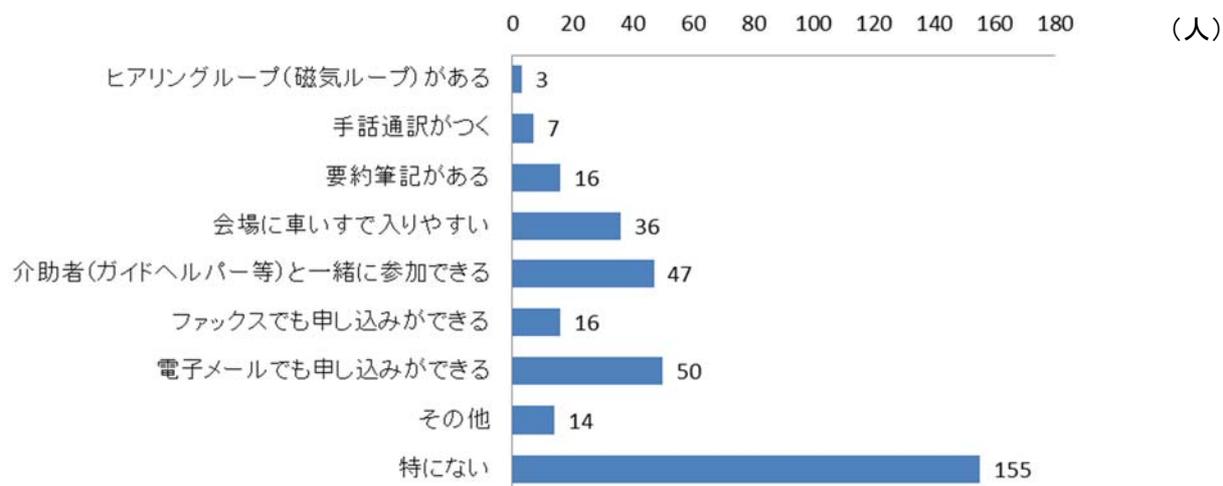
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 現在、趣味として広がるのか仕事につなげてくのかよく分からない状態。(女性・40代・精神)
- 参加できる内容であること。(女性・20代・身体・知的)

問 35 あなたが市の開催する講座等に参加しようとするとき、どのような配慮があると参加しやすいですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 272 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ヒアリンググループ(磁気ループ)がある	3	1.1%	2	0	0	1
手話通訳がつく	7	2.6%	6	0	0	1
要約筆記がある	16	5.9%	13	0	2	4
会場に車いすで入りやすい	36	13.2%	29	5	2	14
介助者(ガイドヘルパー等)と一緒に参加できる	47	17.3%	27	16	3	12
ファックスでも申し込みができる	16	5.9%	8	4	3	1
電子メールでも申し込みができる	50	18.4%	30	5	8	20
その他	14	5.1%	10	1	3	4
特にない	155	57.0%	93	16	37	34
無回答	76	-	52	14	6	12

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

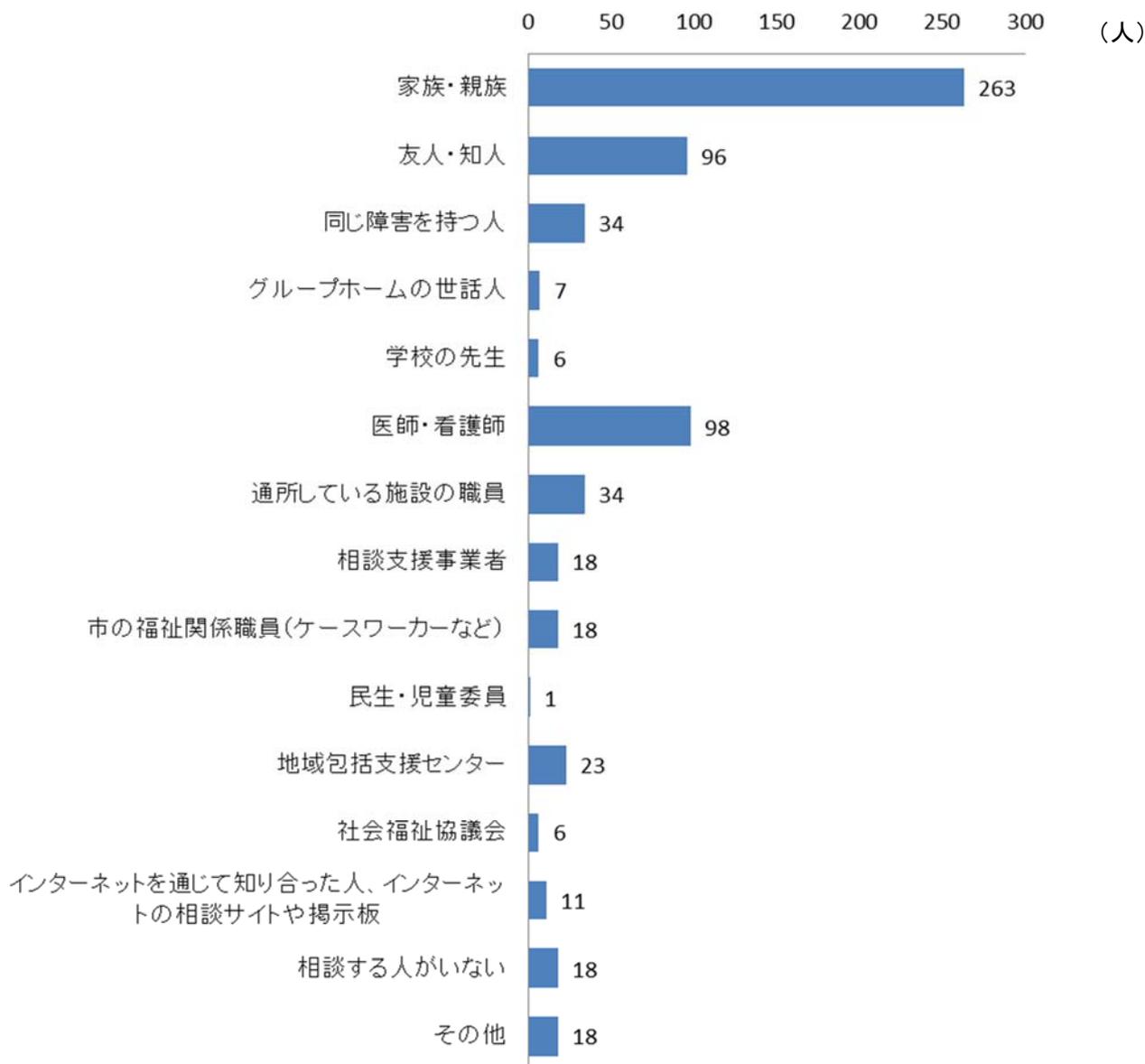
【その他回答の主な内容】

- 駐車場の確保。 (男性・70代・身体・難病) (男性・60代・身体) (女性・60代・身体)
- 交通手段。 (女性・50代・身体)
- オストメイト対応トイレの設置。 (女性・70代・身体)
- 会場で並ばせない。席の確保。 (女性・90代・身体)
- 場所にもよる。時間帯も。 (女性・40代・精神)
- 途中で参加が難しくなったら 抜けられる場所がある事。 (女性・20代・身体・知的)
- 精神障害者用配慮がない。 (男性・50代・精神)
- 開催内容の公開手段が少なすぎる。いつ開催されるのか分からない。 (男性・50代・身体・難病)
- 講座等の周知。 (男性・30代・精神)

VII 相談などについて

問 36 あなたが、困ったり不安を感じたときに、日常的に相談している人はだれですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 321 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族・親族	263	81.9%	168	39	40	57
友人・知人	96	29.9%	61	5	26	17
同じ障害を持つ人	34	10.6%	24	6	7	5
グループホームの世話人	7	2.2%	2	3	3	1
学校の先生	6	1.9%	1	6	0	0
医師・看護師	98	30.5%	51	13	30	20
通所している施設の職員	34	10.6%	12	12	12	4
相談支援事業者	18	5.6%	7	7	4	3
市の福祉関係職員(ケースワーカーなど)	18	5.6%	14	4	6	3
民生・児童委員	1	0.3%	1	0	0	0
地域包括支援センター	23	7.2%	17	0	4	7
社会福祉協議会	6	1.9%	4	2	1	0
インターネットを通じて知り合った人、 インターネットの相談サイトや掲示板	11	3.4%	6	1	3	5
相談する人がいない	18	5.6%	13	1	2	7
その他	18	5.6%	8	5	6	2
無回答	27	-	19	3	1	8

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

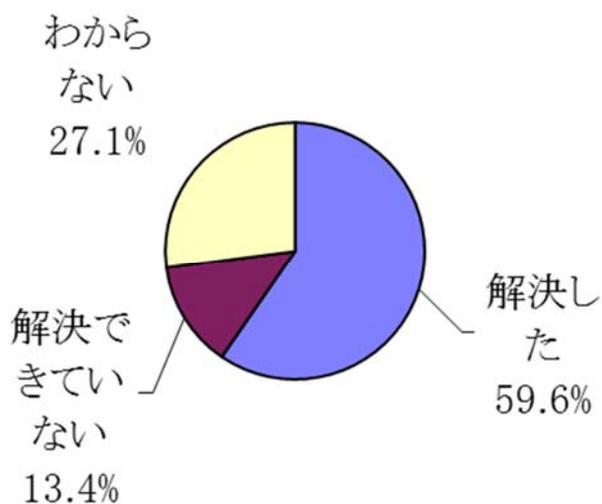
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 施設の相談員。 (男性・70代・身体)
- 施設職員。 (男性・80代・身体) (女性・80代・身体)
- ケア・マネージャー。 (女性・90代・身体)
- ケアマネ。ワーカー。 (男性・70代・身体・精神)
- カウンセラー。 (女性・50代・精神)
- ハローワーク。 (男性・30代・精神)
- 保育園職員。 (女性・0代・身体・知的)
- 相談しても大丈夫かどうか分からない人はいるが、分からないので今はまだ相談していない。
(女性・40代・精神)
- しゃべれないので相談はない。 (女性・20代・身体・知的)
- 出来ない。 (男性・20代・知的・難病)

問 37 問 36 で回答した相談先に相談することで、困ったことは解決しましたか。

【回答数 277 人】



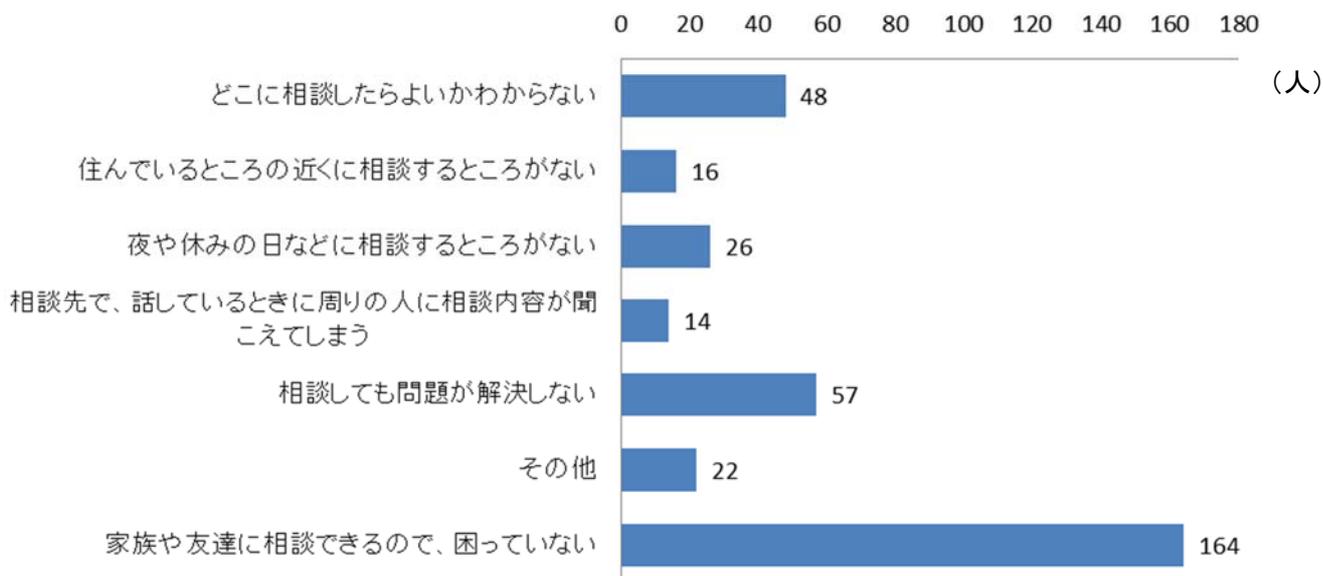
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
解決した	165	59.6%	112	22	22	39
解決できていない	37	13.4%	20	5	9	8
わからない	75	27.1%	38	12	23	18
無回答	71	-	47	11	3	15
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 38 あなたが相談するときに、困っていることはありますか。○はいくつでも。(複数回答可)

【回答数 275 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
どこに相談したらよいかわからない	48	17.5%	26	7	14	6
住んでいるところの近くに相談するところがない	16	5.8%	8	3	4	3
夜や休みの日などに相談するところがない	26	9.5%	13	3	11	1
相談先で、話しているときに周りの人に相談内容が聞こえてしまう	14	5.1%	7	4	5	2
相談しても問題が解決しない	57	20.7%	30	8	14	15
その他	22	8.0%	10	6	5	9
家族や友達に相談できるので、困っていない	164	59.6%	104	27	26	35
無回答	73	-	49	9	4	15

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

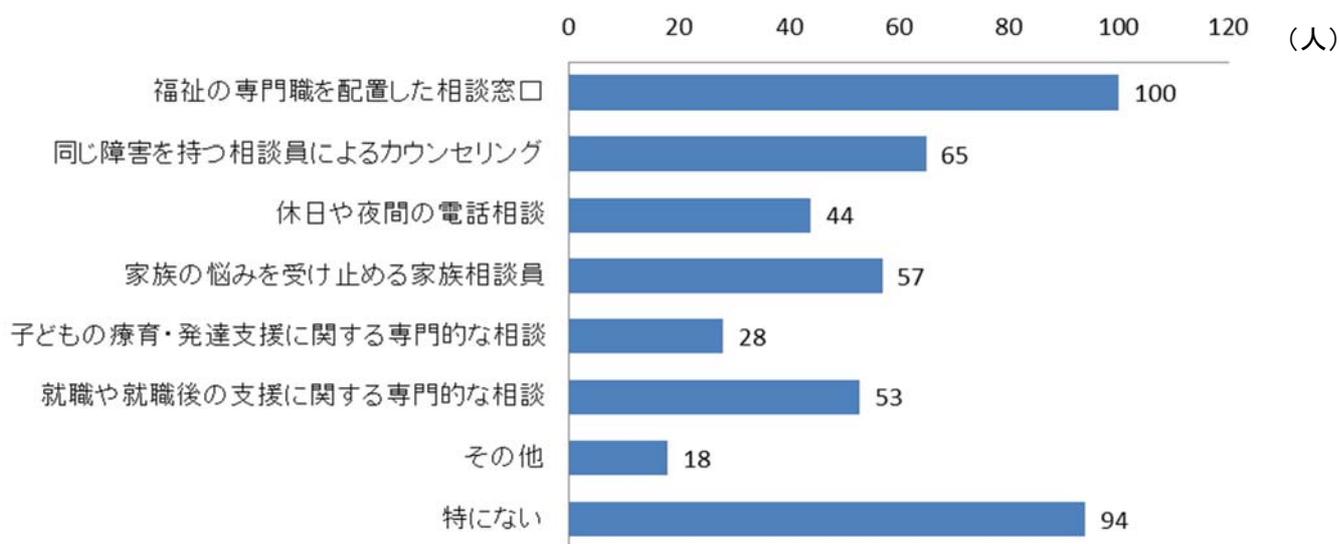
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 相談先が形式的。 (女性・60代・精神)
- 解決策は出るが、なかなか結果につながらない。 (男性・20代・精神)ほか2名
- 本当に困ってること、助けてほしいことが言えない、言っても伝わらない場合やどうにもならない事。 (女性・30代・精神)
- 解決できる時とはっきりしない時がある。 (女性・70代・身体・難病)
- 青年後見人の手続きが繁雑すぎて、面倒である。 (男性・70代・身体・難病)
- 自分から相談する事は出来ない。 (男性・20代・知的)
- 耳が聞こえないので相手の話が分からない。 (女性・40代・身体・難病)
- 外出が出来ないので、外に出られない。外出支援が欲しい！！ (女性・40代・知的・難病)
- 家族や友達が知らない情報もほしい。 (女性・50代・身体・難病)

問 39 相談支援体制について、どのようなことの充実を望みますか。

【回答数 281 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
福祉の専門職を配置した相談窓口	100	35.6%	63	17	18	24
同じ障害を持つ相談員によるカウンセリング	65	23.1%	44	5	13	17
休日や夜間の電話相談	44	15.7%	20	9	13	11
家族の悩みを受け止める家族相談員	57	20.3%	29	14	10	12
子どもの療育・発達支援に関する専門的な相談	28	10.0%	10	11	4	7
就職や就職後の支援に関する専門的な相談	53	18.9%	20	15	16	10
その他	18	6.4%	6	5	4	7
特にない	94	33.5%	67	11	15	18
無回答	67	-	45	9	4	12

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

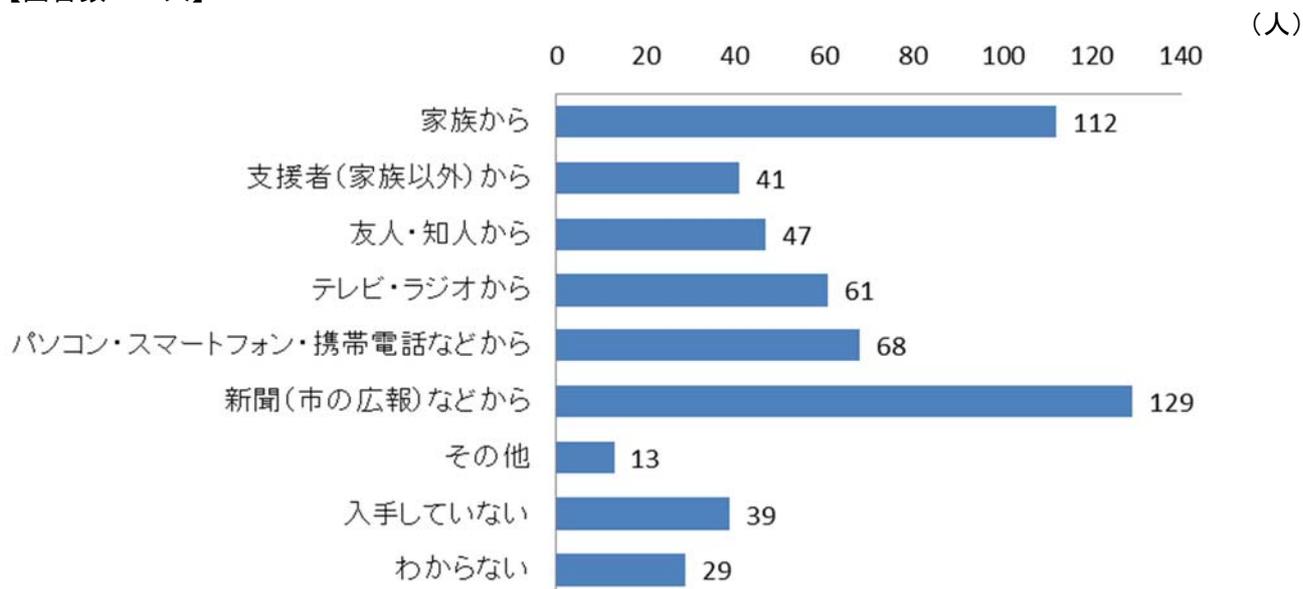
【その他回答の主な内容】

- 精神障害者用相談員。 (男性・50代・精神)
- よく受け止めて、理解できる・解決力のあるカウンセラーが必要です。 (女性・50代・精神)
- メールでの相談。 (女性・50代・身体)
- 遠隔手話、通訳対応サービス、電話リレーサービスによる休日・夜間相談。 (男性・40代・身体)
- 時間を気にせず（診療時間を気にせず）相談に乗ってくれるカウンセリング。 (女性・30代・精神)
- どのような援助（経済的支援を含めた）が、あるかが解る相談窓口。 (男性・40代・難病)
- 解決する為の方法。協力。 (男性・40代・身体・難病)
- 相談内容によるので、一概に言えない。 (女性・50代・精神)

Ⅷ 情報入手などについて

問 40 あなたは、毎日の生活や障害福祉サービスなどについて、どのようにして情報を得ていますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 311 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族から	112	36.0%	69	25	13	25
支援者(家族以外)から	41	13.2%	19	15	12	7
友人・知人から	47	15.1%	33	7	8	7
テレビ・ラジオから	61	19.6%	42	5	10	11
パソコン・スマートフォン・携帯電話などから	68	21.9%	40	5	14	26
新聞(市の広報)などから	129	41.5%	92	7	14	35
その他	13	4.2%	9	2	2	3
入手していない	39	12.5%	25	4	9	9
わからない	29	9.3%	12	7	7	5
無回答	37	-	22	6	2	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

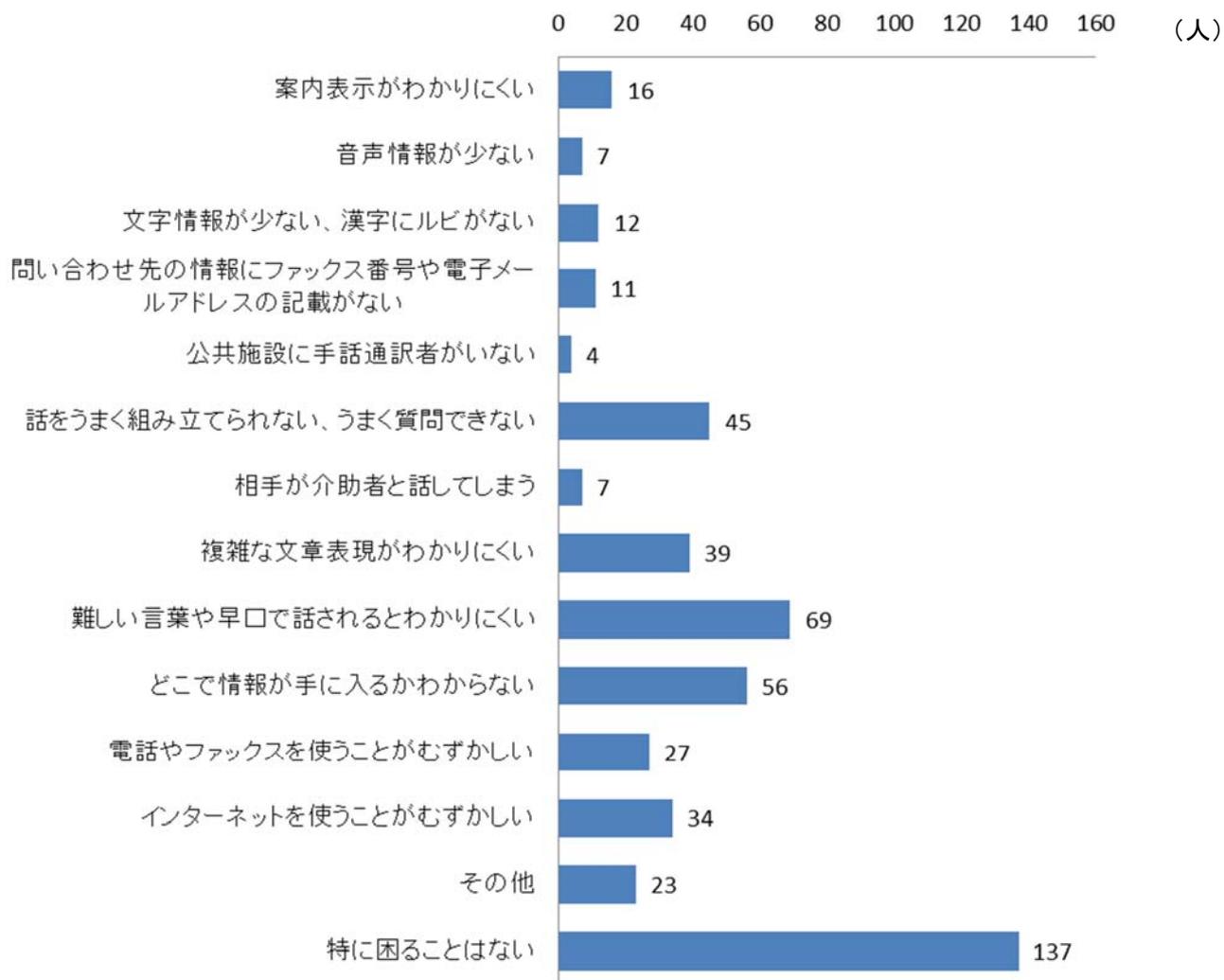
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 市の広報、ホームページ。 (男性・50代・身体) (男性・40代・難病)
- 市のケースワーカー、ケアマネ。 (女性・40代・知的・難病) (女性・80代・身体・難病)
- ケアマネ。ワーカー。薬剤師。 (男性・70代・身体・精神)
- 病院。 (男性・40代・身体) ほか3名
- 施設のスタッフ。 (女性・80代・身体) (男性・40代・身体・知的)

問 41 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困っていることはありますか。
あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 291 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
案内表示がわかりにくい	16	5.5%	10	7	1	1
音声情報が少ない	7	2.4%	4	2	0	2
文字情報が少ない、漢字にルビがない	12	4.1%	9	3	1	2
問い合わせ先の情報にファックス番号や電子メールアドレスの記載がない	11	3.8%	5	3	1	4
公共施設に手話通訳者がいない	4	1.4%	3	1	0	0
話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	45	15.5%	21	10	13	5
相手が介助者と話してしまう	7	2.4%	4	1	1	3
複雑な文章表現がわかりにくい	39	13.4%	18	12	5	5
難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	69	23.7%	37	17	13	8
どこで情報が手に入るかわからない	56	19.2%	25	11	15	10
電話やファックスを使うことがむずかしい	27	9.3%	18	6	1	9
インターネットを使うことがむずかしい	34	11.7%	22	6	1	10
その他	23	7.9%	9	7	4	6
特に困ることはない	137	47.1%	97	13	18	40
無回答	57	-	33	9	7	10

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

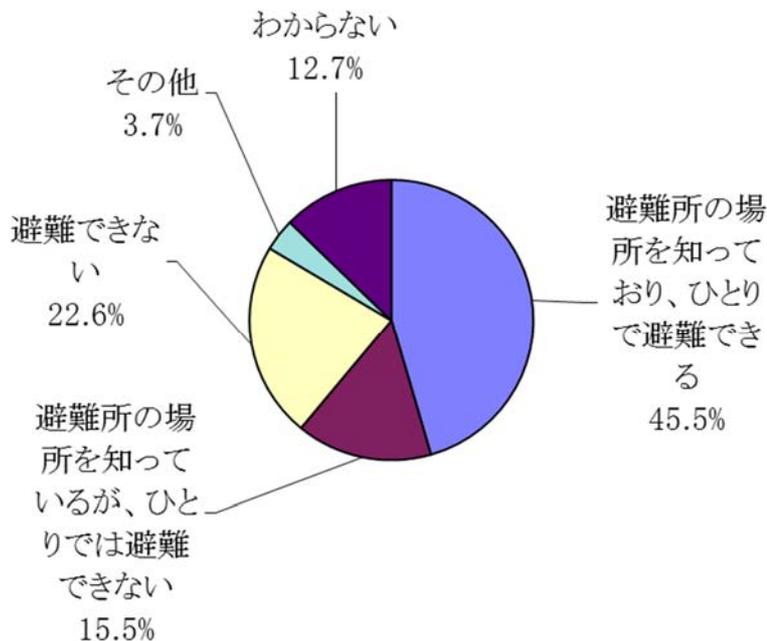
【その他回答の主な内容】

- 書かれている文字が小さくて見にくい。見えない。 (男性・40代・身体)
- 電話番号がのってなくて、eメールのみにしてあるところがあること。 (女性・30代・精神)
- 駅員が少ない。無人駅が多い。 (男性・70代・身体)
- 話す事が、ほとんど出来ない。 (女性・80代・難病)
- コミュニケーションがとれない。 (男性・30代・知的・)ほか4名
- 片耳が聞こえない。 (男性・70代・難病)
- 外出できない。ガイドヘルパー欲しい！！ (女性・40代・知的・難病)

Ⅸ 災害時の対策、緊急時の対応などについて

問 42 あなたは、火事や地震などの災害時にひとりで避難所に避難できますか。

【回答者数 323 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる	147	45.5%	95	12	27	39
避難所の場所を知っているが、ひとりでは避難できない	50	15.5%	34	9	8	11
避難できない	73	22.6%	44	19	4	16
その他	12	3.7%	4	3	5	2
わからない	41	12.7%	23	4	13	9
無回答	25	-	17	3	0	3
合計	348	100.0%	217	50	57	80

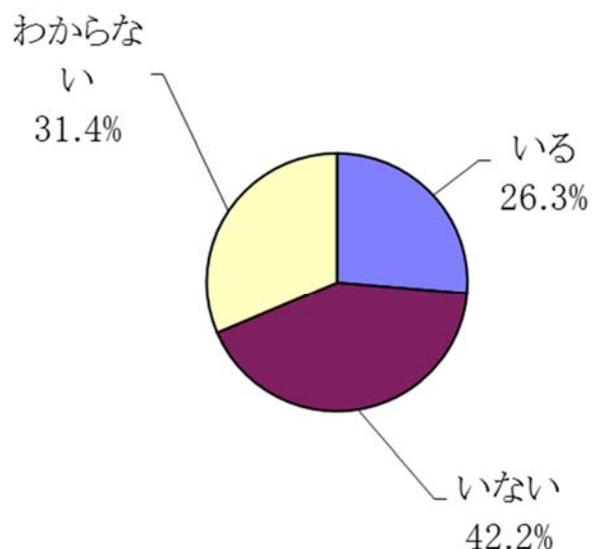
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 避難所がどこにあるか分からない。 (男性・50代・精神) (男性・60代・精神)
- 病院・施設の指示に従う。 (女性・80代・身体・難病) (男性・70代・身体)
- (避難)しないで、自宅にいる又は、自宅に帰る。 (男性・40代・身体・難病)
- 外に出れるが避難所には行けない。 (女性・50代・知的)
- 一人で避難できるが、場所はあまりチェックしていない。少しは知っている。 (女性・30代・精神)
- ゆっくり歩いていくことはできるがスピードが出せない。 (女性・30代・身体)

問 43 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所に助けてくれる人はいますか。

【回答数 315 人】



【障害別回答数】

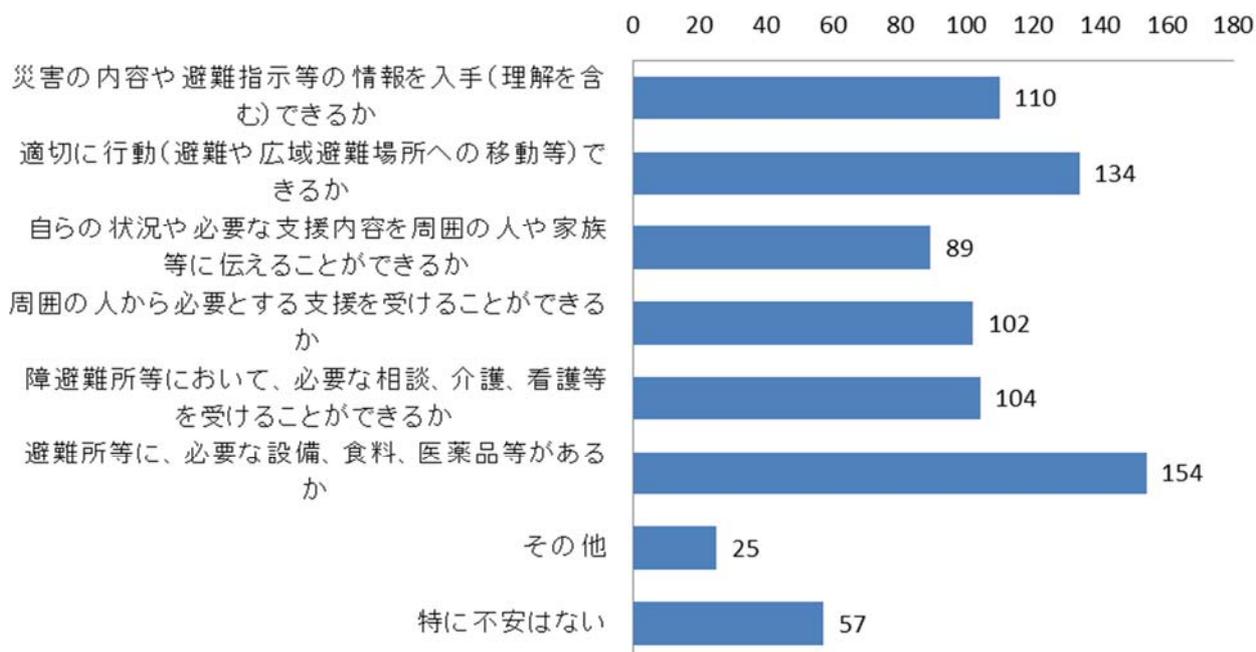
選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
いる	83	26.3%	58	9	12	17
いない	133	42.2%	80	21	29	30
わからない	99	31.4%	60	14	15	26
無回答	33	-	19	6	1	7
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、左の表の回答数と障害別の合計が異なります。

問 44 あなたが、災害時に不安を感じることは、どれですか。○はいくつでも。(複数回答可)

【回答者数 309 人】

(人)



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
災害の内容や避難指示等の情報を入手(理解を含む)できるか	110	35.6%	68	20	23	16
適切に行動(避難や広域避難場所への移動等)できるか	134	43.4%	81	22	27	34
自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができるか	89	28.8%	47	20	19	14
周囲の人から必要とする支援を受けることができるか	102	33.0%	54	21	21	19
障避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか	104	33.7%	63	13	23	29
避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか	154	49.8%	91	21	33	43
その他	25	8.1%	11	4	7	6
特に不安はない	57	18.4%	37	8	9	13
無回答	39	-	25	6	2	6

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

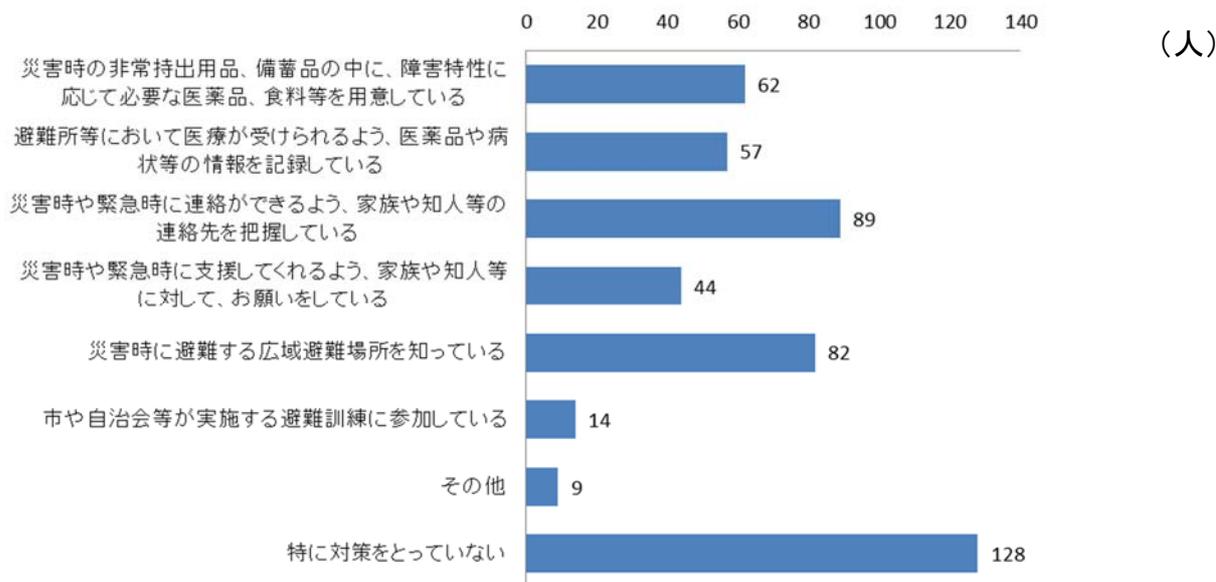
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 薬が手元になくなること。 (男性・30代・精神)
- 薬が無いと、どうなるのかな (いつもの薬)。 (女性・30代・精神)
- 透析をきちんと受けられるか。 (女性・40代・身体・難病)
- 排便等のトイレ。病院でしか手に入らない、点滴や液薬。 (男性・40代・身体・難病)
- 水。 (女性・80代)
- 家の回りからは、車でないと動けない。 (男性・70代・身体・難病)
- 周りの人の理解がない。 (男性・10代・知的)
- 避難所等で、周りの方に障害を理解、許容してもらえるか。 (女性・40代・精神)
- 他の人の迷惑にならないかどうか。 (女性・20代・知的・身体)
- オストメイトの事を理解してもらえるか不安。 (女性・70代・身体)
- 数多くの人達と一緒に何日も暮らせるか。 (男性・30代・精神)
- 睡眠はとれるか。 (女性・50代・精神)
- 家族が無事か、きちんと家族が避難できてるか。 (男性・40代・身体)
- 歩けないので何も出来ない。 (女性・70代)
- 12階マンションから移動できるか？ (男性・70代・難病)
- 透析施設に速やかに行って、受けられるか否か。 (男性・50代・身体・難病)
- 不安かどうか分からない。 (男性・30代・知的)
- 災害が起こってみないとわからない。 (男性・40代・難病)
- 家族がいない場合、何もできない。 (女性・90代・身体)
- どうやって、災害を知るか？すぐに避難できるか？一人暮らしにとっては不安が大きい。 (男性・40代・身体)

問 45 あなたは、災害に備えて、特別な対策をとっていますか。○はいくつでも。(複数回答可)

【回答数 312 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している	62	19.9%	47	6	9	17
避難所等において医療が受けられるよう、医薬品や病状等の情報を記録している	57	18.3%	42	2	7	22
災害時や緊急時に連絡ができるよう、家族や知人等の連絡先を把握している	89	28.5%	62	5	14	29
災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対して、お願いをしている	44	14.1%	29	6	6	13
災害時に避難する広域避難場所を知っている	82	26.3%	51	8	15	24
市や自治会等が実施する避難訓練に参加している	14	4.5%	9	1	3	5
その他	9	2.9%	6	1	1	2
特に対策をとっていない	128	41.0%	74	27	26	26
無回答	36	-	18	8	2	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- サポートファイルを常時持参している。(男性・10代・知的)
- 常時薬は多めに保管している。特に持出用にバックは用意していない。(男性・40代・身体・難病)
- ストーマ装具を1ヶ月分備蓄している。(女性・70代・身体)
- 避難場所への移動方法。(男性・70代・難病)
- 家族で用意していても、その認識を維持できない。(女性・90代・身体)

問 46 今まで、地震などの災害時にあなたが困ったことはどのようなことですか。

【自由記入の主な回答】

【避難について】

- 3. 11の災害の時、自宅に帰れなかった。 (男性・20代・知的)
- 東日本大震災の時、昭和記念公園を散策中、今まで経験したことのない揺れを体験。青梅線の踏切が開かず、目前にある自宅へ帰れなかったこと。 (女性・70代・身体)
- 東日本大震災時に帰宅する交通手段が少なくなってしまった。 (女性・60代・知的)
- 外出先から自宅に戻る時、車椅子なのでエレベーターが止まると5階の自宅まで戻れない。 (女性・80代)
- マンションに住んでいるので、エレベーターが止まってしまうしばらく、家から出る事が出来なくて大変だった。 (女性・20代・身体・知的)
- 歩けないので逃げられない。 (女性・70代)
- 足が悪くて速く歩けない事。 (女性・70代・身体)
- 地震の時の対応。素早い行動が無理。 (男性・80代・難病)
- 急な行動は出来ないので、その時の成り行きに任せる。 (男性・80代・身体)
- 近くの拡声器からの放送が聞こえない。車での移動手段しかない。徒歩は、杖をついているので、不可能です。 (男性・70代・身体・難病)
- 動けないので、有事の際に外部の人が(町内会、消防団)助けに来てくれるかどうか。 (男性・60代・身体・難病)
- 夜時間の避難。 (男性・70代・身体)
- どこに避難するか状況判断出来ない。 (男性・60代・身体)
- 今までは、特に困った事はありません。しかし近頃のニュース等見ていて自分が災害にあった時には、落ち着いて避難所にいることが難しいと思うので、迷惑にならないよう別の場所に(車内など)いないといけないうらうと思っています。 (女性・20代・身体・知的)

【必要な設備、物について】

- 食糧の確保。 (男性・20代・身体)
- 地震によって、ライフラインが停止した場合の備蓄が貧弱なことです。 (男性・40代・身体)
- 停電。 (女性・40代・身体)
- 停電、ガソリン補充、電車混雑、食料不足。精神的不安。 (女性・50代・身体・難病)
- 福島の地震で揺れたが困った事はない。(身体について)車移動が多い為、ガソリンの補給が出来なかった。 (男性・40代・身体・難病)
- トイレ。 (男性・30代・難病)
- 停電の為トイレが使えない！！ (女性・40代・知的・難病)

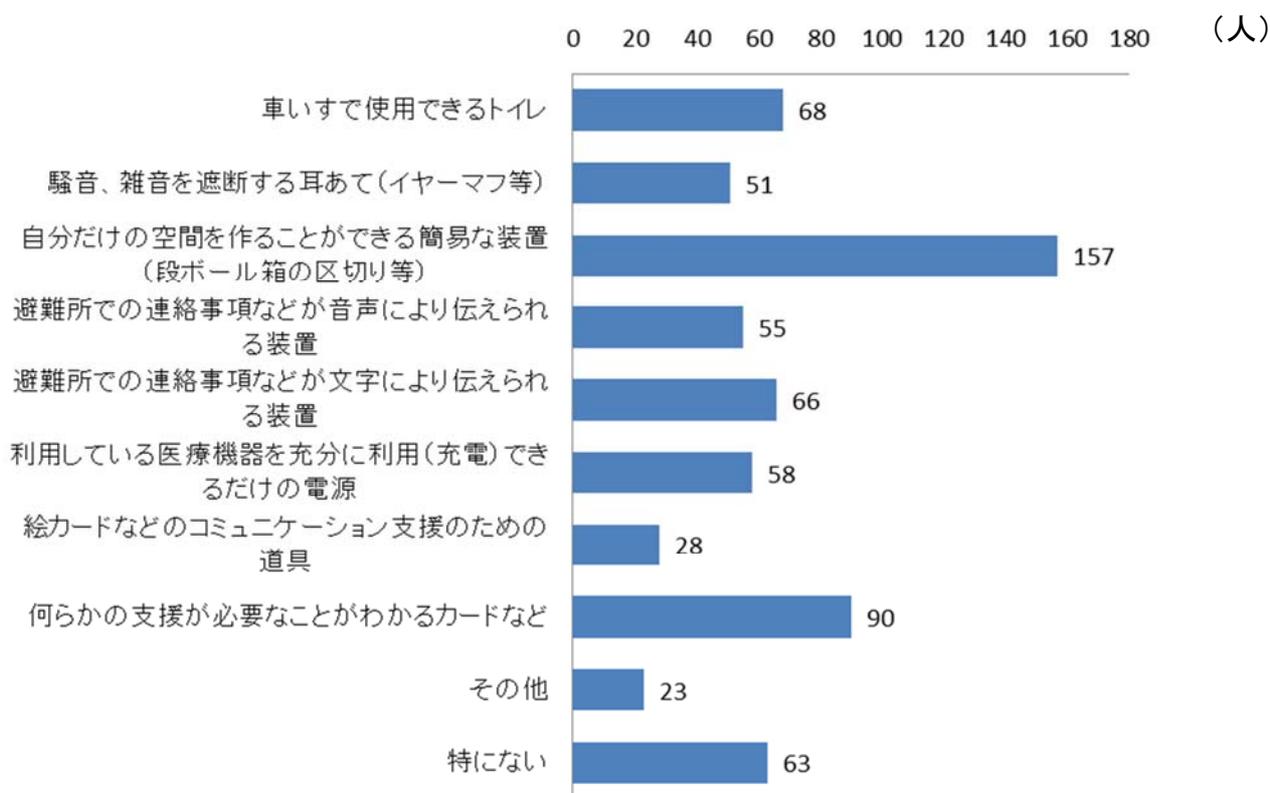
【情報や連絡について】

- 家族と電話連絡が取れなかったこと。 (女性・30代・難病)
- 情報が遅い。 (男性・身体)
- 家族との連絡が取りづらい。外出時は、特に情報の入手が難しい。 (男性・40代・難病)

【その他】

- 怖かった時。 (男性・20代・知的)
- 室内で割れたガラスやコップ等が、見にくく危ない。文字表示が見えない。 (男性・40代・身体)
- 一人で留守番にいる時です。携帯連絡です。 (女性・80代)
- 昼間はいいのですが、夜は補聴器を取って寝るので地震が起きた時は心配です。一人になった時は、夜でも補聴器を入れればなしかと思ったり考えてしまいます。 (女性・70代・身体)
- 隣に火事が起きていないか周囲を確認しに行く必要があった。(声、音が聞こえないため。) (男性・40代・身体)
- たまたまりフォームの最中で、私が二階にいた時、タンスが倒れないように押さえている時に、一階から母が「すぐに下へ降りてらっしゃい！」と何度も言葉をかけられたこと。状況に応じて考えてから言ってえーと、その時に思った経験がある。 (女性・40代・精神)
- 東日本大震災の時ディズニーランドにいたのですが、トイレが全然入れなくて体調がおかしくなる、食べるものがない、天候のせいで寒さにたえられず、震えがとまらず全く動けなくなったこと。幸いホテルをとっていたので休むことはできましたが、液状化のせいでお湯が出ず体は冷えたまま。当人たちは何が起きているか状況がわからないこと。翌日、テレビをつけてようやく大変なことになっているのがわかりました。 (女性・30代・精神)
- 難病発症前だったら困らなかったが、これからどうするか心配。 (男性・70代・難病)
- 怖くて動けなくなってしまう。 (男性・10代・知的)
- 家に家族がいない時にどうすれば良いか心配、今まではない事なので。 (男性・40代・知的)
- 現在に至るまで、それ程、大きな地震等の経験がなく大きな災害になった時、困る事が、たくさんあると思う。 (男性・40代・精神)
- 災害にあったことがないので分からない。 (男性・50代・精神) ほか5名

問 47 避難場所があれば、役に立つ、障害特性に配慮していると思われる物品はありますか。
 (食糧など、長く保存できないものは除いて、お答えください) ○はいくつでも。(複数回答可)
 【回答数 291 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
車いすで使用できるトイレ	68	23.4%	46	6	6	21
騒音、雑音を遮断する耳あて(イヤーマフ等)	51	17.5%	20	11	13	15
自分だけの空間を作ることができる簡易な装置(段ボール箱の区切り等)	157	54.0%	83	26	31	43
避難所での連絡事項などが音声により伝えられる装置	55	18.9%	31	5	9	15
避難所での連絡事項などが文字により伝えられる装置	66	22.7%	39	7	11	16
利用している医療機器を十分に利用(充電)できるだけの電源	58	19.9%	34	5	9	17
絵カードなどのコミュニケーション支援のための道具	28	9.6%	11	12	3	5
何らかの支援が必要なことがわかるカードなど	90	30.9%	55	13	11	26
その他	23	7.9%	15	3	2	12
特にない	63	21.6%	43	9	15	11
無回答	57	-	36	8	7	6

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

【医療や衛生】

- 補聴器の電池。 (男性・20代・身体)
- カテーテル留置の為、交換に来てくれるかどうかの不安。 (男性・60代・身体・難病)
- 車いす/酸素ボンベ/マットレス/医薬品保管できる冷蔵庫→絶対必要だと思います。 (女性・20代・難病)
- マットレス、座いす、手すり、たたくと冷たくなるやつ。 (女性・30代・身体・難病)
- 水を必要としない体拭きやシャンプー。濡れタオルや携帯用アルコール。リハビリパンツやおむつ (子供と大人用)。 (男性・40代・身体・難病)

【トイレや入浴】

- 尿器 (頻尿で夜7~8回トイレに行く為に必要) 眠剤。 (男性・70代・身体・難病)
- 洋式トイレ (和式は使用できない)。 (男性・60代・身体) (女性・90代・身体)
- トイレ、入浴。 (女性・50代・身体・難病)
- オストメイトの為に汎用性装具! オストメイト専用仮設トイレ。装具交換場所確保。入浴設備。 (女性・70代・身体)
- 正座が困難なので、イス、洋式トイレ、つかまり立ちのできる所など。 (女性・60代・身体・難病)

【情報保障】

- 手話のできるボランティア。 (男性・40代・身体)
- ひらがなで書いてある方が良い。 (男性・40代・知的)

【環境】

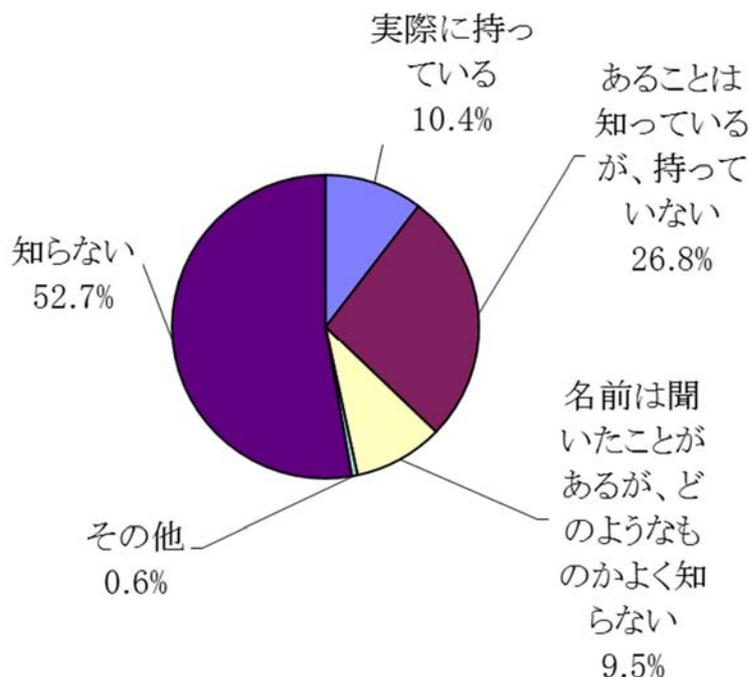
- 気温調節。 (女性・50代・身体・難病)
- 障害者だけの場所。 (男性・20代・知的・難病)
- どんな障害を持っていて、どんな対応が出来るか周囲の人達が理解してくれるか (男性・30代・精神)
- 犬と一緒にいられる。 (女性・70代)

【その他】

- 何が用意してあるのか分からない。 (女性・80代・身体・難病)
- 利用したことがないので分からない。 (男性・80代・身体)
- 私には良く分かっていません。 (女性・60代・難病)

問 48 立川市では、障害のある人が災害のときや日常生活の中で困ったときに、まわりの人に自分の障害への理解や支援を求める際に利用できるよう、緊急連絡先や必要な支援内容などを書いておける「ヘルプカード」を配布しています。あなたは、この「ヘルプカード」のことを知っていますか。

【回答者数 328 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
実際に持っている	34	10.4%	15	11	11	5
あることは知っているが、持っていない	88	26.8%	56	13	14	27
名前は聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	31	9.5%	19	7	4	10
その他	2	0.6%	2	0	0	2
知らない	173	52.7%	113	18	28	33
無回答	20	-	12	1	0	3
合計	348	100.0%	217	50	57	80

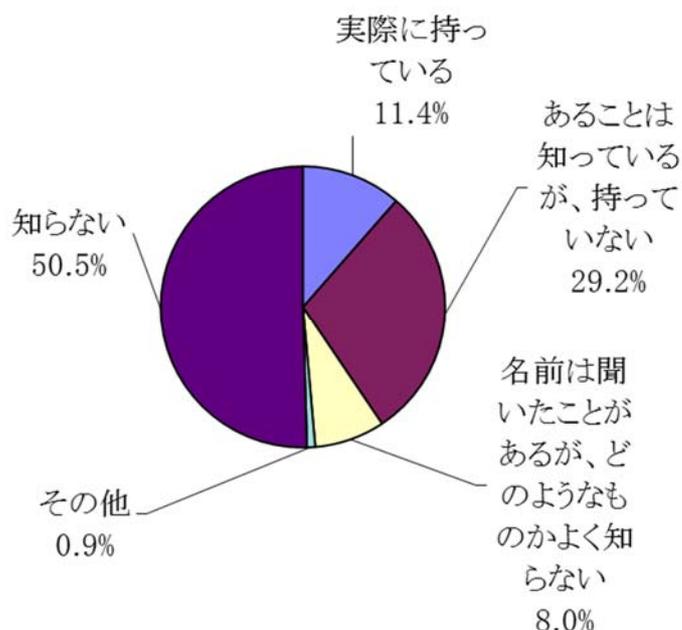
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 欲しい。(知らなかった。) (女性・40代・身体・難病)
- 入院中なので持っていない。(女性・80代・身体・難病)

問 49 東京都では、援助や配慮を必要としている方(障害のある人、難病の人、妊娠初期の人など)が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、電車・バスの中で優先席に座りやすくしたり、商業施設等で援助を得やすくなるよう、「ヘルプマーク」を配布しています。あなたは、この「ヘルプマーク」のことを知っていますか。

【回答者数 325 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
実際に持っている	37	11.4%	21	11	8	7
あることは知っているが、持っていない	95	29.2%	54	14	18	28
名前は聞いたことがあるが、どのようなものかよく知らない	26	8.0%	17	4	2	7
その他	3	0.9%	0	1	1	1
知らない	164	50.5%	111	18	27	32
無回答	23	-	14	2	1	5
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

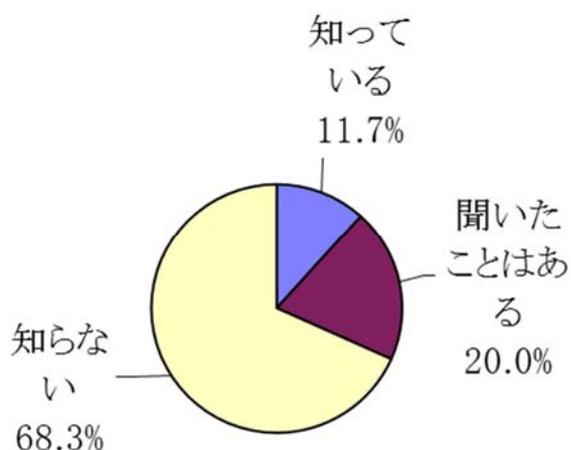
【その他回答の主な内容】

- 知っているが、どういうサービスか分からない。(女性・20代・知的)
- もらいに行ったが、在庫がないと言われた(立川市役所にて)。(女性・20代・難病)
- 知っていて取得したいが、乗り物に弱く電車で座れないのが苦痛で外出が辛いので、取得したいと家族に言ったところ、「中央線ではたしてどのぐらいの人がそんなことに気を使うか」と言われ、結局座れないのだとあきらめて取得せず。外出への希望のようなものは全くありません。(女性・30代・精神)

X 差別や権利擁護のことについて

問 50 平成28年4月から障害者差別解消法が施行されています。あなたは、この法律のことを知っていますか。

【回答数 325 人】



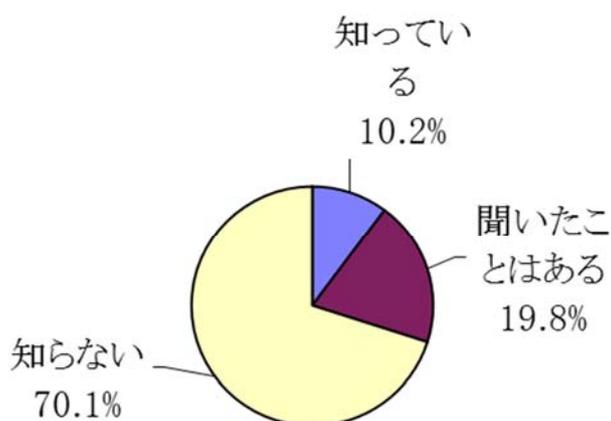
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	38	11.7%	26	8	4	8
聞いたことはある	65	20.0%	41	9	12	20
知らない	222	68.3%	139	29	40	49
無回答	23	-	11	4	1	3
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 51 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

【回答数 324 人】



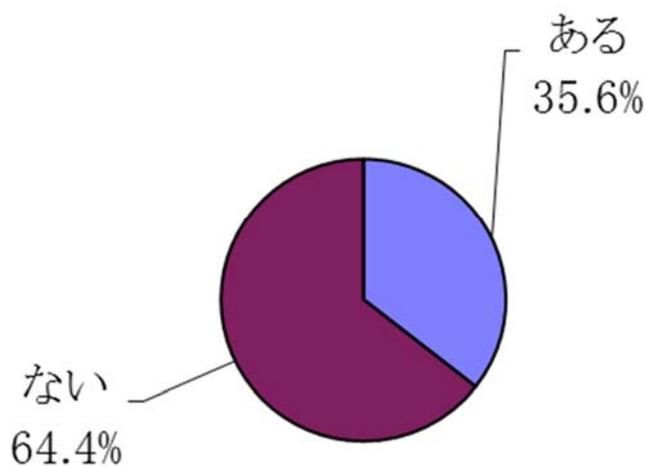
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	33	10.2%	21	7	6	6
聞いたことはある	64	19.8%	43	11	5	21
知らない	227	70.1%	140	27	45	49
無回答	24	-	13	5	1	4
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 52 あなたは、差別をされたと感じたことがありますか。

【回答者数 298 人】



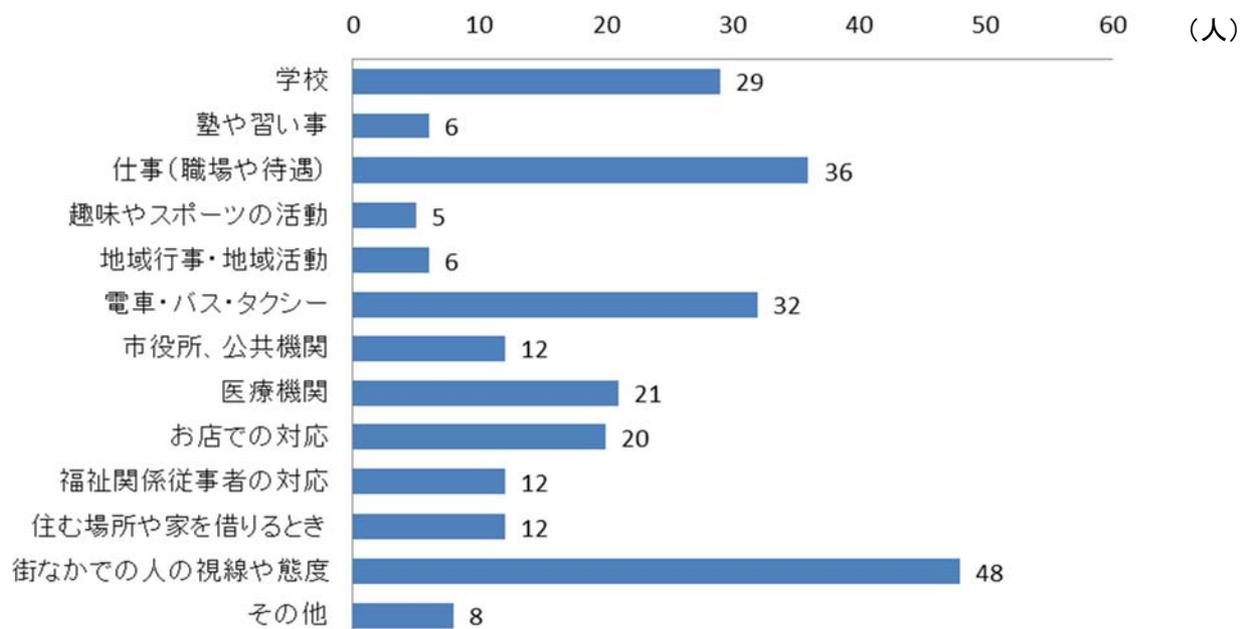
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
ある	106	35.6%	54	22	25	31
ない	192	64.4%	131	21	30	45
無回答	50	-	32	7	2	4
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 52-1 「差別をされたと感じたことがある方」(問 52 で1と答えた方)にお聞きします。
 あなたが差別をされた(他の人とは違う扱いをされた)と感じたのはどんな場所や場面でしたか。
 あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 105 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
学校	29	27.6%	10	10	8	7
塾や習い事	6	5.7%	3	3	0	2
仕事(職場や待遇)	36	34.3%	17	6	13	9
趣味やスポーツの活動	5	4.8%	1	3	1	2
地域行事・地域活動	6	5.7%	3	4	0	2
電車・バス・タクシー	32	30.5%	21	5	6	14
市役所、公共機関	12	11.4%	7	2	4	4
医療機関	21	20.0%	9	5	8	6
お店での対応	20	19.0%	10	5	4	8
福祉関係従事者の対応	12	11.4%	4	3	3	4
住む場所や家を借りるとき	12	11.4%	5	4	3	3
街なかでの人の視線や態度	48	45.7%	31	14	4	15
その他	8	7.6%	5	3	0	1
無回答	1	-	0	0	0	1

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 階段の登り下りが遅い為。 (男性・60代・身体・難病)
- 歩道。 (女性・80代・身体)
- ツアー旅行。 (女性・50代・身体)
- 幼稚園。 (女性・0代・知的)
- 病院では、差別されます。 (男性・40代・身体)

問 52-2 「差別をされたと感じたことがある方」(問 52 で1と答えた方)にお聞きします。あなたが差別をされたと感じたのはどんなことでしたか。差し支えない範囲でご記入ください。

【自由記入の主な回答】

【地域】

- 手が自然に動いてしまう。声が少し出てしまう。そんな時迷惑そうな顔をされる。 (男性・20代・知的)
- セキが出る病気なのでイヤな顔をされる。差別とは、思わないが、仕方ないことと思うが、公共の交通機関は利用しにくい。 (女性・50代・身体・難病)
- 自分だけ違った行動をしているから、人からの視線を感じる。デパート、駅、スーパー等。 (男性・70代・身体・難病)
- 幼い子が、振り返り見る。 (女性・40代・身体・難病)
- 自転車に乗っている時、ジロジローと、顔を見られ、嫌な思いをする時が時々ある。 (男性・40代・知的)
- 薄笑いで振り返ってみる。(50年以上前の事) (女性・60代・精神)
- 耳が聞こえないと伝えても、耳が聞こえるのは、当然とされてしまう。つまり耳が聞こえる事の意味が分からない。 (男性・60代・身体)
- お店等で手帳を提示したりした時に、冷たい態度をとられる事が有る。周りの目も気になるので持っていてあまり手帳を出したくない。 (男性・20代・精神)
- 年齢が若いのに動けないの！ 若いくせに、でも私は、60才過ぎてます。70, 80, 90才の方に言われる事。 (女性・60代・身体)
- 言葉が上手く話せない為に、お店で無視されたりした。 (女性・60代・精神)
- 大きな声が出てしまう時があり、道行く人によく振り返られる。差別と言うか、見た目が何でもないので、誤解を受けやすい。 (男性・0代・知的)
- 街中や公園などの場所で、ジロジロ見られる事が多くまた、その場所にいるのにいないかのような接し方をされると差別をされたと感じます。 (女性・20代・知的・身体)
- ゆっくり歩いていたら舌打ちされた。足が不自由なことをじーっと見られている気がした。 (女性・30代・身体)

【交通】

- 駅のエレベーターがない階段を登り下りする時、膝がうまく曲がらない為遅くなるので、後ろの人達が迷惑そうな顔をする。
(男性・60代・身体・難病)
- 白杖を持って歩いていると 一人の場合特に目が見えるのではとか その杖は、足が悪い為のものですか等の声。
(女性・70代・身体・難病)
- 障害者手帳を提示して、割引を受ける時、嫌な顔をされる事は、わりと多い。
(女性・50代・身体・難病)
- バスの行先、表示が見えません。運転手が「〇〇行きです。」と言った声が聞きづらかったので、さっさと乗れませんでした。すると、降車の時に、「何で、すぐに乗ろうとしなかったのですか。」と怒られました。
(女性・60代・身体)
- 見た目は、まだ若いので、杖をついてバスの優先席に座っていても若いから立てと言われたことがあった。見た目で見分かってもらえず、ジロジロ白い目で見られる事が多々ある。
(女性・30代・身体・難病)
- スカイツリーに行った時、車椅子が男性の連れの女の方にちょっと当たって、押している妻が、すみませんと謝ったら、女の連れの男の人がすごく大きな声で「車椅子は、殺人の道具にもなる。」からと混雑するエレベーターの中で長々と言われる時は、悪かったとは、思っても身のちじむ思いでした。
(男性・60代・身体・難病)
- バスに乗車しようとした時に、時間がないから早くしてくれ。他の客もいるんだからと乗車を急がされた。
(男性・20代・身体・難病)
- エレベーターに乗ろうとしたら、「普通の人が使うエレベーターでなく優先と書いてあるのに乗れ」と言われた（先に乗っていた乗客から）。
(女性・60代・身体)
- タクシーでトランクに入る荷物なのに、荷物が多いと断られた。
(男性・50代・身体・難病)
- バスで満員の中、降りる際に、降りられなかった時、声を発しても運転手には届かずそのまま発車してしまった。又、通訳者を介しても相手に上手く伝わらず、結果的に相手は、私に対して軽率な目で見られてしまったこと。私が悪いのか、通訳者が悪いのか、その時は、分からず、後味悪い思いをした。
(男性・40代・身体)
- 公共の交通機関は、利用しにくい。
(女性・50代・身体・難病)
- 作業所に通う時に利用しているバスで、障害者手帳を見せる時に、バカにした様な態度を受ける。
(男性・40代・精神)

【就労】

- 学校、仕事に行けないのは悪いことだと皆が思っていること。行くと体調が悪かったり出勤に間に合わない日があっても許されず、上司にブチ切れられた事。仕事量や後輩のミスなど全て自分がやっていて、おそらく自分がいないと会社も大変な事になる状況で、別の病気にかかってその説明もしたけれど、簡単に言うと「仕事に来る奴は違い、来ないとか遅刻する奴は会社辞めろ」と言われた事。仕事が人一倍できて健康に通えなければ社会に居場所はないと良くわかって私が社会でできることは何もなかった。
(女性・30代・精神)
- 私は今年の12月16日で70歳ですが、〇〇社に勤務している時に差別をされました。私にもできる仕事があるのに仕事をさせなかったです。管理者が。
(男性・60代・精神)

- ①障害をオープンにすると、簡単なバイトでも不採用になる。②工作中不調で休むと周囲が一気に冷たい目線になる。③障害者枠の求人が少なすぎる。 (男性・30代・精神)
- 前もって障害者枠で採用されたが、そこまで同部署の人が障害に対して理解してもらっていないと感じた。もっと働きたいのに、時間上限がある。 (男性・30代・精神)
- 病気のことを分かって働かせてあげてるんだからと言って、一般の時給より安く働いていたことがある。 (女性・40代・精神)
- 仕事場でプライバシーを周囲にもらされた。 (女性・50代・精神)
- 内臓の為、体調について理解されにくい。知っていても、気づかいされて、何もやらしてもらえない。行動して止められる。仕事をしないと、自立した生活は、出来ない。現状は両親が働いているので、困難なく生活できている。入院するリスクがあるので、雇用されにくい。 (男性・40代・身体・難病)
- 職場で上司に、はれ物に触るような扱い方を受けた。三障害の中でも精神だけない補助、給付金などが多い。 (女性・40代・精神)
- 障害者枠で採用したにもかかわらず、会社側で私の障害・疾患等についてきちんと事前に調べることをしておらず、私の自己申告がなかったと言われたが、採用する側としてきちんと対象者について調べることをしないのは差別です。まして、障害者として雇うのであれば当然雇用側として調べる責任があるはず。 (女性・20代・身体)
- 病気になった途端、雇ってもらいにくくなった。 (女性・20代・難病)
- 1. いじめ、2. 理解不足 (アルバイト) (男性・20代・精神)
- 難聴者だという前提で雇用されたのに、理解しようとしなない職員がいる。聞こえないとあからさまに嫌な顔をされたり、上から目線でキツイ態度を取る人がいる。 (女性・50代・身体)

【医療・福祉】

- 医師（精神科）が入院の際、君は、一週間で退院させるとウソをついて。 (男性・70代・精神)
- 医師による治療処置が簡易的だった。歯科医から、一般治療でも2段階あると聞いた。薬をジェネリックに処方される。 (女性・50代・精神)
- 多目的トイレ（オストメイト対応トイレ）に入る時、出てきた時、冷たい視線で、睨まれた。処方箋薬局で、オストメイトになった話をした時、心ない言葉をかけられた。健康診断で、医師に不用な診察を受けた。看護師から冷たい視線を受けた。 (女性・70代・身体)
- ショートステイ中、常時いる方と扱われ方が違うと感じた。「短い期間だから適当で良い・・・」と言う風を感じた。 (女性・80代・身体)
- 病院で、冷たい態度にふれる事が有る。 (男性・40代・精神)
- 障害は関係ないが、そのせいでなった生活保護である事で、医院とか断られたりした。部屋を借りる時、グループホームをやっている人に助けてもらわなければ（こういう事は出来る、と言う説明）、多分OKをくれなかったと思う事。 (女性・30代・精神)
- 予約してあったのに、一時間以上待たされ、本人が理由を確認しているのに本人には、説明がなく、同行者にお詫びをしていた。(医療機関、美容室) (女性・60代・身体)

【教育】

- 実力はある。特に問題はない感じだったが、クラスを別にされた事がある（小・中）。ただし高校からは無い。 (男性・20代・身体)
- 『PTAで「障害者」こっちに来て』と知人に言われました。 (女性・60代・無回答)
- ダウン症児を年中から幼稚園入園させたいと思い、多くの園へ電話したが、障害名のみでほとんどの園から断られました。〇〇園は、ずっと入園に前向きな返答だった為、入園前の一年間、入園条件とされたプレに週二日妹と通わせましたが、秋になっても入園保留との返答。理由もはっきりせず弁護士会へ電話で相談し、その旨を伝えるとやっと園長と面談でき、結局「受け入れたことがなく心配」の様な理由で入園を断られました。 (女性・0代・知的)
- 小学校2年からの特別支援学級に移るまでは、通常級の校長先生に言われた言葉は、これからの自分の子の為に言っているのだと思っても家族からしてみれば納得いかない事もありました。思いやり、優しさなどが、伝わればもっと、受け止め方も違ったのではないかと感じました。 (男性・10代・知的)
- 随分前の話ですが、体育教師に障害のことを話しても健常者と同じ扱いをされ何十日間も寝込みました。 (男性・40代・身体)

【その他】

- 立川市役所 福祉課窓口で手続きの時、高圧的に言われた。 (女性・70代・身体)
- どこにでも視線をしてる。障害だから、いつも見られてる。 (男性・40代・身体)
- いじめ。 (男性・20代・知的)
- ディケアを増やした方がいい。 (男性・50代・身体・精神)
- 見ため。 (男性・40代・身体)
- 身体障害者とは、思われてなかった。 (女性・80代・身体)
- あなたは、障害者手帳は、いらないでしょうと言われた事が有ります。 (女性・70代・身体)
- 車イスの方は介助者と参加してくださいと言われた。 (女性・50代・身体)

問 53 あなたが体験した「気づかいや思いやりを感じる対応」についてお聞かせください。

【自由記入の主な回答】

【地域】

- 道をゆずってもらおう。 (女性・0代・知的・身体)
- ドアを開けてもらえた。 (女性・50代・身体)
- 具体的にどうこうは無いが、近所の方は皆やさしい。 (男性・20代・知的)
- 横断歩道を歩行中に動きが遅いにもかかわらず、交差点内に入って来た左右の車両が渡り切るまで待って下さったことです。 (男性・50代・身体)
- 車イスでいると気をつかってくれること。 (女性・60代・身体)
- 階段の昇降の際手を差し延べてくれた。エレベーターのボタンを押してくれた。 (男性・40代・身体)
- 障害だとハッキリわかる少し前（初めて具合が悪くなった時）、大丈夫？具合が悪いのなら、すぐに帰ってもいいわよ、とうながしてくれた事。信号を渡る時に、大丈夫ですか？手を貸しましょうか？と言って、私の腕を支えて信号を渡らせてくれた事。 (女性・40代・精神)
- 駅にエレベーターを増やした方がいい。 (男性・50代・身体・精神)
- エレベーターで、同乗した、見知らぬ方に、ボタンを押してもらった。とても自然に会話をしながらやって下さった。 (女性・60代・身体)
- 段差のある所で、手をつないでくれる。声をかけてくれる。 (女性・50代・知的)
- 最近筆談してくれる人が、ぼつりぼつりと出てきた。 (男性・60代・身体)
- 買物をしている時、スーパーの袋に入れようとしても、なかなか入れられない事が有り、そんな時、何気なく手を貸して下さる方々がいらっしゃいます。とっても有難くうれしく思います。優しさだと思います。 (女性・60代・難病)
- 優しくわかりやすく説明してもらおうと、質問しやすくなる。そっけない対応だと弱者として萎縮してしまう。 (女性・60代・難病)
- 買物中「困った事ありませんか？」と声をかけてくれる。 (男性・70代・身体)
- 公園などで、歩く練習をしている時、道を譲ってもらったりした。 (男性・60代・身体)
- 飲食店で、メニューの説明や、店内の段差を教えていただいた時。バスや電車で声掛けをされ、座席を譲って下さったり、誘導して下さったりした事 (男性・40代・身体)
- 少し小さめの店だったが、障害物を広めにどかして(テーブルや置物)快く入店をさせてもらった。 (男性・20代・身体・難病)
- 自動ドアでない入口の時に扉を抑えてもらえた時。 (女性・60代・身体)
- エレベーターや歩行時に。 (男性・70代・難病)
- 何処に行っても難聴で大きな声で話して下さいと言っていますので、相手方が大きな声で話して下さいますので助かっています。 (女性・70代・身体)
- 補聴器を着用すれば障害のない方々と同じように生活出来るので、周りの方々と同じように接してくれていること。 (男性・20代・身体)
- 難聴を理解しようとしてくれる人は、大きな声でゆっくりわかりやすく話してくれる。聞こえなかったりしても嫌な顔をしない。 (女性・50代・身体)

- 「耳が聞こえない」と言った時点で、嫌な顔をせず、筆談で対応してくれたこと。→ビックリしない。他の人に回さず、自ら対応してくれると嬉しい。(男性・40代・身体)
- マンションでのエレベーター点検の時、一度その時にいつも出掛ける時間と一緒に重なりエレベーターが使えず大変だったのを見ていて下さり、それ以降は、時間を少し遅めの設定にして下さり、出掛けるのを確認してから点検して下さいようになりました。そんな時、思いやりを感じます。(女性・20代・知的・身体)

【交通】

- 電車で何度も席を譲っていただきました。とてもありがたかったです。(女性・80代・身体・難病)
- 海外旅行をした時に飛行機等の座席の配慮を添乗員さんにしてもらった。(女性・50代・身体・難病)
- 電車でヘルプマークに気づいて席を譲ってくれた。(女性・40代・精神)
- 杖を持っていますが、時々席を譲ってくださる方がいて助かっています。特に60代になって、白髪になってきてから、外見からもわかるようになり、気遣いを感じるようになりました。(女性・60代・身体・難病)
- バスに乗って、杖を持っていると、若い方でもよく席を譲る。声をかけてくださる。タクシーの運転手さんもよく気をつけてくれる。(女性・80代・身体)
- 高齢者やハンディがある方への席ゆずり。盲人の方を安全に道案内(目的地まで)車椅子の方へ道を譲る。(女性・10代・難病)
- 乗り物に乗った時、立ってられない時に、席を譲ってもらって、嬉しかったです。(女性・70代・身体)
- 私は、足が悪い為、席を譲ってもらえたりする時に思いやりを感じます。(女性・40代・身体)
- 電車で障害があることを口にしたら、ゆっくりおりにて時間かせぎをしてくれた高校生がいました。(女性・30代・身体)

【就労】

- 体調が悪くなったらサポートするから、仕事に来なさいと言ってくれた人がいたこと。(女性・30代・精神)
- 仕事財団の実習型の雇用。もっと拡充すべき！(男性・30代・精神)
- 職場では、話をよく聞いてもらいうれしいです。(男性・40代・知的)
- 時間(勤務)に上限がある。(男性・30代・精神)
- 現役時代に精神障害になって入退院をして、仕事に復職した際、業務内容にストレスを感じなかった。(男性・60代・身体)

【医療・福祉】

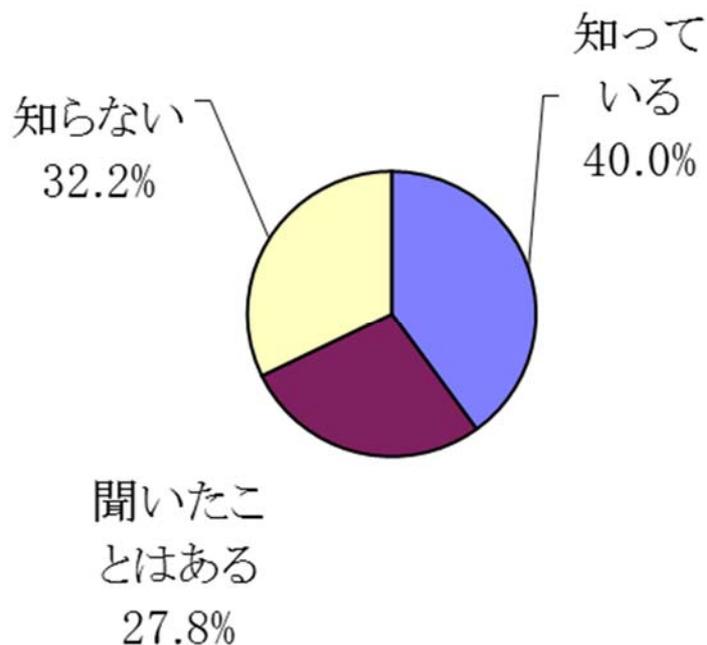
- 入院している病院の看護師が良くしてくれる。 (女性・80代・身体・難病)
- 通院して精神科のスタッフがやさしい。薬局で薬をもらう時「精神科」とは言われず「〇〇Dr.のお薬ですね。」と、まわりの方への対応に感謝しています。 (女性・50代・精神)
- 何気ない言葉やさりげない行動。「朝になりましたからカーテンをあけ、日光を入れましょうね」 (女性・60代・身体)
- 毎月理髪サービスを受けるのですが、初めの頃、本人の緊張が強かったりした時も色々工夫して散髪して下さった理髪師の方が今も続けて下さっていること。通所先で、スタッフや看護師さん達が、食事の事や体調の事を丁寧に説明して下さったり対応して下さること。(男性・40代・知的・身体)
- 透析の通院に送迎があり、食事をして帰宅して助かっています。 (女性・70代・身体)

【その他】

- 私は、内部障害の為、見た目は、普通なため、体験はありません。 (女性・50代・身体・難病)
- 何を求めているか常に注意し自分でできる範囲で行動するように心掛けている。 (男性・70代・身体)
- 子供なので・・・少しの成長も他の子以上に喜んでくれた事。 (女性・0代・知的)
- ティッシュボックスが、そっと置いてあったり、使うタオル等がいつもキッチンとたたんであったり。手が少し不自由なので、そういうちょっとしたことが嬉しい。 (女性・80代・身体)
- 普通に人としてよくある事は多々ある。私は、見た目障害があると分からないので特に気づかいされない。 (女性・30代・精神)
- 精神障害者を障害者としての扱いをいろいろな面でされていない。 (男性・50代・精神)
- そのままの自分を受け入れてくれた時。 (男性・20代・精神)
- とある店で、とあるスタッフさんに「わがままな頼み」を伝え、それにこたえてくれる対応をしてくれた事。 (男性・30代・知的)
- 難聴度申請の為、市役所に行った時の事。係りの(女性)方が、とても親切に説明して下さって感謝してます。 (女性・70代・身体)

問 54 成年後見制度とは、判断能力が不十分なために財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように法律面や生活面で支援する制度です。あなたは、成年後見制度を知っていますか。

【回答数 320 人】



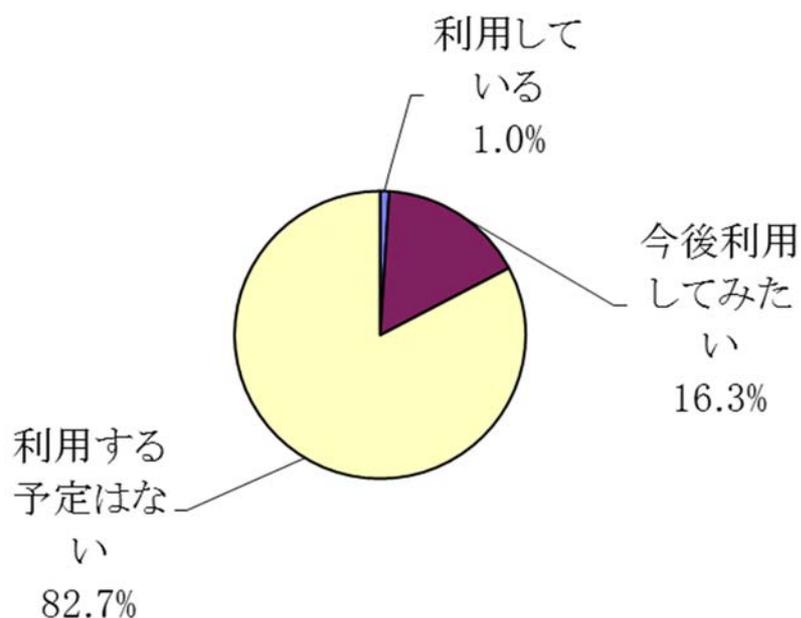
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
知っている	128	40.0%	87	14	15	42
聞いたことはある	89	27.8%	60	14	16	20
知らない	103	32.2%	55	19	25	10
無回答	28	-	15	3	1	8
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 55 成年後見制度を利用したいですか。

【回答数 301 人】



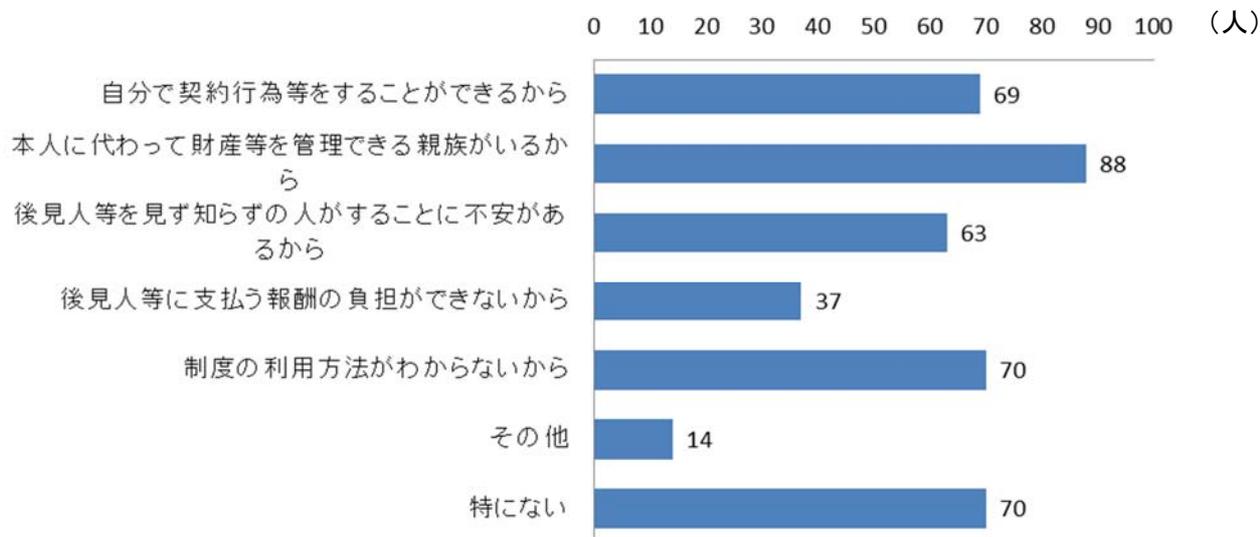
【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
利用している	3	1.0%	2	0	2	0
今後利用してみたい	49	16.3%	22	17	10	11
利用する予定はない	249	82.7%	167	28	39	56
無回答	47	-	26	5	6	13
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

問 56 成年後見制度の利用にあたり不安に感じること、または利用しない理由はどれですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 290 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
自分で契約行為等ができるから	69	23.8%	47	3	13	21
本人に代わって財産等を管理できる親族がいるから	88	30.3%	65	12	7	15
後見人等を見ず知らずの人がすることに不安があるから	63	21.7%	33	12	15	12
後見人等に支払う報酬の負担ができないから	37	12.8%	19	7	8	8
制度の利用方法がわからないから	70	24.1%	37	14	20	14
その他	14	4.8%	5	5	2	6
特にない	70	24.1%	44	13	11	15
無回答	58	-	37	4	7	13

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

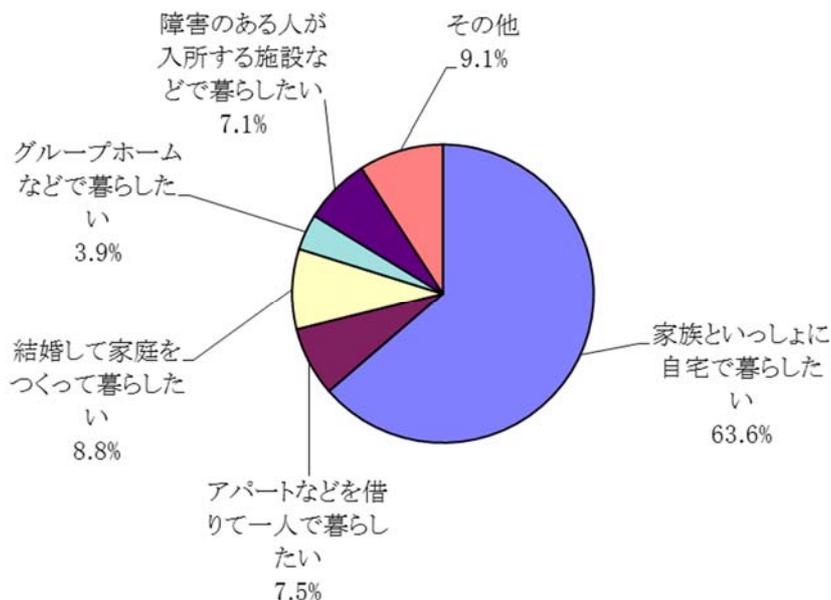
【その他回答の主な内容】

- 横領の心配は、どうしてもある。(男性・10代・知的)
- 知人が利用していて、財産をほとんど持って行かれたのを見ていたから。(男性・30代・精神)
- 信用できない。(男性・20代・知的・難病)
- 財産がないから。(女性・80代・身体・難病) (女性・70代・身体)
- 家族で自由に使用できない。(男性・40代・身体・難病)
- 面倒くさいと聞いている。報告等。(男性・60代・身体・難病)
- 手続きが、複雑すぎて困惑している。(男性・70代・身体・難病)
- まだよくわからない。今後、内容を知りたいと思う。(女性・40代・精神)
- 使ったことがないので分からない。(女性・80代) (男性・30代・知的)

XI 将来の希望などについて

問 57 あなたは、今後、どのような暮らしをしたいと思いますか。

【回答数 308 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
家族といっしょに自宅で暮らしたい	196	63.6%	140	19	27	47
アパートなどを借りて一人で暮らしたい	23	7.5%	10	3	11	3
結婚して家庭をつくって暮らしたい	27	8.8%	9	5	10	5
グループホームなどで暮らしたい	12	3.9%	3	8	0	4
障害のある人が入所する施設などで暮らしたい	22	7.1%	16	6	2	7
その他	28	9.1%	15	5	4	5
無回答	40	-	24	4	3	9
合計	348	100.0%	217	50	57	80

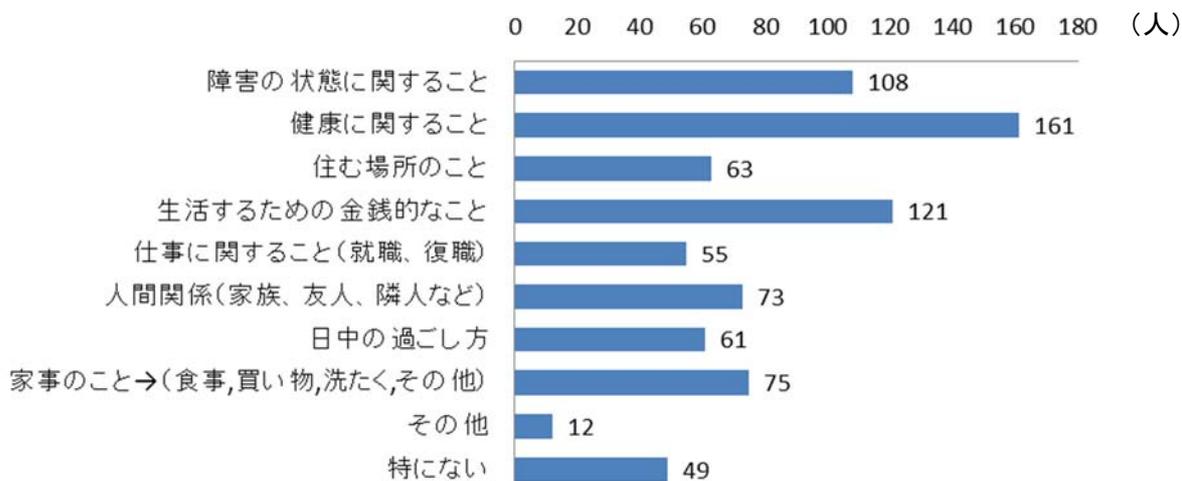
* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

【その他回答の主な内容】

- 独り暮らしなので、困った時に助けてくれる人がいる暮らしをしたい。 (男性・50代・精神)
- 両親が元気の間は、家族と、その後はグループホーム。 (男性・40代・知的)
- 介護付きの高齢者住宅。 (男性・60代・身体)
- 現状維持。 (男性・50代・身体) (男性・80代・知的・身体)
- 無理して長生きしたくない。仕事をしないで暮らしたい。 (男性・40代・身体・難病)
- 自宅で最後まで暮らす。 (女性・70代・身体・難病)
- 特養にしながら、時々、家族と外出したい。 (女性・80代・身体)

問 57-1 問 57 のような暮らしをするには、どのようなことが心配ですか。あてはまるものすべて。
(複数回答可)

【回答数 311 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
障害の状態に関すること	108	34.7%	73	12	20	28
健康に関すること	161	51.8%	102	13	30	43
住む場所のこと	63	20.3%	32	15	12	12
生活するための金銭的なこと	121	38.9%	64	19	30	30
仕事に関すること(就職、復職)	55	17.7%	19	15	22	9
人間関係(家族、友人、隣人など)	73	23.5%	31	12	25	13
日中の過ごし方	61	19.6%	34	12	14	14
家事のこと →(食事、買い物、洗たく、その他)	75	24.1%	38	12	21	21
その他	12	3.9%	5	4	3	2
特にない	49	15.8%	36	6	3	10
無回答	37	-	22	5	4	8

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

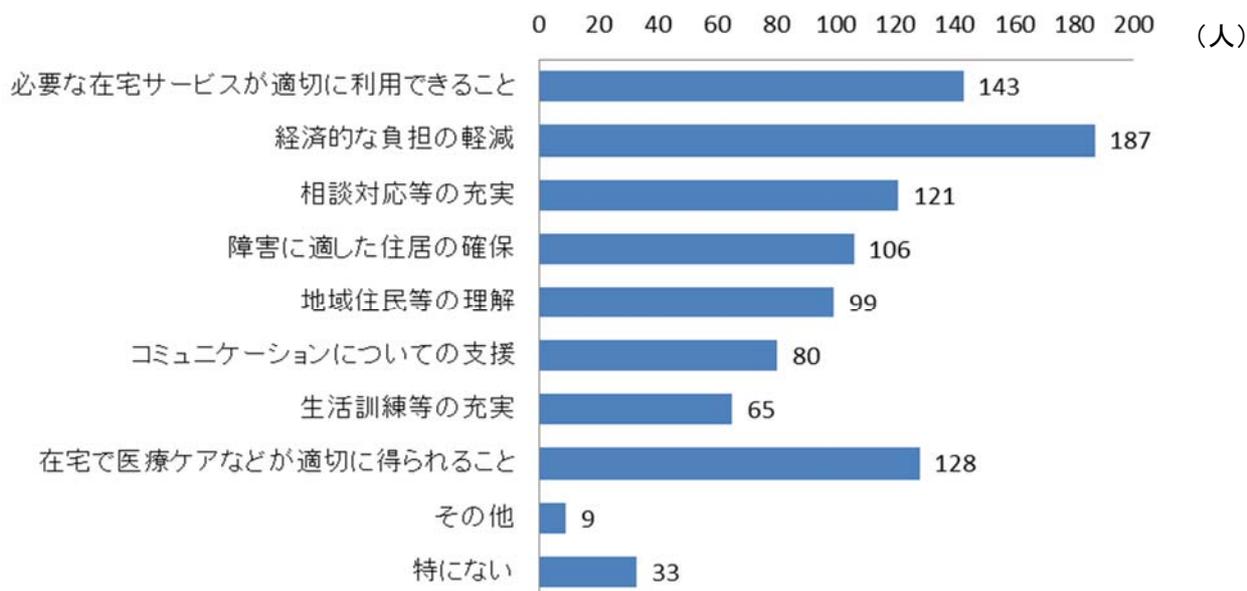
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 法律。 (男性・30代・精神)
- 家族に迷惑をかけたくない。 (男性・80代・身体)
- 相手が見つからない。 (女性・40代・精神)
- 家で出来る仕事とか、結婚する人生としない人生とか、共働きの人生とか等考えて悩んでいる。 (女性・40代・精神)
- 入浴。 (女性・40代・身体)
- 施設が足りない。 (男性・20代・知的・難病)
- 専用の事業、法人の充実。いつ、体調不良(入院)するか分からない。安定した仕事が難しい。 (男性・40代・身体・難病)

問 58 障害のある人が地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 310 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
必要な在宅サービスが適切に利用できること	143	46.1%	99	16	19	40
経済的な負担の軽減	187	60.3%	109	26	36	49
相談対応等の充実	121	39.0%	61	16	33	28
障害に適した住居の確保	106	34.2%	64	15	16	29
地域住民等の理解	99	31.9%	55	19	21	25
コミュニケーションについての支援	80	25.8%	41	18	18	16
生活訓練等の充実	65	21.0%	35	13	12	18
在宅で医療ケアなどが適切に得られること	128	41.3%	87	8	15	42
その他	9	2.9%	3	4	1	4
特にない	33	10.6%	27	3	4	4
無回答	38	-	21	5	2	7

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

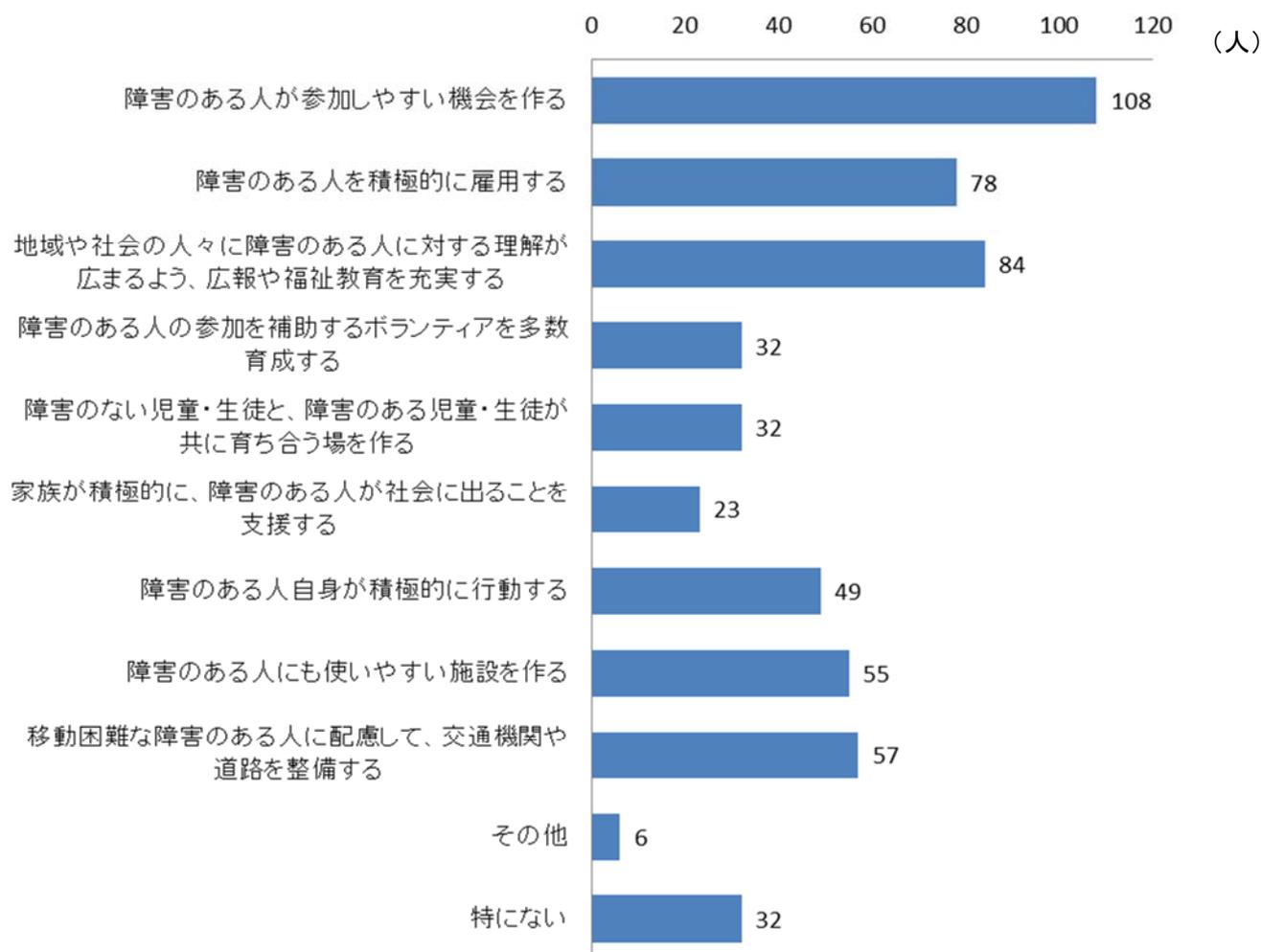
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- ガイドヘルパー欲しい！！ (女性・40代・知的・難病)
- 一人では、何も出来ないこと。 (男性・40代・知的)
- 市内の医者への理解 (耳鼻科、歯科等すべて)。 (男性・10代・知的)
- 相談だけでなく解決させること。 (男性・40代・身体・難病)
- きちんとした施設と人。 (男性・20代・知的・難病)

問 59 障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことは
 どれですか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 261 人】



【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
障害のある人が参加しやすい機会を作る	108	41.4%	71	16	18	27
障害のある人を積極的に雇用する	78	29.9%	42	16	20	9
地域や社会の人々に障害のある人に対する理解が広まるよう、広報や福祉教育を充実する	84	32.2%	53	9	16	23
障害のある人の参加を補助するボランティアを多数育成する	32	12.3%	20	7	6	6
障害のない児童・生徒と、障害のある児童・生徒が共に育ち合う場を作る	32	12.3%	20	4	4	10
家族が積極的に、障害のある人が社会に出ることを支援する	23	8.8%	14	4	6	5
障害のある人自身が積極的に行動する	49	18.8%	35	1	11	6
障害のある人にも使いやすい施設を作る	55	21.1%	39	5	9	14
移動困難な障害のある人に配慮して、交通機関や道路を整備する	57	21.8%	43	2	8	14
その他	6	2.3%	4	0	1	3
特になし	32	12.3%	26	5	5	6
無回答	87	-	43	19	8	22

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

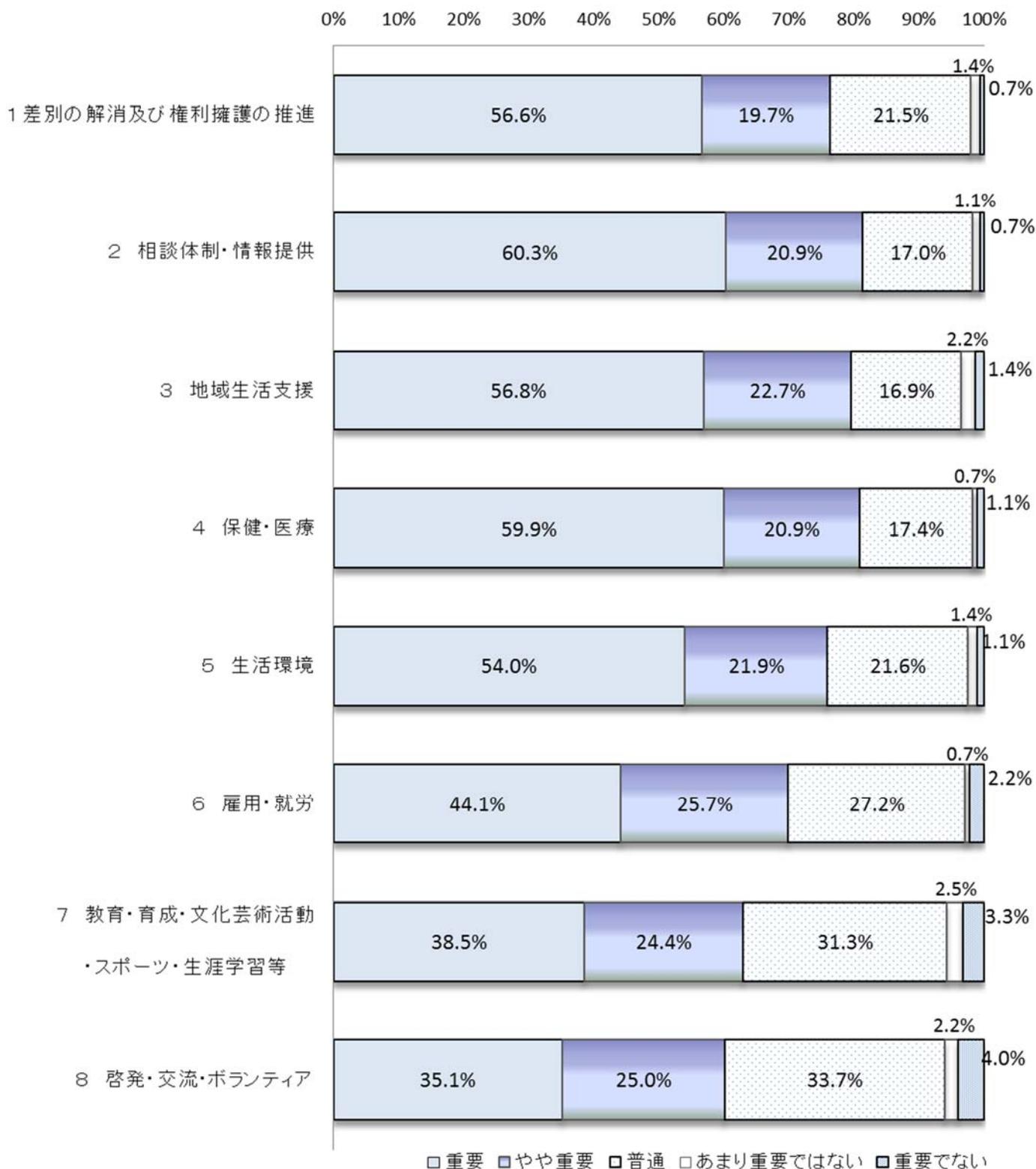
* 割合の算出方法：（各項目の）人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 差別を無くす。 (女性・60代・精神)
- 障害のある人の雇用や支援した法人・事業所等に、減税や補助金等を行う。 (男性・40代・身体・難病)

Ⅷ 立川市の障害者施策について

問 60-1 下記にある立川市第5次障害者計画の1～8の施策とその取組内容を参考にお答えください。各施策についてどれくらい重要だと思いますか。



1 差別の解消及び権利擁護の推進

【回答数 279 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	158	56.6%	88	25	36	35
やや重要	55	19.7%	36	6	9	15
普通	60	21.5%	42	7	8	15
あまり重要でない	4	1.4%	2	1	0	1
重要でない	2	0.7%	2	0	0	0
無回答	69	-	47	11	4	14
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

2 相談体制・情報提供

【回答数 277 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	167	60.3%	92	25	39	43
やや重要	58	20.9%	40	4	9	10
普通	47	17.0%	35	7	5	12
あまり重要でない	3	1.1%	2	1	0	1
重要でない	2	0.7%	1	1	0	0
無回答	71	-	47	12	4	14
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

3 地域生活支援

【回答数 278 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	158	56.8%	93	25	32	32
やや重要	63	22.7%	40	4	13	20
普通	47	16.9%	32	7	6	11
あまり重要でない	6	2.2%	4	1	0	2
重要でない	4	1.4%	2	1	1	1
無回答	70	-	46	12	5	14
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

4 保健・医療

【回答数 282 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	169	59.9%	102	23	33	44
やや重要	59	20.9%	39	5	10	15
普通	49	17.4%	31	9	9	9
あまり重要でない	2	0.7%	1	1	1	0
重要でない	3	1.1%	3	0	0	0
無回答	66	-	41	12	4	12
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

5 生活環境

【回答数 278 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	150	54.0%	89	23	28	36
やや重要	61	21.9%	39	4	14	15
普通	60	21.6%	40	11	10	13
あまり重要でない	4	1.4%	2	0	1	0
重要でない	3	1.1%	2	0	0	1
無回答	70	-	45	12	4	15
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

6 雇用・就労

【回答数 272 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	120	44.1%	65	20	31	24
やや重要	70	25.7%	49	10	8	19
普通	74	27.2%	51	7	11	16
あまり重要でない	2	0.7%	2	0	0	1
重要でない	6	2.2%	2	1	1	3
無回答	76	-	48	12	6	17
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

7 教育・育成・文化芸術活動・スポーツ・生涯学習等

【回答数 275 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	106	38.5%	56	16	30	20
やや重要	67	24.4%	47	7	10	20
普通	86	31.3%	58	12	12	17
あまり重要でない	7	2.5%	4	2	1	4
重要でない	9	3.3%	6	1	0	3
無回答	73	-	46	12	4	16
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

8 啓発・交流・ボランティア

【回答数 276 人】

【障害別回答数】

選択項目	人数	構成比	身体	知的	精神	難病
重要	97	35.1%	59	13	24	16
やや重要	69	25.0%	46	7	10	20
普通	93	33.7%	58	15	16	22
あまり重要でない	6	2.2%	2	2	1	2
重要でない	11	4.0%	6	1	2	5
無回答	72	-	46	12	4	15
合計	348	100.0%	217	50	57	80

* 重複障害の方や障害種別が不明な方がいるため、人数と障害別回答数の合計は異なります。

ⅩⅢ 障害者福祉や生活上の課題に関する意見・要望

【相談窓口・手続きについて】

- 立川市役所の障害福祉課の窓口で、上から目線で、不親切な担当者がたまにいる。さらに生活保護担当者も……。条例より役人の誠実ある対応の方が重要です。したがって、役人の意識改革も同時に進めることが最重要と思います。
(男性・30代・精神)
- 立川の皆様には、大変感謝して居ます。有り難うございます。
(男性・50代・身体)
- 各種証明書や書類承認に時間がかかる。パソコン等を活用して、承認までの時間を短縮スピード化を実地して欲しい。
(男性・60代・身体・難病)
- 近頃足が弱くなり、買い物もきつくなつたので、生協宅配を頼んでみようと思い電話帳等色々調べても分からないので、かみすな福祉相談センターに電話してみました。すると電話に出た女の職員は、”わかりません”と答えたので北部西かみすな地域包括支援センターに電話して聞いてみました。するとここでは、”しばらくお待ち下さい。探してみます。”と女の職員の方が応対してくれ、少したってから電話でパルシステムを教えてくださいました。早速手続きをして宅配してくれるよう頼みました。どうして同じ立川の職員なのに、このように対応が違うのでしょうか。こういう窓口こそ困っている者に対してあたたかい思いやりが求められるのではないのでしょうか。考えさせられる一件でした。
(女性・90代・身体)
- 社会福祉協議会の活発な活動をしてもらいたい。利用者が使いづらいシステムになっている。現場をボランティア対応はやめて、資格を持った人が対応すること。福祉職員が現場に立ち会うこと。オフィスの机に1日座っていないで、現地(場)で、仕事をしてもらいたいですね。ボランティアや知識の薄い人が安易にたずさわることは、これまでの事件を考えても危険だと思います。もっと専門知識を豊かにすることから始める必要があります。私は、立川病院の精神科医師から、ひどい対応を受けました。まず医者からど〜にかしたら！立川下等福祉だと思います。
(女性・50代・精神)
- まずは、市職員の意識の改革をお願いします。上からの目線で「やってやっているんだよ。」と言う態度、障害者が日々どれだけ大変な思いをして生活しているか身体で感じてみて下さい。1日アイマスクをして、次の1日は、車椅子、次は耳栓をして仕事してみてください。お願いします。
(女性・70代・身体)
- 私は、H16年に立川市へ地方から出て来ました。そしてH20年から現在地で御世話になっています。私は、昭和44年にある事故で左手首を切断しました(障害3級)そしてH10年に腰、同11年に首、同26年腰(2回目)を手術を受けました。病名は、脊柱管狭窄症です。手帳所持者です。7~8年前の事です、ある件で市役所へ電話して聞いたことがあります。民生委員さんの名前や住所を聞きました。委員さんの顔を知らないし……。市役所の担当の方の返事は、1級の障害者の方への訪問はするが2級の障害者の自宅は訪問しないと言う事でした。役所の担当の方も委員の方々も2級の人も3級の人も1級とされている方々と同等な人もいるということを知ってほしいと思います。
(男性・80代・身体)
- 受給者証の更新で、障害福祉課が平日のみなので、土曜、日曜でも対応出来るように欲しい。
(男性・30代・難病)
- 自立支援の更新が市役所のみでしか出来ないの、自分で行けず親に行ってもらうのが申し訳ないので本局でなくてもできるようにして欲しいです。せめて自分で行きたい。
(女性・30代・精神)

- (看病介護している家族より) 医療、介護、障害、マル都、薬局、相談支援、各福祉事業者、訪問医療訪問介護、市では、介護や、健康保険、障害、年金、難病ほかの各窓口。10年間で病院150回、入院5回、薬局150回、市のそれぞれの窓口30回以上、これ以上書きませんが、外部対応だけで、数百回じゃすみません。①書類の数②電話対応③直接対応面談が多すぎます。まず、1・マイナンバーカードで書類数を減らし、2・マイナンバーカードで情報を共有(薬も)出来る様にし、3・紙の証書をすべてマイナンバーカードで受診や上限管理などオンライン化して下さい。4・医療と介護を公務員にして情報共有。無理なら複合難病・障害専用カード作りましょう！
(男性・70代・身体・難病)
- 自立支援のための書類を毎年提出しています。障害の程度が軽くなったり、偽ったりする事を判断するためだと思いますが、明らかに障害が固定している場合(長期に渡り改善が見られない)は、提出を3年に1度位にしてもらえれば家族の事務手続きの軽減につながります。
(女性・60代・知的)
- 一該当者として思うことは、本質的かつ必要最低限以上の負担を市に強いるのは、心苦しいので、他の課題に人的経済的資源を向けてください。お目配りいただきありがとうございます。
(男性・40代・身体)

【情報提供について】

- 障害があるために、診療・検診等の健康に関することが、市内のどこの医療機関なら対応してもらわれるのか知りたい。情報提供や相談窓口は相談窓口にはどこなのか。分かりやすく周知して欲しい。
(女性・60代・身体)
- 「手話言語条例」を制定し、手話の充実した環境を整えてほしい。子供から大人まで手話を使う機会を設け、災害、接客など緊急にも対応できるようにしてほしいです。又、公共施設にも文字放送など設備を充実してほしい。立川市がモデルとなれるように力を入れてほしい。
(男性・40代・身体)
- 視覚障害6級で、軽度な等級ではありますが眼鏡を使いすぎると目がつらく、かけなければ、3級位の人と同じ位しか見えないので、困る時はあります。6級とはいえ、右目は失明(光覚等)で左目にも欠損があるので、等級以上に見えにくく、表示物の文字が見えなかったりするので、色々な表示物の文字をもっと大きくしていただくと見やすく助かります。
(男性・40代・身体)

【施設利用について】

- グループホームの拡充をお願いしたいです。
(男性・20代・知的)
- 施設で提供される食事のカロリーが少ないので上げてほしい。(厚生労働省の指示が少ないのではないかと)
(男性・80代・身体)
- ディケアを増やして欲しい。
(男性・50代・身体・精神)
- 作業所の移転予定地の周辺住民から反対意見が出ていて理解がされていないようです。
(女性・20代・知的・難病)
- 夜間、休日に行ける場が、あればと思います。(精神障害用があれば)(男性・40代・精神)
- 精神障害対象の、生活支援センターが2か所もなくなり困っています。新たに社協にできたものの、地理的に不便で通いにくい。3障害一緒は抵抗がある主に二つの理由で利用していません。(見学はしました。)
(女性・40代・精神)

【教育・育児について】

- 1. 子供のうちから、「知識」（障害者と関わる活動だけではダメ、ということ。）として障害（精神を含む）を理解する学習をさせた方が良い。アメリカでは、たとえば自閉症の事を子供の時に学んでいるので普通の大人が、上手に接する方法を知っているし、気軽に接している。2. ほとんど全員の保護者が、親の死後の心配をし、そのことが最も苦しいテーマとなっているため、自分が死ぬか、子供が死ぬか、・・・でしかのがれられない気持ちが続いている。諸外国の進んでいる国の保護者が明るく、仕事も充実させ、意欲的に生きているのは、障害児の一生を見通した支援があるからである。普通でも障害児でも、どちらでも安心して生きていける、ということが、初めからわかっていることが、大切なのだと思う。3. 1とも関連するが、結婚前からある程度の知識がないと、早期療育や相談支援に間に合わない。2との関連で、安心して障害児が育っていける社会があることと、産む前から知識があることで、ほとんどのことは、解決する。社会については、横並び好き（変わっている人は、はじかれる）の日本人が自ら変わっていくことは、難しいと思うので、きちんと学習させるところから始めた方が私は、結局は早道になると考えている。親である私自身、「自閉症」のことを全く知らなかったもので、気づくのが遅れてしまって後悔している。4. 精神の病については、思春期に発症する（確実なデータがあり、減ることはない）ので、やはり知識として知っているといないでは大きな差が出る。私のいところは、高校生の頃から原因不明の病に悩まされ、仕事も続かず、引きこもりになってしまったが、30歳頃に「統合失調症」と診断され、薬の治療でだいぶ元気になっている。中学生の頃に学んでいれば、こんなに苦しまずにすんだのに・・・と思う。本人も、周りの人も学ぶということは、とても大切だと思う。会社の理解も得られる。
(男性・10代・知的)
- 障害児と共に生活をしてはいますが、就学・進学に対しての情報が少ないと感じます。児童発達支援や放課後、夏休み等どうしたらよいのか分かりません。相談するところはあれど、個人の問題に寄り添う内容ではなく、結局自分で調べるしかない。分からない状態。親が仕事をしながら障害児を育てることが困難です。各所とも土日休みで、時間が短い。教育をつけたくて、受給なしの所に通うと、ものすごく高額でした。支援事業所は増えてきたのに、良い所は少ないですね。
(男性・0代・知的・身体)
- 来年度小学校入学です。立川市は、支援級に手厚く見学へ行くととても良い環境だったので、進学が楽しみです。
(女性・0代・知的)

【障害者理解・啓発について】

- 内部機能障害者は、見た目ですべて分からない為全く理解してもらえない。ヘルプマークを付けているにもかかわらず、座席を譲ってもらったことは一度もない。JR、私鉄、バス等告知が足りないし、ACでコマーシャル等必要と思われる。現状は、妊婦>内部機能障害者。妊婦の方が優先されている。
(男性・50代・身体・難病)
- 障害者に対して、あたたかい目で見て、健常者が細やかな姿勢を持って積極的にお手伝いできる態勢をし、何か困っていることを発見した場合は、速やかに援助し、偏見を持つことのない様、自然体で接し協力、笑顔を絶やす事のない様に接していけば良いと思います。
(男性・70代・身体)

- ありがとうございます。色々な事を考えさせていただいたアンケートでした。今日迄に一番辛いと思った事は、言葉でのいじめでした。しかし人間は、自尊心がしっかりと備わっていれば堂々としていられるものだと思います。そうする事によって、他と比較することなく、オンリーワンの生き方が出来ると思います。従って、妬む感情もわきません。それに劣等感もありません。ですからこのような感情で生きてますと、今は、多くの人が他人の事を褒める事を忘れてる気がします。私は、大いに他人を褒めるようにしています。褒められると嬉しいものです。他人を褒めると自分の地位？が落ちると勘違いしている人が多いようです。これからも誠意をもって仕事に励んで参りたいと思います。日々努力をして生きています。与えて戴いたものに感謝しつつ何よりうれしいのは、納税者である事です。数々の恩恵に感謝申し上げます。ありがとうございます。乱文乱筆にて、失礼致します。

(男性・50代・身体)

- 障害者と呼ばれない当たり前の生活の輪。お年寄りと子供と一般の大人と一緒に生活する大きな場所(一時的でも)、その中に、当たり前に障害者がいること、各家族のない家、社会が必要。女性の向上が必要。母の愛がすべて。人間としての何が必要かが日本には、なくなる様な気がします。誠の心はどこへ。区別しない社会を一番弱い赤ちゃんを守るには、何が重要かと考えたら、事は、進むのでは・・・。それにプラスプラスして平等な社会、民主主義とは、何かを考える社会。

(女性・60代・身体)

- オストメイトになって、内部障害に対する、理解が得られないことを痛感。オストメイトに限らず、内部障害への周知、そして誤解からの偏見のない社会を望みます。

(女性・70代・身体)

- 差別の廃止。一人前になること。

(男性・70代・精神)

【就労について】

- 就労支援を受けたことがあります。自分でハローワーク等に通うのと大差ない。一般のチラシや情報誌等からの切り抜き等を渡して進められるだけで、地域、企業等のネットワークを通して仕事を斡旋してくれるわけでもなく、中途半端なサービスでした。うつ病を持っている為、突然仕事に行けなくなる日もあり、収入が不安定なのに対し、どんどん自立支援サービスの年収の下限も引き上げられ、住民税、国保等、税金も上がり続け、支払いが困難です。生きていくのがつらい毎日です。

(女性・50代・精神)

- 働きたいけど働けない。通える自信がない。その上で電車通勤であれば優先席に座りたい。けれど見た目が普通だったり若いのに座っている事で落ち着いて座れない。お年寄りに席をゆずる余裕はないけどそれは絶対わかってもらえない。不登校で中卒のためバイトでも何でも雇用先が限られてくる。認定試験を受けるにもお金がいる。お金のためには働かなければならず堂々めぐり。ただでさえ親に金銭的負担をかけているのに更にかけたくない。相談相手がいるけどいない。真剣に向き合ってくれる人が欲しい。世間の「当たり前」が本当に辛い。一番辛いのはここに書いたところで誰かが相談に乗ってくれるわけでも、助けてくれるわけでもない事です。

(女性・30代・精神)

【年金について】

- 年金事務所にて、障害者年金を申請することにし、年金事務所に出向いた所、一時間の説明時間で、頭がもうろうとしていたのもあり、早口でほぼ分からず、病院で診断書を先生に書いていただき、二週間で出来上がり、年金の予約をするのが予約でいっぱい、かなり先になり、やっと予約の日が来ていざ提出、訂正箇所が何ヶ所もあり、再度病院で訂正依頼。昨年の12月～この様なことを繰り返し、現在もまだ、出来ていない状態。何回も年金事務所にTELや出向き病院にも行くことで、体力的にも精神的にも非常に疲れました。もう少し、分かりやすく、時間を取って考えていただきたかったです。（女性・30代・精神）
- 病気で働けなくなっただけで生保になったけど切られたらどうするか。障害年金も今はあるけど病状で切られたらどうするか。困ってないけど、不安な事。（今後のお金）
（女性・30代・精神）

【障害者福祉・制度について】

- 車での移動が多い為、現在、福祉券でガソリン、タクシー等は、利用できますが、洗車もできる券もあったら良いと思います。よろしくお願い致します。以上。
（男性・70代・身体・難病）
- 身体障害、知的障害と同じように、電車やタクシー料金の補助を精神障害者にもつけてください。施設在住の身体障害者にもタクシー券を配布してください。もっと言えば、他の障害者にもそうしてください。（女性・40代・精神）
- 精神障害者に対する扱いが他の障害者との差が有りすぎる。（男性・50代・精神）

【その他施策全般】

- 聞こえない（感音難聴）のため人の輪の中に入るのを拒んでしまう。何か言われても相手の話が分からず曖昧に返事してしまう。どうしても困難な時に分かるカードがあればと思いました。（女性・40代・身体・難病）

【地域生活・地域環境について】

- 在宅介護等家族が中心で生活するのが基本だと考える。その家族が、どう支援していただきたいかの意見を聞くことが大切ではないのか？（女性・60代・身体）
- 立川駅北口は、両方ともぼりのエスカレーターで、下りのエスカレーターが無いのがとても不便です。歩行障害があるため移動がきつく苦勞します。（女性・40代・身体）
- 道路の段差をなくして。歩道が狭い所がある。（女性・60代・身体）
- 車椅子で認知症の母と散歩に出かける時、歩道がでこぼこして、車椅子一台分の道幅で立ち往生することがあり、車道に出るには、危険で、体力のない者にとっては、大変苦勞します。（女性・60代・難病）
- 駅にエスカレーターが無いこと。バスを乗りやすくする事など。（女性・30代・身体・難病）

- ベビーカーを利用することがあるのですが、武蔵砂川駅のベビーカーも通れる広い改札が時間によっては、片側からしか利用する事が出来ず少し不便に思うことがあります。
(女性・0代・知的)
- 立川駅南口には、後付で下りのエスカレーターがあるが北口にはない。エレベーターがあると言いますが、バスに乗るには、エスカレーターの方が便利である。清水市長が、立候補した時に、市長になったら是非検討をと申し上げましたが、どうなったのでしょうか。健常者は、上りのエスカレーターがあれば良いと思うのですが、膝が悪い人達には、下りのエスカレーターが必要です。広い階段の一部を下りエスカレーターにしてください。
(女性・60代・身体・難病)
- オストメイトが安心、安全に社会（外出）に出て行ける様トイレの充実（オストメイト対応）をお願いしたい。オストメイト対応トイレの使い方を市民に周知してほしい。毛染めをしてシャンプーしたり、体を洗ったり、ペットを洗ったりすることの無いようにしてほしい。やっと探しあて、使おうと思って、入っても使えないことも多々あります。私達が、安心して、外出するためにも。避難所に、オストメイト対応の仮設トイレの備蓄を是非お願いします。
(女性・70代・身体)
- くるりんバス。よくわからず利用できない。
(女性・50代・身体・難病)

【介護保険について】

- 高齢障害者を介護保険サービスと一緒にするのは、無理がある。
(男性・70代・身体)
- 現在は障害の程度が重くない（歩行は出来ないが）が進んだ場合の対応等心配。介護等級の審査が厳しすぎる。
(男性・70代・難病)
- 今の生活を維持していきたいのに、元気になったと判断され介護度数を下げられては、今の状態を保つことが難しくなります。悪い状態でなければ、今の生活が出来なくなる！！この事に矛盾を感じます。更新月の時は特に！！です。
(女性・80代・身体)

【医療について】

- 私が市に感謝して居る事は3級（精神）をもっていますが、医療費が1割負担なので非常に助かっています。どうかこの制度を無くさない様にしてもらいたいと思います。
(男性・60代・精神)
- 今、1カ月6000円位の作業手当を頂いてます、お医者さんに毎月12000円を位支払ってます。医療費が今は3割負担なので1割の負担になったら嬉しいです。
(男性・50代・知的)
- 医療費の負担が大きく、高額医療費の制度がありますが、家族の収入により支給金額が決まっていますが、家族が家にお金を入れているとは限らず、高額医療費を使う。本人の収入で支給金額を決めてほしいです。1つの医療機関で高額費を決めるのではなく、1つの病気で高額費を決めてほしい。私は、医療機関で高額費を払い、薬で、2万円ほど支払っていますが、月の負担が5万円強になる為毎月病院に通院出来ません何とか改善して欲しいです。
(女性・50代・身体)
- 精神医療の充実。住宅の確保。
(男性・70代・精神)

【親の高齢化、親亡き後について】

- 現在は、親にいろいろ助けられて、毎日を過ごす事が出来ていますが、親が亡くなった後、どの様にして生きていけば良いかとても不安です。 (男性・40代・精神)
- ダウン症で今は私が元気ですので、良いのですが、将来私が居なくなった後、施設ではなく住み慣れた家で、暮らして行く為の支援があったら良いなと思っています。 (男性・10代・知的)
- いつもありがとうございます。子供は、まだ若く、私たち夫婦も若いので、今の生活は、しばらくは、大丈夫ですが、いずれ、年を取った時の子供の生活が不安で仕方ないです。グループホームが一つでも多く出来る事を願っています。医療的ケアの子供（洗腸ですが）を受け入れてくれる場所が出来る事を願っています。 (女性・20代・知的・身体)

【生活について】

- 時々、買い出しや日常生活の事が、天候の影響等もあり、なかなか思う様に動けない。動く意欲すらない。はかどらない事があり、無気力が困る。身体の怠さを改善できず薬がみつからないのか。長年、現状維持だけで快方していないのが悲しい。 (女性・40代・身体)
- 脳性マヒ1級の身体障害の息子とうつ病の母の二人暮らしです。(離婚していますので) 息子にはヘルパーさん、訪問看護師さん、訪問ドクター、市の担当者の方、色々な方々にとても助けていただき本当に助かりますし在宅で過ごせています。24時間息子の介護と両親の介護(死去しています。)の時にうつ病になってしまいました。でも今は、たくさんのサービス(立川市)を利用して親も子も元気に幸せに暮らせています。感謝しています。 (女性・50代・精神)
- 私は、94にもなる年寄です。一週間に二回高齢者福祉施設デイサービスにお世話になっております。車いす生活をしていますので、送り向かいヘルパー様方にしてもらっておりますが、皆様とても親切で優しくして下さいます。これも全部立川市のおかげと感謝しています。何かと大変だと思いますが、障害者の方達の為、よろしく願い申し上げます。 (女性・90代)
- お金が心配です。家族に会いたいね!!暮らすのが心配です。おうちに行きたいね。 (男性・20代・知的)
- 困る事は、そのつど違うから、これですと言えません。毎日、大変な事ばかりです。 (女性・30代・身体・難病)
- 私は、パーキンソン病で、指定難病を受けています。幸いに、現在は、動作がやや遅いという程度で済んでいます。質問の多くは、まだ、私の中では、未知数ですが、これからは、色々な面で関心を持ちたいと思いました。障害に関わらず、人々が安心して暮らせる場所になってほしいと思っています。身体障害者や障害を持つ方々が笑顔になれば・・・ (女性・60代・難病)
- 規則正しい生活が出来なくて困っている。家族仲が良くない。外出する時、怖くて誰かが居ないと不安になる。一人で行動出来るか心配でならない。働けるかが気になる。 (女性・20代・身体・精神)

- 今現在障害年金を頂く事が出来ず。家族に負担をかけています。生活補助が受けれる事が出来たらいいと思います。今50才施設に入所していますが、雑費、小遣い等は、家族がみています。 (女性・50代・身体・難病)
- 今現在、精神障害を隠して働いています。新しい仕事を見つけ、自立して一人暮らしがしたいのですが、不安が沢山です。障害者は給料も少ないので、一人で暮らせるのかも不安です。 (男性・20代・精神)
- 今は、問題ないけれど今後については、少々不安がある。 (男性・40代・知的)
- このアンケートを終えて、・・・生活を充実する事は努力です。周囲の方々が本人達の未知数を見出して下さいますよう先ず家族です。(身近ですから)私の場合、自分自身家族にとっても甘えは大敵だと思っています。ハングリー精神があるか否かによって忍耐や多くの事にチャレンジする力や希望が湧いて来ます。それによって、健常者に近い生活のレベルも出来ると思っています。例えば、衣食住においても努力次第で持ち家も手にする事も出来ます。それには、早い内から計画を立てて、生活金の使い方のバランスが非常に大事です。ですから障害者でも生き方によっては不幸ではありません。 (男性・50代・身体)

【アンケートについて】

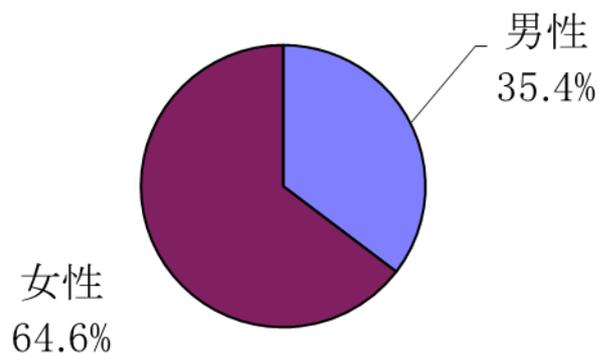
- 特に感じた事は、有りません。 (女性・80代・知的・身体・難病)
- 本人が答えるのは難しい。と言うより出来ない。この場合は、親の考えを書くようにしてはどうでしょうか。そういう子供が多いと思います。 (男性・40代・知的)
- アンケートが子供と大人と分けてほしい。 (男性・0代・身体)
- このアンケート自体、面倒くさすぎる。二度と書きたくない。 (男性・50代・身体・難病)
- 認知症です。読んで聞かせての記入を試みましたが、理解できない事の方が多いです。アンケートの初めに、こういった人が、記入しないで提出できるような項目を作ってください。足の障害よりも認知症の方が問題が大きいです。家族がいるので暮せていますが、一人では、生活は判断力なしで無理な状態でも要介護2、本人には、“困る”と言うこともその瞬間しか分かっていません。娘より。 (女性・90代・身体)
- 児童福祉法のサービス、愛の手帳、発達障害の話をしておいて途中から、援助の状況、福祉サービスの利用、生活の場、地域生活支援事業、勤務形態、ヘルプカード、成年後見制度、障害者施策等、年齢とは、関係なく、幅広い人々を拾ってアンケートを取ろうとしています。が、これでは、全然まとまりません。何を書いていいのか自分の場所があったり、なかったりアンケートには、ならないと思います。申し訳ありません。 (女性・70代)

②市民

I 調査対象者について

問1 あなたの性別はどちらですか。

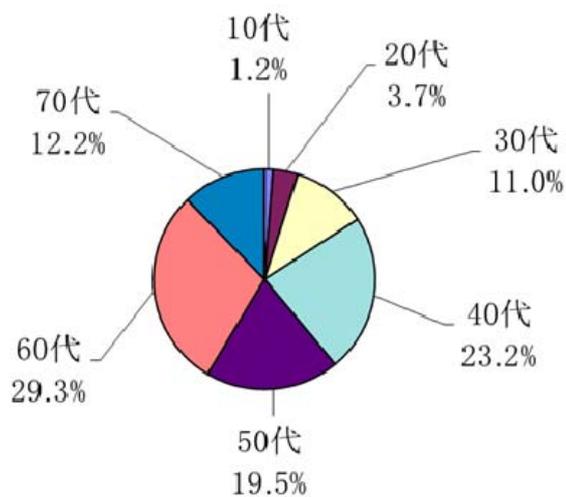
【回答数 82人】



選択項目	人数	構成比
男性	29	35.4%
女性	53	64.6%
無回答	0	-
合計	82	100.0%

問2 あなたは何歳ですか。(平成30年4月1日現在)

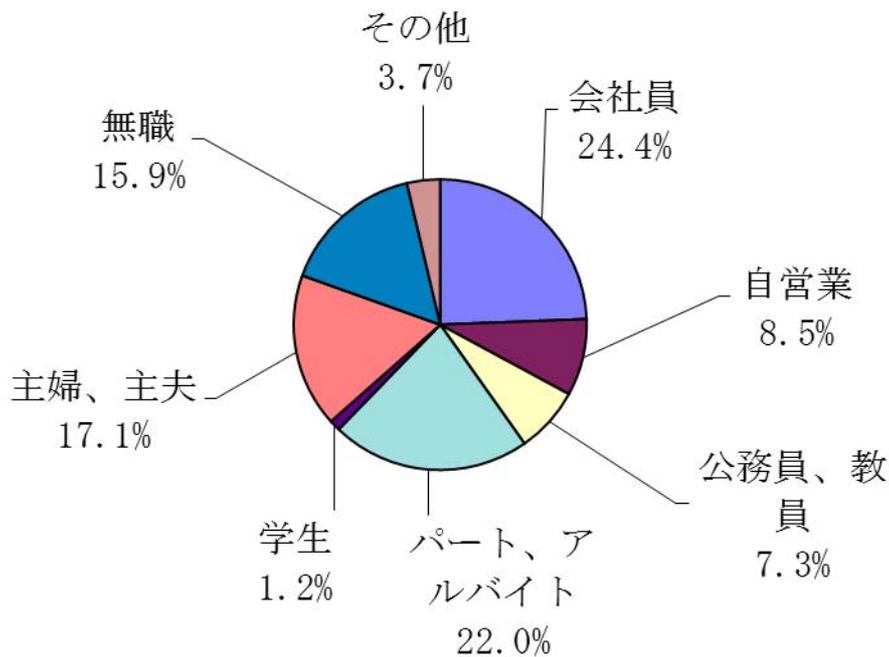
【回答数 82人】



選択項目	人数	構成比
10代	1	1.2%
20代	3	3.7%
30代	9	11.0%
40代	19	23.2%
50代	16	19.5%
60代	24	29.3%
70代	10	12.2%
無回答	0	-
合計	82	100.0%

問3 あなたの職業は、次のどれに該当しますか。

【回答数 82人】



選択項目	人数	構成比
会社員	20	24.4%
自営業	7	8.5%
公務員、教員	6	7.3%
パート、アルバイト	18	22.0%
学生	1	1.2%
主婦、主夫	14	17.1%
無職	13	15.9%
その他	3	3.7%
無回答	0	-
合計	82	100.0%

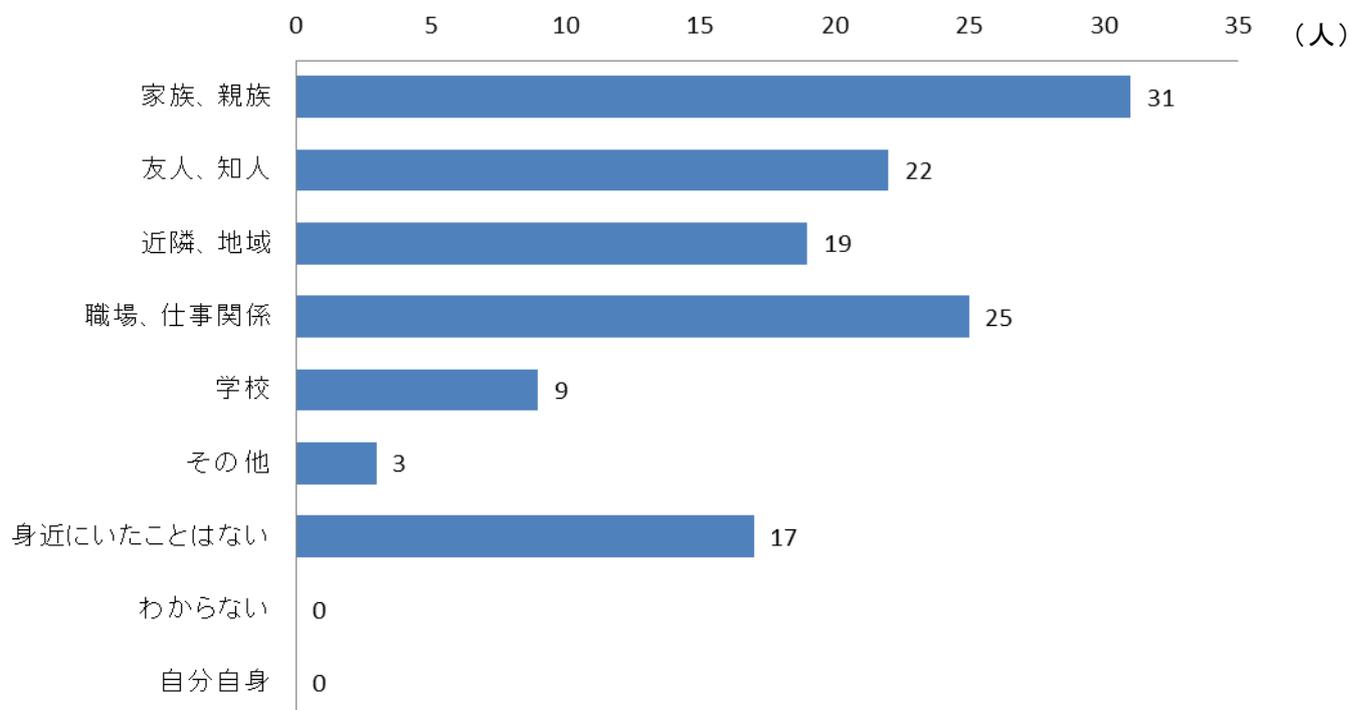
【その他回答の主な内容】

- 作業療法士。 (女性、40代、その他)
- 専門職。 (女性、40代、その他)
- シルバー人材センター。 (男性、60代、その他)

Ⅱ 障害のある人とのかかわりについて

問 4 あなたの身近に障害のある人はいますか、またはこれまでいたことはありますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 82 人】



選択項目	人数	構成比
家族、親族	31	37.8%
友人、知人	22	26.8%
近隣、地域	19	23.2%
職場、仕事関係	25	30.5%
学校	9	11.0%
その他	3	3.7%
身近にいたことはない	17	20.7%
わからない	0	0.0%
自分自身	0	0.0%
無回答	0	-

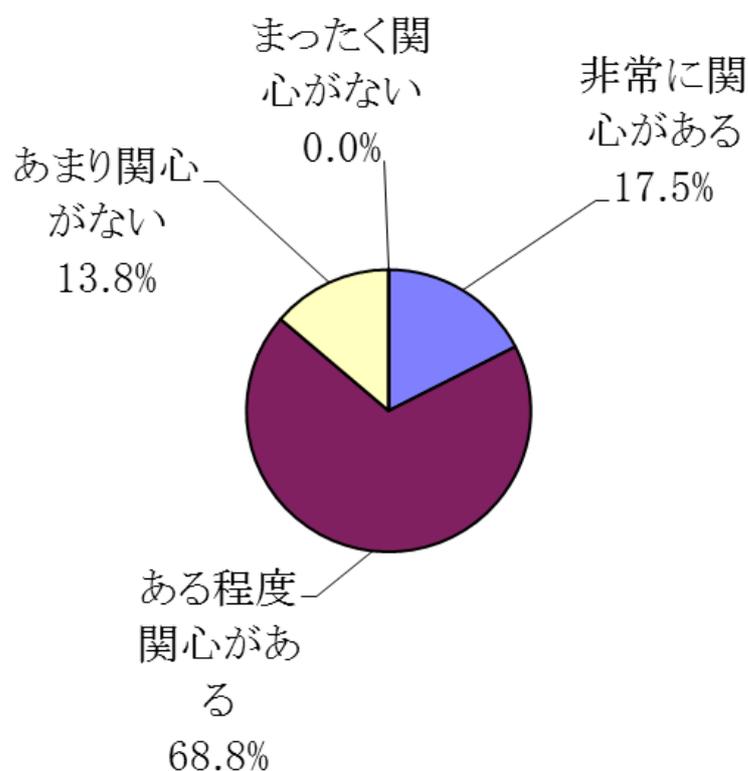
* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 友人の子ども。 (女性、40代、その他)
- 要介護5の親がいる。 (男性、60代、自営業)

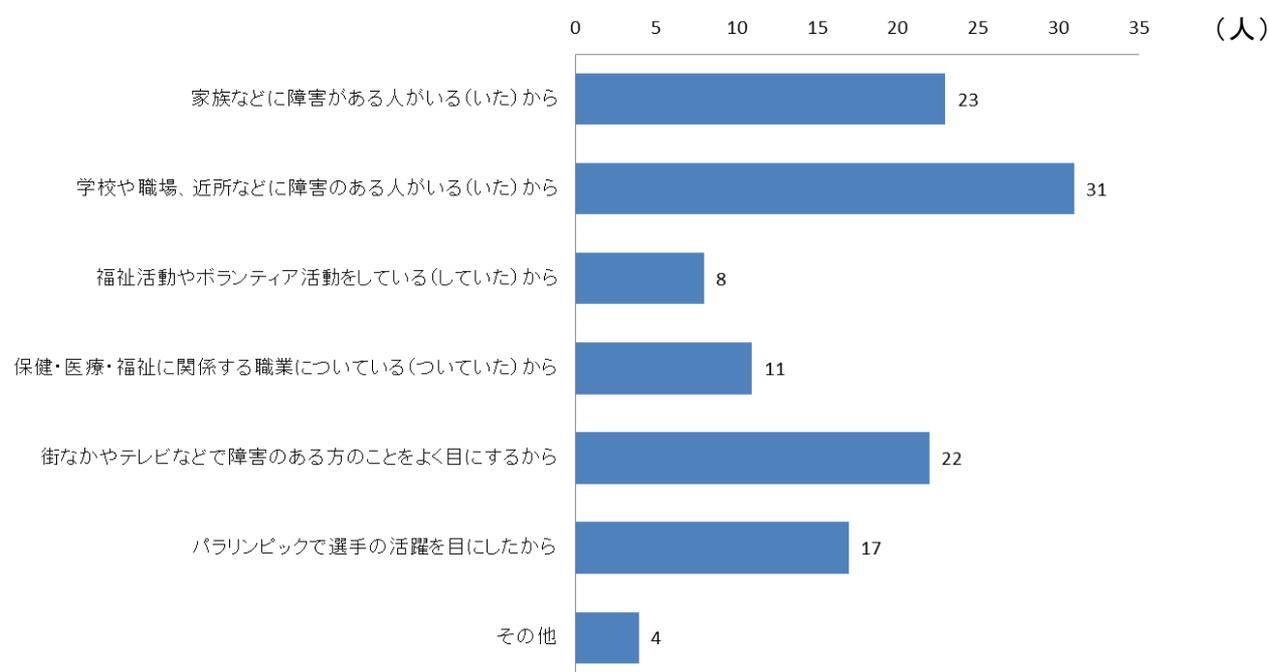
問 5 あなたは、障害のある人について関心がありますか。

【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
非常に関心がある	14	17.5%
ある程度関心がある	55	68.8%
あまり関心がない	11	13.8%
まったく関心がない	0	0.0%
無回答	2	-
合計	82	100.0%

問 5-1 問5で「1 非常に興味がある」「2 ある程度興味がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から、興味をお持ちですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)
【回答数 68 人】



選択項目	人数	構成比
家族などに障害がある人がいる(いた)から	23	33.8%
学校や職場、近所などに障害のある人がいる(いた)から	31	45.6%
福祉活動やボランティア活動をしている(していた)から	8	11.8%
保健・医療・福祉に関係する職業についている(ついていた)から	11	16.2%
街なかやテレビなどで障害のある方のことをよく目にするから	22	32.4%
パラリンピックで選手の活躍を目にしたから	17	25.0%
その他	4	5.9%
無回答	1	-

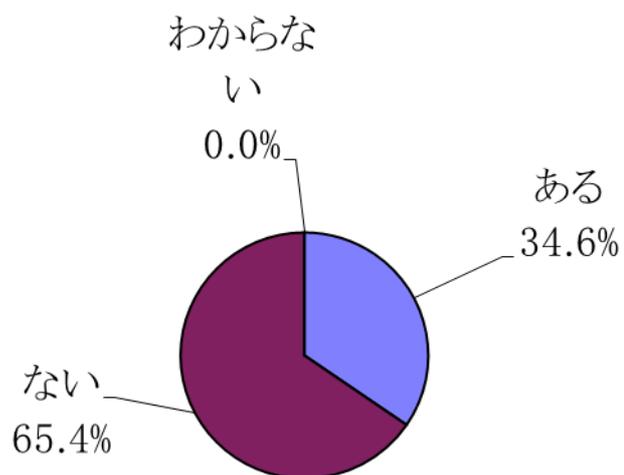
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 会社で障害のある人を雇用している。(男性、60代、パート、アルバイト)
- 後天的に自分や家族も障害者になり得るのに、今の世の中では障害者にとってのハンデがありすぎだと感じているから。(女性、30代、会社員)
- 助け合いの心が大切だから。(男性、40代、自営業)
- 新聞等で目の不自由な人のプラットホームからの転落死がよく報じられるから。(女性、60代、無職)

問 6 あなたはこれまで、障害のある人を支援する活動に参加したことはありますか。

【回答数 81 人】



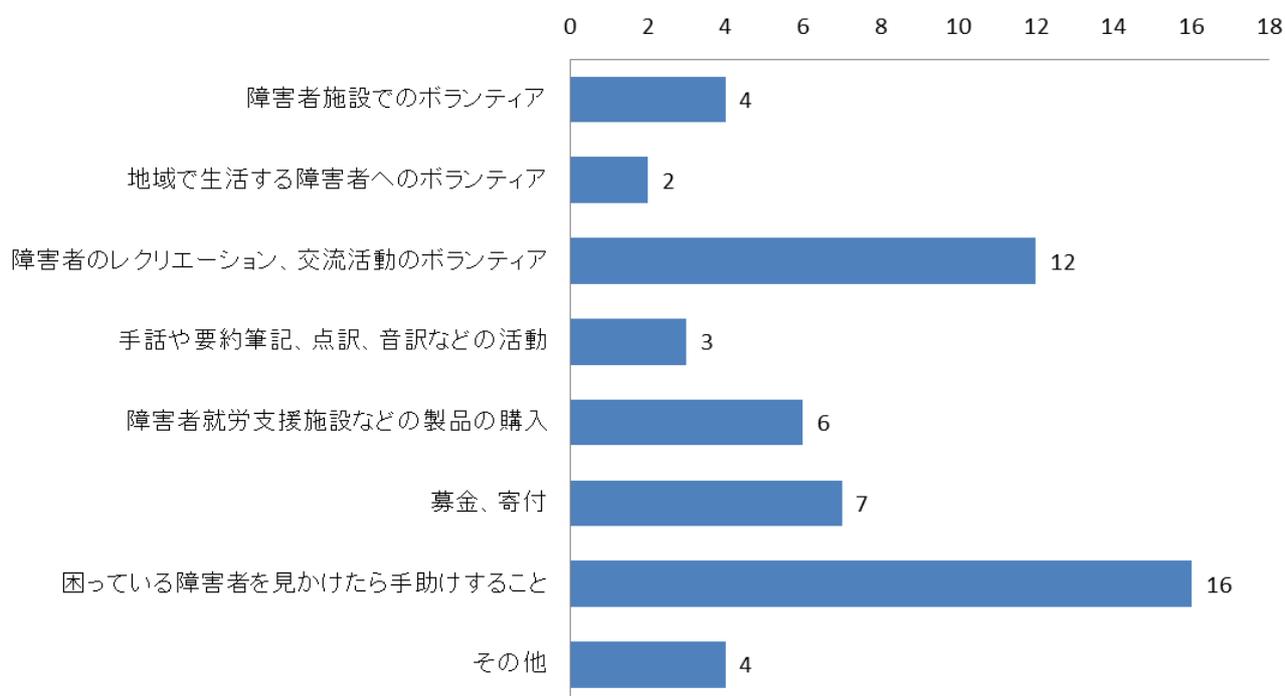
選択項目	人数	構成比
ある	28	34.6%
ない	53	65.4%
わからない	0	0.0%
無回答	1	-
合計	82	100.0%

問 6-1 問6で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

どのような活動に参加しましたか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 28 人】

(人)



選択項目	人数	構成比
障害者施設でのボランティア	4	14.3%
地域で生活する障害者へのボランティア	2	7.1%
障害者のレクリエーション、交流活動のボランティア	12	42.9%
手話や要約筆記、点訳、音訳などの活動	3	10.7%
障害者就労支援施設などの製品の購入	6	21.4%
募金、寄付	7	25.0%
困っている障害者を見かけたら手助けすること	16	57.1%
その他	4	14.3%
無回答	0	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

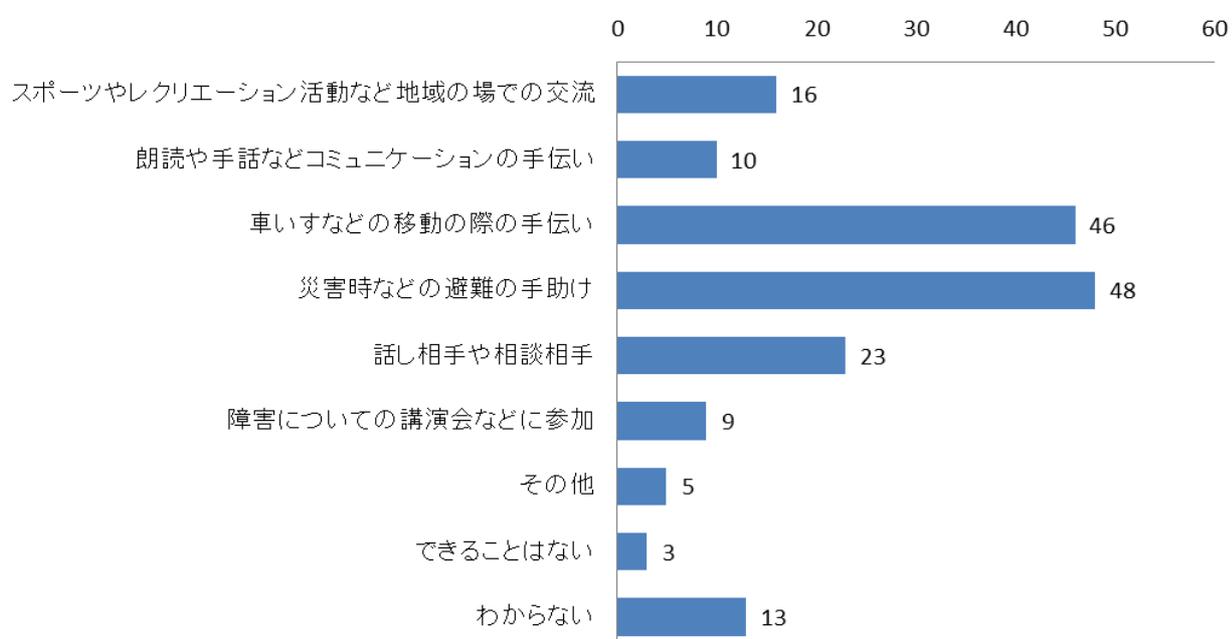
【その他回答の主な内容】

- 直接ではないが会社の障害者レクリエーションへ参加はあります。
(男性、60代、パート、アルバイト)
- 学童にいる水頭症の子の補助。
(女性、30代、会社員)
- ボランティアではなく介護ヘルパーなので
(女性、60代、パート、アルバイト)
- 職業の由。
(女性、40代、その他)

問 7 あなたは障害のある人と同じ地域で共に生活していくために、どのようなことができますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 80 人】

(人)



選択項目	人数	構成比
スポーツやレクリエーション活動など地域の場での交流	16	20.0%
朗読や手話などコミュニケーションの手伝い	10	12.5%
車いすなどの移動の際の手伝い	46	57.5%
災害時などの避難の手助け	48	60.0%
話し相手や相談相手	23	28.8%
障害についての講演会などに参加	9	11.3%
その他	5	6.3%
できることはない	3	3.8%
わからない	13	16.3%
無回答	2	-

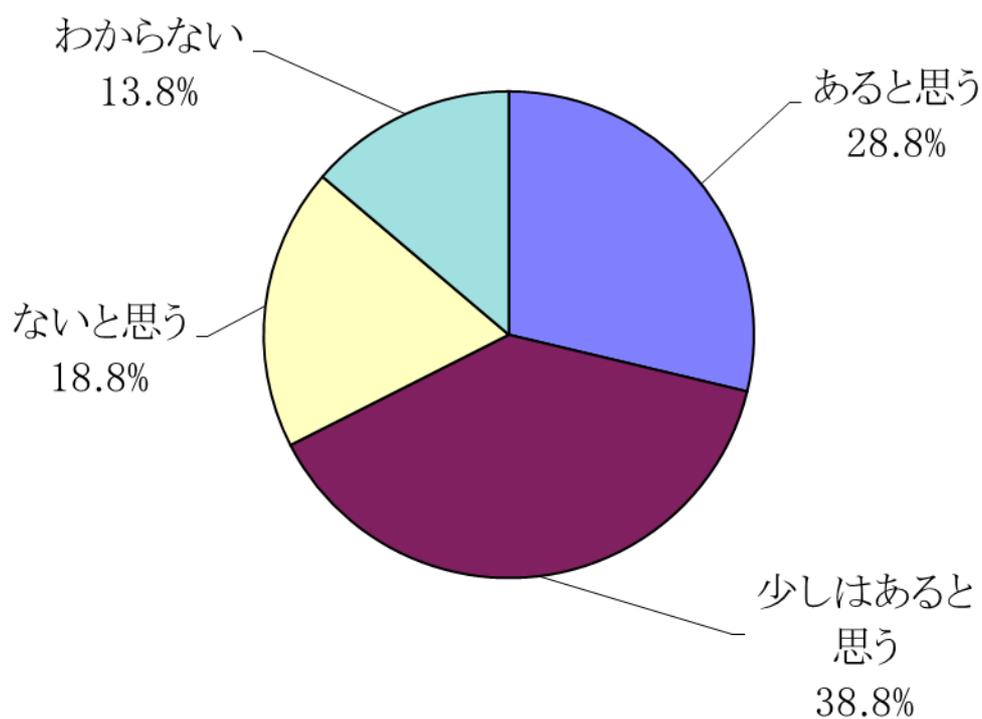
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 普通に接すること。 (女性、40代、公務員、教員)
- 意識の差をなくす。 (女性、50代、無職)
- 状況に応じて自分が出来る事はしようと思う。 (女性、50代、パート、アルバイト)
- バリアフリーの導入の認識を。 (男性、70代、自営業)
- 折り紙、切り紙、布小物作りなどの手伝い。 (女性、60代、主婦、主夫)

問 8 あなたは、地域社会の中で、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

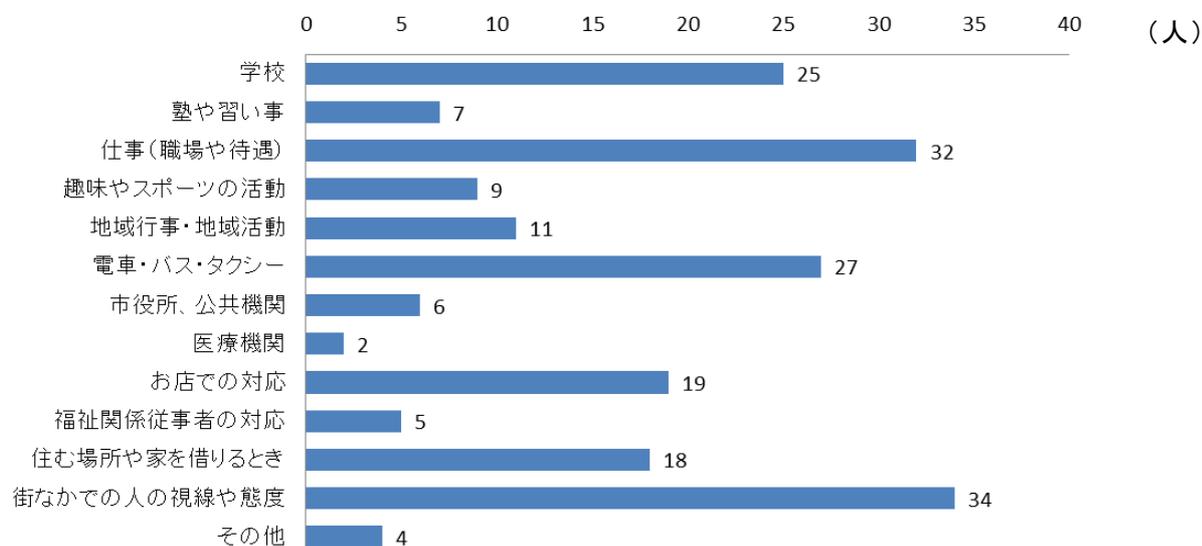
【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
あると思う	23	28.8%
少しはあると思う	31	38.8%
ないと思う	15	18.8%
わからない	11	13.8%
無回答	2	-
合計	82	100.0%

問 8-1 問8で「1 あると思う」「2 少しはあると思う」と答えた方にお聞きします。
それはどんな場所や場面ですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 54 人】



選択項目	人数	構成比
学校	25	46.3%
塾や習い事	7	13.0%
仕事(職場や待遇)	32	59.3%
趣味やスポーツの活動	9	16.7%
地域行事・地域活動	11	20.4%
電車・バス・タクシー	27	50.0%
市役所、公共機関	6	11.1%
医療機関	2	3.7%
お店での対応	19	35.2%
福祉関係従事者の対応	5	9.3%
住む場所や家を借りるとき	18	33.3%
街なかでの人の視線や態度	34	63.0%
その他	4	7.4%
無回答	0	-

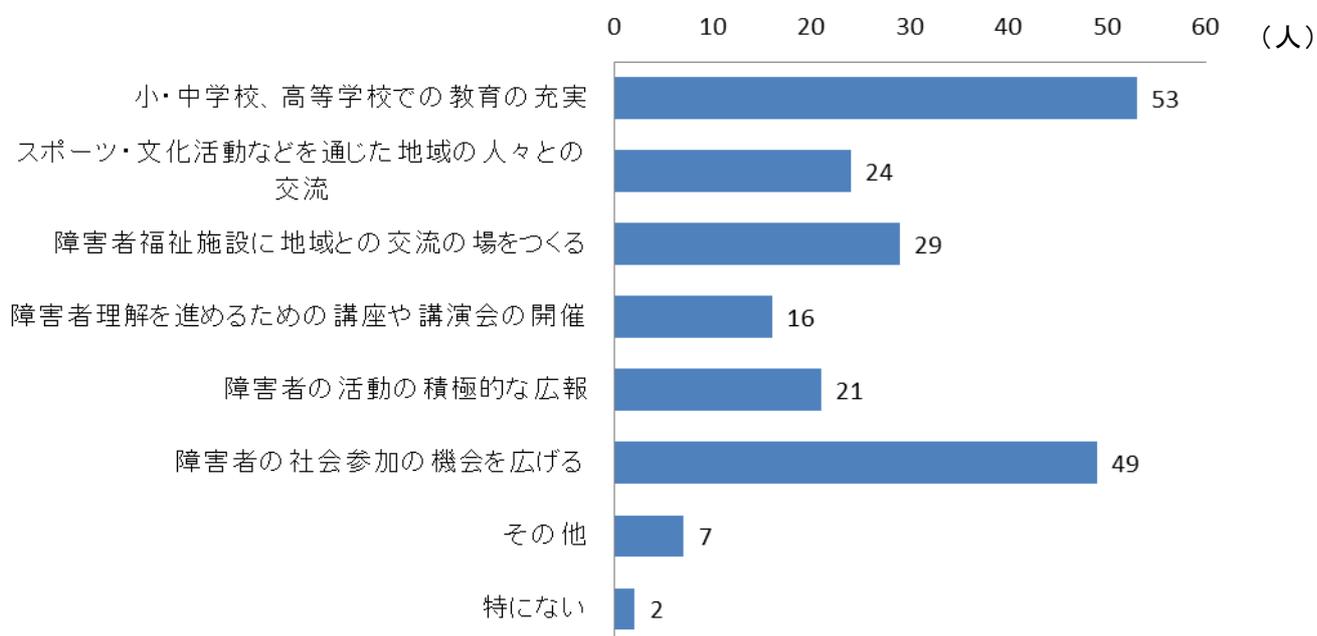
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 言葉の暴力。(女性、40代、公務員、教員)
- バリアフリーでないところが多い。(女性、40代、その他)
- 外見的に分かる方に対してはとても良いと思いますが、内面的障害者に対しての駐車場等での偏見がある。(女性、30代、会社員)
- ネット社会。(男性、10代、学生)

問 9 あなたは、障害に対する理解を深めるために、社会全体が力をいれるべきことは何だと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
小・中学校、高等学校での教育の充実	53	67.1%
スポーツ・文化活動などを通じた地域の人々との交流	24	30.4%
障害者福祉施設に地域との交流の場をつくる	29	36.7%
障害者理解を進めるための講座や講演会の開催	16	20.3%
障害者の活動の積極的な広報	21	26.6%
障害者の社会参加の機会を広げる	49	62.0%
その他	7	8.9%
特にない	2	2.5%
無回答	3	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

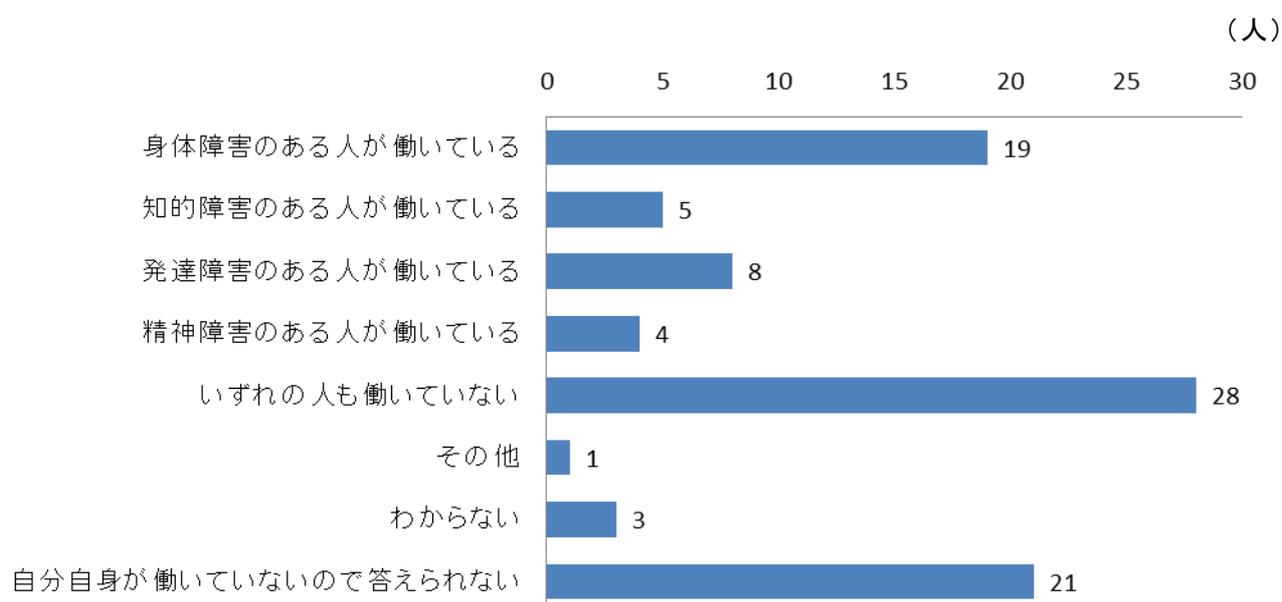
【その他回答の主な内容】

- 世の中にはヘレンケラーより重い障害者がいることを知ってほしい。
(女性、40代、公務員、教員)
- 障害者のできること/できないことを明確にして伝えること。
(女性、40代、会社員)
- バリアフリー化。
(女性、40代、その他)
- 施設の充実。
(女性、50代、無職)
- インフラ整備。
(男性、50代、会社員)
- 財政支援。
(男性、60代、自営業)
- 授業としてボランティア取り入れるべき。手話の資格など。現実的に予算をどうするか？確保！！
(男性、50代、会社員)

Ⅲ 障害のある人が働くことについて

問 10 あなたの現在の職場(仕事場)では、障害のある人が働いていますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 76 人】



選択項目	人数	構成比
身体障害のある人が働いている	19	25.0%
知的障害のある人が働いている	5	6.6%
発達障害のある人が働いている	8	10.5%
精神障害のある人が働いている	4	5.3%
いずれの人も働いていない	28	36.8%
その他	1	1.3%
わからない	3	3.9%
自分自身が働いていないので答えられない	21	27.6%
無回答	6	-

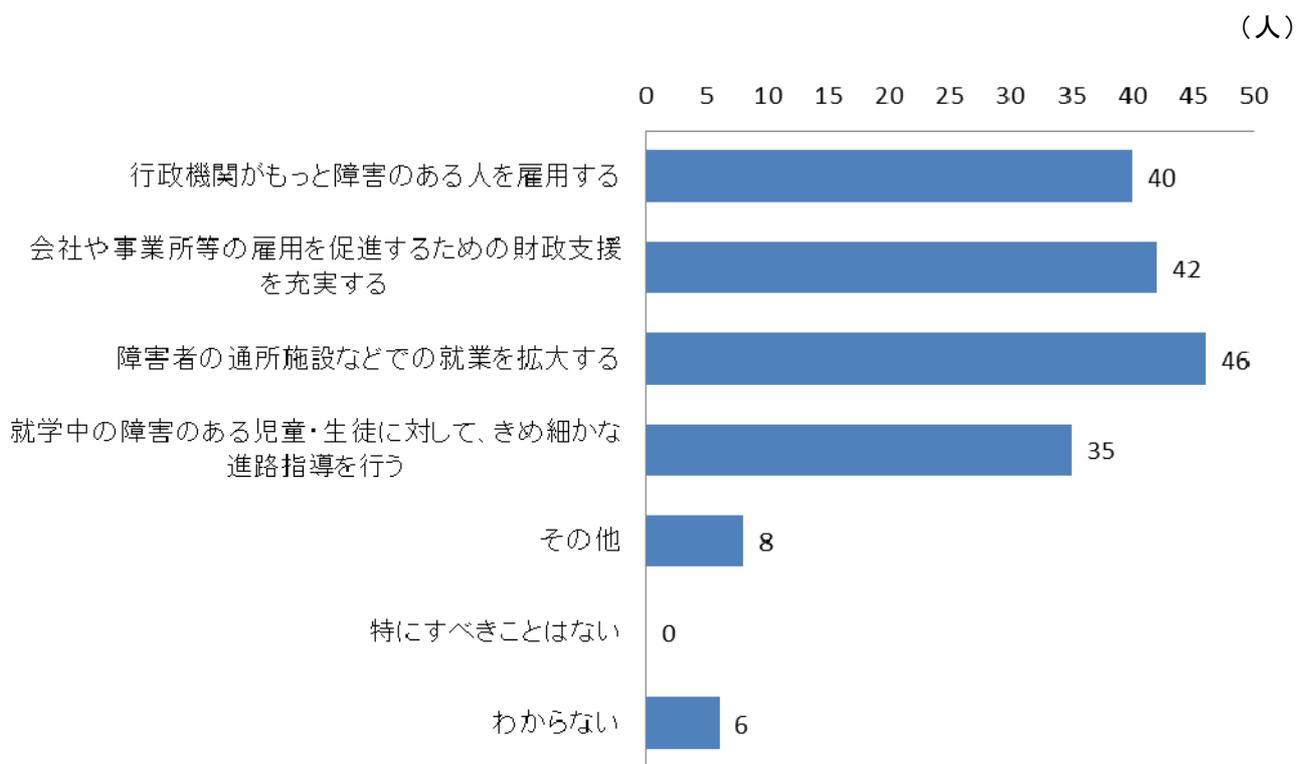
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 障害のある人の雇用を進めようとしている。(女性、40代、その他)

問 11 あなたは、障害のある人がもっと働けるようにするためには、何をすればよいと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 78人】



選択項目	人数	構成比
行政機関がもっと障害のある人を雇用する	40	51.3%
会社や事業所等の雇用を促進するための財政支援を充実する	42	53.8%
障害者の通所施設などでの就業を拡大する	46	59.0%
就学中の障害のある児童・生徒に対して、きめ細かな進路指導を行う	35	44.9%
その他	8	10.3%
特にすべきことはない	0	0.0%
わからない	6	7.7%
無回答	4	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

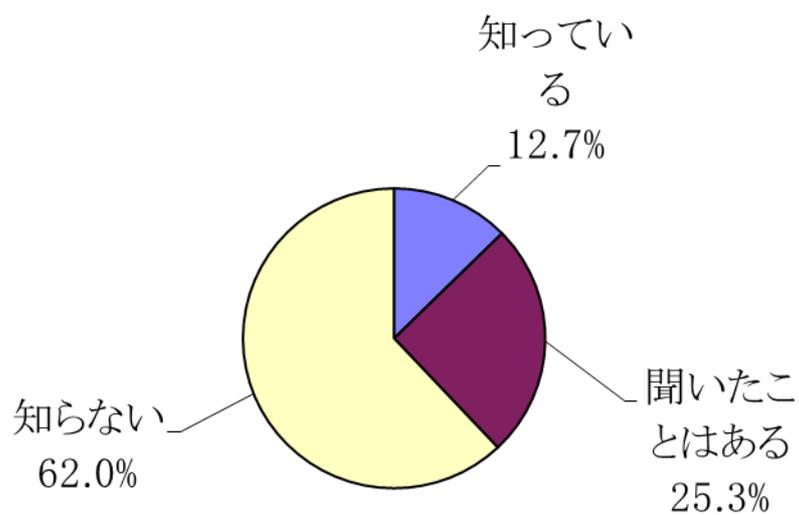
【その他回答の主な内容】

- 雇用義務を果たすよう企業に働きかける、働くための環境づくりを行う。
(女性、40代、その他)
- 障害の種類や程度に応じて適した仕事、発揮できる力を生かせるよう財政支援だけでなく会社や事業所、一般の人々の啓発、障害者理解を深める機会を増やす。
(女性、60代、無職)
- 個々の障害に合わせたきめ細やかな就労支援体制の構築。
(女性、50代、無職)
- 就業技術科のような特別支援学校を増やし、しっかり教育し就労のサポートを行う。
(女性、40代、公務員、教員)
- その人のやりたい事、その人に合っていると思われる仕事ができるように支援、指導する。
(女性、60代、主婦、主夫)
- 身近に寄り添ってくれる人がいること。
(女性、40代、主婦、主夫)
- 幼稚園や小学校の頃から障害に対する教育をすべき。それによって偏見を持つ人も減り、より働きやすい環境が生まれると思う。
(女性、30代、会社員)
- 交通機関のインフラ整備。
(男性、50代、会社員)

IV 福祉のまちづくり、障害福祉施策について

問 12 平成28年4月から障害者差別解消法が施行されています。あなたは、この法律のことを知っていますか。

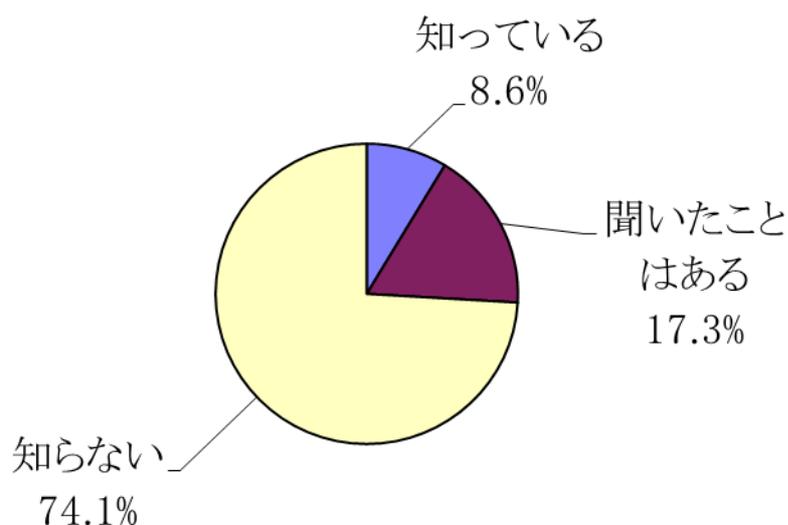
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	10	12.7%
聞いたことはある	20	25.3%
知らない	49	62.0%
無回答	3	-
合計	82	100.0%

問 13 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

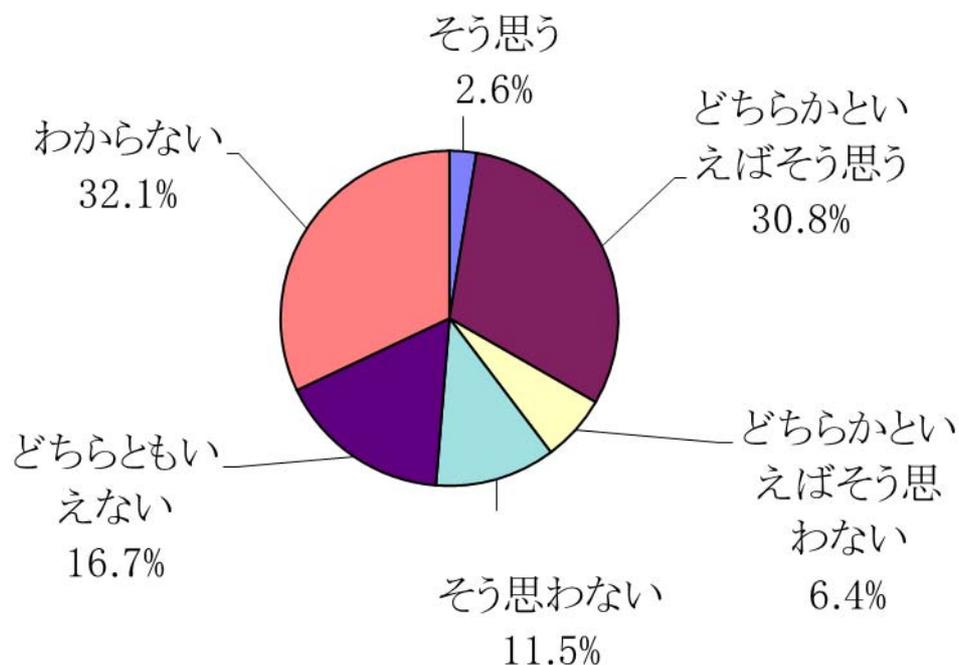
【回答数 81 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	7	8.6%
聞いたことはある	14	17.3%
知らない	60	74.1%
無回答	1	-
合計	82	100.0%

問 14 立川市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

【回答数 78 人】



選択項目	人数	構成比
そう思う	2	2.6%
どちらかといえばそう思う	24	30.8%
どちらかといえばそう思わない	5	6.4%
そう思わない	9	11.5%
どちらともいえない	13	16.7%
わからない	25	32.1%
無回答	4	-
合計	82	100.0%

問 14-1 問 14 の理由をお聞きします。どのようなところからそうだと思いますか。

【自由記述の主な内容】

【そう思う、どちらかといえばそう思う】

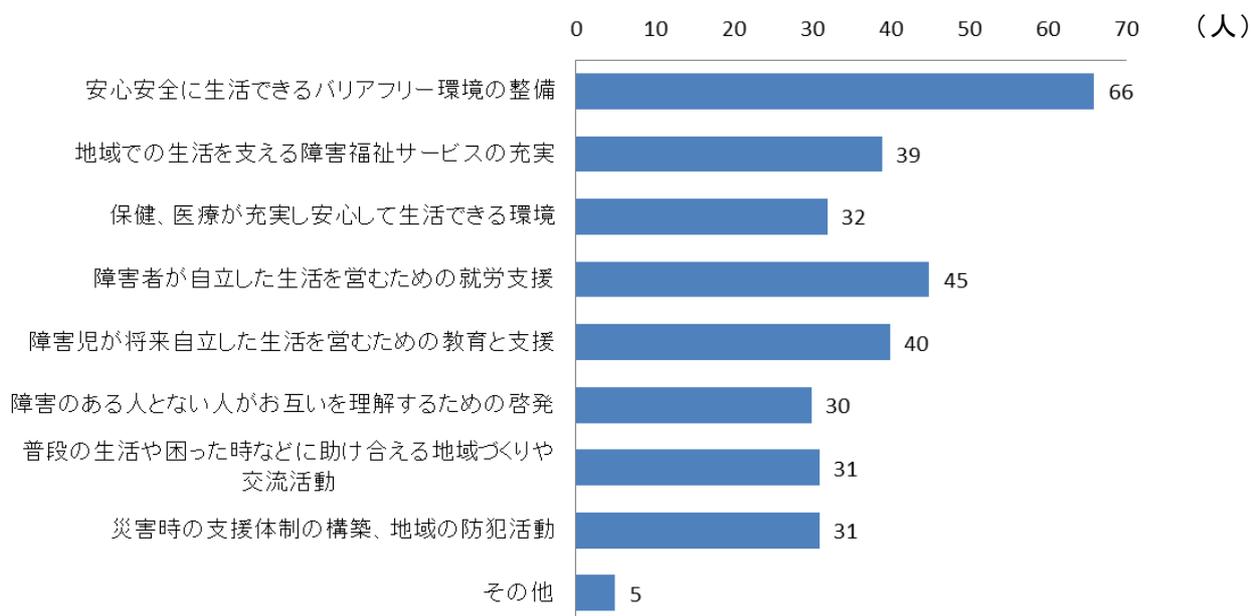
- 歩道の盲人用路側帯。 (男性、60代)
- バリアフリーが多い、アンケートを送付してきた、障害者の施設をよく目にする。 (男性、40代)
- 市の行政が以前より障害者に対する政策を打ち出している様に思える！ (男性、60代)
- 整備されている地域だと思う。駅周辺は特に、エレベーター設置、段差少、広い通路など…ただ人が多いためそれも活用しにくく残念に思う。 (女性、40代)
- 駅周辺や構内のエレベーターの充実。 (男性、50代)
- バリアフリー等の設置が多くみられる。 (女性、30代)
- 立川は車イスなどで活動する障害のある方を他の市より目にする人が多いからです。 (女性、50代)
- 友人の子どもさんが車イス生活で、ゴミ袋支給を聞きました。 (女性、70代)
- 駅でのエレベーター設置が早くに実現された。車椅子(電動)の方をよくみかける。 (女性、50代)
- 義母が障害者になって市役所を訪れた。その時の窓口の人の親切な対応や行政の種々の制度が本当にありがたかった。 (男性、70代)
- 駅前の遊歩道がいい感じ。 (男性、10代)
- バス利用の方に対して運転手さんが気持ち良く対応してるのを見て感心してます。車椅子の方に対して付き添いの方(若い方)がやさしそう。駅のエレベーターの設置など。 (女性、60代)
- デイサービスの事や福祉関係の方によく会う！！ (男性、70代)
- 都市内に人の”目”が常にあること。安全生活を手助け、駅や市役所内のエレベーターの存在と構造の対応大型店舗内のエレベーターの利用。(物理的な件ですが)ただし、道路公園等についてはややバリアフリー化に至っていない様に感じられます。どこの都市もあてはまることですが。 (男性、70代)
- 努力してくださってる人がいて、少しずつ結果が出ていることが理解できるので。 (女性、40代)
- 24時間体制で(見守る)ことが出来ていると聞いたことがある(障害者のケア)。 (女性、60代)
- 街中で見かける障害者の方が多く、一部の積極的な地域活動参加、受け入れを目にしている。 (女性、40代)

【そう思わない、どちらかといえばそう思わない】

- 小学校・中学校単位での公共施設の整備が必要だと思う。公共交通機関は全て低床タイプや車椅子席があるものとする。各建物のトイレも車椅子用のみに又は数を増やすこと、道路を平らにして雨が吸収するタイプのアスファルトに変える事、電動 WC の支給、タクシー券の対象を増やす等が不十分である。障害のある人が暮らしやすいまち是谁でも暮らしやすいまちだという視点が足りない様に思う。移動の制限がある人が多いのでヘルパー(数が少ない、補助金で増やす)も含めて人的・物理的な充実が必要だと思う。(女性、40代)
- 障害がある人から都営団地になかなか入れないと聞いたことがあるので。(女性、60代)
- 例えば、道幅がせまく整備されていない道が多く、車いすでの通行が難しいのではと思う。(女性、30代)
- 電車のホームなど JR に依存するのでは無く、立川市が積極的に予算を出して設置してほしい。立川駅北口など、人の流れなど考慮してロータリーに EV を増設出来ないか(ビックカメラ前のエスカレーターは車イスの人は使えない)地下道をつくって、空港のように歩く歩道を造るとか？[予算確保]国会で承認されるのだから、立川けいりんの他にカジノとかつくとか、立川基地跡地余ってないのか？(男性、50代)
- 障害がなくても住みにくいと思う自然はすばらしいが地区的にはかなり困りものです。(女性、60代)
- 駅(北口)がすごく利用しづらい。私はベビーカーで移動するとき、エレベーターを使いたいのですが、すごく遠いどこにあるかわからない。しかも混雑している。車いすの人や障害のある人は、もっと利用しづらいと思う。(女性、20代)
- 飲み屋が多いところは治安が悪い。(男性、40代)
- ユニバーサルデザインが不徹底(道路等)施設面含む。様々な場面で合理的配慮がされているとは言い難い。(男性、50代)
- 現在車イス生活での夫の介護におわれています。一番大変なのが、道路の段差です。少なくともこれが少しでも解消されればと常に思っています。(女性、70代)
- 交通機関及びその周辺のインフラが整っていない。(男性、50代)
- 例えば、道路(歩道)をみても、障害のある人が安全に歩きやすい道路(歩道)になっているとは思えない、役所や公共施設周辺は整備されているが、一步離れた地域(駅から離れた)などは段差、障害物(カンバン、電柱など)や狭い部分など、普通の人でも困るところが非常に多い。役所や公共地域周辺だけ整備している感じである。(男性、60代)
- 目の不自由な人が、横断歩道をついで点字ブロックがなく、渡るのにどこまでがゴールなのかわかりづらそうに歩いていた。(女性、40代)

問 15 あなたは、障害のある人が住み慣れた地域の中で生活するためには、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
安心安全に生活できるバリアフリー環境の整備	66	82.5%
地域での生活を支える障害福祉サービスの充実	39	48.8%
保健、医療が充実し安心して生活できる環境	32	40.0%
障害者が自立した生活を営むための就労支援	45	56.3%
障害児が将来自立した生活を営むための教育と支援	40	50.0%
障害のある人とない人がお互いを理解するための啓発	30	37.5%
普段の生活や困った時などに助け合える地域づくりや交流活動	31	38.8%
災害時の支援体制の構築、地域の防犯活動	31	38.8%
その他	5	6.3%
無回答	2	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

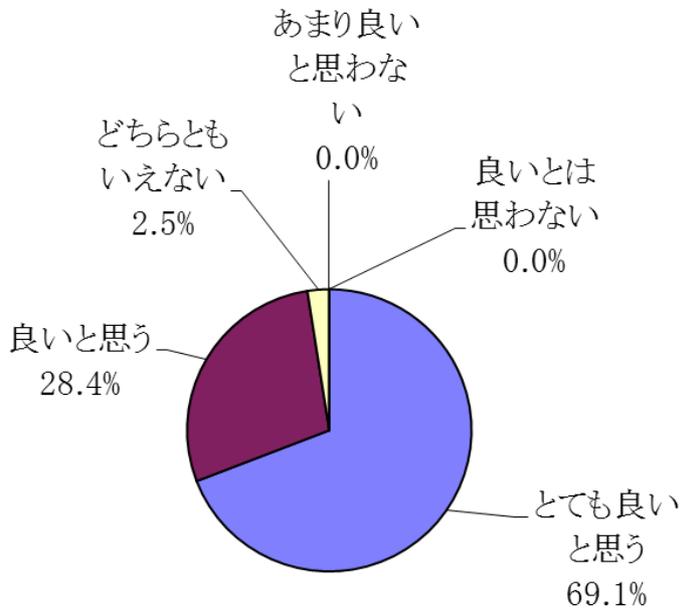
【その他回答の主な内容】

- 過度の支援は必要ではないと思う。(女性、40代、公務員、教員)
- イベントを通じての一般の人とのふれあいの場を多くつくる！
(男性、60代、パート、アルバイト)
- 団地では棟ごと又は階ごとにサービスが受けれたり世話人がいるといい。
(女性、40代、その他)
- 全部重要です。(女性、40代、自営業)

問 16 次の①～④の項目についてどのように思いますか。

① 道路や公園など公共施設のバリアフリー化を進めること

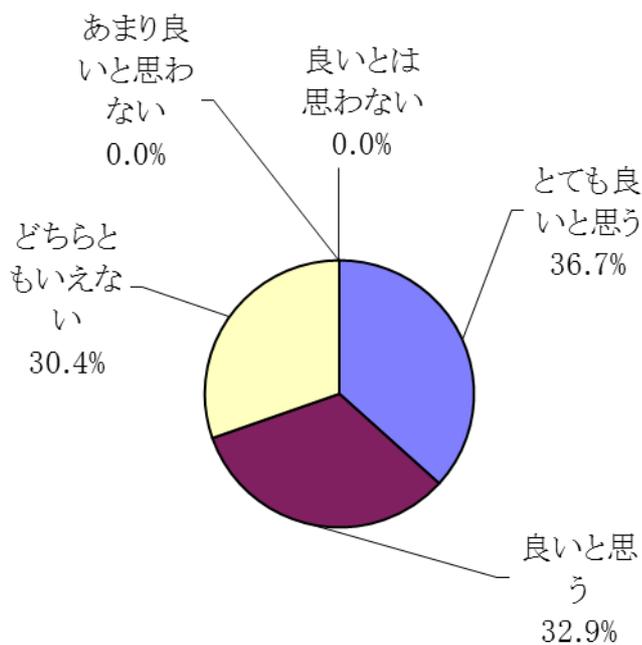
【回答数 81 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	56	69.1%
良いと思う	23	28.4%
どちらともいえない	2	2.5%
あまり良いと思わない	0	0.0%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	1	-
合計	82	100.0%

② 障害のある人もない人も一緒に働ける職場をつくること

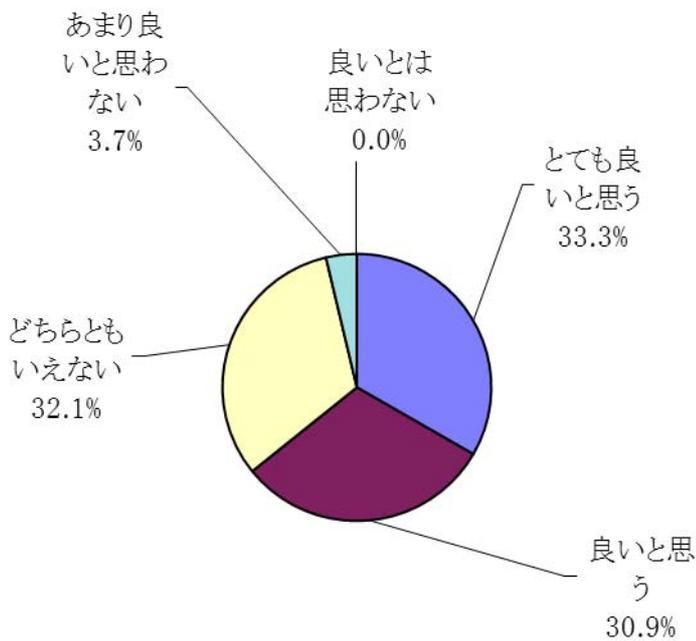
【回答数 79 人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	29	36.7%
良いと思う	26	32.9%
どちらともいえない	24	30.4%
あまり良いと思わない	0	0.0%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	3	-
合計	82	100.0%

③ 障害のある人もない人も一緒に学べる学校をつくること

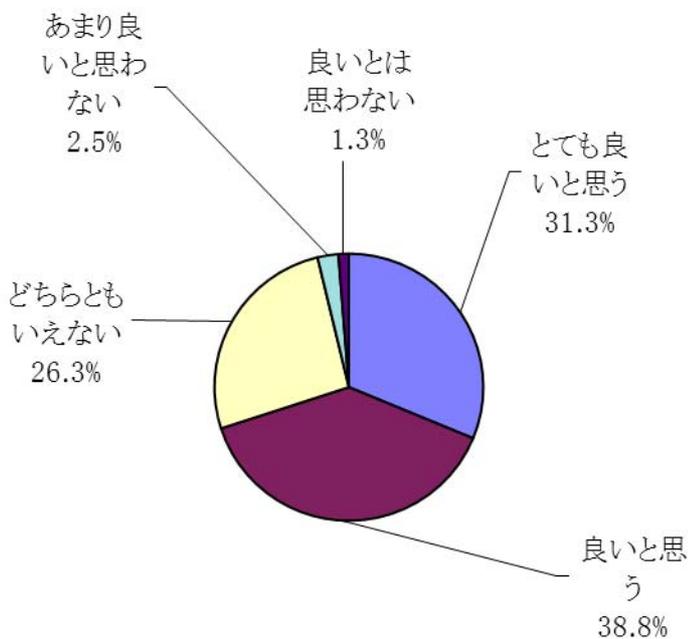
【回答数 81人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	27	33.3%
良いと思う	25	30.9%
どちらともいえない	26	32.1%
あまり良いと思わない	3	3.7%
良いとは思わない	0	0.0%
無回答	1	-
合計	82	100.0%

④ 身近な場所に障害のある人のための施設ができること

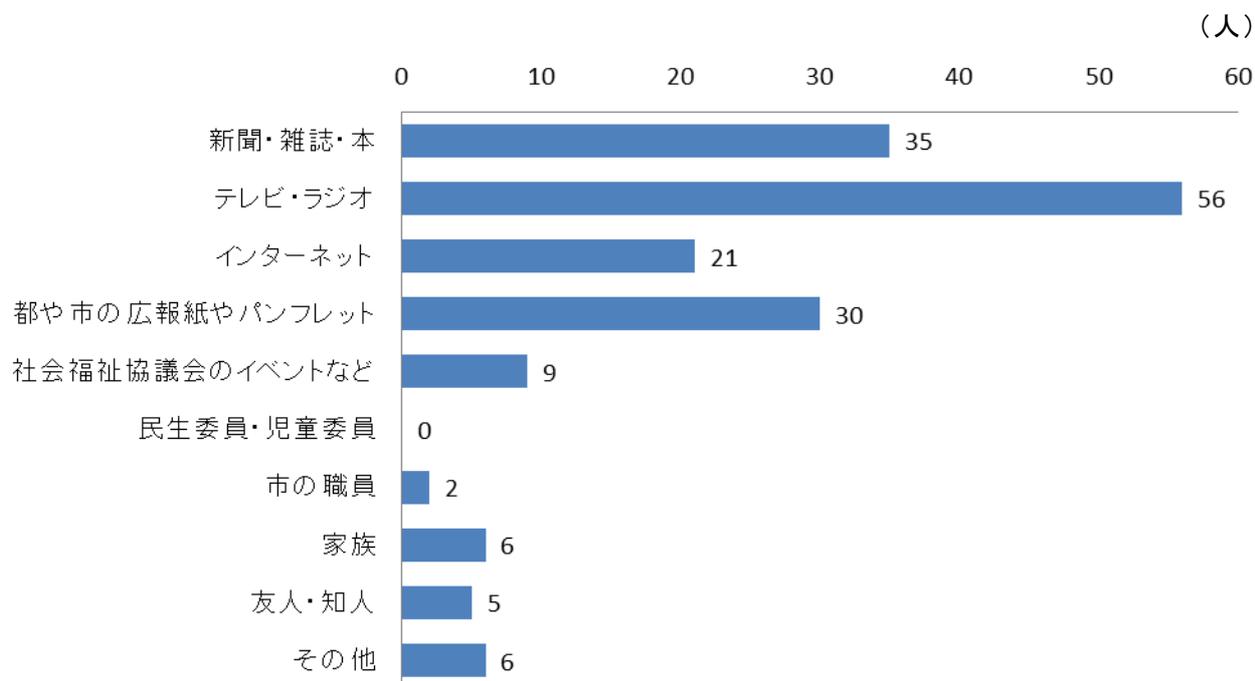
【回答数 80人】



選択項目	人数	構成比
とても良いと思う	25	31.3%
良いと思う	31	38.8%
どちらともいえない	21	26.3%
あまり良いと思わない	2	2.5%
良いとは思わない	1	1.3%
無回答	2	-
合計	82	100.0%

問 17 あなたは、障害のある人や障害福祉に関する制度や動きについての情報を、主にどのような手段を通じて得ることが多いですか。○は3つまで。(複数回答可)

【回答数 80 人】



選択項目	人数	構成比
新聞・雑誌・本	35	43.8%
テレビ・ラジオ	56	70.0%
インターネット	21	26.3%
都や市の広報紙やパンフレット	30	37.5%
社会福祉協議会のイベントなど	9	11.3%
民生委員・児童委員	0	0.0%
市の職員	2	2.5%
家族	6	7.5%
友人・知人	5	6.3%
その他	6	7.5%
無回答	2	-

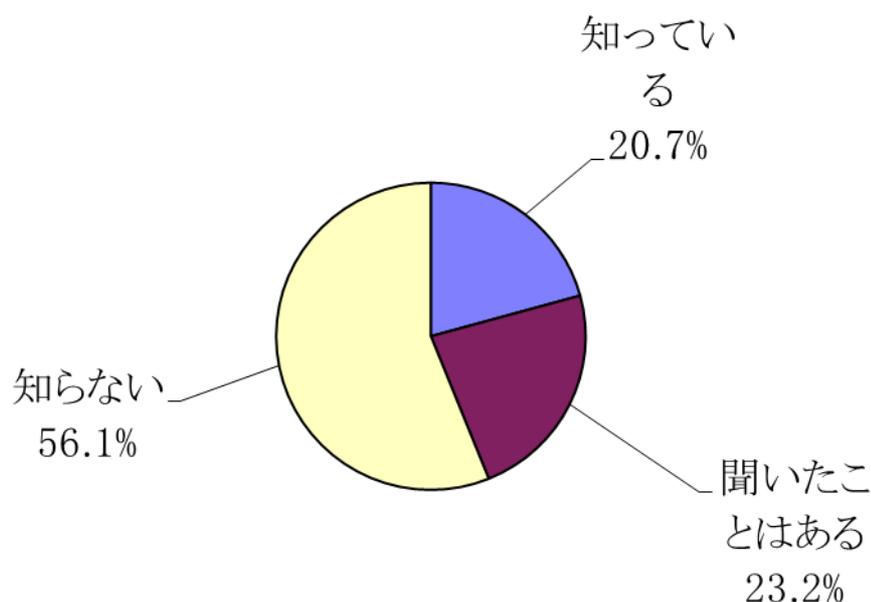
* 割合の算出方法：(各項目の)人数／回答数

【その他回答の主な内容】

- 当事者。(女性、40代、その他)
- 仕事上で。(女性、40代、その他)
- 職場。(女性、40代、公務員、教員)
- 近くに障がい者がいる。聞・見・知して情報を得る。(男性、70代、無職)
- 公共機関のマニュアル等。(男性、70代、自営業)

問 18 立川市では、障害のある人が災害のときや日常生活の中で困ったときに、まわりの人に自分の障害への理解や支援を求める際に利用できるよう、緊急連絡先や必要な支援内容などを書いておける「ヘルプカード」を配布しています。あなたは、この「ヘルプカード」のことを知っていますか。

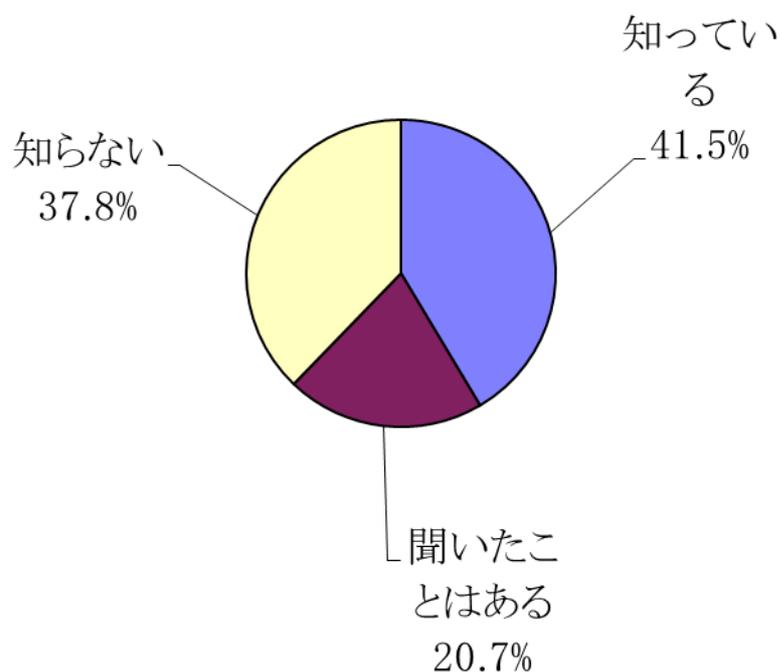
【回答数 82 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	17	20.7%
聞いたことはある	19	23.2%
知らない	46	56.1%
無回答	0	-
合計	82	100.0%

問 19 東京都では、援助や配慮を必要としている方(障害のある人、難病の人、妊娠初期の人など)が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、電車・バスの中で優先席に座りやすくしたり、商業施設等で援助を得やすくなるよう、「ヘルプマーク」を配布しています。あなたは、この「ヘルプマーク」のことを知っていますか。

【回答数 82 人】

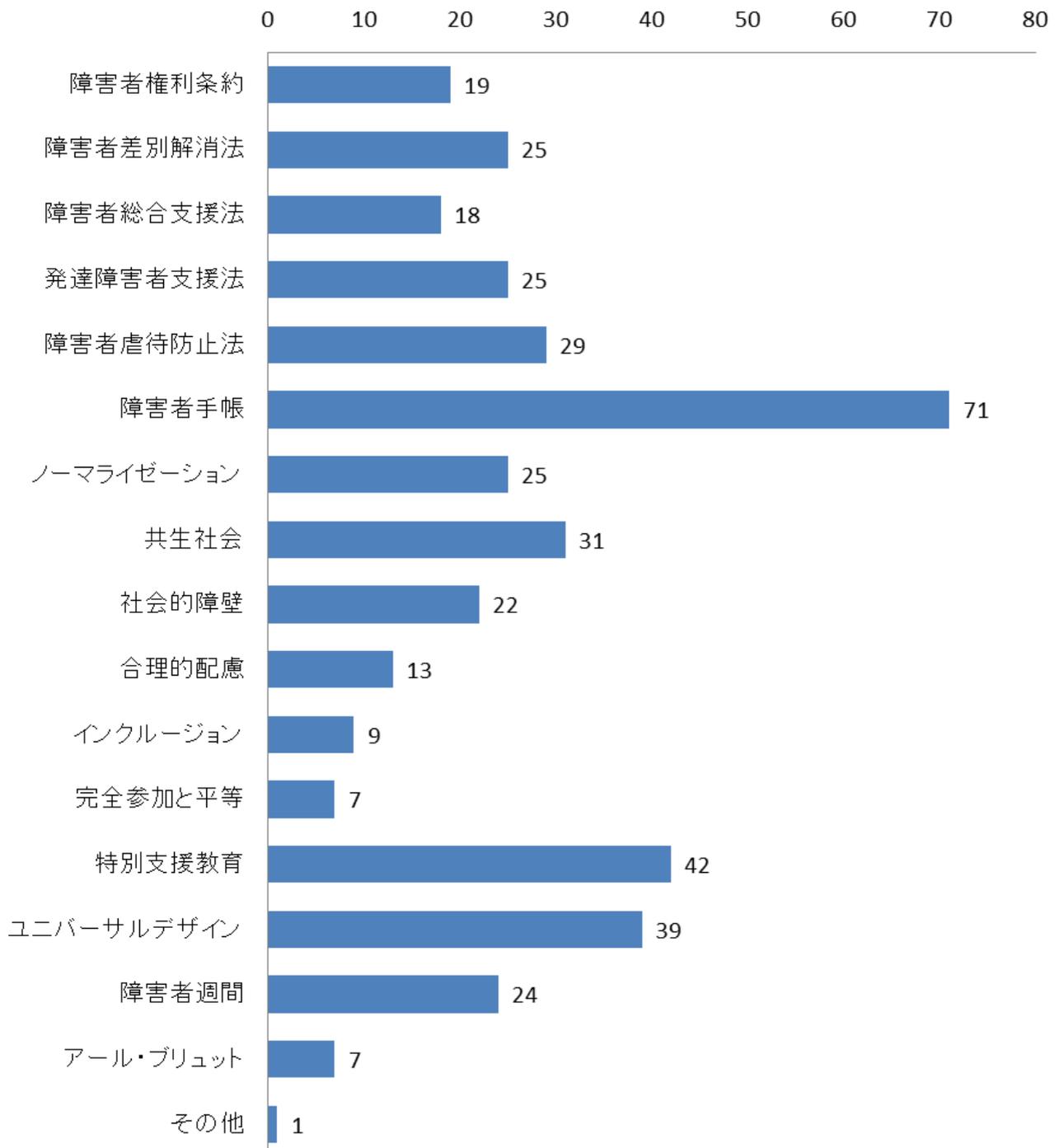


選択項目	人数	構成比
知っている	34	41.5%
聞いたことはある	17	20.7%
知らない	31	37.8%
無回答	0	-
合計	82	100.0%

問 20 次のうち、あなたが聞いたことがある言葉についてお答えください。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 76 人】

(人)



選択項目	人数	構成比
障害者権利条約	19	25.0%
障害者差別解消法	25	32.9%
障害者総合支援法	18	23.7%
発達障害者支援法	25	32.9%
障害者虐待防止法	29	38.2%
障害者手帳	71	93.4%
ノーマライゼーション	25	32.9%
共生社会	31	40.8%
社会的障壁	22	28.9%
合理的配慮	13	17.1%
インクルージョン	9	11.8%
完全参加と平等	7	9.2%
特別支援教育	42	55.3%
ユニバーサルデザイン	39	51.3%
障害者週間	24	31.6%
アール・ブリュット	7	9.2%
その他	1	1.3%
無回答	6	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- エンパワメント、自己決定

(女性、40代、その他)

V 障害福祉施策への意見・要望

【自由記述の主な回答】

- 現在は、身近に障害者がいないので、あいまいな回答ですいません(昔いても、北海道の施設でした)。最近、自転車でころんだ子供がいて、しゃべれない子でした。なので、筆談で電話番号を聞き、親を呼び、すぐ来てくれて、近くのコンビニの人には救急車を呼んでもらいました。イザとなるとなかなか出来ないものです。小さなことですが、マニュアルとか経験談を聞く事もその子の為になるのでは？
(女性、70代、無職)
- 障害のある人でも健康な人よりも優れた能力や個性があることがあるので、それに特化したモノづくりや、教育支援があってもよいと思う。
(男性、40代、自営業)
- 障害者が自立して生きていく為に「住」「収入」「労働」の確保。立川市と市内の企業との経済的な事業者支援と障害者の保障。立川市といえど予算がないと何も出来ません。ただでさえ、他市よりも市民税は高いのに…カジノなど余っている土地があれば誘致もありでは？カジノの売上と集客力でまわりの商業施設も利益は上がる。立川市の予算も増える→福祉の財源に活用。(男性、50代、会社員)
- 重い障害者を受け入れる施設が少ないと思う。障害を持つ家族のケアも大切になってくるので、広い視野での考えをもってほしいです。
(女性、40代、公務員、教員)
- 障害の方がいる家族の助けをしてあげてほしいし障害というもとの悪い金もうけ主義の方をきちんと見分けてほしいです。
(女性、40代、自営業)
- 障害の害をなくす。カタカナで「ガイ」と書いている。「障ガイ者など」障害手帳の携帯の義務。支援、助け合いの仕方を書いておき周りの人たちに助けを求める。
(男性、70代、無職)
- 条例ができたことは広報で知りました。立川市は事業所も多く、障害福祉には力を入れていると思います。ですが、事業所の内容がさまざまで、利用者のためを思って運営しているところと、何もしないただ毎日やり過ごしているところと、子供を見てもらっているのに不備があっても何も言えないところなどあるように聞こえてきます。税金が投入されて運営されているのだからよりよい運営がなされるよう監督をするべきだと思います。
(男性、60代、無職)
- 障害者は一括りにできないくらい色々な人が含まれます。身体的な障害にはある程度同じ線は確保してほしいと思いますが、知的障害者には一律の平等は難しく、不要と思います。日常生活の中で、サポートできる範囲と、平等とは言い難い迷惑行為もあるため、責任をとれる先がないのであれば、何が何でも平等であるべきではないと思えることが多いからです。私は学生の頃に多くのボランティアに参加し、無責任に平等にすることが必ずしも障害者のためにならないのではないかと、との疑問を抱きました。福祉施策は、障害の有無どちらにとっても適切に方法を熟考して頂きたいです。
(女性、40代、会社員)
- 立川市の地域で障害者と健常者が共に等しく、笑顔で生活できる様、市政が中心になって情報を流していただき明るい市政(立川市)をめざしていただきたいと思います。
(男性、60代、パート、アルバイト)
- ヘルパー、保健師、民生委員、市の担当職員等、日常的に障害のある人にかかわる人の数をもっと増やせる様、そこに補助金を出し運用して欲しい。土木費も、バリアフリー化を中心に使って欲しい。教育・福祉への予算を増やして欲しい。くるりんバスを網目状になるくらい増やして欲しい。(本数も経路も)ヘルパーを使いやすくして欲しい。子育て支援というなら妊産婦から、小学校卒業するまでの世帯にもタクシー券やバス、電車の割引券があると良い。出掛ける機会が増え、経済効果が増す様と思う。同時期のヘルパー利用も、もっと使いやすくして欲しい。
(女性、40代、その他)

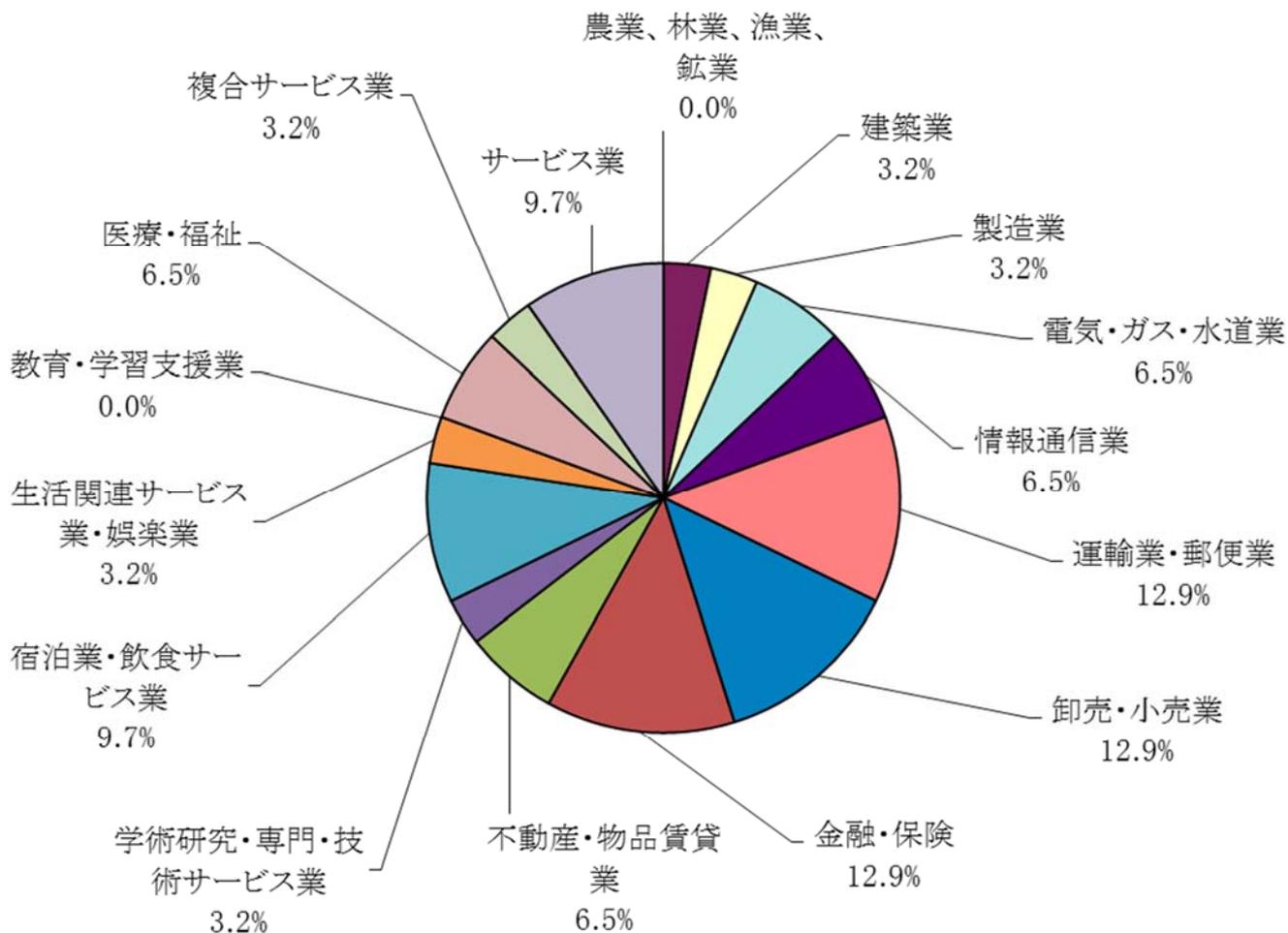
- 市役所の障害福祉の担当者と話してみても、立川市が本当に熱心に取り組んでくれていると感じました。
(男性、70代、無職)
- 障害者のことは余り今、自分の身近の場所には居りませんが出会えば大変だとは感じますが、触れ合う事も無いのでそのままになりますが、やはり何か助けられる様なことなどあれば？という気持ちはあるので今後は心していきたいと思います。
(女性、70代、主婦、主夫)
- 障害のある方と一緒に仕事をしたことがあります。共に働くことはとても大変でした。障害について一緒に働く人達に説明しその人がどういう状態か、どういうことが大変かなどわかるようにすること、一緒に働く人達を支援する…といったことも必要ではないかと思いました。
(女性、60代、パート、アルバイト)
- 障害のある方、シニア、子供…集って一緒に何かを見たり聞いたり作ったりする場、イベント等があると良いと思います。一緒に過ごすことでお互いを知り、解り合い、身近な存在となり、お互いを思いあう関係になるように思います。
(女性、60代、主婦、主夫)

③市内事業所

I 調査対象事業所について

問1 貴事業所の主たる業種は、次のどれにあたりますか。

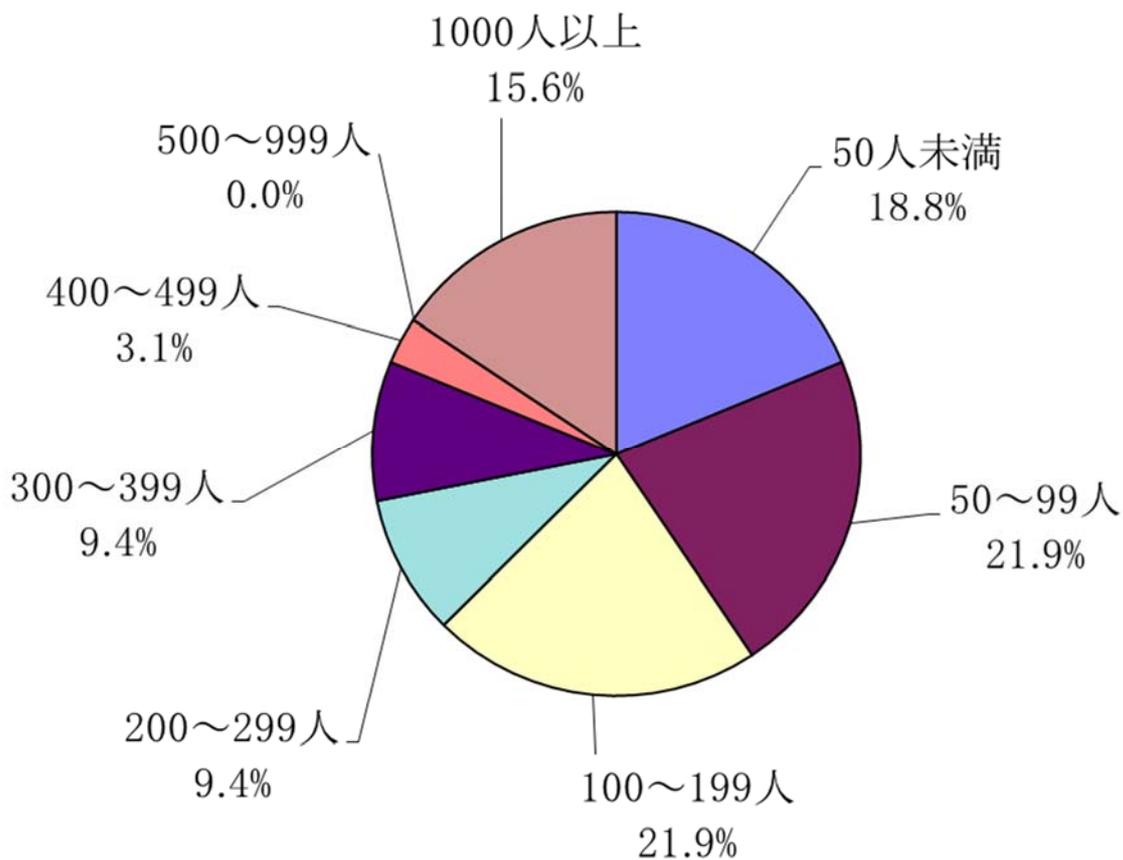
【回答数 31人】



選択項目	人数	構成比
農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
建築業	1	3.2%
製造業	1	3.2%
電気・ガス・水道業	2	6.5%
情報通信業	2	6.5%
運輸業・郵便業	4	12.9%
卸売・小売業	4	12.9%
金融・保険	4	12.9%
不動産・物品賃貸業	2	6.5%
学術研究・専門・技術サービス業	1	3.2%
宿泊業・飲食サービス業	3	9.7%
生活関連サービス業・娯楽業	1	3.2%
教育・学習支援業	0	0.0%
医療・福祉	2	6.5%
複合サービス業	1	3.2%
サービス業	3	9.7%
無回答	1	-
合計	32	100.0%

問2 貴事業所の従業員数(パート・アルバイトを含む)は、次のどれにあたりますか。

【回答数 32人】

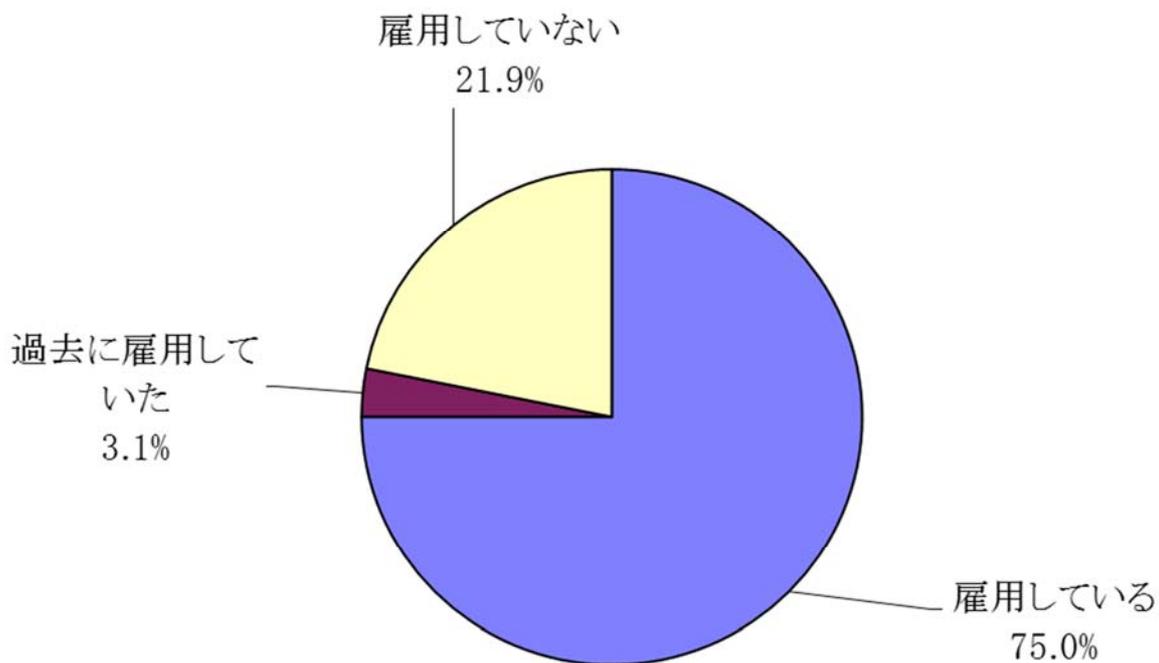


選択項目	人数	構成比
50人未満	6	18.8%
50~99人	7	21.9%
100~199人	7	21.9%
200~299人	3	9.4%
300~399人	3	9.4%
400~499人	1	3.1%
500~999人	0	0.0%
1000人以上	5	15.6%
無回答	0	-
合計	32	100.0%

Ⅱ 障害のある人の雇用について

問3 貴事業所では、現在、障害のある人を雇用していますか。

【回答数 32人】



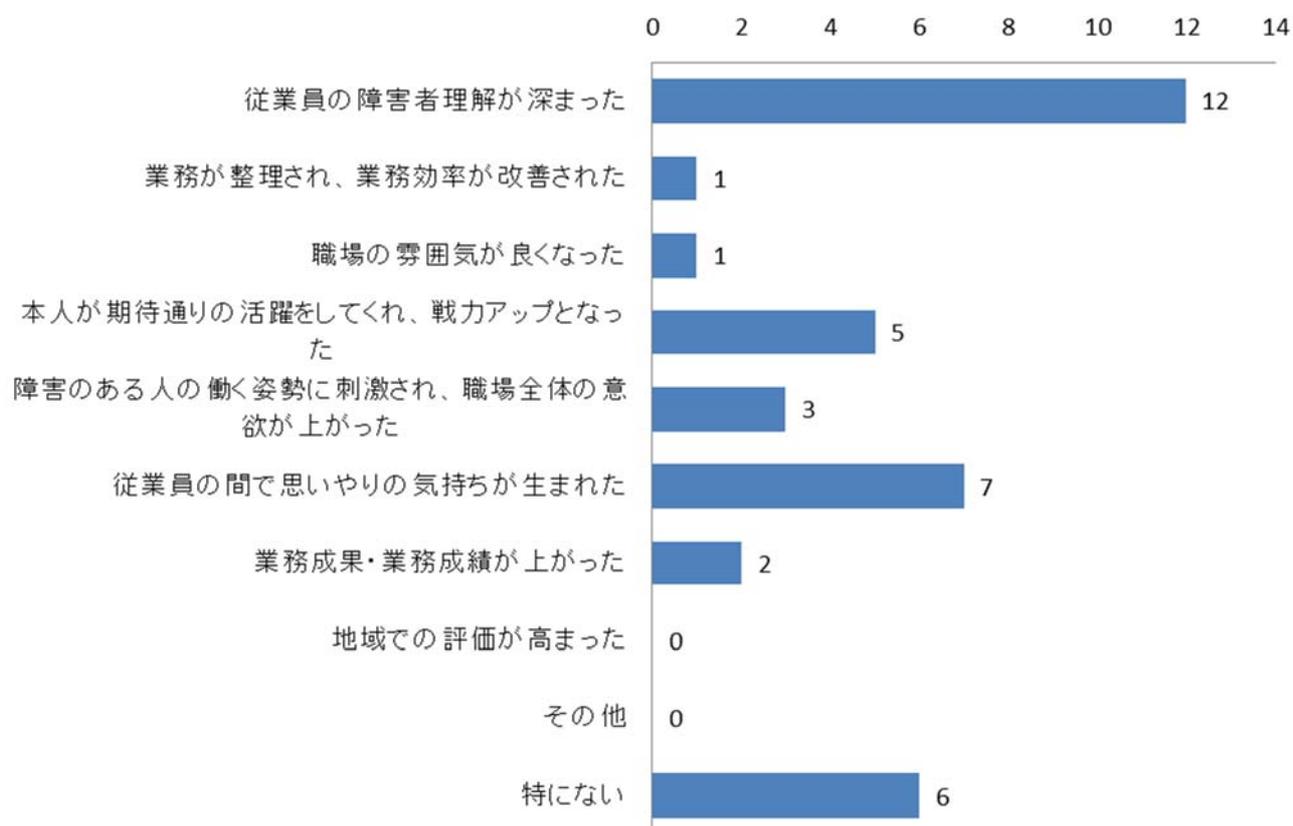
選択項目	人数	構成比
雇用している	24	75.0%
過去に雇用していた	1	3.1%
雇用していない	7	21.9%
無回答	0	-
合計	32	100.0%

問 3-1 問3で「1 雇用している」「2 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

雇用して良かったこと、変わったことはありますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 24 人】

(人)



選択項目	人数	構成比
従業員の障害者理解が深まった	12	50.0%
業務が整理され、業務効率が改善された	1	4.2%
職場の雰囲気が良くなった	1	4.2%
本人が期待通りの活躍をしてくれ、戦力アップとなった	5	20.8%
障害のある人の働く姿勢に刺激され、職場全体の意欲が上がった	3	12.5%
従業員の間で思いやりの気持ちが生まれた	7	29.2%
業務成果・業務成績が上がった	2	8.3%
地域での評価が高まった	0	0.0%
その他	0	0.0%
特にない	6	25.0%
無回答	1	-

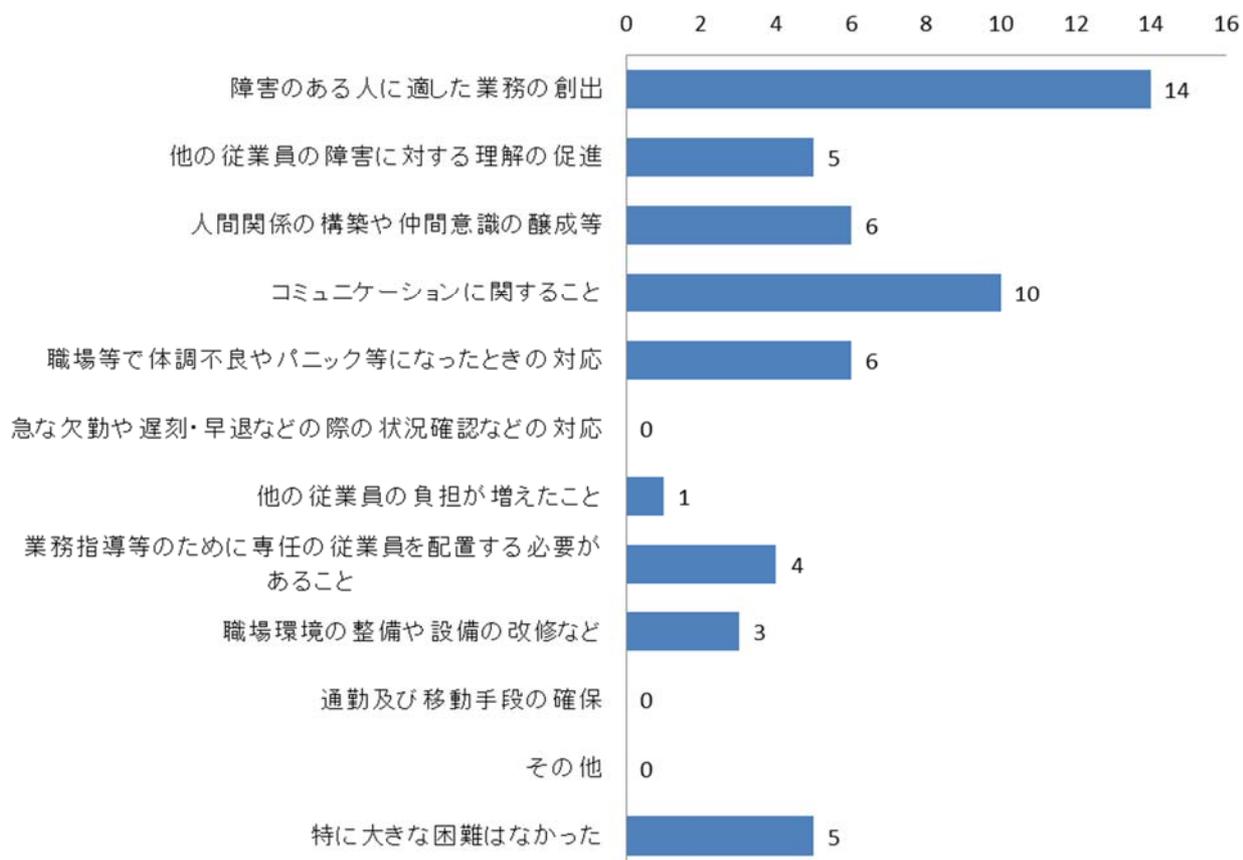
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 3-2 問3で「1 雇用している」「2 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

雇用して困ったこと、負担に感じたことはありますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 24 人】

(人)



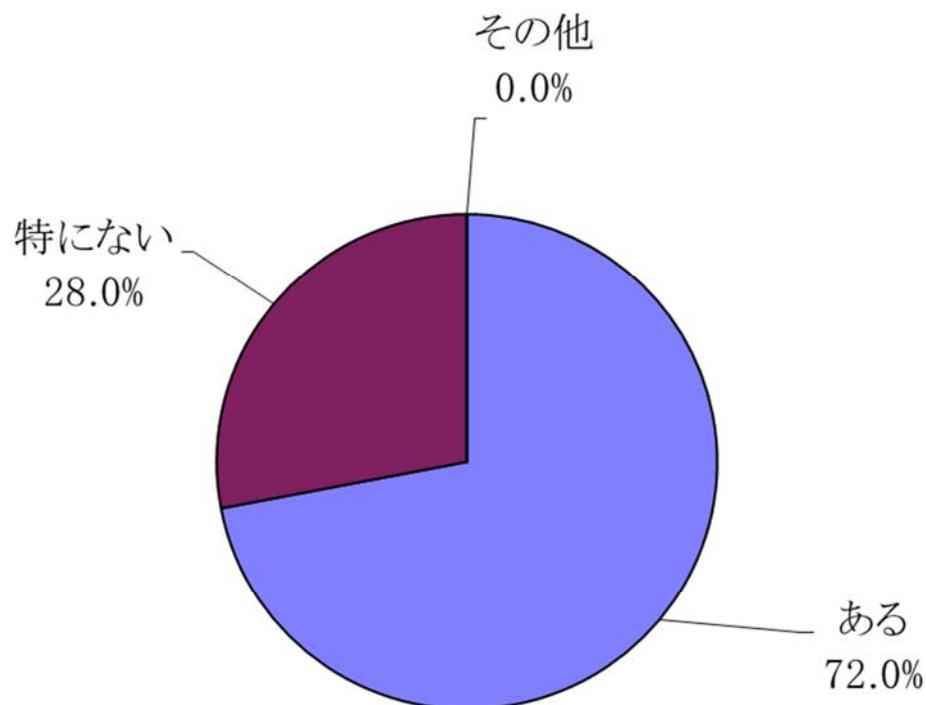
選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務の創出	14	58.3%
他の従業員の障害に対する理解の促進	5	20.8%
人間関係の構築や仲間意識の醸成等	6	25.0%
コミュニケーションに関すること	10	41.7%
職場等で体調不良やパニック等になったときの対応	6	25.0%
急な欠勤や遅刻・早退などの際の状況確認などの対応	0	0.0%
他の従業員の負担が増えたこと	1	4.2%
業務指導等のために専任の従業員を配置する必要があること	4	16.7%
職場環境の整備や設備の改修など	3	12.5%
通勤及び移動手段の確保	0	0.0%
その他	0	0.0%
特に大きな困難はなかった	5	20.8%
無回答	1	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 3-3 問3で「1 雇用している」「2 過去に雇用していた」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人を雇用するうえで、配慮が必要となったことはありますか。

【回答数 25 人】

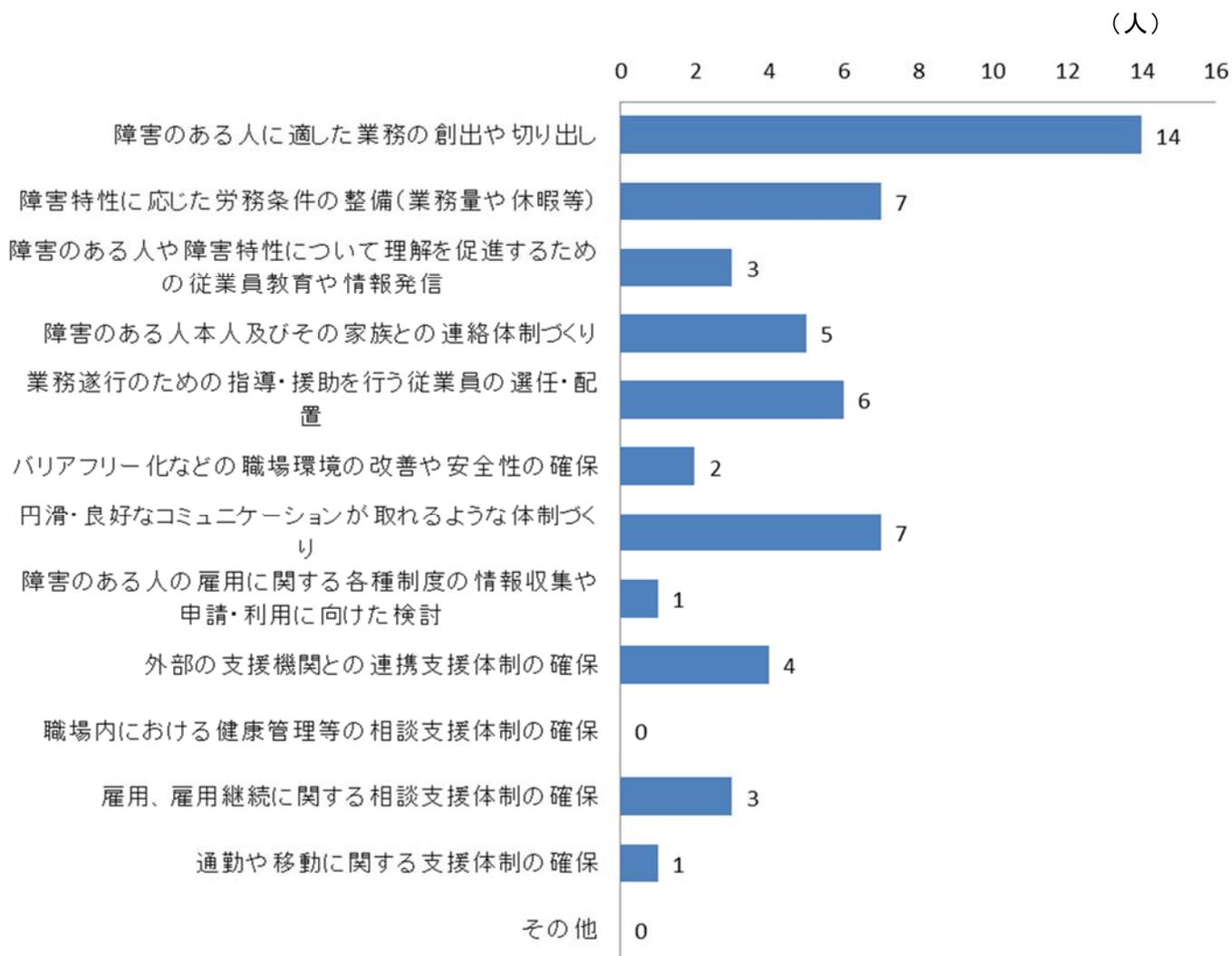


選択項目	人数	構成比
ある	18	72.0%
特にない	7	28.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	-
合計	25	100.0%

問 3-4 問3-3で「1 ある」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人を雇用するうえで、どのような配慮をしましたか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 18 人】



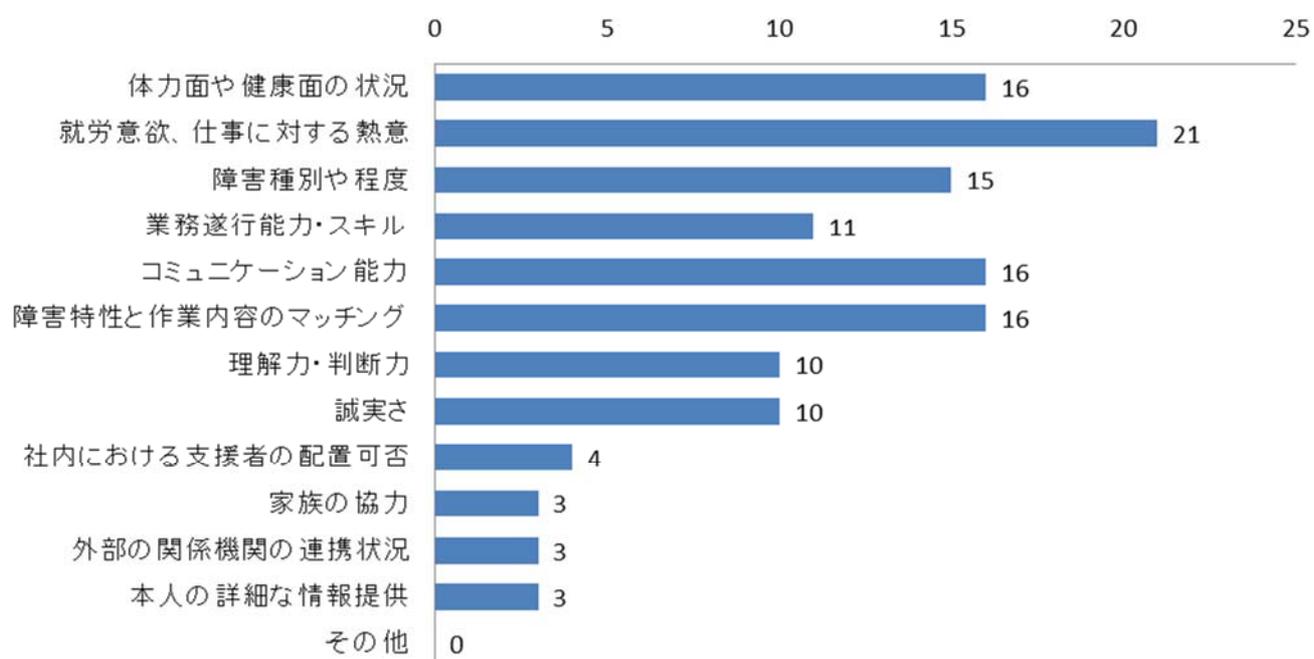
選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務の創出や切り出し	14	77.8%
障害特性に応じた労務条件の整備(業務量や休暇等)	7	38.9%
障害のある人や障害特性について理解を促進するための従業員教育や情報発信	3	16.7%
障害のある人本人及びその家族との連絡体制づくり	5	27.8%
業務遂行のための指導・援助を行う従業員の選任・配置	6	33.3%
バリアフリー化などの職場環境の改善や安全性の確保	2	11.1%
円滑・良好なコミュニケーションが取れるような体制づくり	7	38.9%
障害のある人の雇用に関する各種制度の情報収集や申請・利用に向けた検討	1	5.6%
外部の支援機関との連携支援体制の確保	4	22.2%
職場内における健康管理等の相談支援体制の確保	0	0.0%
雇用、雇用継続に関する相談支援体制の確保	3	16.7%
通勤や移動に関する支援体制の確保	1	5.6%
その他	0	0.0%
無回答	0	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

問 4 障害のある人を採用するにあたって、どのようなことを重視しますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 25 人】

(人)



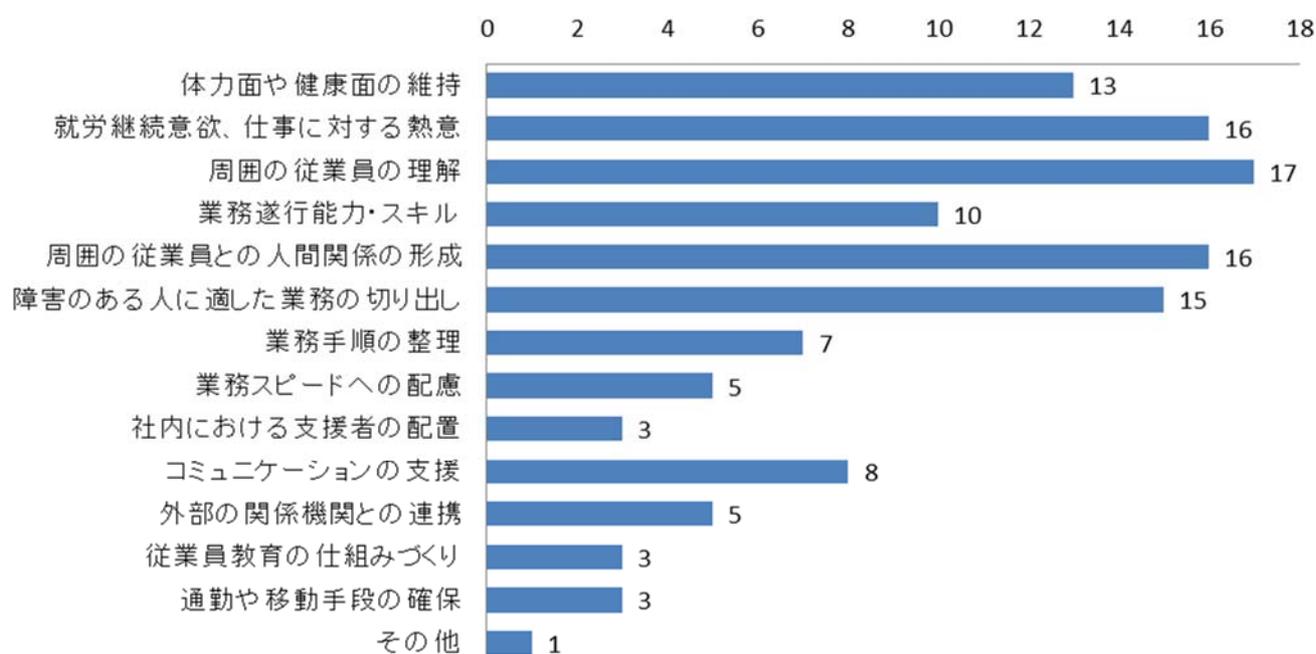
選択項目	人数	構成比
体力面や健康面の状況	16	64.0%
就労意欲、仕事に対する熱意	21	84.0%
障害種別や程度	15	60.0%
業務遂行能力・スキル	11	44.0%
コミュニケーション能力	16	64.0%
障害特性と作業内容のマッチング	16	64.0%
理解力・判断力	10	40.0%
誠実さ	10	40.0%
社内における支援者の配置可否	4	16.0%
家族の協力	3	12.0%
外部の関係機関の連携状況	3	12.0%
本人の詳細な情報提供	3	12.0%
その他	0	0.0%
無回答	7	-

* 割合の算出方法：(各項目の) 人数 / 回答数

問5 障害のある人が長く勤務し続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 25人】

(人)



選択項目	人数	構成比
体力面や健康面の維持	13	52.0%
就労継続意欲、仕事に対する熱意	16	64.0%
周囲の従業員の理解	17	68.0%
業務遂行能力・スキル	10	40.0%
周囲の従業員との人間関係の形成	16	64.0%
障害のある人に適した業務の切り出し	15	60.0%
業務手順の整理	7	28.0%
業務スピードへの配慮	5	20.0%
社内における支援者の配置	3	12.0%
コミュニケーションの支援	8	32.0%
外部の関係機関との連携	5	20.0%
従業員教育の仕組みづくり	3	12.0%
通勤や移動手段の確保	3	12.0%
その他	1	4.0%
無回答	7	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

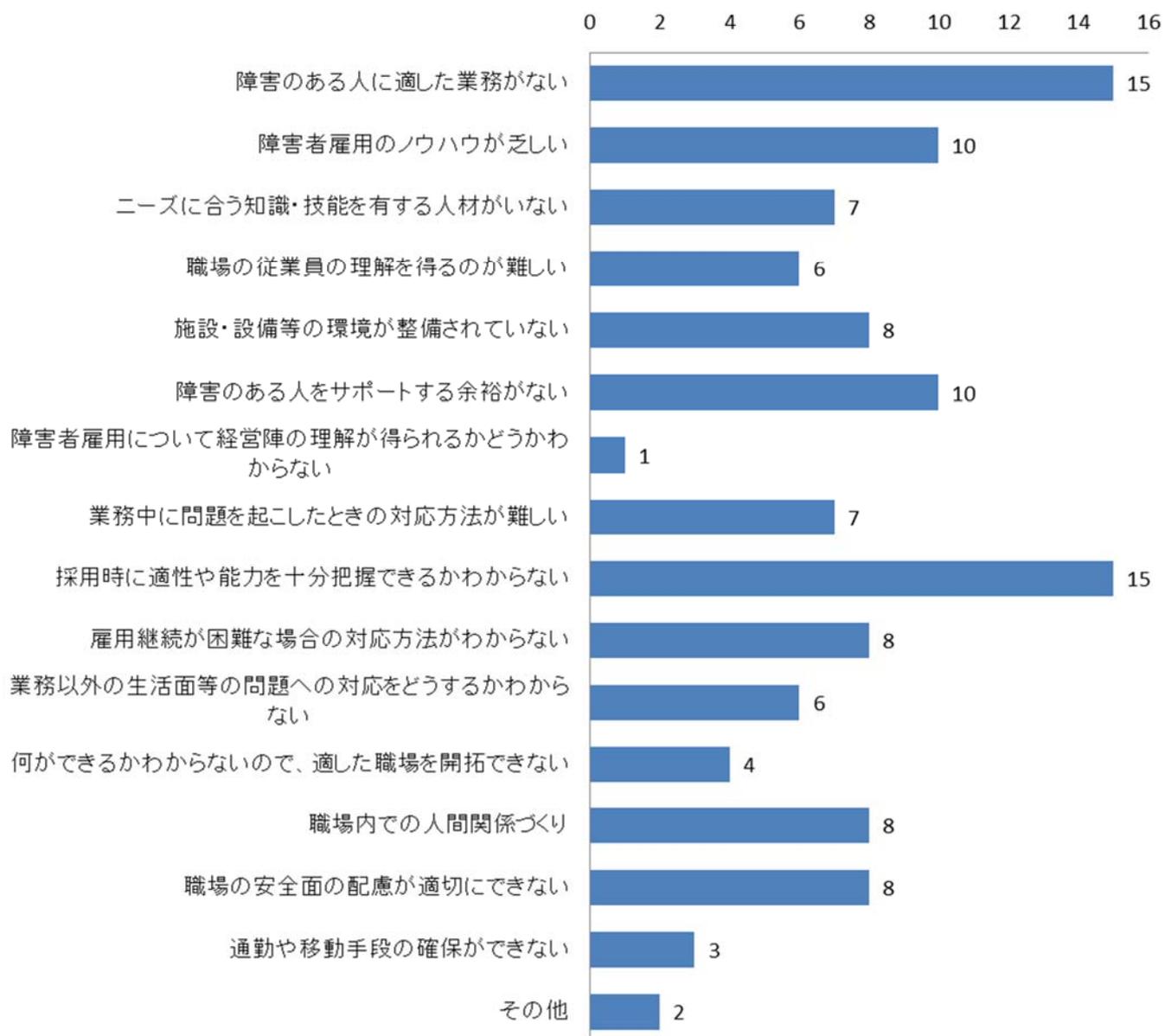
【その他回答の主な内容】

- ご家族の理解・協力。(雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)

問6 障害のある人を雇用するにあたり、どのような課題がありますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 30人】

(人)



選択項目	人数	構成比
障害のある人に適した業務がない	15	50.0%
障害者雇用のノウハウが乏しい	10	33.3%
ニーズに合う知識・技能を有する人材がない	7	23.3%
職場の従業員の理解を得るのが難しい	6	20.0%
施設・設備等の環境が整備されていない	8	26.7%
障害のある人をサポートする余裕がない	10	33.3%
障害者雇用について経営陣の理解が得られるかどうかわからない	1	3.3%
業務中に問題を起こしたときの対応方法が難しい	7	23.3%
採用時に適性や能力を十分把握できるかわからない	15	50.0%
雇用継続が困難な場合の対応方法がわからない	8	26.7%
業務以外の生活面等の問題への対応をどうするかわからない	6	20.0%
何ができるかわからないので、適した職場を開拓できない	4	13.3%
職場内での人間関係づくり	8	26.7%
職場の安全面の配慮が適切にできない	8	26.7%
通勤や移動手段の確保ができない	3	10.0%
その他	2	6.7%
無回答	2	-

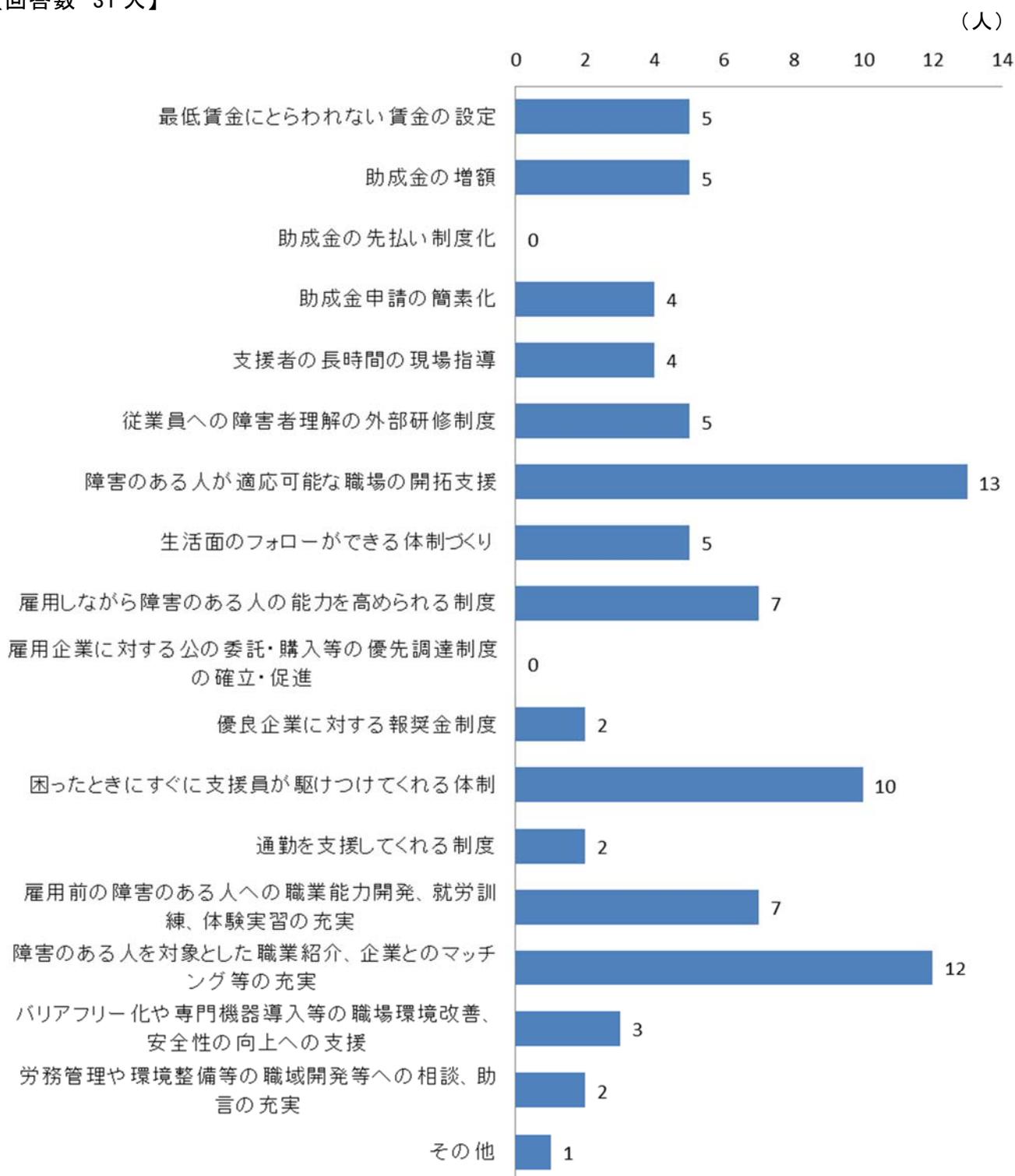
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 受注先からの理解を得られないこともある。(雇用している、サービス業、400～499人)
- ご家族のご協力の有無。(雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)

問 7 今後、どのような点が整備されていけば、雇用の機会を増やしていけるとお思いますか。
あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 31人】



選択項目	人数	構成比
最低賃金にとらわれない賃金の設定	5	16.1%
助成金の増額	5	16.1%
助成金の先払い制度化	0	0.0%
助成金申請の簡素化	4	12.9%
支援者の長時間の現場指導	4	12.9%
従業員への障害者理解の外部研修制度	5	16.1%
障害のある人が適応可能な職場の開拓支援	13	41.9%
生活面のフォローができる体制づくり	5	16.1%
雇用しながら障害のある人の能力を高められる制度	7	22.6%
雇用企業に対する公の委託・購入等の優先調達制度の確立・促進	0	0.0%
優良企業に対する報奨金制度	2	6.5%
困ったときにすぐに支援員が駆けつけてくれる体制	10	32.3%
通勤を支援してくれる制度	2	6.5%
雇用前の障害のある人への職業能力開発、就労訓練、体験実習の充実	7	22.6%
障害のある人を対象とした職業紹介、企業とのマッチング等の充実	12	38.7%
バリアフリー化や専門機器導入等の職場環境改善、安全性の向上への支援	3	9.7%
労務管理や環境整備等の職域開発等への相談、助言の充実	2	6.5%
その他	1	3.2%
無回答	1	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 業務内容が相当適さない。(雇用していない、宿泊業・飲食サービス業、50～99人)

問 8 その他障害者雇用に関して、ご意見ご要望などありましたらご自由にお書きください。

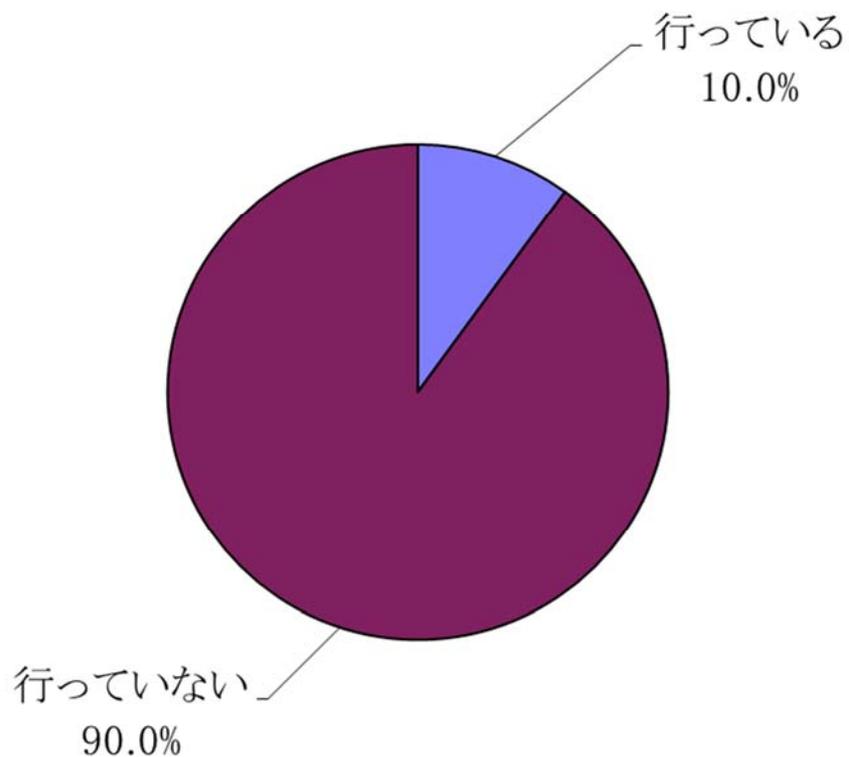
【自由記入の主な内容】

- 障害者雇用の雇用義務化はやりすぎ。業種によっては受け入れは難しいという現状を行政はもっと知るべき。(雇用している、医療・福祉、200～299人)
- 現在働いている社員は聴覚の障害をお持ちですが。施工管理資格を保持しており健常者と変わらない働きです。今回のアンケート内容を受け入れられる体制ではないのが現状です。(雇用している、建築業、50人未満)

Ⅲ 職場体験や実習の受け入れについて

問 9 障害のある人を対象に実習や職場体験を行っていますか。

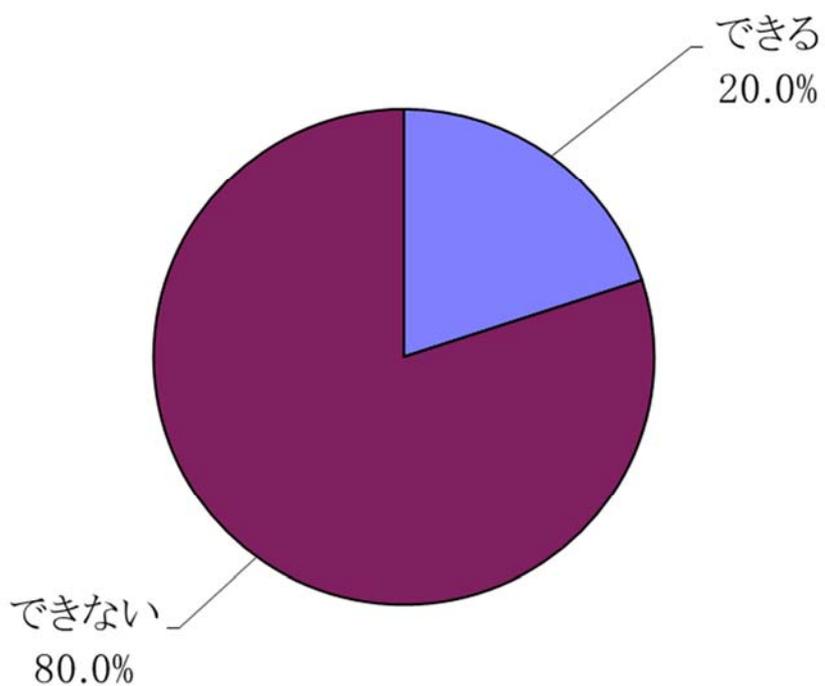
【回答数 30人】



選択項目	人数	構成比
行っている	3	10.0%
行っていない	27	90.0%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 10 短期間、実習や職場体験を受け入れることはできますか。

【回答数 30 人】

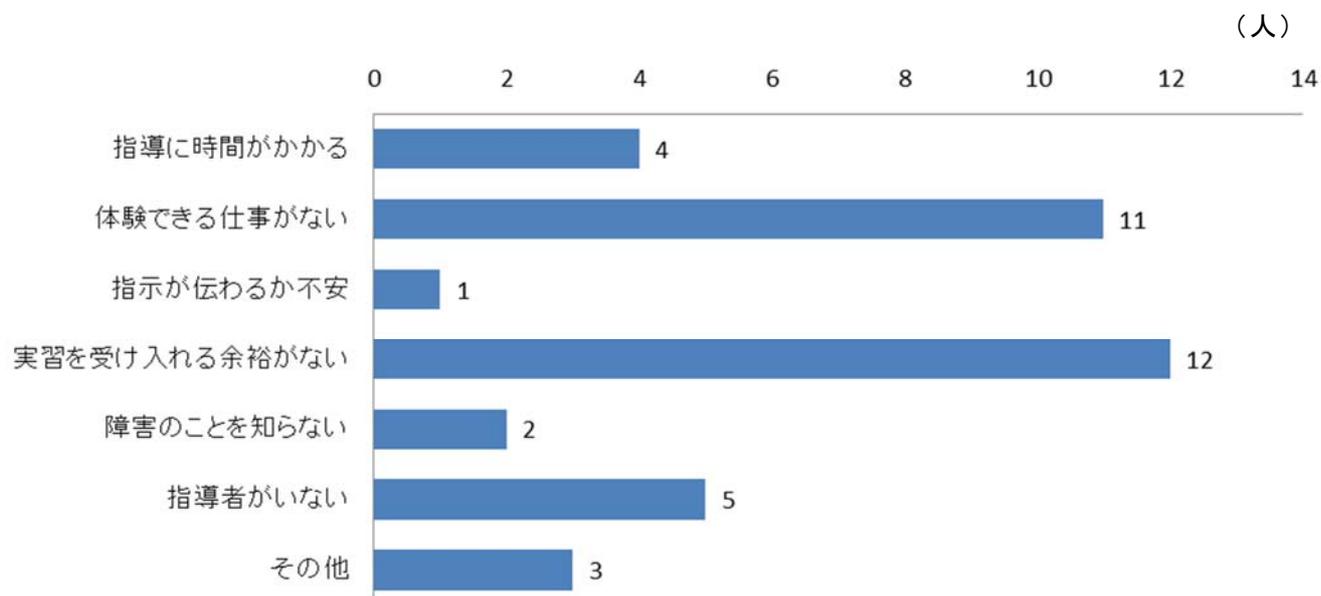


選択項目	人数	構成比
できる	6	20.0%
できない	24	80.0%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 10-1 問 10 で「2 できない」と答えた事業所にお聞きします。

受け入れることができない理由は何ですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 24 人】



選択項目	人数	構成比
指導に時間がかかる	4	16.7%
体験できる仕事がない	11	45.8%
指示が伝わるか不安	1	4.2%
実習を受け入れる余裕がない	12	50.0%
障害のことを知らない	2	8.3%
指導者がいない	5	20.8%
その他	3	12.5%
無回答	0	-

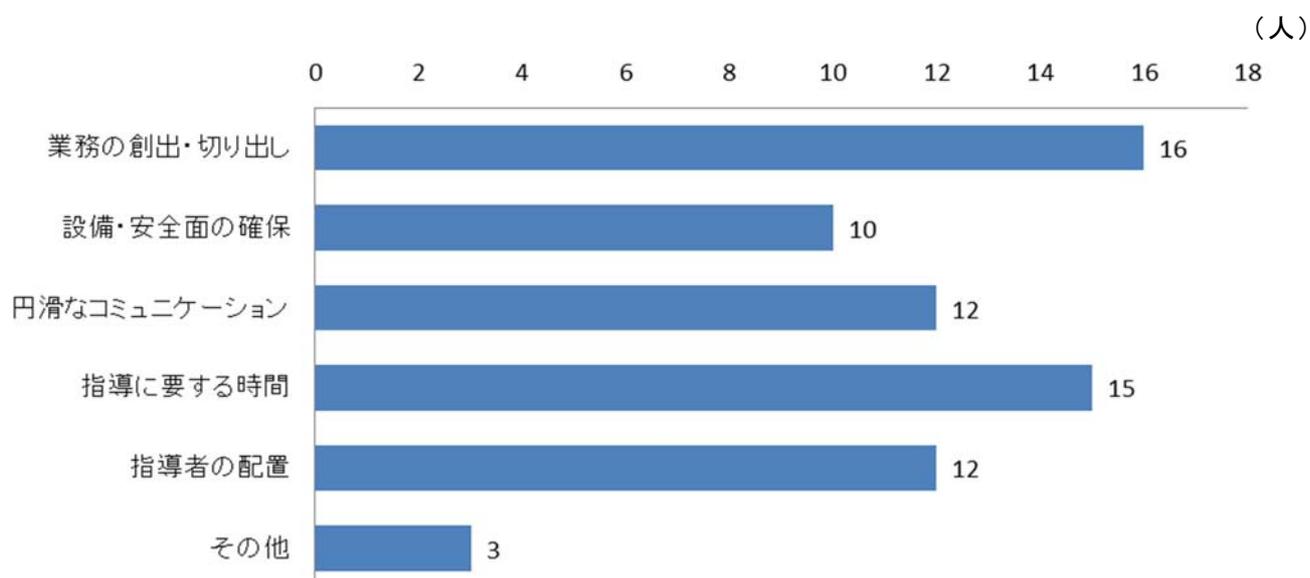
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 個人情報との関係。 (雇用している、金融・保険、300～399人)
- 情報の取り扱いと体験機会の創出は困難。 (雇用している、金融・保険、100～199人)
- 業務上ミス、間違いがあってはいけない。 (雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)

問 11 実習や職場体験を受け入れることについて、不安に感じていることは何ですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 27 人】



選択項目	人数	構成比
業務の創出・切り出し	16	59.3%
設備・安全面の確保	10	37.0%
円滑なコミュニケーション	12	44.4%
指導に要する時間	15	55.6%
指導者の配置	12	44.4%
その他	3	11.1%
無回答	5	-

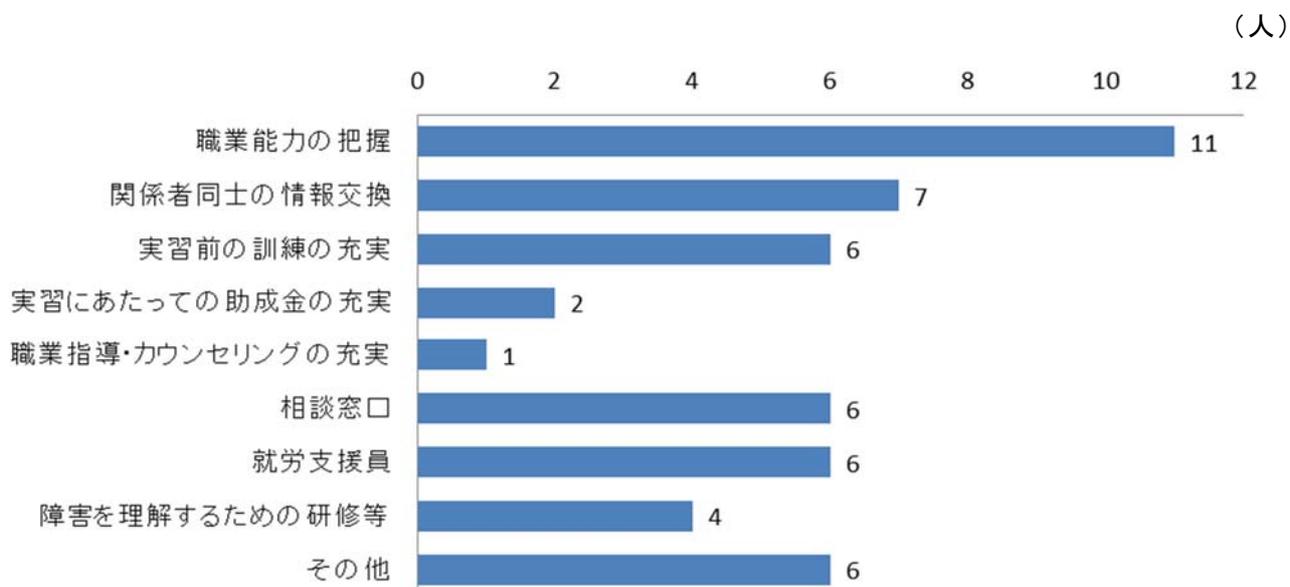
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- 個人情報。 (雇用している、金融・保険、300～399人)
- 情報の取り扱い。 (雇用している、金融・保険、100～199人)
- 業務上ミス、間違いがあってはいけない。
(雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)

問 12 実習や職場体験を受け入れるためにどのような支援があれば、受け入れできますか。
あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 24 人】



選択項目	人数	構成比
職業能力の把握	11	45.8%
関係者同士の情報交換	7	29.2%
実習前の訓練の充実	6	25.0%
実習にあたっての助成金の充実	2	8.3%
職業指導・カウンセリングの充実	1	4.2%
相談窓口	6	25.0%
就労支援員	6	25.0%
障害を理解するための研修等	4	16.7%
その他	6	25.0%
無回答	8	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

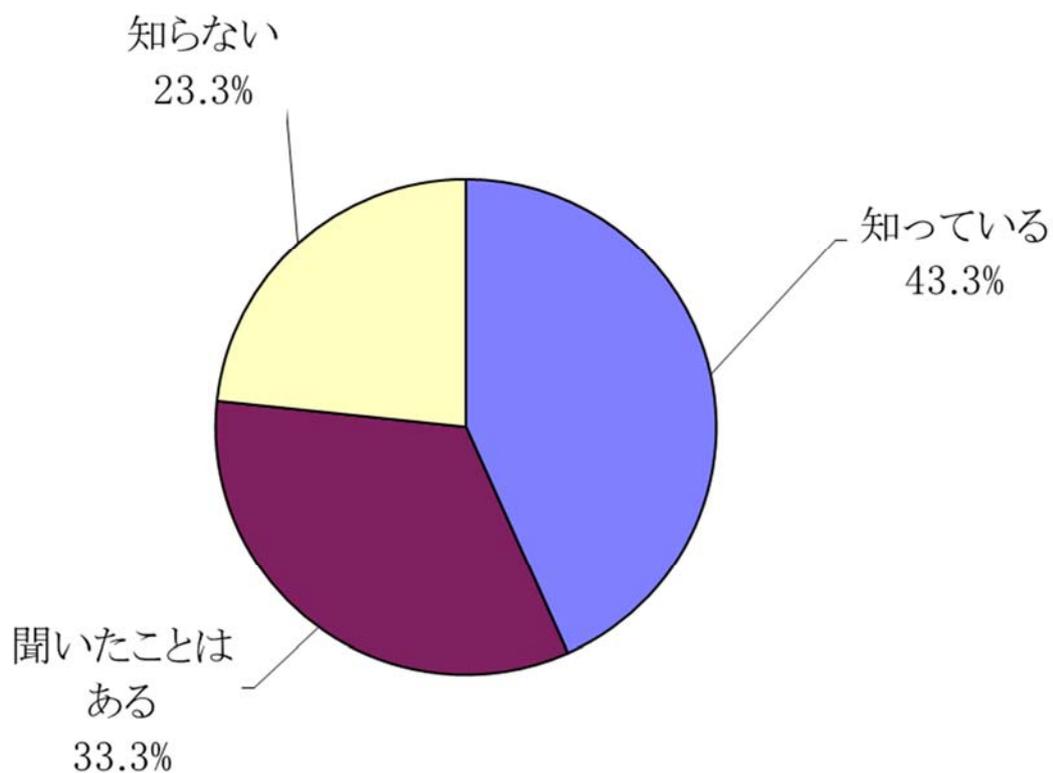
【その他回答の主な内容】

- 業務の創出。(雇用している、電気・ガス・水道業、100～199人)
- 現状では不可。(雇用していない、運輸業・郵便業、100～199人)
- 受け入れる予定がございません。(雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)
- 現状、支援があっても難しい。(雇用している、建築業、50人未満)

IV 障害のある人への対応について

問 13 平成28年4月から、障害者差別解消法が施行されています。この法律のことを知っていますか。

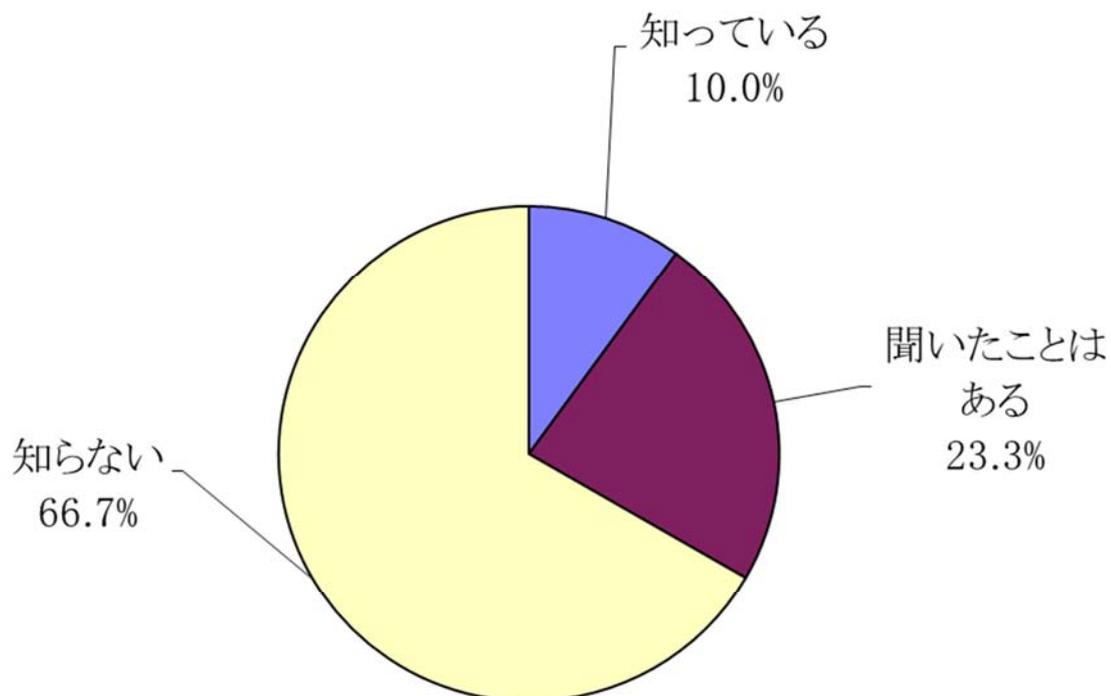
【回答数 30人】



選択項目	人数	構成比
知っている	13	43.3%
聞いたことはある	10	33.3%
知らない	7	23.3%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 14 平成30年4月から障害や障害のある人への理解を深め、障害の有無にかかわらず誰もが暮らしやすいまちをつくるために、「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」が施行されています。この条例のことを知っていますか。

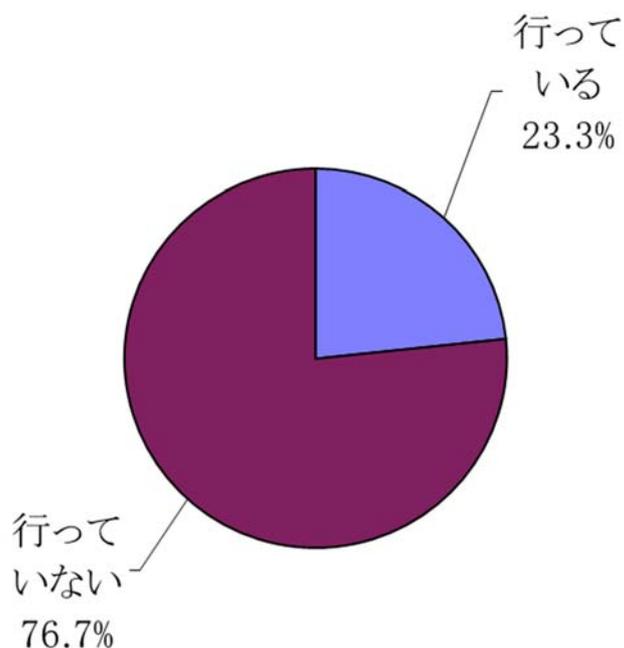
【回答数 30人】



選択項目	人数	構成比
知っている	3	10.0%
聞いたことはある	7	23.3%
知らない	20	66.7%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 15 貴事業所では、障害のある人への理解のための教育や研修を行っていますか。

【回答数 30人】

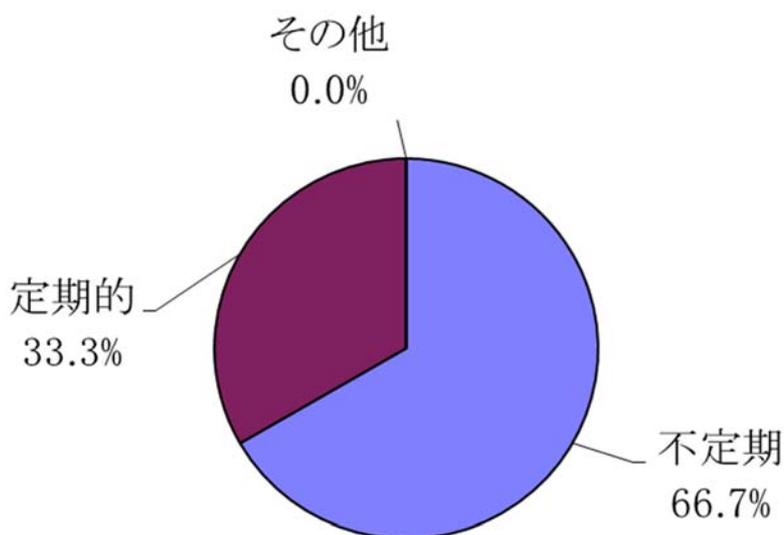


選択項目	人数	構成比
行っている	7	23.3%
行っていない	23	76.7%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 15-1 問 15 で「1 行っている」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人への理解のための教育や研修は、どのくらいの頻度で実施していますか。

【回答数 6人】



選択項目	人数	構成比
不定期	4	66.7%
定期的	2	33.3%
その他	0	0.0%
無回答	1	-
合計	7	100.0%

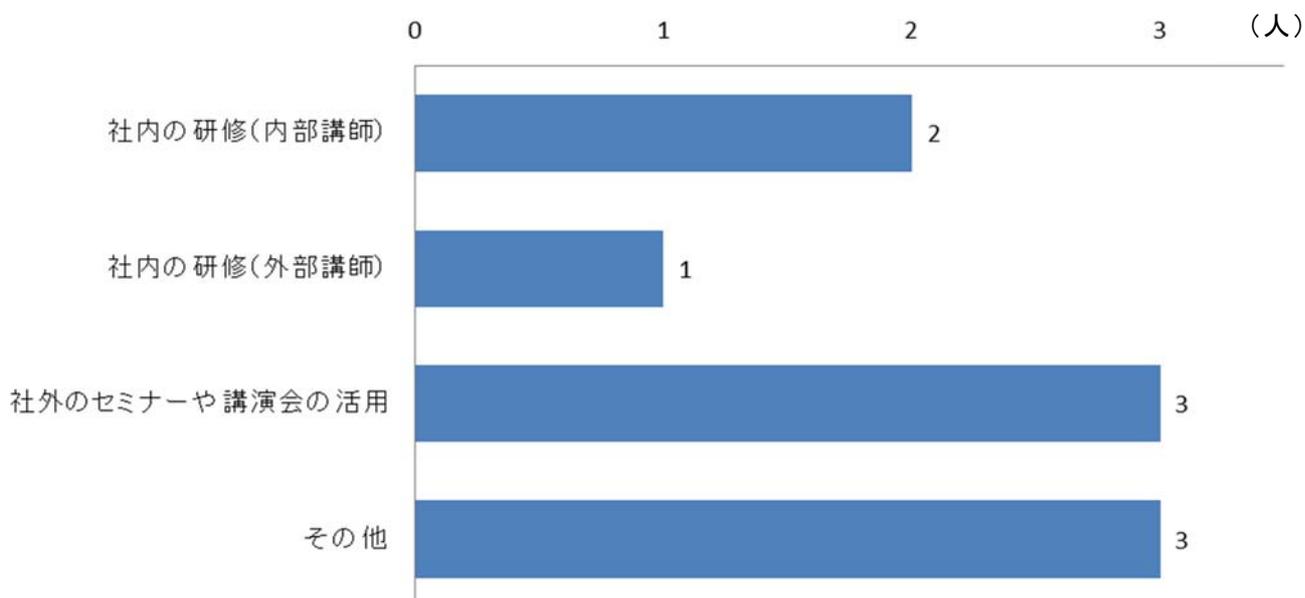
【定期的の具体的な回答】

- 年1回
(雇用している、金融・保険、300～399人)
- 年2回
(雇用している、金融・保険、100～199人)

問 15-2 問 15 で「1 行っている」と答えた事業所にお聞きします。

障害のある人への理解のための教育や研修は、どのような方法で行っていますか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 6 人】



選択項目	人数	構成比
社内の研修(内部講師)	2	33.3%
社内の研修(外部講師)	1	16.7%
社外のセミナーや講演会の活用	3	50.0%
その他	3	50.0%
無回答	1	-

* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

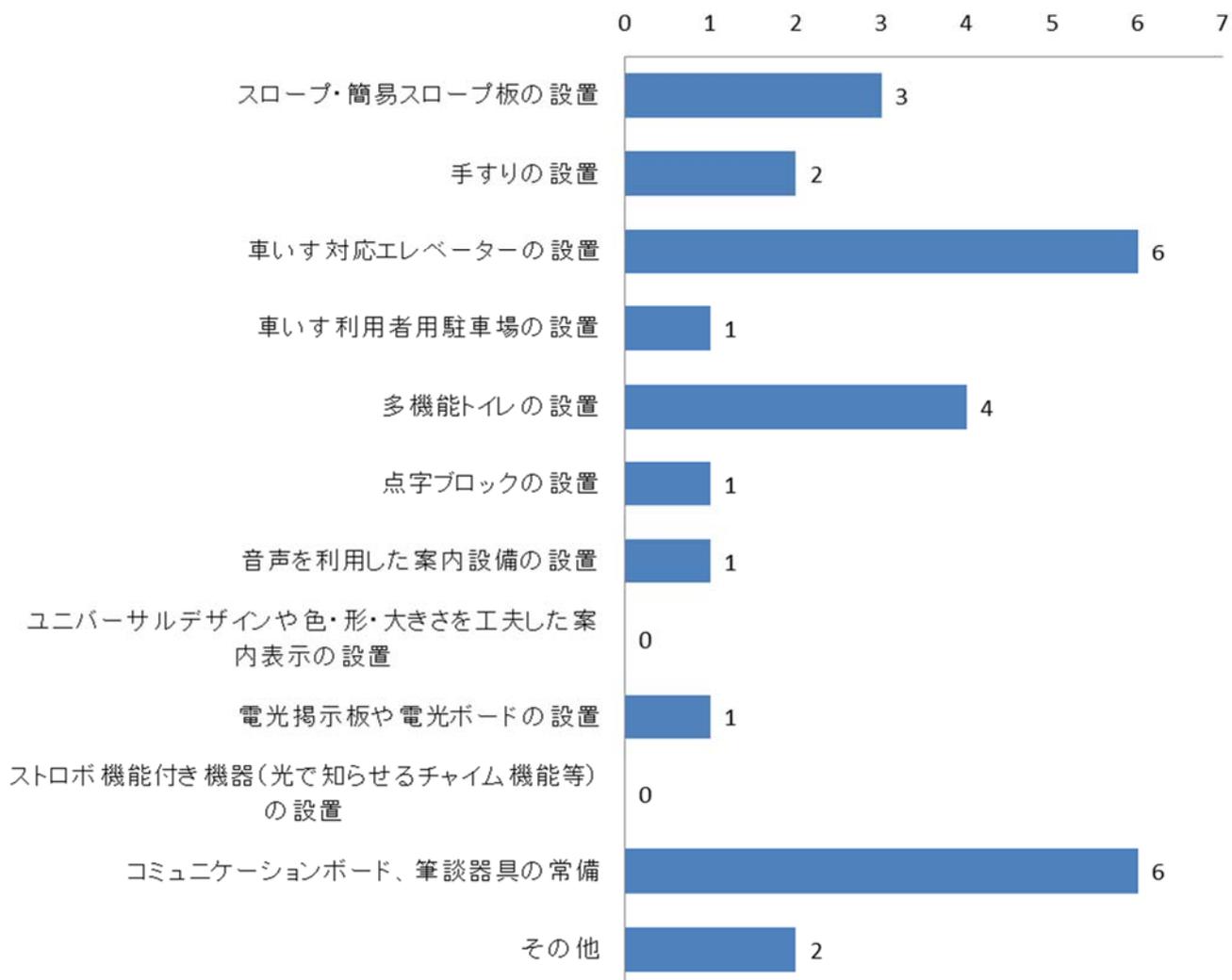
【その他回答の主な内容】

- eラーニング。(雇用している、学術研究・専門・技術サービス業、300～399人)
- 本社提供資料。(雇用している、金融・保険、300～399人)
- 啓蒙ビデオの視聴、グループ討議。(雇用している、金融・保険、100～199人)

問 16 貴事業所では、障害のある人のための環境整備等で実施しているものはありますか。
あてはまるものすべて。(複数回答可)

【回答数 14 人】

(人)



選択項目	人数	構成比
スロープ・簡易スロープ板の設置	3	21.4%
手すりの設置	2	14.3%
車いす対応エレベーターの設置	6	42.9%
車いす利用者用駐車場の設置	1	7.1%
多機能トイレの設置	4	28.6%
点字ブロックの設置	1	7.1%
音声を利用した案内設備の設置	1	7.1%
ユニバーサルデザインや色・形・大きさを工夫した案内表示の設置	0	0.0%
電光掲示板や電光ボードの設置	1	7.1%
ストロボ機能付き機器(光で知らせるチャイム機能等)の設置	0	0.0%
コミュニケーションボード、筆談器具の常備	6	42.9%
その他	2	14.3%
無回答	18	-

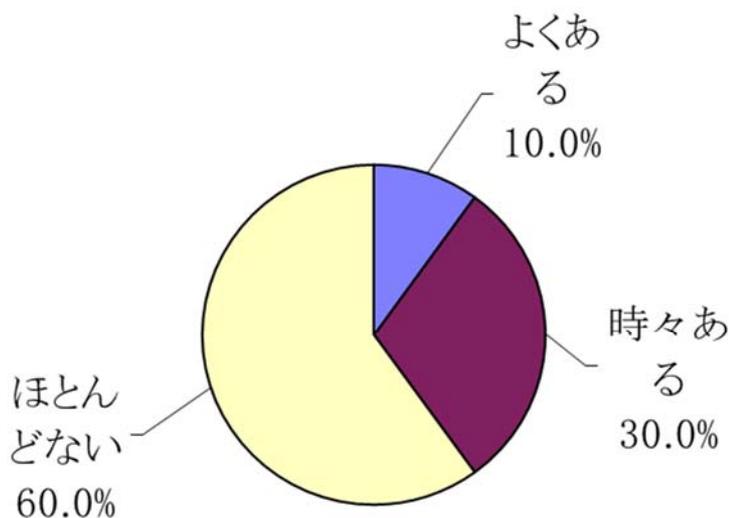
* 割合の算出方法：(各項目の)人数/回答数

【その他回答の主な内容】

- お客様側の設備は対応しております。
(雇用している、生活関連サービス業・娯楽業、50～99人)

問 17 貴事業所の業務では、障害のある人に対応することがありますか。

【回答数 30人】

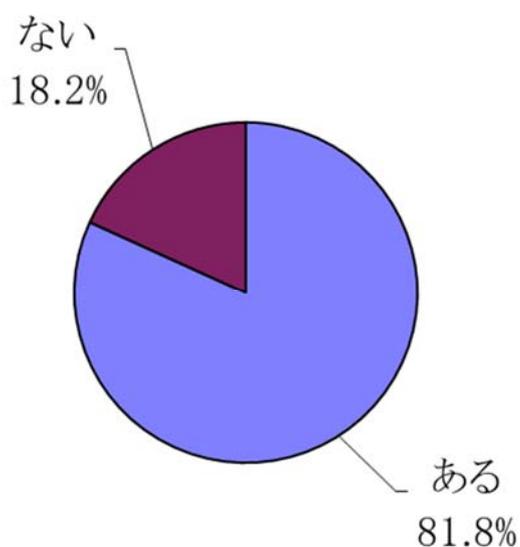


選択項目	人数	構成比
よくある	3	10.0%
時々ある	9	30.0%
ほとんどない	18	60.0%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 17-1 問17で「1 よくある」「2 時々ある」と答えた事業所にお聞きします。

貴事業所の事業の実施において、障害のある人に対応する場合に、その人の障害に合わせた工夫や変更などの配慮をしたことがありますか。

【回答数 11人】



選択項目	人数	構成比
ある	9	81.8%
ない	2	18.2%
無回答	1	-
合計	12	100.0%

問 18 貴事業所において、合理的配慮としてどのような対応が可能ですか。差し支えない範囲で、具体的にお書きください。

【自由記入の主な回答】

- 営業所と本社（総務担当）の連携。 (雇用している、運輸業・郵便業、50人未満)
- 合理的配慮としての対応が難しい。(雇用している、宿泊業・飲食サービス業、1000人以上)
- 食事しやすいように、一口サイズにカットする（メニュー変更可）。サラダバーを代わりにチョイスする。広めの席を用意、出来る限りのことは全て出来ます。
(雇用していない、宿泊業・飲食サービス業、50人未満)
- 買い物のサポート（高い棚の商品をとる、筆談などで要望を聞く、代わりに商品をピックアップするなど）。 (雇用している、卸売・小売業、1000人以上)
- 個室への誘導、筆談・タブレットによる個別説明。
(雇用している、金融・保険、100～199人)
- 就業時間の対応、筆談の対応。 (雇用している、金融・保険、1000人以上)

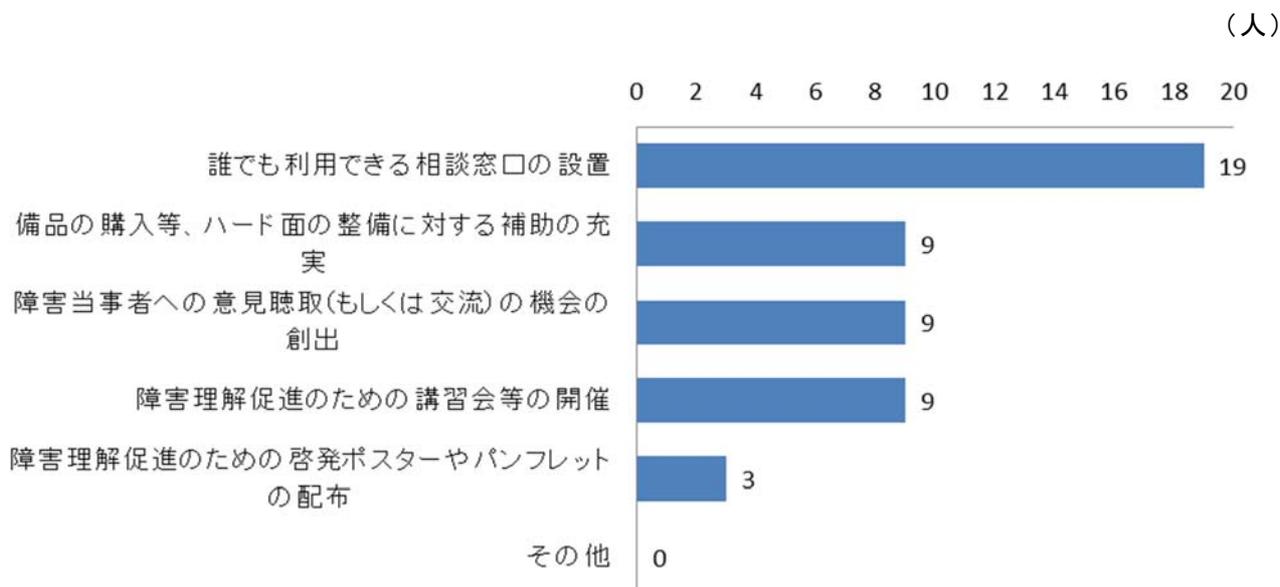
問 19 貴事業所において、合理的配慮として対応が難しいのはどのようなことですか。またその理由は何ですか。差し支えない範囲でお書きください。

【自由記入の主な回答】

- 人材不足、業務量が多いため。 (雇用している、運輸業・郵便業、50人未満)
- 当事業所は、複数の拠点を管理する部門であり、事務職・管理職が在籍していて上記のような場面に遭遇する機会がほとんどない為です。
(雇用している、宿泊業・飲食サービス業、1000人以上)
- 何か不足の事態が起きた時に（のどをつまらせた、身体に異変・急変が起きた）きちんとした対応ができるのか不安に感じます。
(雇用していない、宿泊業・飲食サービス業、50人未満)
- テナントとして出店しているので、ハード面は当社としてできない。
(雇用している、卸売・小売業、1000人以上)
- 限られたスペースの事務所に最大人数が配置されているのが現状です。
(雇用している、建築業、50人未満)

問 20 障害のある人から求められた配慮を実現するために市が行う事業者向けの施策について、有効だと思われる項目はどれですか。あてはまるものすべて。(複数回答可)

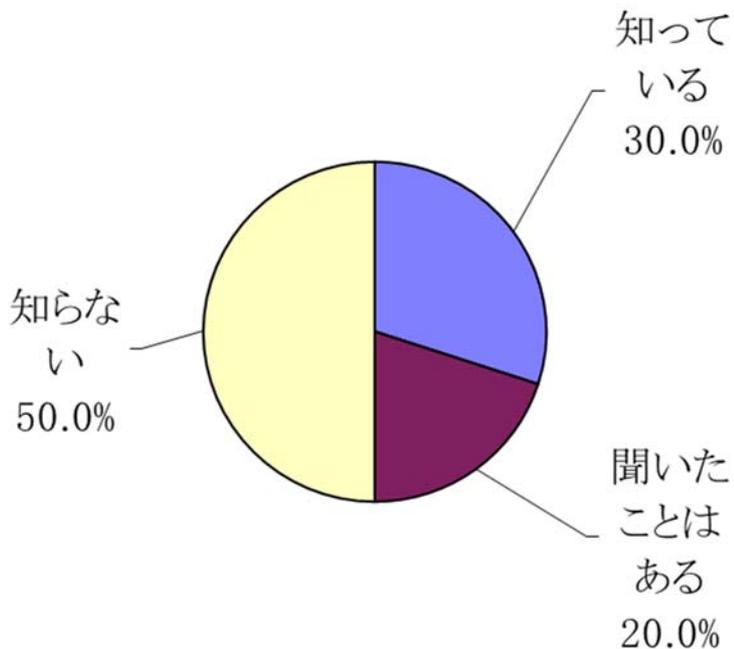
【回答数 27 人】



選択項目	人数	構成比
誰でも利用できる相談窓口の設置	19	70.4%
備品の購入等、ハード面の整備に対する補助の充実	9	33.3%
障害当事者への意見聴取(もしくは交流)の機会の創出	9	33.3%
障害理解促進のための講習会等の開催	9	33.3%
障害理解促進のための啓発ポスターやパンフレットの配布	3	11.1%
その他	0	0.0%
無回答	5	-

問 21 「ヘルプカード」のことを知っていますか。

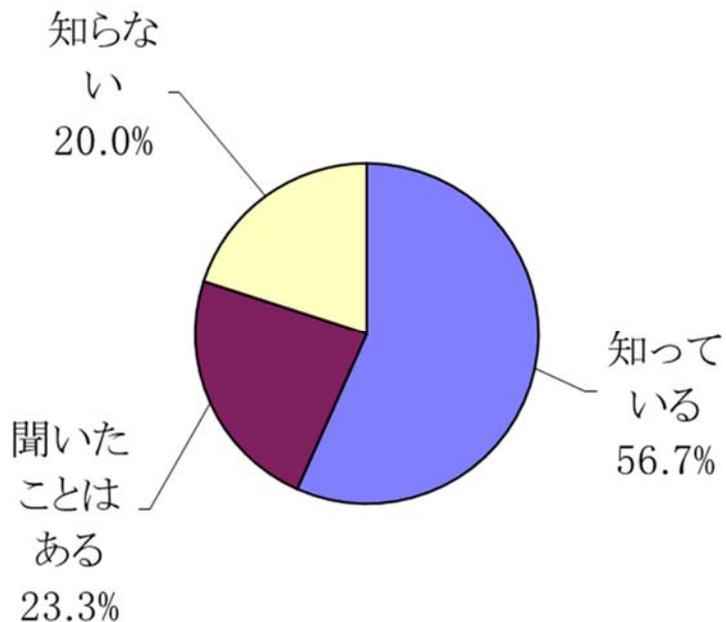
【回答数 30 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	9	30.0%
聞いたことはある	6	20.0%
知らない	15	50.0%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

問 22 「ヘルプマーク」のことを知っていますか。

【回答数 30 人】



選択項目	人数	構成比
知っている	17	56.7%
聞いたことはある	7	23.3%
知らない	6	20.0%
無回答	2	-
合計	32	100.0%

V 障害者差別解消のための意見

問 23 障害のある人への差別をなくすために、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

【自由記入の内容】

- 知識が乏しいので、何か障害のある人と交流できる場がたくさん出来ると、知識も増え、交流も深まるのではないのかなと思います。

(雇用していない、宿泊業・飲食サービス業、50人未満)

立川市第6次障害者計画策定のための
アンケート調査結果報告書

令和元年5月

編集・発行／立川市福祉保健部障害福祉課

〒190-8666

東京都立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111（代表）

FAX 042-529-8676